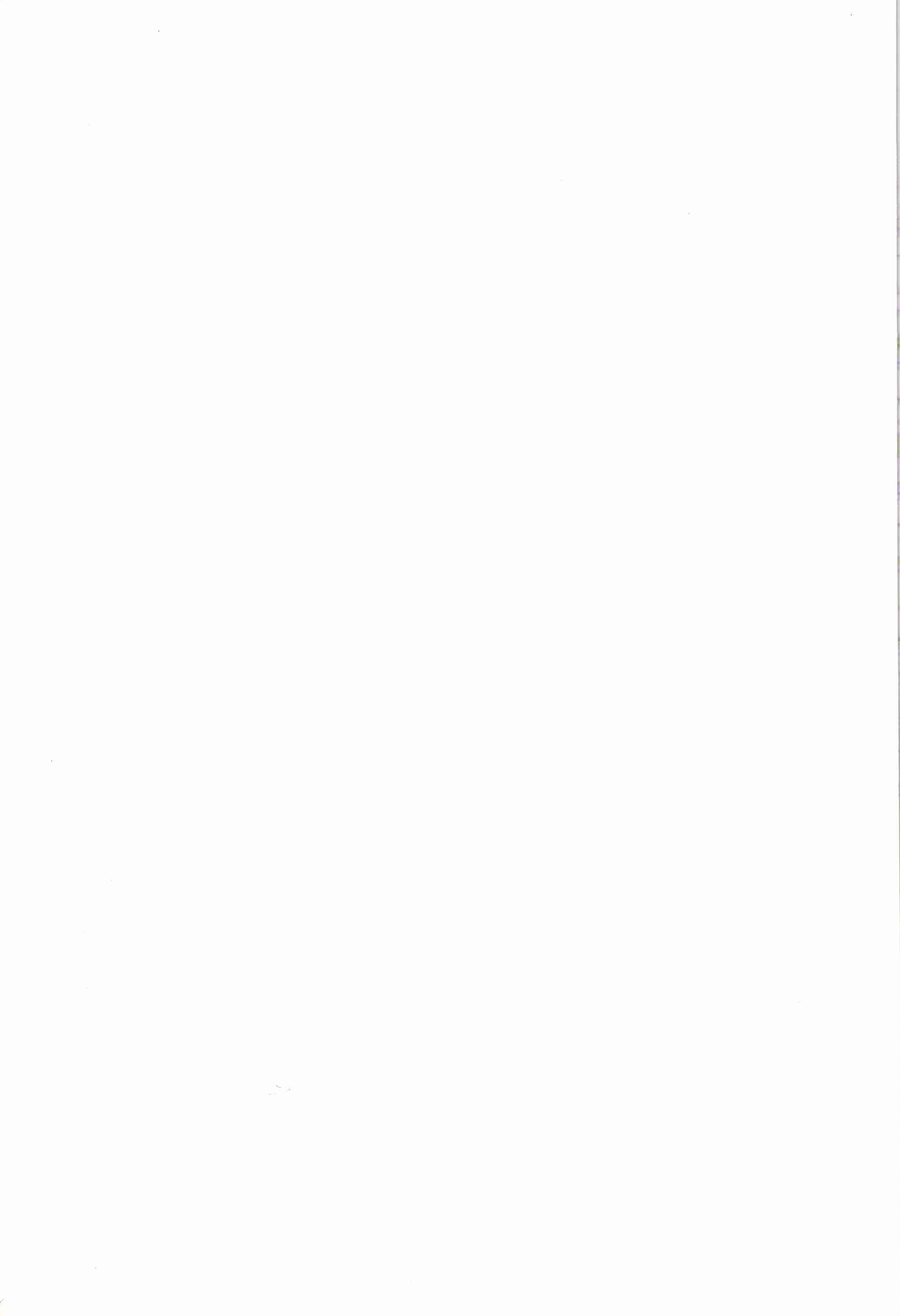


Sirius 21  
シリウス

英語 Vol.3

発展編





# 英語 Vol.3

## 解答・解説集

- |   |   |
|---|---|
| <b>1</b> 助動詞…………… 1~4<br>(本冊4~11)             | <b>16</b> 代名詞…………… 68~71<br>(本冊114~119)           |
| <b>2</b> 比較…………… 5~9<br>(本冊12~19)             | <b>17</b> 形容詞・副詞…………… 72~75<br>(本冊120~127)        |
| <b>3</b> 現在完了…………… 10~15<br>(本冊20~29)         | <b>18</b> 前置詞…………… 76~79<br>(本冊128~135)           |
| <b>4</b> 不定詞…………… 16~19<br>(本冊30~35)          | <b>19</b> 現在完了進行形・過去完了… 80~82<br>(本冊136~141)      |
| <b>5</b> 不定詞を含む構文…………… 20~23<br>(本冊36~43)     | <b>20</b> 知覚動詞・使役動詞…………… 83~85<br>(本冊142~147)     |
| <b>6</b> 動名詞…………… 24~27<br>(本冊44~51)          | <b>21</b> 関係代名詞(what)・関係副詞 … 86~88<br>(本冊148~153) |
| <b>7</b> 接続詞…………… 28~32<br>(本冊52~59)          | <b>22</b> 分詞構文…………… 89~92<br>(本冊154~159)          |
| <b>8</b> 文型…………… 33~36<br>(本冊60~65)           | <b>23</b> 語法の転換…………… 93~96<br>(本冊160~165)         |
| <b>9</b> 受動態…………… 37~43<br>(本冊66~75)          | <b>24</b> 仮定法…………… 97~99<br>(本冊166~171)           |
| <b>10</b> 分詞…………… 44~46<br>(本冊76~81)          | ◆ 入試対策…………… 100~157<br>(本冊172~261)                |
| <b>11</b> 関係代名詞(主格・目的格) … 47~52<br>(本冊82~89)  | ① 同義文完成 100~106                                   |
| <b>12</b> 関係代名詞(接触節・所有格) … 53~56<br>(本冊90~95) | ② 整序作文 107~112                                    |
| <b>13</b> 間接疑問文…………… 57~59<br>(本冊96~101)      | ③ 誤文判別・誤文訂正 113~116                               |
| <b>14</b> 付加疑問文・否定疑問文…… 60~63<br>(本冊102~107)  | ④ 部分英作文 117~118                                   |
| <b>15</b> 名詞・冠詞…………… 64~67<br>(本冊108~113)     | ⑤ 和文英訳 119~123                                    |
|   | ⑥ 語彙 124~128                                      |
|   | ⑦ 発音・アクセント 129~132                                |
|   | ⑧ 読解総合問題 133~157                                  |

# 1 助動詞

P4~10

## P4 例文の訳

### 基本的な助動詞の種類と意味

1

- a ① わたしは車を運転することができます。  
② 寒いのでわたしたちは泳ぐことができません。  
③ 宿題を終えたら泳ぎにいてもよろしい。
- b それは本当の**はず**がありません。

2

- a 電話をお借りしてもよろしいですか。  
b それは本当かも**し**れません。

3

- a ① あなたは**真実**を言わなければなりません。  
② あなたは**その**ような本を読んではいけません。  
b それは本当**に**ちが**い**ありません。

4

- a わたしたちはお年寄りに親**に**すべ**き**です。  
b 彼はきのう、わたしにその計画について話**して**くれたので、彼はその計画を覚**え**ている**はず**です。

5

- a ① あしたは雨**が**降る**で**しょう。  
② わたしは今夜、英語を勉強**する**つもりです。  
b ① わたしを手**伝**って**くれ**ませんか。— いい**です**よ。  
② 紅茶は**い**かが**で**すか。— いい**え**、結構**です**。

6

- ① (わたしが)あなたのかばんを**運**びま**し**ょうか。— はい、  
お願**い**します。  
② 放課後テニス**を**ま**し**ょうか。— はい、そう**し**ま**し**ょう。

### 助動詞の働きをする語句

- a 彼は**その**川を泳**い**で渡**る**ことが**でき**ました。  
b わたしは夕食前**に**宿題を終**え**なければ**な**りません。  
c わたしたちは**き**ょう、学校へ行**く**必要**は**あ**り**ません。  
d あなたは**疲**れている**よう**です。早く帰宅**して**休息**を**と**つ**た**ほう**が**い**い。

### その他の助動詞

- a ① わたしは**その**仕事**を**する**必要**が**あ**りますか。  
② あなたは**その**仕事**を**する**必要**は**あ**りません。  
b わたしは子供**の**とき、よく魚**つ**りに行**っ**た**も**のでした。  
c ① わたしはよく**その**川**に**泳**ぎ**に行**っ**た**も**のです。  
② わたしは以前**は**コーヒ**ー**が**好**き**で**した。  
d わたしたちは**お**互**い**に**助**け**合**う**べ**き**で**す。

### 助動詞を含む慣用表現

- a わたしたちは**い**くらあなた**に**感謝**し**ても**し**過ぎる**こ**とは**あ**りません。  
b わたしは泣**か**ず**に**は**い**られ**ま**せ**ん**で**し**た。  
c わたしはコーヒ**ー**が**飲**み**た**い。  
d あなたが彼**に**腹**を**立**て**る**の**は**も**つ**も**です。

## 練成問題

## P6 1 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) イ  | (2) ウ  | (3) イ  | (4) ウ  | (5) ウ  |
| (6) ア  | (7) ウ  | (8) イ  | (9) ウ  | (10) ウ |
| (11) エ | (12) オ | (13) ア | (14) ウ | (15) イ |
| (16) ウ | (17) ウ |        |        |        |

### 訳と解説

- (1) 「ビルはとても速く走ることが**でき**ます。」\*助動詞のうしろは動詞の原形。
- (2) 「この部屋を使**っ**ても**い**い**で**すか。— いい**え**、い**け**ませ**ん**。」《許可》
- (3) 「あなたの自転車を使**っ**ても**い**い**で**すか。— いい**え**、い**け**ませ**ん**。」《禁止》
- (4) 「お茶は**い**かが**で**すか。— まあ、ありがとうござ**い**ます。」《勧誘》
- (5) 「わたしたちを手**伝**って**くれ**ませんか。— いい**です**よ。」

《依頼》

- (6) 「車を洗いましょうか、お父さん。— はい、そうしてください。」\*相手の意向をたずねる表現。
- (7) 「今日の日曜日に、ピクニックに行きましようか。— はい、そうしましよう。」\* Shall we ~? 「~しましようか。」に対しては、Yes, let's. / No, let's not. などで答える。
- (8) 「あなたは長い散歩のあとで疲れているにちがいありません。」《当然の推定》
- (9) 「トムはもっと一生懸命勉強しなければならないでしましよう。」\*助動詞(will)のうしろに助動詞(must)を続けることはできないので、mustのかわりに have to を用いる。
- (10) 「わたしの父はきのう早く帰宅しなければならませんでした。」

- (11) 「わたしはこの部屋で待たなければいけませんか。— いいえ、その必要はありません。」
- (12) 「トムは毎週日曜日に、お兄さんの車を洗わなければいけないのですね。」\* have[has] to を用いた文の付加疑問は、do[does] を用いる。
- (13) 「あなたはわたしたちといっしょにいたほうがいい。」\* 《had better + 動詞の原形》
- (14) 「あなたは7時前に家を出るべきです。」\* 《ought to + 動詞の原形》
- (15) 「彼はよく川へ釣りに行ったものです。」《過去の習慣》
- (16) 「車を運転するときはいくら注意しても注意過ぎることはありません。」\* cannot ~ too … 「いくら…しても~過ぎることはない」
- (17) 「わたしは彼を笑わずにはいられませんでした。」\* cannot help ~ing 「~せずにはいられない」

2 解答

- |  |                 |                      |
|--|-----------------|----------------------|
| (1) Shall we                           | (2) Let's       | (3) Shall I, for     |
| (4) must not                           | (5) mustn't     | (6) Don't[Never] run |
| (7) Will[Can / Would / Could] you      |                 |                      |
| (8) Will[Can / Would / Could], the way |                 | (9) May[Can], have   |
| (10) show, to                          | (11) has        | (12) Do, have        |
| (13) don't need[have]                  | (14) need       | (15) are able to     |
| (16) not able                          | (17) better not | (18) thinking        |

訳と解説

- (1) a 「公園へ行きましよう。」  
 b 「公園へ行きましようか。」
- (2) a 「放課後、美術館へ行きましようか。」  
 b 「放課後、美術館へ行きましよう。」
- (3) a 「コーヒーはいかがですか。」\* How about …? 「…はいががですか。」  
 b 「わたしが あなたにコーヒーを入れましようか。」
- (4) a b 「この公園でサッカーをしてはいけません。」《禁止》
- (5) a b 「学校に遅れてはいけません。」\* must not の短縮形は mustn't. 発音注意[másnt]
- (6) a b 「教室で走ってはいけません。」
- (7) a 「わたしに塩を取ってください。」  
 b 「わたしに塩を取ってくれませんか。」《依頼》\*助動詞 would[could] は、will[can] の過去形のほかに、Would[Could] you ~? の形で《丁寧な依頼》を表す。
- (8) a 「平野駅にはどう行けばよいのですか。」  
 b 「平野駅へ行く道を教えてくれませんか。」《依頼》

- (9) a 「わたしにコーヒーを1杯くれませんか。」  
 b 「コーヒーを1杯いただいてもいいですか。」
- (10) a 「それを見てもよいですか。」  
 b 「わたしにそれを見せてくれませんか。」\* show … to ~ 「~に…を見せる」
- (11) a b 「彼はもっと一生懸命に勉強しなければいけません。」
- (12) a b 「わたしは車でそこへ行かなければいけませんか。」\* have[has] to の疑問文には、do[does] を用いる。
- (13) a b 「あなたはその本を返す必要はありません。」
- (14) a b 「あなたはそこへ行く必要はありません。」
- (15) a b 「わたしたちは太陽エネルギーを利用することができます。」
- (16) a b 「トムはきのう、学校へ行くことができませんでした。」\* be able to の否定文。
- (17) a 「わたしはあなたにその女性を信じないよう忠告します。」\* advise … not to ~ 「…に~しないよう忠告する」  
 b 「あなたはその女性を信じないほうがよい。」

\* had better not ~ 「～しないほうがよい」

せん。」

(18)㉔㉕ 「わたしは将来のことについて考えずにはいられま

### 発展問題

#### P8 1 解答

- |                            |                          |                      |
|----------------------------|--------------------------|----------------------|
| (1) will have to           | (2) don't have[need] to  | (3) did, have to     |
| (4) there will             | (5) would, to            | (6) must not         |
| (7) mustn't, may[might] be | (8) must be              | (9) cannot[can't] be |
| (10) used to[would often]  | (11) had better not call | (12) too             |
| (13) help getting          | (14) may[might]          | (15) may[might] well |
| (16) cannot[can't] help    |                          |                      |

#### 解説

- (4) 「参加者が多い」→「多くの参加者がいる」と考え、  
there is[are] ~の文を用いる。ここでは未来の文とな

ることに注意する。

- (10) in those days 「当時」  
(11) call at … 「[場所] を訪問する」

#### P9 2 解答

- (1) (Why) do you have to leave for (school so early?)  
 (2) (If you have a computer with the Internet,) you don't have to go to a library to find many different (things.)  
 (3) (We) will have to get up early tomorrow.  
 (4) She must be sick because she looks pale.  
 [Because she looks pale, she must be sick.]  
 (5) You had better go there as quickly as you can.  
 (6) You had better not take a walk late at night.  
 (7) No one will be able to answer that question.  
 (8) I would like to know how to make *sushi*.  
 (9) Excuse me, but may I have your name, please?  
 (10) You cannot be too careful in crossing a street.  
 (11) We would often do things like that (when we were young.)

#### 解説

- (1) 「…へ向けて出発する」 leave for …  
 (6) 「散歩する」 take a walk

- (8) 「～のしかた」 how to ~  
 (9) 「失礼ですが、…。」 Excuse me, but ….  
 (11) この like は「…のような」という意味の前置詞。

#### P10 3 解答

- |                    |                      |                             |
|--------------------|----------------------|-----------------------------|
| (1) Shall          | (2) He cannot[can't] | (3) You don't have[need] to |
| (4) had better not | (5) won't, able      | (6) cannot[can't] be        |
| (7) used           |                      |                             |

訳と解説

- (1)① 「あなたはわたしに窓を開けてもらいたいですか。」  
 ② 「(わたしが)窓を開けましょうか。」  
 (2)① 「彼にとってギターを弾くことは難しい。」  
 ② 「彼は容易にギターを弾くことができません。」  
 (3)①② 「あなたは英語を勉強する必要がありません。」  
 \* necessary 「必要な」  
 (4)①② 「あなたはそんなに速く車を運転しないほうがよい。」  
 (5)① 「あなたがその仕事を1日で終えるのは不可能でしょ

う。」 \* in a day 「1日で」

- ② 「あなたはその仕事を1日で終えることはできないでしょう。」  
 (6)① 「そのうわさが本当であることはありえません。」  
 ② 「そのうわさは本当であるはずがありません。」  
 (7)① 「彼は以前ここに住んでいました。彼はもうここには住んでいません。」  
 \* not ~ any more 「もう~ない」  
 ② 「彼は以前はここに住んでいました。」

4 解答

- (1) If you (try to) speak English every day, you will be able to speak it well in a few years. \* if 節が文の後半にきても可。  
 (2) I will not[won't] be able to go shopping with you tomorrow.  
 (3) You may be hungry, but you had better eat as slowly as possible[you can].  
 (4) Her mother must be an American.  
 (5) You should not[shouldn't] use a[your] cell phone in[on] a[the] train.  
 \* should not は ought not to も可。  
 (6) You need not go there if it rains tomorrow.  
 \* need not は don't have[need] to も可, it rains は it is rainy も可。if 節が文の前半にきても可。  
 (7) You cannot[can't] be too kind to others.  
 (8) You may[might] well be proud of your son.  
 (9) My father would[used to] tell me to try[do] my best. \* tell 以下を say to me, "Try [Do] your best." としても可。

解説

- (2) 「買い物に行く」 go shopping  
 (5) 「~すべきでない」は should not[shouldn't] ~で表す。  
 (6) 時を表す副詞節中では、未来の内容も現在形で表すこと

に注意する。

- (7) 「…に親切にする」 be kind to …  
 (8) 「…を誇りに思う」 be proud of …  
 (9) 「…に~するように言う」 tell … to ~

P12 例文の訳

比較の基本形

1

- a 彼はわたしの父と同じくらいの背の高さです。
- b 彼はわたしの父ほど背が高くありません。

2

- a ① わたしは父より背が高い。
  - ② この本はあの本よりおもしろい。
  - ③ 彼女は紅茶よりコーヒーのほうが好きです。
  - ④ わたしはマイクよりずっと速く走ることができます。
- b ① オーストラリアとカナダではどちらのほうが大きいですか。
  - ② あなたとあなたのお兄[弟]さんとはどちらのほうが速く泳ぐことができますか。

3

- ① 太郎はわたしのクラスで1番背が高い。
- ② マイクはその3人の男の子の中で1番速く走ることができます。

比較の重要構文

1

- a 富士山は日本の他のどの山よりも高い。
- b 英語ほどおもしろいものはありません。
- c 彼女はわたしより3歳年下です。
- d 健は2人のうちの背の高いほうです。
- e 世界はますます狭くなってきています。
- f 高く上れば上るほど、ますます寒くなります。

2

- a 京都は日本で最も古い都市の1つです。
- b 太陽と地球と月のうち、どれが1番大きいですか。

3

- a ① オーストラリアは日本の約20倍の大きさです。
  - ② 彼はわたしの3倍多くの本を持っています。
- b 彼はできるだけ速く走りました。
- c 時間ほど貴重なものはありません。  
あなたほどいい人はいません。

練成問題

P14 1 解答

- |        |        |          |       |        |
|--------|--------|----------|-------|--------|
| (1) ウ  | (2) イ  | (3) ウ    | (4) イ | (5) エ  |
| (6) イ  | (7) イ  | (8) ア    | (9) ウ | (10) イ |
| (11) ア | (12) イ | (13) ① ア | ② ア   | (14) ウ |
| (15) イ | (16) ウ |          |       |        |

訳と解説

- (1) 「ジョンは3人の中で1番背が高い少年です。」
- (2) 「健はメアリーより速く走ることができます。」
- (3) 「わたしはトムほど上手にフランス語を話せません。」  
\* 《not as[so] + 原級 + as ...》で「…ほど～ない」という意味。なお、この well は副詞。
- (4) 「その少年はあなたのお姉[妹]さんより上手にピアノを弾くことができます。」
- (5) 「彼はクラスの男子全員の中で1番上手にテニスをすることができます。」\* 副詞の最上級で the を省略した形。
- (6) 「彼のスピーチは彼女のと同じくらいよいものでした。」
- (7) 「あなたは夏と冬ではどちらのほうが好きですか。」

- \* 《Which do you like better, A or B?》「あなたはAとBとではどちらのほうが好きですか。」
- (8) 「月は太陽ほど大きくありません。」
- (9) 「富士山は日本で1番高い山です。」
- (10) 「ジョンとメアリーとではどちらのほうが速く泳げますか。」
- (11) 「これはあれよりずっとよい。」\* 比較級を強める場合は much などを用いる。
- (12) 「あなたはわたしの兄[弟]より多くの本を持っています。」  
\* 限定用法の形容詞を比較級で用いる場合は、《比較級 + 名詞 + than ...》の語順になる。
- (13) 「わたしたちはできるだけ一生懸命に勉強しなければい

けません。】 \* 《as ~ as - can》「できるだけ〜」

- (14) 「わたしの兄はわたしの2倍の年齢です。」 \* 《twice as + 原級 + as ~》「〜の2倍の-」
- (15) 「彼女はこの町で最も有名な女性の1人です。」  
\* 《one of the + 最上級 + 複数名詞》「最も…のうちの

1つ」

- (16) 「この花は庭にある他のどの花よりもきれいです。」  
\* 《比較級 + than any other + 単数名詞》「他のどの〜よりも…」

## 2 解答

- |               |                  |                     |
|---------------|------------------|---------------------|
| (1) tallest   | (2) better       | (3) (the) best      |
| (4) bigger    | (5) easiest      | (6) prettier        |
| (7) prettiest | (8) earliest     | (9) earlier         |
| (10) hottest  | (11) more useful | (12) farther        |
| (13) best     | (14) cities      | (15) hotter, hotter |
| (16) thinner  |                  |                     |

## 訳と解説

- (1) 「太郎は5人の中で1番背が高い。」
- (2) 「彼はわたしよりずっと上手にスキーができます。」  
\* well - better - best
- (3) 「女子全員の中でだれが1番上手にスキーができますか。」
- (4) 「この犬はあの犬より大きい。」 \* bigのように、語尾が《短母音 + 子音字》の語の比較級・最上級は、子音字を重ねて er, est をつける。
- (5) 「この質問はすべての中で1番簡単です。」 \* easy のように、語尾が《子音字 + y》の語の比較級・最上級は、y を i にかえて er, est をつける。
- (6) 「あなたは青い服より白い服を着たほうがかわいく見えます。」
- (7) 「メアリーはわたしのクラスで1番かわいい女の子です。」
- (8) 「けさ、わたしは家族の中で1番早く起きました。」

- (9) 「ジャックとベティとではどちらのほうが早く寝ますか。」 \* 二者を比較するので、比較級を用いる。
- (10) 「8月は1年で最も暑い月です。」
- (11) 「このコンピュータとあのコンピュータとではどちらのほうがより役に立ちますか。」 \* useful のような長いつづりの語の比較級・最上級は more, most を用いて作る。
- (12) 「あなたの家はわたしの家より駅から遠いところに立っています。」 \* far - farther - farthest
- (13) 「彼はわたしたちの学校で最も上手な野球選手の1人です。」
- (14) 「ニューヨークは世界で最も大きな都市の1つです。」
- (15) 「だんだん暑くなってきています。」 \* 《比較級 + and + 比較級》「だんだん〜、ますます〜」
- (16) 「山を高く登れば登るほど、空気はますます薄くなります。」 \* 《the + 比較級…, the + 比較級〜》「…すればするほど、ますます〜」

## 3 解答

- |                       |                         |                    |
|-----------------------|-------------------------|--------------------|
| (1) younger           | (2) more difficult      | (3) as[so] long as |
| (4) as / works harder | (5) cannot[can't], well | (6) any other      |
| (7) any other city    | (8) the cleverest       |                    |

## 訳

- (1) ① 「わたしは弘より年上です。」  
② 「弘はわたしより年下です。」
- (2) ① 「この質問はあれよりやさしい。」  
② 「あの質問はこれより難しい。」
- (3) ① 「3月は2月より長い。」  
② 「2月は3月ほど長くありません。」

- (4) ① 「ジョンはネッドほど一生懸命働きません。」  
② 「ネッドはジョンより一生懸命働きます。」
- (5) ① 「政夫はわたしより上手に泳ぐことができます。」  
② 「わたしは政夫ほど上手に泳ぐことができません。」
- (6) ① 「トムはクラスで1番背の高い少年です。」  
② 「トムはクラスの他のどの少年よりも背が高い。」
- (7) ① 「東京は日本で最も大きな都市です。」

- ⑥ 「東京は日本の他のどの都市よりも大きい。」  
 (8)④ 「彼はクラスの他のどの少年よりも賢い。」

- ⑦ 「彼はクラスで1番賢い少年です。」

発展問題

P16 1 解答

- |                                       |                                     |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| (1) Which, of                         | (2) live much[far] longer than      |
| (3) as, as possible                   | (4) taller, any other               |
| (5) Nothing, more important[precious] | (6) the most popular                |
| (7) other, higher than                | (8) much money as                   |
| (9) half, that                        | (10) higher, higher                 |
| (11) than last year, as this          | (12) better speaker of English than |
| (13) second longest                   | (14) earlier than usual             |
| (15) to                               |                                     |

解説

- (2) 「寿命がずっと長くなっている」→「ずっと長く生きる」と考える。  
 (5) 《Nothing … + 比較級 + than ~.》「～ほど～なものはない。」  
 (7) 最上級の内容を, 《No (other) + 単数名詞… + 比較級 + than ~.》「～ほど～なものはない。」を用いて表す。  
 (8) 限定用法の形容詞なので, 《as + 原級 + 名詞 + as》の語順となることに注意する。  
 (9) the area 「面積」という名詞のくり返しを避けるために,

代名詞 that を用いて 《that (= the area) of Japan》「日本のそれ」とすることに注意する。

- (11) 「こんな寒い冬ははじめてです。」→「このような寒い冬を一度も経験したことはありません。」と考える。  
 \* such ~ as … 「…のような～」  
 (12) a good speaker of English 「英語を上手に話す人」を比較級を用いて表す。  
 (13) 「…番目に～な」は 《the + 序数詞 + 最上級》で表す。  
 (14) 「いつもより」than usual  
 (15) prefer A to B 「BよりAを好む」

P17 2 解答

- |                        |                   |                    |
|------------------------|-------------------|--------------------|
| (1) Nothing            | (2) other, larger | (3) No other, well |
| (4) most beautiful of  | (5) well          | (6) the most       |
| (7) likes, better than | (8) three, older  | (9) half, as       |
| (10) the, runner       | (11) as, as, can  | (12) the most      |

訳と解説

- (1)① 「健康は1番大切なものです。」  
 ② 「健康ほど大切なものはありません。」  
 \* 《Nothing … + so[as] + 原級 + as ~.》「～ほど～なものはない。」  
 (2)① 「琵琶湖は日本で1番大きい湖です。」  
 ② 「琵琶湖ほど大きな湖は日本にありません。」  
 (3)① 「ベティはクラスで1番上手に歌を歌えます。」  
 ② 「ベティほど上手に歌を歌える女の子はクラスにいません。」  
 (4)① 「あの女性ほど美しい人はだれもいません。」  
 ② 「あの女性はみんなの中で1番美しい。」  
 (5)① 「次郎はクラスで英語を話すのが1番上手です。」

- ② 「次郎ほど上手に英語を話す人はクラスにだれもいません。」  
 (6)① 「これほど実行するのが難しいことはありません。」  
 ② 「これは実行するのが1番難しい。」  
 (7)① 「彼はりんごよりオレンジを好みます。」  
 ② 「彼はりんごよりオレンジのほうが好きです。」  
 (8)① 「わたしの父はあなたのお父さんより3歳年下です。」  
 ② 「あなたのお父さんはわたしの父より3歳年上です。」  
 \* 《単位を表す名詞 + 比較級 + than ~》「～より～だけ…」  
 (9)① 「彼はわたしの2倍の本を持っています。」  
 ② 「わたしは彼の半分の本を持っています。」  
 (10)①② 「彼はクラスで1番速く走ることができます。」

(11) ㉔ 「わたしたちは全力を尽くさなければいけません。」

\* do one's best 「全力を尽くす」

㉕ 「わたしたちはできるだけ多くのことをしなければいけません。」 \* 《as ~ as possible[as ~ as -

can]》「できるだけ〜」

(12) ㉔ 「わたしは今までにこんな美しい人形は見たことがありません。」

㉕ 「これはわたしが今までに見た最も美しい人形です。」

### 3 解答

- (1) Dick does not[doesn't] work as[so] hard as you (do).
- (2) My brother can play tennis better than you.
- (3) Bob is the tallest boy in our class.
- (4) Taro is cleverer than any other boy in the class.
- (5) He is taller than any other boy in his class.

### 訳

- (1) 「あなたはディックより一生懸命働きます。」  
→ 「ディックはあなたほど一生懸命働きません。」
- (2) 「あなたはわたしの兄[弟]ほど上手にテニスをする事ができません。」  
→ 「わたしの兄[弟]はあなたより上手にテニスをする事ができます。」
- (3) 「ボブほど背の高い少年はわたしたちのクラスにいま

ん。」

→ 「ボブはわたしたちのクラスで1番背の高い少年です。」

- (4) 「太郎ほど賢い少年はクラスにいません。」 → 「太郎はクラスの他のどの少年よりも賢い。」
- (5) 「彼はクラスのすべての男の子の中で1番背が高い。」  
→ 「彼はクラスの他のどの男の子よりも背が高い。」

### 4 解答

- (1) I like oranges better than any other fruit.
- (2) No other student in his class was so tall as Mike.
- (3) I worked as hard as I could.
- (4) Nothing is so pleasant as traveling by sea.
- (5) He has three times as many books as she has.
- (6) (The) new gym will be twice as large as the old one.
- (7) This problem may be more difficult than you imagined.
- (8) There is nothing more important than to be honest.

P18

### 解説

- (1) 「他のどのくだものよりもオレンジが好きです。」という英文を完成させる。
- (2) 「マイクほど背の高い生徒はクラスにいませんでした。」という英文を完成させる。
- (3) 「できるだけ〜」は《as ~ as - can》で表す。時制の

一致を受けて can を過去形にする。

- (5) 「彼は彼女の3倍多くの本を持っています。」という英文を完成させる。
- (7) 「君が想像していたより」の部分は than のうしろに《主語 + 動詞》を続ける。

### 5 解答

- (1) This rose is the most beautiful[prettiest] of all the flowers in the garden.
- (2) My brother is five years older than you.  
[My brother is older than you by five years.]
- (3) Our teacher says (that) German is easier to learn than French.

(4) He is not as[so] old as he looks. [He looks old for his age.]

解説

(4) 《not as[so] + 原級 + as …》「…ほど～ない」を用いる。「見かけほど」の部分は as のうしろに《主語 + 動詞》

を続け、as he looks で表す。この look は「[…のように] 見える」の意味。

P20 例文の訳

現在完了の基本的用法

1

- ① わたしはちょうど宿題を終えたところです。
- ② わたしはすでに朝食を食べました。
- ③ あなたはもうその本を読み終えましたか。— はい。／いいえ、まだです。
- ④ わたしはまだその本を読み終えていません。

2

- ① 春が来ました。
- ② わたしの兄[弟]は学校に行ってしまいました。

3

- ① わたしはこの前の日曜日から北海道にいます。
- ② 彼らは30年間、神戸に住んでいます。

- ③ あなたはどのくらい日本にいますか。— 5か月間です。
- ④ わたしの祖父が亡くなってから3年になります。

4

- ① わたしは以前にどこかで彼女に会ったことがあります。
- ② あなたは今までに、富士山に登ったことがありますか。
- ③ わたしはこんなに美しい絵を1度も見たことがありません。
- ④ あなたは何回飛行機で旅行したことがありますか。— 1回だけです。
- ⑤ わたしは3回、アメリカへ行ったことがあります。

現在完了の注意すべき用法

1

- ① わたしは2回、京都へ行ったことがあります。
- ② あなたはどこへ行ってきたのですか。— わたしは父を見送るために駅へ行ってきたところです。

練成問題

1 解答

- |        |        |        |       |        |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| (1) ウ  | (2) エ  | (3) ア  | (4) イ | (5) エ  |
| (6) ア  | (7) イ  | (8) エ  | (9) ウ | (10) イ |
| (11) ア | (12) エ | (13) ウ |       |        |

訳と解説

- (1) 「わたしの姉[妹]は2週間病気です。」《継続》
- (2) 「わたしは1度もライオンを見たことはありません。」《経験》
- (3) 「わたしたちはもう夕食を食べてしまいました。」《完了》
- (4) 「わたしはカメラをなくしてしまいました。」《結果》
- (5) 「わたしは以前どこかで彼女に会ったことがあると思います。」《経験》
- (6) 「わたしはまだ宿題を終えていません。」《完了》
- (7) 「東京は大都市になりました。」《結果》
- (8) 「山田さんはたくさんの方に住んだことがあります。」《経験》
- (9) 「あなたは田中さんと知り合っただのくらいですか。」《継続》
- (10) 「わたしの兄[弟]は北海道に行ってしまいました。」《結果》
- (11) 「あなたはどこへ行ってきたのですか。— 図書館へ行ってきました。」《完了》
- (12) 「わたしの父は何回もアメリカへ行ったことがあります。」《経験》 \* many times 「何回も」
- (13) 「健二と政夫は先週から博多にいます。」《継続》

2 解答

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| (1) ウ | (2) イ | (3) ウ | (4) ウ | (5) ウ |
| (6) イ | (7) イ | (8) イ | (9) ウ |       |

訳と解説

- (1) 「彼女はちょうど手紙を書いたところです。」《完了》
- (2) 「わたしはそんなにおもしろい話を1度も聞いたことがありません。」《経験》
- (3) 「わたしたちは月曜日から彼に会っていません。」《継続》
- (4) 「あなたは今までにヨーロッパへ行ったことがありますか。」《経験》

か。《経験》

- (5) 「彼はもう仕事をやりました。」《完了》
- (6) 「あなたはもう仕事を終わりましたか。— はい。」《完了》
- (7) 「あなたはどのくらい英語を勉強していますか。— 3年

間です。」《継続》

- (8) 「あなたは何回沖縄に行ったことがありますか。」《経験》
- (9) 「だれが居間の花瓶を割ってしまったのですか。」《結果》

P23 3 解答

- |               |               |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| (1) <b>エ</b>  | (2) <b>イ</b>  | (3) <b>エ</b>  | (4) <b>ア</b>  | (5) <b>ア</b>  |
| (6) <b>ウ</b>  | (7) <b>エ</b>  | (8) <b>イ</b>  | (9) <b>イ</b>  | (10) <b>イ</b> |
| (11) <b>イ</b> | (12) <b>ウ</b> | (13) <b>ウ</b> | (14) <b>エ</b> | (15) <b>ア</b> |
| (16) <b>イ</b> | (17) <b>イ</b> | (18) <b>エ</b> |               |               |

訳と解説

- (1) 「わたしは彼女と知り合って5年になります(← 彼女を5年間知っています)。」
- (2) 「わたしのおじは1999年から大阪に住んでいます。」
- (3) 「彼は10日間、病気で寝ています。」
- (4) 「わたしは去年の11月以来、彼から便りをもらっていません。」
- (5) 「わたしたちは2週間、京都に滞在しています。」
- (6) 「わたしは彼が幼い子供だった頃から彼を知っています。」
- (7) 「あなたは今までにイングランドを訪れたことがありますか。」 \* visit は他動詞なので、直接うしろに目的語をとることができる。
- (8) 「彼は今までに1度も外国へ行ったことがありません。」 \* abroad は副詞なので、to abroad としない。
- (9) 「わたしはこの前の金曜日、山田さんに会いました。」

\* 過去を表す副詞(句)(ここでは last Friday)があるので、過去の文になる。

- (10) 「彼は2年前、英語を教えていました。」
- (11) 「わたしはきのう、映画を見に行きました。」
- (12) 「マイクは仕事をやりましたか。— はい、彼は約30分前に終わりました。」
- (13) 「彼らはきのうから野球をやりたがっています。」 \* 過去を表す副詞(句)(ここでは yesterday)は、since をともなえば、現在完了の文で用いることができる。
- (14) 「彼は約10年間、その会社で働いています。」
- (15) 「わたしは1回、ハワイへ行ったことがあります。」
- (16) 「マイクはちょうど今、戻って来ました。」《過去形》
- (17) 「彼はいつここに着きましたか。」《過去形》
- (18) 「わたしが帰宅したとき、母は料理をしていました。」《過去進行形》

P24 4 解答

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| (1) visited | (2) lived    | (3) been    |
| (4) eaten   | (5) seen     | (6) heard   |
| (7) written | (8) done     | (9) met     |
| (10) known  | (11) left    | (12) swum   |
| (13) slept  | (14) brought | (15) stolen |

訳と解説

- (1) 「あなたは今までに京都を訪れたことがありますか。」
- (2) 「わたしは10年間、ここに住んでいます。」
- (3) 「彼はどのくらい病気で寝ていますか。」
- (4) 「あなたは今までにこの種類の魚を食べたことがありますか。」 \* kind 「種類」
- (5) 「わたしはもうその映画を見ました。」
- (6) 「あなたは今までに酸性雨について聞いたことがありますか。」
- (7) 「あなたはもう名前を書きましたか。」
- (8) 「わたしはちょうど宿題をやったところです。」

- (9) 「わたしは以前にあなたのお母さんに会ったことがあります。」
- (10) 「あなたたちはお互いに知り合ってどのくらいですか。」 \* each other 「お互い」
- (11) 「わたしの母はちょうど家を出たところです。」
- (12) 「あなたは今までに冬に泳いだことがありますか。」
- (13) 「その赤ちゃんはよく眠りましたか。」
- (14) 「ウェイターは1杯の水を持ってきましたか。」 \* a glass of … 「1杯の…」
- (15) 「わたしのかばんが見つかりません。だれかが盗んでしまったのです。」 \* steal - stole - stolen

5 解答

- |                   |                     |                      |
|-------------------|---------------------|----------------------|
| (1) has gone      | (2) have gone       | (3) has lost         |
| (4) have lost     | (5) has been, for   | (6) has been, since  |
| (7) has been cold | (8) have lived, for | (9) has been in, for |

訳と解説

- (1) a 「加藤さんはアメリカへ行きました。彼は今、ここにいません。」  
 b 「加藤さんはアメリカへ行ってしまいました。」
- (2) a 「わたしの両親は外出しました。彼らは今、家にいません。」 \* go out 「外出する」  
 b 「わたしの両親は外出してしまいました。」
- (3) a 「彼は辞書をなくしました。彼は今、辞書を持っていません。」  
 b 「彼は辞書をなくしてしまいました。」
- (4) a 「わたしは腕時計をなくし、今、持っていません。」  
 b 「わたしは腕時計をなくしてしまいました。」
- (5) a 「ボブは2週間前に病気になりました。彼は今もまだ

病気です。」

- b 「ボブは2週間、病気です。」
- (6) a 「ジェーンは病気です。彼女は先月、病気になりました。」  
 b 「ジェーンは先月から病気です。」
- (7) a 「きのうは寒かった、そして今もまだ寒い。」  
 b 「きのうからずっと寒い。」
- (8) a 「わたしは7年前に東京に来て、まだ東京に住んでいます。」  
 b 「わたしは7年間、東京に住んでいます。」
- (9) a 「わたしの姉[妹]は3か月前、ハワイに行きました。彼女はまだそこにいます。」  
 b 「わたしの姉[妹]は3か月間、ハワイにいます。」

6 解答

- |        |        |        |       |        |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| (1) ×  | (2) ×  | (3) ×  | (4) ○ | (5) ×  |
| (6) ○  | (7) ×  | (8) ×  | (9) × | (10) ○ |
| (11) × | (12) × | (13) × |       |        |

訳と解説

- (1) 正しくは、My father has just come back from work. 「わたしの父はちょうど仕事から帰って来たところです。」
- (2) 正しくは、I have never seen a koala. 「わたしは1度もコアラを見たことはありません。」
- (3) 正しくは、I have been busy since last week. 「わたしは先週から忙しい。」、または I was busy last week. 「わたしは先週忙しかった。」
- (4) 「わたしはこの本を2回、読んだことがあります。」
- (5) 正しくは、We haven't had dinner yet. 「わたしたちはまだ夕食を食べていません。」
- (6) 「きのうから良い天気です。」
- (7) 正しくは、Mary visited her uncle last Sunday. 「メアリーはこの前の日曜日、おじさんを訪ねました。」

- (8) 正しくは、I haven't seen him for a long time. 「わたしは長い間、彼に会っていません。」
- (9) 正しくは、Have you ever been abroad? 「今までに外国へ行ったことがありますか。」
- (10) 「わたしの姉[妹]はちょうど今、学校へ向けて出発しました。」
- (11) 正しくは、When did you finish your homework? 「あなたはいつ宿題を終えましたか。」
- (12) 正しくは、My grandfather has been dead for five years. 「わたしの祖父が亡くなって5年になります。」
- (13) 正しくは、This is the most interesting movie I have ever seen. 「これはわたしが今までに見た1番おもしろい映画です。」

7 解答

- (1) (Have) you ever written a letter in (English?)
- (2) We have known each other for ten years.
- (3) I have never seen such a beautiful sunset.
- (4) (I) haven't seen you for a long time.
- (5) My father has been to Europe three times.

- (6) How long have you stayed in this hotel?  
 (7) How many times has your father visited (New York?)

解説

- (2) 「わたしたちはお互いに10年間知っています。」という英文を完成させる。

- (4) 「わたしは長い間、あなたに会っていません。」という英文を完成させる。

発展問題

P26

1 解答

- |                            |                                |
|----------------------------|--------------------------------|
| (1) Have, ever written     | (2) has been, twice            |
| (3) How long, been[stayed] | (4) have just finished reading |
| (5) have passed            | (6) has been[stayed] in        |
| (7) has been to            | (8) How often have             |

解説

- (3) 「あなたは日本にどのくらいいますか。」という英文を完成させる。

- (6) 「わたしの兄は去年の夏からアメリカにいます。」という英文を完成させる。

2 解答

- (1) Akio has not[hasn't] done his work yet.  
 (2) I have been in Tokyo for three years.  
 (3) He has been in Kyoto since last October.  
 (4) My father has gone to Europe.  
 (5) I have lost my umbrella.  
 (6) She has been absent from school since yesterday.  
 (7) How long has Jack been in Japan?  
 (8) How many times[How often] has he been to the country?

訳と解説

- (1) 「明夫はまだ仕事を終わっていません。」  
 (2) 「わたしは3年前、東京にきました。わたしはまだ東京にいます。」→「わたしは3年間、東京にいます。」  
 (3) 「彼は去年の10月に京都にきました。彼はまだ京都にいます。」→「彼は去年の10月から京都にいます。」  
 (4) 「わたしの父はヨーロッパへ行きました。彼はここにいません。」→「わたしの父はヨーロッパへ行ってしま

ました。」

- (5) 「わたしはかさをなくしたので、今、持っていません。」  
 →「わたしはかさをなくしてしまいました。」  
 (6) 「彼女はきのうから学校を休んでいます。」\* be absent from …「…を欠席する」  
 (7) 「ジャックはどのくらい日本にいますか。」  
 (8) 「彼は何回、その国へ行ったことがありますか。」

P27

3 解答

- |                    |                           |                    |
|--------------------|---------------------------|--------------------|
| (1) since / dead   | (2) has been dead         | (3) since          |
| (4) haven't seen   | (5) heard from            | (6) hasn't written |
| (7) It, rained     | (8) abroad[overseas] / to | (9) passed         |
| (10) haven't seen  | (11) been                 | (12) have been to  |
| (13) has been, for | (14) has been my          | (15) have never    |
| (16) never, as     | (17) ever seen            |                    |

訳と解説

- (1)③④ 「わたしの父が亡くなってから10年経ちます。」  
 (2)① 「わたしの祖父は5年前に亡くなりました。」  
 ② 「わたしの祖父が亡くなってから5年経ちます。」  
 (3)① 「わたしは長年、彼から便りをもらっていません。」  
 ② 「彼から最後に便りをもらってから長年経っています。」  
 (4)① 「わたしたちが最後に彼に会ってから10年経っています。」  
 ② 「わたしたちは10年間、彼に会っていません。」  
 (5)③④ 「あなたは最近、彼から手紙をもらいましたか。」  
 (6)① 「わたしたちは長い間、彼女から手紙をもらっていません。」  
 ② 「彼女は長い間、わたしたちに手紙を書いていません。」 \* write to … 「…に手紙を書く」  
 (7)③④ 「1か月間、雨が降っていません。」 \* 「雨が降る」を、主語 It と動詞 rain を用いて言いかえる。  
 (8)① 「あなたは今までに外国を旅したことがありますか。」  
 ② 「あなたは今までに外国へ行ったことがありますか。」  
 (9)① 「あなたは引っ越してから何か月東京にいますか。」  
 ② 「あなたが東京に引っ越してから何か月経ちますか。」  
 (10)① 「最後にあなたに会ってから長い間経ちます。」  
 ② 「わたしは長い間、あなたに会っていません。」

- (11)① 「わたしは図書館へ行き、ちょうど帰ってきたところです。」  
 ② 「わたしはちょうど図書館へ行ってきたところです。」  
 (12)① 「ビルとメアリーは病院へ行き、ちょうど帰ってきたところです。」  
 ② 「ビルとメアリーは病院へ行ってきたところです。」  
 (13)① 「オースティン先生はわたしたちの学校で英語を教えています。彼は2年前にここにきました。」  
 ② 「オースティン先生は2年間、わたしたちの学校で英語の先生をしています。」  
 (14)① 「太郎とわたしは6年前に友達になりました。」  
 ② 「太郎はわたしの友達になって6年になります。」  
 (15)① 「これがわたしの初めてのオーストラリア訪問です。」  
 ② 「わたしは以前、オーストラリアを訪れたことが1度もありません。」  
 (16)① 「これはわたしが今まで読んだ1番おもしろい本です。」  
 ② 「わたしはこれまでに1度もこんなにおもしろい本を読んだことがありません。」  
 (17)① 「わたしは今までに1度もこんなに美しい花を見たことがありません。」  
 ② 「これらはわたしが今までに見た1番美しい花です。」

4 解答

- (1) I have never heard such a beautiful melody as this.  
 (2) We have had fine weather for a week.  
 (3) (She) has taken good care of my son (for three years.)  
 (4) How many times have you ever been to the United (States?)  
 (5) How often have you been late for school (this week?)  
 (6) We have been friends since we were children.  
 (7) He has been ill in bed since last Saturday.  
 (8) I have been to the airport to meet my friend.  
 (9) It is three years since we moved here.  
 (10) My aunt has been dead for five (years.)  
 (11) How long have you wanted to be a doctor?  
 (12) I have never heard of him since he graduated from high school.

解説

- (3) 「…の面倒を(よく)見る」 take (good) care of …  
 (5) 「…に遅刻する」 be late for …  
 (6) 「子供のころから」の部分で《since + 主語 + 動詞》で

表す。

- (11) 「どのくらいの間、医者になりたいと思っていますか。」という英文を完成させる。  
 (12) 「…のうわさを聞く」 hear of …

- (1) Have you ever spoken[talked] in English?
- (2) How long have you lived in Tokyo?
- (3) I have been in Japan for three years. [Three years have passed since I came to Japan.] [It is[has been] three years since I came to Japan.] But I have never visited Kyoto.
- (4) I have been to Kyoto three times.
- (5) How long have you and he been friends? [How long have you been friends with him?]
- (6) I have never been abroad[to a foreign country / to foreign countries / overseas].
- (7) My brother has just left home for school.
- (8) How long have you known Mr.White?
- (9) How long have you and he known each other?  
[How long have you known him?]
- (10) How many times[How often] have you climbed mountains[a mountain]?
- (11) I hear (that) he has been ill[sick] in bed for a week.
- (12) I have been to Kyoto Station to see my uncle off.
- (13) Where have you been? — I have been to the[a] hospital.
- (14) I have been busy since I became a high school student.
- (15) I have never read such an interesting story (as this).
- (16) My father has been dead for five years.
- (17) Three years have passed[gone by] since my grandfather died.
- (18) This is the biggest[largest] (air)plane (that) I have ever seen.

解説

(7) 「Bへ向けてAを出発する」 leave A for B

## P30 例文の訳

## 名詞的用法

## 1

- ① テニスをすることはとても楽しい。  
② 英語を勉強するのはわたしたちにとってとても大切です。

## 2

- ① わたしは車を買いたい。  
② わたしはアメリカへ行きたい。

## 3

- ① 最も良い方法は逃げることです。  
② 彼女の夢は歌手になることです。

## 形容詞的用法

- ① きょう、わたしにはすべき宿題がたくさんあります。  
② わたしは何か食べるものが欲しい。  
③ 何か冷たい飲み物をいただけませんか。  
④ 彼にはいっしょに遊ぶ友達がいません。

## P31 副詞的用法

## 1

- ① わたしはおじに会うためにロンドンへ行きました。

- ② 風邪をひかないように気をつけなさい。  
③ あなたはなぜアメリカへ行ったのですか。— 英語を勉強するためです。

## 2

- ① わたしはあなたに会えて幸せでした。  
② 彼らはそのニュースを聞いて驚きました。

## 3

- ① そう言うとは、彼は愚かにちがいません。  
② そんなことをしてくれるなんて、彼女は親切な女の子にちがいません。

## 4

- ① 彼は成長して偉大な人になりました。  
② 彼は80歳まで生きました。

## 5

- ① この本は読みやすい。  
② この川は泳ぐには危険です。

## 練成問題

## 1 解答

- (1) ウ (2) イ (3) ア (4) ア (5) ウ  
(6) イ (7) イ (8) ウ

## 訳と解説

- (1) 「わたしは彼に会いたかった。」《名詞的用法》  
ア 「わたしは何か食べるものが欲しい。」《形容詞的用法》  
イ 「マイクは音楽を勉強するためにパリに行きました。」  
《副詞的用法・目的》  
ウ 「午後、雨が降り始めました。」《名詞的用法》  
(2) 「外国語を学ぶことは大切です。」《名詞的用法》  
ア 「東京には見るべき場所がたくさんあります。」《形容詞的用法》  
イ 「わたしはドアを開けようとしたのですが、開けられませんでした。」《名詞的用法》  
ウ 「わたしはあなたに会いにここに来ました。」《副詞的

## 用法・目的》

- (3) 「彼の人生の望みはお金持ちになることです。」《名詞的用法》  
ア 「彼はテニスをすることが好きです。」《名詞的用法》  
イ 「わたしはカメラを買いにそこへ行きました。」《副詞的用法・目的》  
ウ 「わたしはあなたをお客として招くことができてうれしい。」《副詞的用法・原因》  
エ 「きょう、彼にはやるべきことがたくさんあります。」  
《形容詞的用法》  
(4) 「この前の日曜日にわたしはフットボールの試合を見る機会がありました。」《形容詞的用法》

- ア 「わたしに何か飲み物をください。」《形容詞的用法》  
 イ 「早起きすることはわたしにとって難しい。」《名詞的用法》  
 ウ 「彼は英語を学ぶためにアメリカへ行きました。」《副詞的用法・目的》  
 エ 「彼は10歳のときに医者になろうと決心しました。」《名詞的用法》\* at the age of … 「…歳のときに」  
 (5) 「何か書くものを貸してもらえませんか。」《形容詞的用法》  
 ア 「わたしはそのニュースを聞いてとても残念に思いました。」《副詞的用法・原因》  
 イ 「英語を学ぶことはおもしろい。」《名詞的用法》  
 ウ 「彼には助けてくれる友達が1人もいません。」《形容詞的用法》  
 (6) 「わたしはおじを迎えに駅へ行きました。」《副詞的用法・目的》  
 ア 「わたしは読むべきおもしろい本を持っています。」《形容詞的用法》  
 イ 「わたしは入学試験に受かるために一生懸命勉強しま

- した。」《副詞的用法・目的》  
 ウ 「彼女は病院で働きたいと思っています。」《名詞的用法》  
 (7) 「彼はそのニュースを聞いてうれしく思いました。」《副詞的用法・原因》  
 ア 「彼はヨーロッパへ行く計画を立てました。」《名詞的用法》  
 イ 「わたしたちは試合に勝ってとても幸せでした。」《副詞的用法・原因》  
 ウ 「わたしにはやるべき仕事がたくさんあります。」《形容詞的用法》  
 (8) 「わたしの祖父は70歳まで生きました。」《副詞的用法・結果》  
 ア 「彼女は先生になりたいと思っていました。」《名詞的用法》  
 イ 「わたしは何か飲み物が欲しい。」《形容詞的用法》  
 ウ 「彼女は成長して美しい女性になりました。」《副詞的用法・結果》

P33

2 解答

- (1) ア (2) ア (3) イ (4) イ

訳と解説

- (1) 「わたしはあなたにお話しすることがあります。」《形容詞的用法》  
 (2) 「わたしはとても疲れてのどが渇いているので、冷たい飲み物が欲しい。」《形容詞的用法》

- (3) 「わたしは始発列車に乗るために早起きします。」《副詞的用法・目的》  
 (4) 「あら、あなたはとても悲しそうに見えます。— ええ、わたしの大好きな歌手が今年、日本に来ないと聞いて、とても残念なのです。」《副詞的用法・原因》

3 解答

- (1) to do (2) to read (3) to do  
 (4) no, to do (5) to get

訳と解説

- (1) ㉑ 「彼らはすぐにそれをやることにしました。」  
 \* at once 「すぐに」  
 (2) ㉑ 「わたしはおもしろい本を読みたい。」  
 ㉒ 「わたしは読むべきおもしろい本が欲しいです。」  
 (3) ㉑ 「今度の日曜日、わたしの父はたくさんの仕事をしなければなりません。」

- ㉑ 「今度の日曜日、わたしの父にはやるべき仕事がたくさんあります。」  
 (4) ㉑ 「きのう、わたしにはやるべき宿題がありませんでした。」  
 (5) ㉑ 「わたしは彼女から手紙をもらったとき、とても幸せでした。」  
 ㉒ 「わたしは彼女から手紙をもらい、とても幸せでした。」

4 解答

- (1) To read, is (2) things to do (3) something to eat  
 (4) to see[meet] him (5) to be (6) to be

解説

(1) 不定詞が主語(ここでは To read books)になる場合は単

数扱いになることに注意する。

発展問題

1 解答

- |                    |                  |                   |
|--------------------|------------------|-------------------|
| (1) to eat         | (2) nothing to   | (3) time          |
| (4) to             | (5) hear         | (6) has, to visit |
| (7) forget         | (8) to swim in   | (9) want          |
| (10) like to, much | (11) until[till] |                   |

P34

訳と解説

- (1) ① 「その部屋には何も食べ物がありませんでした。」  
 ② 「その部屋には何も食べるものがありませんでした。」
- (2) ① 「きょう、わたしはひまです。」  
 ② 「きょう、わたしは何もすることがありません。」
- (3) ① 「毎朝、わたしは遅く起きるので、朝食を食べることができません。」  
 ② 「毎朝、わたしは遅く起きるので、朝食を食べる時間がありません。」
- (4) ① ② 「彼は成長して偉大な科学者になりました。」
- (5) ① 「そのニュースは彼女を幸せにしました。」  
 ② 「彼女はそのニュースを聞いて、幸せでした。」
- (6) ① ② 「京都には訪れるべき美しい場所がたくさんあります。」

- (7) ① ② 「忘れずにご両親によりしくお伝えください。」  
 \* remember to ~ 「忘れずに~する」
- (8) ① 「この川で泳ぐのは危険です。」  
 ② 「この川は泳ぐには危険です。」
- (9) ① 「学校で成績がよくなるためには一生懸命勉強しなければいけません。」  
 \* do well in school 「学校で成績がよい」  
 ② 「もし学校で成績がよくなりたいのならば、あなたは一生懸命勉強しなければいけません。」
- (10) ① ② 「わたしは本を読むことがとても好きです。」  
 \* be fond of ... 「…が好きだ」
- (11) ① ② 「わたしの祖父は 80 歳まで生きました。」

2 解答

- |                    |                   |                |
|--------------------|-------------------|----------------|
| (1) so, little, to | (2) to write with | (3) live to be |
| (4) not to         | (5) easy to use   |                |

解説

(1) 数えられない名詞(ここでは time)について「ほとんど…ない」は、little を用いて表す。

(2) 「〔ペンなど〕で書く」は、write with …なので、with が必要。

(4) 不定詞の否定形を用いる。

3 解答

- (1) He went to Tokyo Station to see her off.
- (2) (Please give) me something hot to drink.
- (3) (Tom) had few friends to play with.
- (4) (Be) careful not to burn the toast.
- (5) To do this homework will be easy for you.
- (6) (I) felt sad to hear the news of (his death.)
- (7) This chair is comfortable to sit on[in].

P35

解説

(6) 「彼が亡くなったという知らせ」→「彼の死の知らせ」

(7) 「いすに座る」は sit on[in] a chair なので, on[in] が必要。

4 解答

- (1) She decided to go to Austria to learn[study] music.
- (2) There is nothing interesting to see here.  
[There isn't anything interesting to see here.]
- (3) The poor family has no house to live in.  
[The poor family doesn't have a house to live in.]
- (4) The boys grew up to be fine young men.
- (5) My dream is to work as a volunteer to help poor people.  
\* poor people は the poor も可。
- (6) To live abroad is the best way to learn a foreign language.  
\* a foreign language は foreign languages も可。

解説

(3) 「家に住む」は live in a house なので, in が必要。

(6) abroad は「外国に[で]」という意味の副詞なので, 前置詞は不要。

## P36 例文の訳

## 不定詞を含む構文①

## 1

- a 外国語を学ぶことは大切です。  
 b わたしにとってコンピュータを使うことは簡単です。  
 c わたしを手伝ってくれるなんて、あなたは親切です。

## 2

- ① わたしは彼に窓を開けてくれるように頼みました。  
 ② わたしの父はわたしにそこへ行かないように言いました。  
 ③ a わたしはあなたにもっと本を読んでもらいたい。  
 b わたしはあなたにもっと本を読んでいただきたい。

## 3

- ① わたしは何をすべきかわかりませんでした。  
 ② いつ出発するべきか教えてください。  
 ③ あなたはこのコンピュータの使い方がわかりますか。

- ④ どの本を読むべきかわたしはわかりません。

## 不定詞を含む構文②

## 1

- ① 彼はとても疲れていたの、もうこれ以上歩けませんでした。  
 ② この本はとても難しいので、わたしには読めません。

## 2

- ① 彼は親切にも、わたしに道を教えてくれました。  
 ② その問題はわたしが答えられるほど簡単でした。  
 ③ わたしは新しい車を買えるほどのお金を持っていません。

## 不定詞を含む表現

- a わたしは始発のバスに乗るために早起きました。  
 b 彼はきっと試験に受かります。  
 c わたしたちはたまたま駅でトムに会いました。  
 d 彼女はやさしい少女らしい。

## 練成問題

## 1 解答

- (1) イ (2) イ (3) ウ (4) イ (5) ウ  
 (6) エ (7) イ (8) エ

## 訳と解説

- (1) 「1週間でその仕事を終わらせるのはあなたにはとても難しい。」  
 (2) 「わたしを助けてくれるとは、あなたはとても親切です。」  
 (3) 「わたしはあなたにお年寄りの手伝いをしてもらいたい。」  
 (4) 「先生は男の子たちに教室では大声を出さないように言

いました。」\*不定詞の否定形。

- (5) 「彼は親切にもわたしにこのコンピュータの使い方を教えてくれました。」  
 (6) 「彼女はとても早口だったので、わたしは理解できませんでした。」  
 (7) 「彼は来年、学校へ行きますか。— いいえ、まだです。彼は学校へ行く年齢ではありません。」  
 (8) 「彼は友達とテニスをするために公園に行きました。」

## 2 解答

- (1) It, for me (2) of (3) him to  
 (4) you to come (5) what to buy, her birthday  
 (6) too tired to say (7) sharp enough to

## 解説

- (2) 「そう言ってくれるとは、あなたはとても親切です。」という英文を完成させる。

- (6) 「彼らはとても疲れていたの、何も言えませんでした。」という英文を完成させる。

- (1) It, to (2) too, to (3) of  
 (4) of him (5) so, that

訳

- (1) a b 「よい友達を持つことは大切です。」  
 (2) a b 「わたしは忙しすぎてあなたを手伝うことができませ  
 せん。」  
 (3) a b 「わたしを助けてくれるとは、あなたはとても親切

です。」

- (4) a b 「そんなことをするなんて、彼は愚かでした。」  
 (5) a b 「彼は幸運にもプレゼントをもらうことができまし  
 た。」

4 解答

- (1) It is good for our health to get up early.  
 (2) (It is impossible) for her to come back in such a short time.  
 (3) My mother wants me to be a great musician.  
 (4) John asked the doctor to see him on Wednesday.  
 (5) My brother didn't know where to go.  
 (6) The desk is too heavy for me to lift.  
 (7) Tom was kind enough to help me with my homework.  
 (8) This computer is small enough to carry in the pocket.

解説

- (2) 「短時間で」 in a short time

- (7) 「…の～を手伝う」 help ... with ~

発展問題

P40 1 解答

- (1) It, for, to (2) of him to (3) told, not to eat  
 (4) do you want me to (5) which bus to (6) for, to  
 (7) kind enough to, how to cook fish (8) easy enough for  
 (9) as to (10) enough, to (11) sure

解説

- (2) 「違う列車に乗るとは彼は不注意です。」という英文を完

成させる。

2 解答

- (1) The question is too difficult for us to answer.  
 (2) The woman was kind enough to take me to the bank.  
 [The woman was so kind as to take me to the bank.]  
 (3) This suit is so small that my son cannot[can't] wear it.  
 (4) The book is too difficult for me to read.

訳と解説

- (1) 「その質問は難しすぎて、わたしたちは答えることができ  
 ません。」  
 (2) 「その女性は親切にもわたしを銀行まで連れていってく  
 れました。」

- (3) 「このスーツは小さすぎて、わたしの息子は着ることが  
 できません。」  
 \*文末に it (=this suit)を補うことに注意する。  
 (4) 「その本は難しすぎてわたしには読めません。」  
 \*文末の it は不要になることに注意する。

- |                         |                             |                    |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------|
| (1) It, for him to      | (2) for you to              | (3) impossible, to |
| (4) to open             | (5) not to                  | (6) Do, want       |
| (7) you to              | (8) how to                  | (9) when to        |
| (10) so, that, couldn't | (11) cannot[can't] drink it | (12) enough        |
| (13) lent / enough      | (14) so, as                 | (15) too young     |
| (16) it was impossible  | (17) happened to meet       |                    |

## 訳と解説

- (1) ㉠ 「彼はこの本を簡単に読めます。」  
 ㉡ 「この本を読むのは彼には簡単です。」
- (2) ㉠㉡ 「あなたはそこで彼に会う必要はありません。」  
 \* necessary 「必要な」
- (3) ㉠ 「わたしたちは鳥のように飛ぶことはできません。」  
 ㉡ 「わたしたちが鳥のように飛ぶことは不可能です。」
- (4) ㉠ 「マイクはわたしに『窓を開けてくれませんか。』と言いました。」  
 ㉡ 「マイクはわたしに窓を開けるように頼みました。」
- (5) ㉠ 「父はわたしに『うそをつくな。』と言いました。」  
 ㉡ 「父はわたしにうそをつかないように言いました。」
- (6) ㉠ 「皿洗いの手伝いをしましょうか。」  
 ㉡ 「あなたはわたしに皿洗いの手伝いをしてもらいたいのですか。」
- (7) ㉠ 「すぐ彼にメッセージを送ってください。」  
 ㉡ 「わたしはあなたに、すぐ彼にメッセージを送ってもらいたい。」

- (8) ㉠ 「わたしの弟は電話を使うことができます。」  
 ㉡ 「わたしの弟は電話の使い方を知っています。」
- (9) ㉠ 「あなたは出発する時間がわかりますか。」  
 ㉡ 「あなたはいつ出発するべきかわかりますか。」
- (10) ㉠㉡ 「彼女はとても疲れていたので、早く起きることができませんでした。」
- (11) ㉠㉡ 「このコーヒーは熱すぎてわたしには飲めません。」
- (12) ㉠ 「彼はお金持ちなので、ピアノを買うことができます。」 \* as は理由を表す接続詞。  
 ㉡ 「彼はピアノを買えるほどお金持ちです。」
- (13) ㉠㉡ 「彼は親切にもわたしに本を貸してくれました。」
- (14) ㉠㉡ 「わたしは幸運にもその賞品を勝ち取りました。」
- (15) ㉠ 「ジャックは1人で旅行できる年齢ではありません。」  
 ㉡ 「ジャックは1人で旅行するには若すぎます。」
- (16) ㉠㉡ 「彼女はあまりのショックで、もはや口がきけませんでした。」
- (17) ㉠㉡ 「わたしはたまたま列車の中で旧友に会いました。」

## 4 解答

- (1) (I) asked him to teach me how to use the machine.  
 (2) Tell him not to make such a mistake again.  
 (3) She is not big enough to lift the stone.  
 (4) This house is too small for them to live in.  
 (5) I would like you to look after my baby (this afternoon.)

## 解説

- (2) 「間違いをする」 make a mistake

- (5) 「…の面倒を見る」 look after …

## 5 解答

- (1) It is very important for you to read many[a lot of] books.  
 [To read many[a lot of] books is very important for you.]
- (2) This coffee is too hot for me to drink.  
 [This coffee is so hot that I cannot[can't] drink it.]
- (3) I have too many things to do to go fishing with you today.

[I have so many things to do that I cannot[can't] go fishing with you today.]

- (4) She is old enough to help her mother.
- (5) I have enough money to buy this book.
- (6) I do not[don't] know how to use this knife.
- (7) My mother told me to clean the room.
- (8) Many[A lot of] mothers want their sons to study more.
- (9) At last we asked our math teacher to tell (us) the answer.

解説

(3) 「魚釣りに行く」 go fishing

## P44 例文の訳

## 動名詞の形と用法

## 2

- a テニスをすることはとても楽しい。  
 b わたしは歌うことがとても好きです。  
 c わたしの趣味は切手を収集することです。  
 a 彼の仕事は車を修理することです。  
 b 彼は今、車を修理しているところです。  
 d ① わたしは料理が好きです。  
 ② 彼は一言も言わずに出ていきました。

## P45 動名詞と不定詞

## 1

- ① わたしはきのう、その本を読み終わりました。  
 ② a 扉を閉めていただけませんか。

b わたしが扉を開けてもいいですか。

## 2

わたしはあなたのお父さんにお目にかかりたい。

## 3

- a たった今、雨が降り始めました。  
 b ① a わたしは彼としゃべるのをやめました。  
 b わたしは彼としゃべるために立ち止まりました。  
 ② a わたしは彼と会ったことを覚えています。  
 b 彼と会うことを忘れないように。  
 ③ a 彼は彼女に手紙を書いてみたが、彼女は返信しませんでした。  
 b 彼は彼女に手紙を書こうとしましたが、書けませんでした。

## 練成問題

## 1 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) ア  | (2) ウ  | (3) エ  | (4) イ  | (5) ウ  |
| (6) ア  | (7) イ  | (8) ウ  | (9) ウ  | (10) ウ |
| (11) エ | (12) ウ | (13) エ | (14) ア | (15) ウ |
| (16) イ | (17) イ |        |        |        |

## 訳と解説

- (1) 「フットボールをすることはわたしたちにはおもしろかった。」\*主語の働きをする動名詞。  
 (2) 「彼らは夕食後に音楽を聞いて楽しみました。」\*目的語の働きをする動名詞。  
 (3) 「わたしたちは外出しました。というのは、雨が降りやんだからです。」  
 (4) 「彼の仕事は車を洗うことです。」\*補語の働きをする動名詞。  
 (5) 「彼は一言も言わずに家から出かけました。」\*前置詞のうしろは動名詞。  
 (6) 「すぐにわたしに手紙を書いていただきありがとうございます。」  
 (7) 「東京を離れることを考えるとき、わたしはいつも悲しい。」  
 (8) 「わたしの父はきのう、川へ釣りに行きました。」  
 (9) 「彼女はおじに会うのを楽しみにしています。」  
 \* look forward to ~ing 「～するのを楽しみにする」の to は前置詞。  
 (10) 「あなたは映画を見に行くのが好きですか。」\* be fond of … 「…が好きだ」  
 (11) 「彼は英語を話すことが上手です。」\* be good at … 「…が上手だ」  
 (12) 「わたしは来年の夏、北海道へ行きたい。」  
 (13) 「わたしはきのう、スキーをして楽しみました。」  
 (14) 「あなたは庭の草を刈り終えましたか。」  
 (15) 「窓を開けていただけませんか。」\*《依頼》の表現。  
 (16) 「彼は新聞を読むのをやめて、テレビを見始めました。」  
 (17) 「おなかがすいていたので、わたしたちは食事を取るためにレストランに立ち寄りました。」\* eating だと「食べるのをやめました」となって、because 以下とつながらない。

- |                          |                        |               |
|--------------------------|------------------------|---------------|
| (1) Listening[To listen] | (2) painting[to paint] | (3) shopping  |
| (4) snowing              | (5) going              | (6) driving   |
| (7) making               | (8) skiing             | (9) saying    |
| (10) moving              | (11) inviting          | (12) to visit |
| (13) laughing            | (14) living            | (15) hearing  |
| (16) lying               | (17) to clean          | (18) seeing   |
| (19) smoking             |                        |               |

## 訳と解説

- (1) 「これらのCDを聞くととてもくつろぎます(←聞くこととはとてもくつろがせます)。」
- (2) 「わたしの姉[妹]は絵を描くことがとても好きです。」  
\* like は動名詞・不定詞のどちらも目的語にとることができる。
- (3) 「わたしの父はきのう、わたしといっしょに買い物に行きました。」
- (4) 「けさ、わたしたちが出かける前に雪が降りやみました。」
- (5) 「あなたは寝る前に歯を磨かなければなりません。」
- (6) 「わたしの兄[弟]は車を運転することが上手です。」
- (7) 「英語を話すとき間違えることを恐れてはいけません。」  
\* be afraid of ~ing 「～するのを恐れる」
- (8) 「わたしは彼女がスキーがへたなことを知っています。」  
\* be poor at ~ing 「～するのがへただ」
- (9) 「マイクは一言も言わずに部屋を出ていきました。」
- (10) 「彼らはニューヨークに戻ろうかと考えています。」
- (11) 「わたしたちを夕食に招待していただきありがとうございます。」

\* Thank you for ~ing. 「～してくれてありがとう。」

invite A to B 「AをBに招待する」

- (12) 「彼は10時にオフィスを出るでしょう。だから10時前に彼をオフィスに訪ねることを忘れないでください。」  
\* forget to ~ 「(これから)～することを忘れる」
- (13) 「彼女が歌ったときわたしは笑わずにはいられませんでした。」
- (14) 「あなたはこの気候の中で暮らすことに慣れるようになるでしょう。」 \* get used to … 「…することに慣れる」のtoは前置詞。
- (15) 「わたしはあなたの成功の知らせを聞くことを楽しみにしています。」
- (16) 「彼女は草の上に寝ころんで楽しみました。」 \* lieの~ing形はlyingとなることに注意。
- (17) 「わたしはあなたに部屋を掃除してもらいたい。」
- (18) 「わたしはあの男の人に会ったことを覚えています。」  
\* 会ったのは過去のことなので、seeingを用いる。
- (19) 「わたしはあなたにここでたばこを吸うのをやめてもらいたい。」

## 3 解答

- |                     |                 |                     |
|---------------------|-----------------|---------------------|
| (1) Doing           | (2) taking      | (3) reading         |
| (4) without saying  | (5) about going | (6) good at playing |
| (7) enjoyed walking |                 |                     |

## 訳と解説

- (1) ㉔㉕ 「最善を尽くすことはあなたにとって重要なことです。」
- (2) ㉔㉕ 「彼は風呂に入る前にコーヒーを1杯飲みました。」  
\* take a bath 「風呂に入る」
- (3) ㉔ 「わたしは動物についての本を読むことが好きです。」  
㉕ 「わたしは動物についての本を読むことに興味があります。」
- (4) ㉔ 「彼は部屋を出るとき何も言いませんでした。」

- ㉕ 「彼は何も言わずに部屋を出ました。」
- (5) ㉔㉕ 「あした、映画を見に行きませんか。」
- (6) ㉔ 「彼はとても上手にテニスをします。」  
㉕ 「彼はテニスをするのがとても上手です。」
- (7) ㉔ 「わたしたちは公園の中を歩きました。わたしたちはそれをとても楽しみました。」  
㉕ 「わたしたちは公園の中を歩いておおいに楽しみました。」

1 解答

- (1) Swimming across (2) for telling[showing] me (3) to seeing  
 (4) Getting, is not (5) making mistakes, speaking English  
 (6) help laughing (7) before leaving for (8) Would[Do], opening  
 (9) my[me] using (10) without telling me  
 (11) enjoy fishing, swimming (12) kept[went] on  
 (13) carrying, himself (14) fond of taking[having] (15) no knowing[telling]  
 (16) seems to, good at making

解説

- (4) 「高得点する」→「高得点を取る」。動名詞主語は単数扱いなので、is を用いることに注意。  
 (5) in ~ing で「～するとき」という意味を表す。  
 (7) 「…に向かって出発する」leave for …  
 (9) 「電話を借りる」のような「借りる」の場合は、ふつう borrow ではなく use を用いる。  
 直訳は「あなたはわたしがあなたの電話を使うのを気にしますか。」となる。  
 (13) 「ひとりで」by oneself

2 解答

- (1) drives, well (2) am, fond, swimming (3) without answering  
 (4) stop playing (5) riding (6) finding  
 (7) Riding, is (8) opening (9) smoking  
 (10) about swimming (11) being (12) without wearing  
 (13) without making (14) Learning English  
 (15) didn't[couldn't], in saving (16) enjoyed playing  
 (17) after listening (18) difficulty finding

訳と解説

- (1) ① 「彼は車を運転するのがうまい。」  
 ② 「彼は上手に車を運転します。」  
 (2) ①② 「わたしは水泳がとても好きです。」  
 (3) ① 「彼はわたしの質問に答えず、そして行ってしまいました。」  
 ② 「彼はわたしの質問に答えることなく行ってしまいました。」  
 (4) ① 「雨が降り始めたものの、彼らは野球をやり続けました。」  
 ② 「雨が降り始めたものの、彼らは野球をするのをやめませんでした。」  
 (5) ①② 「わたしは1時間以上馬に乗り続けました。」  
 (6) ① 「ついに彼は宝物を見つけることができました。」  
 ② 「ついに彼は宝物を見つけることに成功しました。」  
 \* at last 「ついに」  
 (7) ①② 「自転車に乗るのはとても楽しい。」 \* 主語の動名詞は単数扱いなので is が入る。  
 (8) ①② 「窓を開けていただけませんか。」 \* 《依頼》の表現。  
 (9) ① 「ここでたばこを吸ってもよろしいですか。」  
 ② 「ここでたばこを吸ってもかまいませんか。」 \* 《許可》を求める表現。  
 (10) ①② 「さあ、わたしたちとっしょに泳ぎませんか。」  
 (11) ①② 「彼は音楽家であることを誇りにしていました。」  
 \* be proud of … 「…を誇りにする」  
 (12) ① 「わたしの父は新聞を読むのにたいいていめがねをかけません。」  
 ② 「わたしの父はたいいていめがねをかけずに新聞を読みます。」  
 (13) ① 「彼は静かに部屋から出て行きました。」  
 ② 「彼は音を立てずに部屋から出て行きました。」 \* make a noise 「音を立てる」  
 (14) ①② 「英語を学ぶことは簡単ではありません。」  
 (15) ① 「医師たちは、その赤ん坊の命を救うことに失敗しま

した。」

- ① 「医師たちは、その赤ん坊の命を救うことに成功しませんでした。」 \* succeed in ~ing 「～することに成功する」
- 16① 「少年たちはサッカーをしました。彼らはとても楽しく過ごしました。」
- ② 「少年たちはサッカーをしてとても楽しみました。」

17① 「わたしは寝る前にラジオを聞きました。」

- ② 「わたしはラジオを聞いたあと寝ました。」
- 18① 「彼は容易に彼女の家を見つけることができました。」
- ② 「彼は彼女の家を見つけるのに何の困難もありませんでした。」 \* have difficulty (in) ~ing 「～することに苦労する」

P50 3 解答

- (1) (Writing) good English needs a lot of practice.  
(2) (Don't be) afraid of making mistakes in speaking (English.)  
(3) I am interested in writing letters to my pen pals.  
(4) I'm looking forward to playing tennis with you.  
(5) Thank you for inviting me to the party.  
(6) Would you mind lending me the dictionary for a while?  
(7) (David's business) kept him from attending the meeting.  
(8) I want you to finish reading the book in a few hours.

解説

(6) for a while 「しばらく」

(8) finish は動名詞だけを目的語にとる。\* a few 「2, 3の, 少しの」

4 解答

- (1) Stop watching TV[television].  
(2) I hear (that) you finished reading the book in two days.  
(3) Can[Do] you understand the meaning of the[that] sentence without using a dictionary?  
(4) Because[As / Since] I am poor[bad] at writing a letter, I will[am going to] thank him on[over] the (tele)phone tonight[this evening].

解説

- (2) 「2日で」 in two days  
(3) 「意味」 meaning

(4) 「お礼を言う」 thank, 「電話で」 on[over] the (tele)phone

## P52 例文の訳

## 従位[属]接続詞

## 1

- ① a わたしは彼がすぐに帰宅するだろうと思います。  
 b わたしは彼がすぐに帰宅するだろうと思いました。  
 ② わたしはあした晴れることを望みます。  
 ③ わたしはあした、(残念ながら)雨になると思います。  
 ④ わたしは彼がまだ東京にいるかどうか知りません。

## 2

- a ① わたしは子供のとき、パイロットになりたかった。  
 ② わたしはニューヨークにいる間に、よく映画を見に行きました。  
 ③ わたしはよく、勉強しながら音楽を聞きます。  
 ④ わたしは寝る前にたいい日記を書きます。  
 ⑤ 彼が戻るまでここで待ちましょう。  
 ⑥ 父が亡くなってから3年たちます。  
 ⑦ わたしが家を出るとすぐに、雨が降り出しました。  
 b あしたもし雨が降ったら、わたしは家にいて読書をするつもりです。  
 c ① わたしはけさ遅く起きたので、学校に遅刻しました。  
 ② 彼女は正直なので、みんな彼女が大好きです。  
 d 彼は裕福でしたが、あまり幸福ではありませんでした。

- e 彼らがするようにそれをしなさい。  
 f ① 彼はとても疲れていたので早く寝ました。  
 ② わたしはとても忙しかったので散歩に行くことができませんでした。  
 g わたしはあなたがいつでもそのコンピュータが使えるようにあなたに鍵をあげます。

## 等位接続詞

## 1

- ① トムと健は仲のよい友達です。  
 ② あなたは徒歩通学ですか、それともバス通学ですか。  
 ③ 雨が降っていましたが、わたしたちは野球をしました。  
 ④ 雨が降っていたので、わたしたちはピクニックに行きませんでした。

## 2

- ① クロはベットではなく(むしろ)友人です。  
 ② あなたかわたしのどちらかがその仕事をしなければならいでしょう。  
 ③ わたしは英語もフランス語も話せません。  
 ④ わたしの父は英語もフランス語も話せます。  
 ⑤ わたしの父は英語だけでなくフランス語も話せます。  
 ⑥ ジョンは英語はもちろんフランス語も話せます。

## 練成問題

## 1 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) イ  | (2) イ  | (3) イ  | (4) ウ  | (5) ア  |
| (6) ウ  | (7) イ  | (8) ア  | (9) エ  | (10) ア |
| (11) エ | (12) ア | (13) エ | (14) イ | (15) イ |
| (16) イ | (17) エ |        |        |        |

## 訳と解説

- (1) 「もしあした晴れたらわたしは釣りに行きます。」  
 \* go fishing 「釣りに行く」  
 (2) 「わたしが家を出ようとしていたとき、雨が降り始めました。」  
 (3) 「わたしは寝る前に宿題を終わらせなければなりません。」  
 (4) 「わたしの母が戻るまでどうぞここでお待ちください。」  
 (5) 「彼は60歳を超えているけれど、若く見えます。」

- \* more than … 「…より多い、…以上」  
 (6) 「わたしはお金を持っていなかったのをそれを買いませんでした。」 \* この as は《理由》を表す。  
 (7) 「わたしはロンドンにいる間に英語を学びました。」  
 \* during は前置詞なので節《主語+動詞》を続けることはできない。  
 (8) 「彼はわたしにスポーツが好きかどうかたずねました。」  
 (9) 「わたしはとても忙しいのであなたを手伝うことができません。」 \* 《so … that ~》「とても…なので~」

- (10) 「わたしの妹はとても幼いのでそこへ1人で行くことができません。」
- (11) 「その大学に入れるように一生懸命勉強しなさい。」  
\* 《so that - may[can] ~》で「-が~できるように」という意味。なお、enter は他動詞なので前置詞は不要 (enter to the collegeなどは不可)。
- (12) 「トムは日本語を上手に話します。しかし読むことはできません。」
- (13) 「雨が降り始めました。だからわたしたちは散歩に行くのをやめました。」 \* go for a walk 「散歩に行く」

- (14) 「急ぎなさい、さもないと列車に間に合わないでしょう。」  
\* 《命令文…, or ~.》「…しなさい、さもないと~。」
- (15) 「この自転車はわたしのではなく、彼のです。」  
\* 《not A but B》「AではなくB」
- (16) 「あなたか彼のどちらかがその犬の世話をしなければなりません。」 \* 《either A or B》「AかBのどちらか」、take care of … 「…の世話をする」
- (17) 「わたしの父も母も今、家にはいません。」《neither A nor B》「AもBも…ない」

P55

2 解答

- (1) Everyone knew Bob was an honest boy.  
(2) My brother said that he wanted to be a doctor.  
(3) I thought he would pass the examination.  
(4) Our teacher taught us that light travels faster than sound.

訳と解説

- (1) 「だれもがボブは正直な少年だと知っていました。」  
\* honest 「正直な」。h は発音せず, [ʌnəst] のように母音で始まるので, a ではなく an がついている。
- (2) 「わたしの兄[弟]は医者になりたいと言っていました。」
- (3) 「わたしは彼は試験に合格するだろうと思いました。」

\* 従属節に助動詞が含まれる場合は、時制の一致は助動詞を過去形にする。will の過去形は would である。

- (4) 「わたしたちの先生はわたしたちに光は音よりも速く伝わると教えてくれました。」 \* 時制の一致の例外 (= 不変の真理)

3 解答

- (1) エ (2) カ (3) ア (4) イ (5) オ  
(6) ウ

訳と解説

- (1) 「もし10人以上がその計画に反対しなければ、彼は考えを変えないでしょう。」 \* against … 「…に反対して」、change one's mind 「考えを変える」
- (2) 「もしあした雨ならば、彼はピクニックに行くのをやめるでしょう。」 \* go on a picnic 「ピクニックに行く」
- (3) 「マイクはやるべきことがたくさんあったので、その手

紙を出すのを忘れました。」 \* forget to ~ 「~するのを忘れる」、mail … 「… [手紙など] を投函する」

- (4) 「マイクはとても疲れていたけれど、遅くまで働かなければなりませんでした。」
- (5) 「わたしは彼がまだ家にいるかどうかわかりません。」
- (6) 「彼はよくうそをつくので、わたしたちは彼のことが好きではありません。」

4 解答

- (1) Before (2) and (3) or  
(4) Though[Although] (5) when, speak

訳と解説

- (1) a 「トムは勉強をして、それから散歩に出かけました。」  
\* and then … 「そしてそれから…」
- b 「トムは散歩に出かける前に勉強しました。」
- (2) a 「もし一生懸命働けば、あなたは成功するでしょう。」

- b 「一生懸命働きなさい。そうすればあなたは成功するでしょう。」 \* 《命令文…, and ~.》「…しなさい、そうすれば~。」
- (3) a 「もし一生懸命勉強しなければ、あなたはテストに落ちるでしょう。」

- ③ 「一生懸命勉強しなさい。さもないとあなたはテストに落ちるでしょう。」
- (4)④ 「彼はすべきことがたくさんありましたが、映画を見に行きました。」
- ⑥ 「彼はすべきことがたくさんあったけれど、映画を

見に行きました。」

- (5)②⑤ 「英語を話すときは間違いをしてもよろしい。」  
\*句を節にする問題。in ~ing は「~するとき」という意味を表す句。これを when を用いた節で表す。

## 発展問題

### 1 解答

- (1) before (2) Though[Although] it was  
(3) both, and (4) As soon as, left (5) either, or  
(6) since (7) While (8) well, no  
(9) am afraid it will [think that it will] (10) not only  
(11) wanted to (12) whether[if] he will come \* will come は is coming も可。  
(13) or, time (14) before (15) until[till], comes[gets]  
(16) taking, when (17) and, are

### 解説

- (1) 「忘れないうちに」は「忘れる前に」ということ。  
\* write down … 「…を書き留める」
- (4) 「家を出る」の「出る」は leave を他動詞として用いればよい(過去形は left)。自動詞 leave for … は「…に向かって出発する」という意味。
- (8) 「テレビだけでなくラジオも」はここでは A as well as B を用いればよい。「ない」と否定の意味になっているので、no radio, no television とすることに注意。  
\* I hear (that) … 「…だそうだ。」
- (9) 「〔望ましくないこと〕を思う」は afraid を用いる。形容詞なので、I am afraid のように用いることに注意。

that 節を続けることができるが、ここでは that を省略する。

- (11) 日本文は「読みたい」となっているが、ここでは時制の一致を受けるので過去形で表す。
- (12) whether 以下は名詞節なので(副詞節ではない)、未来の内容を表すには will などを用いる。
- (13) be in time for … 「…に間に合う」
- (14) It will not be long before … で「まもなく…。」の意味を表す。
- (15) until[till] 以下は時を表す副詞節なので、未来の内容も現在形で表す。
- (17) both A and B が主語になる場合は、複数扱いである。

### 2 解答

- (1) soon, over (2) Both, and (3) so, that  
(4) when, was (5) While  
(6) If you don't help us [Unless we have your help] (7) if, don't  
(8) because[as], didn't, for (9) Though[Although] (10) neither, nor  
(11) I came to England (12) I won't (13) not only  
(14) Work hard, or (15) always, when (16) you have  
(17) when he saw

### 訳と解説

- (1)④ 「わたしたちは放課後すぐに野球を始めました。」
- ⑥ 「学校が終わるとすぐに、わたしたちは野球を始めました。」\* as soon as … 「…するとすぐに」、be over 「終わる」

(2)② 「ナンシーは料理が上手です。メアリーも料理が上手です。」

⑥ 「ナンシーもメアリーも料理が上手です。」\* 《both A and B》「A も B も両方とも」

(3)③ 「雨が激しく降っていたので、彼らは外出しませんでした。」

した。」\*この as は《理由》を表す。

- ⑩ 「雨がとても激しく降っていたので、彼らは外出しませんでした。」
- (4)①② 「彼は 18 歳のときに大阪にやって来ました。」  
\*句を節にする問題。at the age of …は「…歳のとき」という意味で、同じ内容は when を用いた節で表すことができる。
- (5)① 「わたしは日本滞在中にすもうを見に行きたいと思います。」\* during は前置詞。
- ② 「わたしは日本に滞在している間にすもうを見に行きたいと思います。」\*句を節にする問題。while は接続詞。《主語 + 動詞…》が続く。
- (6)① 「あなたの助けがなければ、わたしたちはその仕事をすることができません。」
- ② 「もしあなたがわたしたちを助けてくれないならば、わたしたちはその仕事をすることができません。」\*句を節にする問題。
- (7)①② 「わたしが呼ばなければ、あなたは姿を見せてはいけません。」\* unless ~は「もし~しなければ、~しない限りは」という意味の接続詞。
- (8)① 「彼は授業に間に合うように学校まで走りました。」  
\* in order to ~ 「~するために」
- ② 「彼は授業に遅れなくなかったので学校まで走りました。」\* be late for … 「…に遅れる」
- (9)① 「昨夜、彼女は眠たかったが、英語を勉強しました。」
- ② 「昨夜、彼女は眠たかったけれど、英語を勉強しまし

た。」

- (10)① 「彼女はピアノが弾けません。彼女はバイオリンも弾けません。」
- ② 「彼女はピアノもバイオリンも弾けません。」  
\* 《neither A nor B》「A も B も…ない」
- (11)① 「わたしは 5 年前にイングランドへやって来ました。」
- ② 「わたしがイングランドへやって来てから 5 年になります。」
- (12)①② 「わたしは学校に遅れないと約束します。」  
\*句を節にする問題。約束の内容は未来のことなので、未来形で表すことに注意する。
- (13)① 「彼はわたしに助言はもちろんお金もくれました。」  
\* 《A as well as B》「B と同様 A も」
- ② 「彼はわたしに助言だけでなくお金もくれました。」  
\* 《not only A but (also) B》「A だけでなく B も」
- (14)① 「一生懸命勉強しなければ、あなたは試験に落ちるでしょう。」
- ② 「一生懸命勉強なさい。さもないとあなたは試験に落ちるでしょう。」
- (15)① 「彼女は決して帽子なしでは外出しません。」
- ② 「彼女は外出するときはいつも帽子をかぶります。」
- (16)① 「食事をとる前に手を洗いなさい。」
- ② 「食事をとる前に手を洗わなければいけません。」  
\*句を節にする問題。
- (17)① 「彼はその死んだ鳥を見て悲しみました。」
- ② 「彼はその死んだ鳥を見たとき悲しみました。」

P58 3 解答

- (1) (My mother) is so busy that she can't go with us.  
(2) Keep running all the way, and you will be in time for (the last train.)  
(3) Whether he will succeed or not depends on his efforts.

解説

(2) if を用いると you が 2 つ必要なので、《命令文…, and

~.》で表す。

(3) 名詞節を主語とする場合、単数扱いであることに注意する。

4 解答

- (1) When I got up this morning, it was snowing hard[heavily].  
(2) Either you or I am wrong.  
(3) He was so surprised that he could not[couldn't] say a[one] word.  
[He was too surprised to say a[one] word.]  
(4) He is not only a doctor but (also) a musician.  
[He is a musician as well as a doctor.]  
(5) Last Wednesday I was so busy that I could not[couldn't] meet[see] him.  
[Last Wednesday I was too busy to meet[see] him.]

- (6) If we start[leave] now, we will be in time for the train.  
[If we start[leave] now, we will catch the train.]
- (7) Please call me (up) as soon as you arrive at the station.  
\* arrive at は get to, reach も可。
- (8) It is[has been] ten years since my mother died.  
[Ten years have passed since my mother died.]  
[My mother has been dead for ten years.]
- (9) I got up early so[in order] that I might[could] be in time for the first train.  
[I got up early so[in order] that I might[could] catch the first train.]
- (10) Not only he but (also) his parents are good at tennis.  
[Not only he but (also) his parents play tennis well.]  
[Not only he but (also) his parents are good tennis players.]
- (11) Though[Although] she had a slight fever, she went to school.  
[She had a slight fever, but she went to school.]

解説

- (2) either A or B が主語になる場合は、動詞は B の人称・数に一致させる。
- (8) since が導く節中の動詞は過去形になることに注意。

- (9) 「間に合うように」は《目的》を表す構文《so[in order] that - may[can] ～》を用いればよい。時制の一致で、may[can] は might[could] になることに注意。

P60

例文の訳

## 文の主要素

1

- ① 日本には多くの美しい川があります。  
 ② 彼は野球をするのが好きです。  
 ③ 歩くことは健康にとっていい。

3

- ① わたしは辞書を必要としています。  
 ② 彼は本を読み終わりました。  
 ③ わたしは何をすべきかわかりません。  
 ④ わたしはあなたにまた会うことを望んでいます。  
 ⑤ 彼女はわたしに1杯の水をくれました。

4

- ① 彼女は幸せです。  
 ② 彼は彼女を幸せにしました。

## 5つの文型

1

- ① 鳥は空中を飛びます。  
 ② 机の上に1冊の本があります。

2

彼は10年前、先生でした。

3

わたしはとてもスポーツが好きです。

4

おじがわたしにカメラをくれました。

5

- ① 彼は自分の息子を医者にしました。  
 ② わたしは英語で手紙を書くことは難しいとわかりました。

## 練成問題

P62

1

解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) 2  | (2) 4  | (3) 1  | (4) 3  | (5) 5  |
| (6) 3  | (7) 4  | (8) 1  | (9) 5  | (10) 2 |
| (11) 3 | (12) 1 | (13) 4 | (14) 2 | (15) 5 |

## 訳と解説

(1) 「わたしの姉[妹]は看護師になりました。」

\* my sister = nurse なので SVC の文。

(2) 「わたしに駅までの道を教えていただけませんか。」

\* 「～に(me)…を(the way)」の語順なので SVOO の文。to the station は修飾語句。

(3) 「これらの木は急速に成長します。」 \* quickly は修飾語句なので SV の文。

(4) 「わたしは夕食後に宿題をやりました。」

\* I ≠ homework なので SVO の文。after dinner は修飾語句。

(5) 「ロンドンの人々はその時計をビッグベンと呼びます。」

\* the clock = Big Ben なので SVOC の文。in London は修飾語句。

(6) 「わたしは何も食べたくありません。」 \* to 不定詞が want の目的語になっている。SVO の文。

(7) 「わたしはあなたにわたしの家族の写真を何枚か送らしましょう。」 \* 「～に(you)…を(some pictures)」の語順なので SVOO の文。of my family は修飾語句。

(8) 「わたしの家の近くに古い家がありました。」

\* There is[are] … の文なので第1文型(S = an old house, V = was)。near my house は修飾語句。

(9) 「わたしは母を怒らせました。」 \* my mother = angry なので SVOC の文。

(10) 「彼女はすぐに元気になるでしょう。」 \* she = well なので SVC の文。soon は修飾語句。

(11) 「彼女は背中に赤ん坊をおぶっていました。」

\* she ≠ a baby なので SVO の文。on her back は修飾語句。

(12) 「わたしは3年前、京都に住んでいました。」

\* in Kyoto, three years ago はそれぞれ修飾語句なので SV の文。

- (13) 「きのう、父はわたしに CD を買ってくれました。」  
 \* 「～に(me)…を(a CD)」の語順なので SVOO の文。  
 yesterday は修飾語。
- (14) 「葉は黄色に変わりました。」 \* the leaves = yellow な

ので SVC の文。

- (15) 「彼らはその黒い犬をクロと名づけました。」  
 \* the black dog = Kuro なので SVOC の文。

## 2 解答

- (1) ア (2) イ (3) ア (4) ア (5) イ  
 (6) ア (7) ウ (8) ウ (9) エ

### 訳と解説

- (1) 「彼はとても怒っているように見えました。」 \* SVC  
 の文。《look + 形容詞》で「…に見える」という意味。  
 angrily は副詞, anger は「怒り」という意味の名詞。
- (2) 「彼女の話は本当に聞こえません。」 \* SVC の文。  
 《sound + 形容詞》で「…に聞こえる」という意味。  
 reality は名詞, really は副詞, realize は動詞。
- (3) 「物音を立てないように。静かにしてください。」  
 \* SVC の文。《keep + 形容詞》で「…のままである」  
 という意味。quietly は副詞。
- (4) 「おばはわたしに贈り物を送ってくれました。」  
 (= My aunt sent me a present.)

- (5) 「彼は自分の息子におもしろい本を与えました。」  
 (= He gave his son an interesting book.)
- (6) 「フランクはコンピュータゲームをマイクに貸しました。」  
 (= Frank lent Mike a computer game.)
- (7) 「父はわたしに 1 冊の本を買ってくれました。」  
 (= My father bought a book for me.)
- (8) 「わたしたちはその女の子が親切だと思いました。」  
 \* SVOC の文。kindly は副詞, kindness は「親切さ」  
 という意味の名詞。
- (9) 「わたしはとても遅く帰宅しました。そのことが母を怒  
 らせました。」 \* SVOC の文。

## 3 解答

- (1) There used to (2) looked, tired (3) ride, take  
 (4) teaches us English (5) sent me an interesting letter  
 (6) made me (7) made our town famous (8) it easy

### 解説

- (1) There is[are] … の構文を用いる。\* 「以前は…だった」 used to …
- (3) 「約 1 時間のバスの乗車があなたをその村へ連れていく。」という英文を完成させる。

- (6) 「その知らせがわたしをうれしくさせました。」という英文を完成させる。
- (7) 「その温泉がわたしたちの町を有名にしました。」という英文を完成させる。
- (8) to do so を表す形式目的語 it を用いる。

## 4 解答

- (1) belongs to (2) Japan had (3) has / There  
 (4) taught me (5) It rained (6) for me  
 (7) for (8) made him

### 訳と解説

- (1) a) b) 「この大きな辞書はわたしのものです。」 \* belong  
 to … 「…に属する」
- (2) a) b) 「当時、日本には多くの美しい風景がありました。」  
 \* There is[are] … in A. = A have[has] … 「A  
 には…があります。」

- (3) a) b) 「わたしたちの町には大学が 2 つあります。」
- (4) a) 「ブラウン先生はわたしのフランス語の先生でした。」  
 b) 「ブラウン先生はわたしにフランス語を教えてくださいました。」
- (5) a) b) 「今年の夏はたくさん雨が降りました。」 \* 天候を表  
 す it と動詞 rain を用いて書きかえる。

- (6)ⒶⒷ 「わたしの母はわたしに1杯の紅茶を作ってくれました。」 \*この make は「～に…を作る」という意味。  
 (7)ⒶⒷ 「おばはわたしに美しいドレスを買ってくれました。」

- (8)Ⓐ 「彼は彼女の発言に対して怒りました。」  
 Ⓑ 「彼女の発言が彼を怒らせました。」 \*この make は「～を…にする」という意味。

## 発展問題

### P64 1 解答

- |                     |                      |                  |
|---------------------|----------------------|------------------|
| (1) you[they] call  | (2) What made        | (3) made him     |
| (4) made him sad    | (5) made             | (6) takes        |
| (7) him             | (8) have much snow   | (9) It hasn't    |
| (10) good guitarist | (11) good cook       | (12) early riser |
| (13) looked         | (14) tell[show], way | (15) lend me     |
| (16) visitors       | (17) tears           |                  |

### 訳と解説

- (1)Ⓐ 「この花は英語で何と呼ばれていますか。」  
 Ⓑ 「この花を英語で何と呼びますか。」 \* you[they] は一般的な「人々」を表す。  
 (2)Ⓐ 「どうして彼女はそんなに幸せだったのですか。」  
 Ⓑ 「何が彼女をそんなに幸せにしたのですか。」  
 (3)Ⓐ 「彼はその発見で有名になりました。」  
 Ⓑ 「その発見が彼を有名にしました。」  
 (4)Ⓐ 「彼はその知らせを聞いて悲しみました。」  
 Ⓑ 「その知らせが彼を悲しくさせました。」  
 (5)Ⓐ 「列車事故があったため彼は遅刻しました。」  
 Ⓑ 「列車事故が彼を遅刻させました。」  
 (6)Ⓐ 「市場までは30分のドライブです。」  
 Ⓑ 「市場に行くためには車で30分かかります。」  
 \* take 「[時間が] かかる」  
 (7)ⒶⒷ 「わたしは彼は親切だと思いました。」 \* SVOC の文にする。  
 (8)ⒶⒷ 「冬にはここではたくさんの雪が降ります。」  
 \* snow は数えられないので、many ではなく much を用いる。  
 (9)ⒶⒷ 「2週間ずっと雨が降っていません。」  
 (10)Ⓐ 「わたしの兄[弟]はギターを弾くのが上手です。」  
 \* be good at … 「…が上手だ」  
 Ⓑ 「わたしの兄[弟]は上手なギター奏者です。」

\* 楽器の奏者は pianist など、楽器の名称に ist をつけて表すことが多い。

- (11)Ⓐ 「あなたのお母さんは上手に料理をしますか。」  
 Ⓑ 「あなたのお母さんは上手に料理をする人ですか。」  
 \* 「料理をする人」は cook。動詞 cook と同形なので注意する。  
 (12)Ⓐ 「わたしの妻は朝早く起きません。」  
 Ⓑ 「わたしの妻は早起きではありません。」 \* early riser 「早起きの人」  
 (13)Ⓐ 「けさ、田中さんを見たとき、彼はとても幸せであるとわたしは思いました。」  
 Ⓑ 「田中さんはけさ、とても幸せそうに見えました。」  
 (14)Ⓐ 「どのようにしたら図書館へ行けますか。」  
 Ⓑ 「図書館までの道を教えてくださいませんか。」  
 (15)Ⓐ 「あなたの辞書を借りてもいいですか。」  
 Ⓑ 「わたしにあなたの辞書を貸していませんか。」  
 (16)Ⓐ 「昨年、たくさんの方がわたしたちの学校を訪れました。」  
 Ⓑ 「昨年、わたしたちの学校にはたくさんの訪問者がありました。」 \* visitor 「訪問者」の語尾は er ではなく or であることに注意。  
 (17)Ⓐ 「彼女はその悲しい知らせを聞いたとき泣きました。」  
 Ⓑ 「その悲しい知らせを聞いて、彼女の目に涙が浮かびました。」 \* bring A to B 「BにAをもたらす」

## 2 解答

- (1) Lucy lent her the umbrella beside the door.
- (2) Shall I bring you something cold to drink?
- (3) Mary handed her father a ticket for the concert.
- (4) The old man always keeps the park clean.
- (5) His success in the examination made his parents very happy.
- (6) (My uncle) gave it to me for my (birthday present.)
- (7) I found the book much more difficult.
- (8) This book gave me some idea of life in England.
- (9) (Planes) have done much more than trains and ships to make the earth a smaller (place.)

## 解説

- (3) hand は「手渡す」という意味で第4文型をとれる動詞。
- (5) 「彼の試験の合格は両親をとてもうれしくさせた。」という英文を完成させる。
- (6) 「おじさんは誕生日のプレゼントにそれをわたしにくれました。」という英文を完成させる。
- (7) 「わたしはその本がずっと難しいということがわかつ

た。」という英文を完成させる。much を用いて比較級 more を強調する。

- (8) 「この本はわたしにイングランドでの生活についてのいくつかの考えを与えてくれた。」という英文を完成させる。
- (9) 「せまくする」→「せまい場所にする」, 「大きく貢献する」→「多くのことをする」と考える。

## 3 解答

- (1) What do you[they] call this animal in English?  
[What is this animal called in English?]
- (2) Keep[Leave] the door open.
- (3) Always keep your hands clean.

## 解説

- (2) 意図的に「…にしておく」ことを表すには keep を、今

までの状態を放っておくことを表すには leave を用いる。この場合はどちらも考えられる。

P66

## 例文の訳

## 受動態の形

- a** マイクがその窓を開けます。  
その窓はマイクによって開けられます。
- b** 来年、彼らは新しい図書館を建てます。  
来年、(彼らによって)新しい図書館が建てられます。
- c** 彼はその仕事を終わりました。  
その仕事は彼によって終わられました。
- d** 彼女はその扉を開けているところでした。  
その扉は彼女によって開けられているところでした。

## 第4文型・第5文型の受動態

- a** デイビス先生がわたしたちに英語を教えています。  
① わたしたちはデイビス先生によって英語を教えられています。  
② 英語はデイビス先生によってわたしたちに教えられています。
- b** 彼らはわたしをケンと呼びました。  
わたしは彼らにケンと呼ばれました。

P67

## 受動態の疑問文・否定文

- a** ① その窓はマイクによって開けられるのですか。

— はい、そうです。／いいえ、ちがいます。

- ② その窓はマイクによって開けられるのではありません。

- b** ① 来年、新しい図書館は建てられますか。

— はい、そうです。／いいえ、ちがいます。

- ② 来年、新しい図書館は建てられません。

- c** ① その仕事は彼によって終わられましたか。

— はい、そうです。／いいえ、ちがいます。

- ② その仕事は(まだ)彼によって終わられていません。

- d** ① その扉は彼女によって開けられているところでしたか。— はい、そうです。／いいえ、ちがいます。

- ② その扉は彼女によって開けられているところではありませんでした。

## 注意すべき受動態

- a** ① だれがこの本を書きましたか。／だれによってこの本は書かれましたか。  
② 彼は何をこわしましたか。／彼によって何がこわされましたか。  
③ あなたはこの花を何と呼びますか。／この花は何と呼ばれていますか。
- b** 彼はわたしを笑いました。／わたしは彼によって笑われました。
- d** 彼は1974年に生まれました。

## 練成問題

P68

## 1 解答

- |        |        |       |       |        |
|--------|--------|-------|-------|--------|
| (1) イ  | (2) エ  | (3) イ | (4) ウ | (5) ウ  |
| (6) ウ  | (7) ア  | (8) ウ | (9) ウ | (10) ウ |
| (11) エ | (12) ウ |       |       |        |

## 訳と解説

- (1) 「この辞書は多くの学生たちによって使われています。」  
(2) 「その絵は太郎によって描かれました。」  
(3) 「アメリカでは英語が話されています。」  
(4) 「わたしは先生にスピーチをするように頼まれました。」\* 能動態は The teacher asked me to make a speech. という第5文型(SVOC)の形になる。  
(5) 「その答えはインクだけで書かれていなければなりません。」  
(6) 「これらの部屋はいつもきれいにされています。」  
\* 第5文型の受動態(行為者は省略されている)。
- (7) 「オーストラリアでは英語が話されていますか。」  
(8) 「この飛行機は何と呼ばれていますか。」  
(9) 「わたしは彼女に笑われました。」\* laugh at … 「…を笑う」  
(10) 「夏目漱石はみんなに知られています。」\* be known to … 「…に知られている」  
(11) 「わたしは試験の結果に満足していません。」  
\* be satisfied with … 「…に満足する」  
(12) 「あなたのお父さんはその知らせに驚くでしょう。」  
\* be surprised at … 「…に驚く」

## 2 解答

- |             |                   |            |
|-------------|-------------------|------------|
| (1) used    | (2) sold          | (3) seen   |
| (4) taken   | (5) be bought     | (6) called |
| (7) written | (8) was surprised |            |

## 訳と解説

- (1) 「英語は世界の多くの場所で使われています。」  
 (2) 「新しい種類の切手为本日、発売されました。」  
 (3) 「数羽の鳥がその庭で見られました。」  
 (4) 「このバスで空港に連れていってもらえます[このバスに乗れば空港に着きます]。』 \* take A to B 「A を B に連れていく」

- (5) 「幸せはお金で買うことはできません。」 \* この文の主語 Happiness は〈買われる側〉であるので、受動態の文でなければならないことに注意する。  
 (6) 「この花は英語で何と呼ばれていますか。」  
 (7) 「この手紙はいつ彼によって書かれたのですか。」  
 (8) 「昨夜、わたしはその知らせに驚きました。」

## 3 解答

- |                        |                                |                    |
|------------------------|--------------------------------|--------------------|
| (1) is, by             | (2) were                       | (3) will be done   |
| (4) can, seen          | (5) were given                 | (6) will be taught |
| (7) was named          | (8) be left open               | (9) Was, drawn by  |
| (10) Did, write        | (11) didn't, me                | (12) Do, speak     |
| (13) was, built        | (14) were these pictures taken |                    |
| (15) do you[they] call | (16) interested in             | (17) known to      |
| (18) was pleased with  |                                |                    |

## 訳と解説

- (1) ㉠ 「すべての生徒が山田先生を好きです。」  
 ㉡ 「山田先生はすべての生徒に好かれています。」  
 (2) ㉠ 「知子はたくさんの本を読みました。」 \* この read は過去形であることに注意。  
 ㉡ 「たくさん本が知子によって読まれました。」  
 (3) ㉠ 「彼はあした、その仕事をするでしょう。」  
 ㉡ 「その仕事はあした、彼によってなされるでしょう。」  
 (4) ㉠ 「わたしたちは動物園でライオンを見ることができま  
す。」  
 ㉡ 「ライオンは動物園で見られます。」 \* by us が省略  
されている。  
 (5) ㉠ 「おじはわたしに数冊の英語の本をくれました。」  
 \* 第4文型の文。  
 ㉡ 「数冊の英語の本がおじによってわたしに与えられま  
した。」  
 (6) ㉠ 「グリーン先生が来年、あなた(たち)に英語を教える  
でしょう。」 \* 第4文型の文。  
 ㉡ 「英語はグリーン先生によって来年、あなた(たち)に  
教えられるでしょう。」  
 (7) ㉠ 「わたしたちはその船をメイフラワー号と名づけまし  
た。」 \* 第5文型の文。  
 ㉡ 「その船はメイフラワー号と名づけられました。」

- \* by us が省略されている。  
 (8) ㉠ 「あなたは扉を開けたままにははいけません。」  
 \* 第5文型の文。  
 ㉡ 「扉は開けたままにされてはいけません。」  
 \* by you が省略されている。  
 (9) ㉠ 「あなたの5歳の息子さんがこの絵を描いたのです  
か。」  
 ㉡ 「この絵はあなたの5歳の息子さんによって描かれた  
のですか。」  
 (10) ㉠ 「この手紙はトムによって書かれたのですか。」 \* 受動  
態から能動態への書きかえ。  
 ㉡ 「トムがこの手紙を書いたのですか。」  
 (11) ㉠ 「わたしは姉[妹]に手伝ってもらいませんでした。」  
 \* 受動態から能動態への書きかえ。  
 ㉡ 「姉[妹]はわたしを手伝ってくれませんでした。」  
 (12) ㉠ 「ブラジルではスペイン語が話されているのですか。」  
 ㉡ 「ブラジルではスペイン語を話すのですか。」  
 (13) ㉠ 「いつ彼らはこの船を造ったのですか。」  
 ㉡ 「いつこの船は造られたのですか。」 \* by them が省  
略されている。  
 (14) ㉠ 「いつ彼らはこれらの写真を撮ったのですか。」  
 ㉡ 「いつこれらの写真は彼らによって撮られたのです  
か。」

- (15) ㉠ 「その本は日本語で何と呼ばれていますか。」  
 ㉡ 「その本を日本語で何と呼んでいますか。」 \* 適当な主語を補う。  
 (16) ㉠ 「その本はわたしに興味をもたせます。」 \* interest は「…に興味をもたせる」の意味の動詞。  
 ㉡ 「わたしはその本に興味があります。」

- \* be interested in … 「…に興味がある」  
 (17) ㉠ 「みんなイチローを知っています。」  
 ㉡ 「イチローはみんなに知られています。」  
 (18) ㉠ 「彼の成功はみんなを喜ばせました。」  
 ㉡ 「みんなが彼の成功に喜びました。」 \* be pleased with … 「…に喜ぶ」

P70 4 解答

- (1) This book is used by children.  
 (2) These letters were written by Masao last year.  
 (3) This dress was made by my sister.  
 (4) These oranges were bought by her.  
 (5) The door was shut slowly by her.  
 (6) I was taken to the zoo by my father yesterday.  
 (7) The song will be loved by everybody.  
 (8) You will be sent the package by my mother.  
 [The package will be sent (to) you by my mother.]  
 (9) Mt. Fuji can be seen from here.  
 (10) The room is always kept clean by her.  
 (11) The work has been finished by Jack.  
 (12) Was this radio made by your father?  
 (13) When was this chair made by John?  
 (14) Why was Mr. Smith invited to dinner by the family?  
 (15) What is this bird called in English?  
 (16) Our principal introduced him to us.  
 (17) Mr. West teaches us English.  
 [Mr. West teaches English to us.]  
 (18) What language do they[you] speak in Canada?

訳と解説

- (1) 「子供たちはこの本を使います。」 → 「この本は子供たちによって使われています。」  
 (2) 「政夫は去年、これらの手紙を書きました。」 → 「これらの手紙は去年、政夫によって書かれました。」  
 (3) 「わたしの姉[妹]がこのドレスを作りました。」 → 「このドレスはわたしの姉[妹]によって作られました。」  
 (4) 「彼女はこれらのオレンジを買いました。」 → 「これらのオレンジは彼女によって買われました。」  
 (5) 「彼女はゆっくりとその扉を閉めました。」 → 「その扉は彼女によってゆっくりと閉められました。」 \* shut は shut - shut - shut と活用する。  
 (6) 「きのう、父がわたしを動物園に連れていきました。」 → 「きのう、わたしは父によって動物園に連れていって

- もらいました。」  
 (7) 「みんなその歌を愛するでしょう。」 → 「その歌はみんなに愛されるでしょう。」  
 (8) 「わたしの母はあなたにその包みを送るでしょう。」 → 「あなたはわたしの母によってその包みを送られるでしょう。」または「その包みはわたしの母によってあなたに送られるでしょう。」 \* 第4文型の文なので、2つの目的語のそれぞれを主語にした2通りの受動態を作ることが可能。  
 (9) 「ここから富士山を見ることができます。」 → 「富士山はここから見られます。」  
 (10) 「彼女はいつもその部屋をきれいにしています。」 → 「その部屋は彼女によっていつもきれいにされています。」 \* always の位置に注意。ふつう is[am / are / was /

were]の直後に置く。

- (11) 「ジャックはその仕事を終わりました。」 → 「その仕事はジャックによって終わられました。」
- (12) 「あなたのお父さんがこのラジオを作ったのですか。」  
→ 「このラジオはあなたのお父さんによって作られたのですか。」
- (13) 「ジョンはいつこのいすを作ったのですか。」 → 「このいすはジョンによっていつ作られたのですか。」
- (14) 「なぜその家族はスミスさんを夕食に招待したのですか。」 → 「なぜスミスさんはその家族によって夕食に招待されたのですか。」 \* invite A to B [AをBに招待する]
- (15) 「英語でこの鳥は何と呼びますか。」 → 「英語でこの鳥は

何と呼ばれていますか。」 \* youは「一般的な人々」なので、by youはふつう省略する。

- (16) 「彼はわたしたちの校長先生によってわたしたちに紹介されました。」 → 「わたしたちの校長先生が彼をわたしたちに紹介しました。」 \* introduce A to B [AをBに紹介する]
- (17) 「英語はウエスト先生によってわたしたちに教えられています。」 → 「ウエスト先生がわたしたちに英語を教えています。」 \* 第4文型または前置詞toを用いて第3文型に書きかえることができる。
- (18) 「カナダでは何語が話されているのですか。」 → 「カナダでは何語を話しているのですか。」 \* 適当な主語を補う。

5 解答

- (1) been, since (2) be seen (3) By
- (4) is spoken (5) is known to (6) is covered with
- (7) are much[very / greatly] surprised at (8) is made of
- (9) made into (10) It is said

解説

- (3) 「だれによってその窓はこわされたのですか。」という受動態の文を完成する。
- (4) 「…をはめる[けなす]」 speak well[ill] of …

- (9) 「AからBが作られる。」は、B is made from A. またはA is made into B. で表す。
- (10) 「…だそうです。」は、They say (that) … や It is said (that) … など表す。

6 解答

- (1) This book is read by many[a lot of] students.
- (2) Both English and French are spoken in Canada.
- (3) This desk was given (to) me by my uncle.  
[I was given this desk by my uncle.]
- (4) Is sugar sold at that store[shop]?
- (5) He will be invited to Mary's birthday party.
- (6) When was this school built?
- (7) John is interested in drawing[painting] pictures.

解説

- (2) 「AとBの両方」 both A and B
- (3) 2通りの受動態の表現が可能。

- (7) 「～することに興味がある」は、動名詞を用いてbe interested in ~ingで表す。

発展問題

1 解答

- (1) written by (2) Who[Whom], by (3) whom was
- (4) cannot[can't] be solved (5) Do they sell (6) You[We / They], speak

- |                        |                    |                   |
|------------------------|--------------------|-------------------|
| (7) being covered with | (8) surprised at   | (9) be taken      |
| (10) were looked, by   | (11) was spoken to | (12) was run over |
| (13) known             | (14) born on       | (15) born, ago    |
| (16) called            | (17) said          |                   |

訳と解説

- (1) a 「だれがこの本を書いたのですか。」  
 b 「この本はだれによって書かれたのですか。」
- (2) a 「だれがこの窓をこわしましたか。」  
 b 「この窓はだれによってこわされたのですか。」
- (3) a 「だれがこの外国映画を監督したのですか。」  
 b 「この外国映画はだれによって監督されたのですか。」
- (4) a 「科学は生命の問題をすべて解明することができるわけではありません。」  
 b 「生命の問題の中には科学で解明されることができないものもあります。」
- (5) a 「あの店でバターは売られていますか。」  
 b 「あの店ではバターを売っていますか。」 \* 適当な主語を補う。
- (6) a b 「授業で日本語を話してはいけません。」 \* 適当な主語を補う。
- (7) a 「雪が白馬岳を覆いつつあります。」 \* 現在進行形の文。  
 b 「白馬岳は雪によって覆われつつあります。」  
 \* 進行形の受動態は《be being + 過去分詞》という形になる。
- (8) a 「その知らせはわたしには大きな驚きでした。」 \* この surprise は名詞。  
 b 「わたしはその知らせにおおいに驚きました。」
- (9) a 「わたしの息子はその犬の世話をしなければなりません。」  
 \* take care of … 「…の世話をする」
- b 「その犬はわたしの息子によって世話をされなければなりません。」
- (10) a 「わたしたちが外出している間、トムが犬たちの面倒を見ました。」  
 b 「わたしたちが外出している間、犬たちはトムによって面倒を見られました。」 \* look after … 「…の面倒を見る」
- (11) a 「かわいい女の子が通りでわたしに話しかけました。」  
 \* speak to … 「…に話しかける」  
 b 「わたしは通りでかわいい女の子に話しかけられました。」 \* to を落とさないことに注意。
- (12) a 「通りでバスが犬をひきました。」 \* run over … 「…をひく」  
 b 「通りで犬がバスにひかれました。」 \* over を落とさないことに注意。
- (13) a 「わたしは世界でもっと有名になりたい。」  
 b 「わたしは世界にもっとよく知られたい。」
- (14) a 「3月10日はわたしの誕生日です。」  
 b 「わたしは3月10日に生まれました。」 \* 日付を表す前置詞は on。
- (15) a 「その少年は10歳です。」  
 b 「その少年は10年前に生まれました。」
- (16) a b 「豪雨のためにその試合は中止となりました。」  
 \* call off … 「…を中止する」
- (17) a b 「彼女は料理がとても上手だそうです。」

P73 2 解答

- (1) This kind of car is not [isn't] sold in America.  
 (2) He was elected chairperson by the students.  
 (3) I was laughed at by the boys.  
 (4) The babies were taken care of by him.  
 (5) Your shoes must be taken off in this room.  
 (6) Can Mt. Fuji be seen from your room?  
 (7) The door must not [mustn't] be left open.  
 (8) By whom was the note written? [Who [Whom] was the note written by?]  
 (9) By whom will this work be completed?  
 [Who [Whom] will this work be completed by?]

- (10) They are known to everybody.  
 (11) I was surprised at the news of his death.  
 (12) Wine is made from grapes. [Grapes are made into wine.]  
 (13) The kitchen was filled with smoke.  
 (14) We can see stars at night.  
 (15) Who shut the door?  
 (16) Betty has washed the dishes.  
 (17) They say (that) Mary is a kind girl.

### 訳と解説

- (1) 「アメリカではこの種の車は売っていません。」  
 →「アメリカではこの種の車は売られていません。」  
 ＊この kind は「種類」の意味。  
 (2) 「生徒たちは彼を議長に選びました。」→「彼は生徒たちによって議長に選ばれました。」  
 (3) 「その少年たちはわたしを笑いました。」→「わたしはその少年たちに笑われました。」  
 (4) 「彼が赤ちゃんたちの面倒を見ました。」  
 →「赤ちゃんたちは彼によって面倒を見られました。」  
 ＊ of を落とさないように注意する。  
 (5) 「この部屋の中では靴を脱がなければいけません。」  
 ＊ off を落とさないように注意する。  
 (6) 「あなたの部屋から富士山が見えますか。」  
 (7) 「その扉を開けたままにははいけません。」→「その扉は開けたままにされてはいけません。」  
 (8) 「だれがそのメモを書いたのですか。」→「だれによってそのメモは書かれたのですか。」

- (9) 「だれがこの仕事を完成するのですか。」→「だれによってこの仕事は完成されるのですか。」  
 (10) 「みんな彼らを知っています。」→「彼らはみんなに知られています。」  
 (11) 「彼の死の知らせはわたしを驚かせました。」→「わたしは彼の死の知らせに驚きました。」  
 (12) 「ワインはブドウから作られます。」  
 (13) 「煙が台所を満たしました。」→「台所は煙で充滿していました。」＊ be filled with …「…で満たされる [いっぱいである]」  
 (14) 「夜に星が見られます。」→「わたしたちは夜に星を見ることができます。」  
 (15) 「だれによってその扉は閉められたのですか。」→「だれがその扉を閉めたのですか。」  
 (16) 「皿はベティによって洗われたところです。」→「ベティが皿を洗ったところです。」  
 (17) 「メアリーは親切な女の子だそうです。」

### 3 解答

- (1) Linda was pleased with the present.  
 (2) (Her ball-point pen) was stolen on the train (yesterday).  
 (3) He is taken care of by his uncle.  
 (4) Letters must not be written in red ink.  
 (5) By whom was this old house built? [Whom was this old house built by?]  
 (6) The top of the mountain was covered with snow.  
 (7) Who was the lady being spoken to by (at the restaurant?)

### 解説

- (4) 「(赤)インクで」 in (red) ink  
 (5) 「だれによってこの古い家は建てられましたか。」という

文を完成する。

- (7) 進行形の受動態は《be being + 過去分詞》の形をとる。

4 解答

- (1) My parents were invited to dinner by their American friends[an American friend] yesterday evening. \* yesterday evening は last night も可。
- (2) His parents were not satisfied with the result of his[the] examination [exam / test].
- (3) My mother was pleased with the new house.
- (4) Why were you laughed at?
- (5) When and where was he born?
- (6) It is often said (that) the Japanese are poor[bad] at mastering a foreign language.  
\* are poor[bad] at は are not good at も可。

解説

(4) at を落とさないように注意する。

(6) 「～するのが苦手だ」は動名詞を用いて, be poor[bad] at ~ing で表す。

練成問題

1 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) イ  | (2) ウ  | (3) ウ  | (4) エ  | (5) イ  |
| (6) ア  | (7) イ  | (8) イ  | (9) イ  | (10) イ |
| (11) エ | (12) イ | (13) ア | (14) ウ | (15) イ |
| (16) イ |        |        |        |        |

訳と解説

- (1) 「鏡の前にすわっている女の子はわたしの姉[妹]です。」  
\* in front of … 「…の前に」
- (2) 「わたしたちは500年前に建てられた寺を訪れました。」
- (3) 「カナダで話されている言語は英語とフランス語です。」
- (4) 「アメリカ人に話しかけている女の子を見て。」  
\* speak to … 「…に話しかける」
- (5) 「わたしの父によって語られた物語はおもしろかった。」  
\* この by は「…によって」の意味。
- (6) 「ピアノのそばに立っている男性はわたしたちの先生です。」 \* この by は「…のそばに」の意味。
- (7) 「向こうに見える塔は有名な寺です。」 \* 修飾される名詞 The tower は《見られる側》なので、see 「見る」の過去分詞を選ぶ。
- (8) 「雪で覆われた山は美しいです。」
- (9) 「ネッドは日本で作られた(日本製の)時計を持っています。」
- (10) 「机の上に割れたカップがありました。」 \* 修飾される名詞 cup は《割られる側》なので、break 「割る、こわ

- す」の過去分詞を選ぶ。
- (11) 「わたしはその死にかけている動物を助けようと決心しました。」 \* dead は「死んだ」という意味の形容詞。
- (12) 「見て！彼がもう1本ホームランを打ったよ！— ああ、それは本当に驚くべきことだ。」 \* SVC の文。主語 that (=彼がもう1本ホームランを打ったこと) は《驚かせる側》なので、surprise 「驚かせる」の現在分詞を選ぶ。
- (13) 「きのう行われたサッカーの試合は興奮するものでした。」 \* SVC の文。主語 The soccer game は《興奮させる側》なので、excite 「興奮させる」の現在分詞を選ぶ。
- (14) 「こんなに長くあなたをお待たせして(待っているままにして)すみません。」
- (15) 「彼女が扉のところでほえんでいるのがわかりました。」 \* SVOC の文。
- (16) 「母は今、わたしたちの昼食を準備するのに忙しい。」  
\* be busy ~ing 「～するのに忙しい」

2 解答

- |              |               |              |              |              |
|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) skiing   | (2) standing  | (3) spoken   | (4) played   | (5) playing  |
| (6) sleeping | (7) writing   | (8) written  | (9) known    | (10) made    |
| (11) built   | (12) swimming | (13) painted | (14) shining | (15) given   |
| (16) caught  | (17) lying    | (18) covered | (19) waiting | (20) waiting |
| (21) running |               |              |              |              |

訳と解説

- (1) 「斜面でスキーをしている少年はわたしの兄[弟]です。」  
\* ski の現在分詞は skiing となることに注意する。
- (2) 「ドアのところに立っている紳士はわたしのおじです。」
- (3) 「オーストラリアで話されている言語は英語です。」
- (4) 「きのう行われた野球の試合は一番でした。」

- (5) 「ボブとテニスをしている女の子はわたしの姉[妹]です。」
- (6) 「眠っている赤ちゃんを見て。」
- (7) 「机で手紙を書いている女の子はわたしの姉[妹]です。」
- (8) 「フランス語で書かれたその手紙をわたしに見せてください。」

- (9) 「彼は世界中で知られた有名な作家です。」 \* all over …  
「…じゅうで」
- (10) 「日本で作られた時計は外国でとても人気があります。」
- (11) 「日本人の多くは木で作られた家に住んでいます。」
- (12) 「向こうで泳いでいる女の子はわたしの姉[妹]です。」
- (13) 「ペンキが塗られた壁をさわらないように。」
- (14) 「空で輝いている星を見て。」
- (15) 「これはおじによってわたしに与えられた辞書です。」
- (16) 「これはその湖で捕まえられた魚です。」
- (17) 「わたしたちは彼がベンチで横たわっているのがわかり

- ました。」 \* SVOC の文。lie の現在分詞は lying となることに注意する。
- (18) 「わたしは富士山が雪で覆われているのがわかりました。」 \* SVOC の文。
- (19) 「あなたをずっとお待ちさせてすみません。」
- (20) 「彼は立ってバスを待っていました。」 \* stand ~ing  
「立って~している」, wait for … 「…を待つ」
- (21) 「5人以上の少年たちが走りながら来ました。」  
\* come ~ing 「~しながら来る」, more than … 「…以上の、…より多い」

### 3 解答

- (1) listening to                      (2) written by                      (3) flying  
(4) mountain covered with snow  
(5) story written in easy English  
(6) running                          (7) watching

#### 解説

(2) 「グリーンさんが書いた小説」 → 「グリーンさんによっ

て書かれた小説」と考える。

(5) 「(やさしい)英語で」 in (easy) English

### 発展問題

P80

### 1 解答

- (1) living                              (2) written                              (3) named  
(4) drawn by                          (5) playing                              (6) interesting to  
(7) boring, made me                  (8) made of                              (9) lying on

#### 訳と解説

- (1) a 「マイクは文通相手から手紙を受け取りました。彼の文通相手は日本に住んでいます。」  
b 「マイクは日本に住んでいる文通相手から手紙を受け取りました。」
- (2) a 「きのう、わたしは英語の本を読みました。」  
b 「きのう、わたしは英語で書かれた本を読みました。」
- (3) a 「わたしは医者を知っています。彼の名前はジョンです。」  
b 「わたしはジョンという名前の(ジョンと名づけられた)医者を知っています。」
- (4) a 「ベティは2枚の絵を描きました。それらはとてもすてきなものでした。」  
b 「ベティによって描かれた2枚の絵はとてもすてきなものでした。」
- (5) a 「その部屋の中にいる女の子はだれですか。彼女はバイオリンを弾いています。」

- b 「その部屋の中でバイオリンを弾いている女の子はだれですか。」
- (6) a 「わたしはその映画に興味を持ちました。」  
b 「その映画はわたしには興味深いものでした。」 \* SVC の文。主語 The movie は《興味を持たせる側》なので、interest 「興味を持たせる」の現在分詞を用いる。
- (7) a 「わたしはそのスピーチに退屈し、眠くなりました。」  
b 「その退屈なスピーチはわたしを眠くさせました。」 \* 修飾される名詞 speech は《退屈させる側》なので、bore 「退屈させる」の現在分詞を用いる。
- (8) a 「鉄製のその門を見て。」  
b 「鉄で作られたその門を見て。」
- (9) a 「彼らは少年に話しかけました。彼は草の上に横たわっていました。」 \* lay は lie 「横たわる」の過去形。  
b 「彼らは草の上に横たわっている少年に話しかけました。」

## 2 解答

- (1) picture[photograph] taken, swimming (2) rising, seen  
(3) closed[shut], tell (4) stood waiting (5) listening  
(6) busy doing[with]

### 解説

- (1) 「～しに行く」 go ~ing  
(2) 「日の出」 = 「昇っている太陽」と考える。また、「日の出」は《見られる側》なので、see の過去分詞を用いる。  
(3) 「目を閉じている」 = 「目を閉じられたままにしておく」と考える。  
(5) 「…を～して過ごす」 spend … ~ing  
(6) 「～ずるのに忙しい」は busy ~ing。ここでは、「宿題で忙しい」と考え、《busy with + 名詞》「…で忙しい」を用いても可。

## 3 解答

- (1) Cars made in Japan are used all over the world.  
(2) This is the book chosen[selected] by our teacher.  
(3) The baby sleeping in the bed is six months old.  
(4) I like the bag given to me by my aunt.  
(5) Do you know the boy walking with his hands in his pockets?  
(6) (All the) people invited to the party enjoyed singing (songs.)  
(7) The lost child was returned to her parents.  
(8) (He) left the engine running while he (was in the store.)  
(9) I found her walking with a racket in her hand.

### 解説

- (2) by に着目し、「先生が選んだ」→「先生によって選ばれた」と考える。「選ぶ」は choose。  
\* choose - chose - chosen  
(5) 「ポケットを手に入れて」は付帯状況を表す with A B 「A が B の状態で」を用いて、with his hands in his pockets と表す。

## 4 解答

- (1) Is the man washing a[the] car over there your father?  
(2) I found my father reading a[the] (news) paper.  
(3) He has a camera made in Germany.  
(4) He kept his friend[friends] waiting for two hours.

### 解説

- (4) 「2時間」 for two hours

## 練成問題

P84

## 1 解答

- (1) He works at the shop near my house.
- (2) She spoke Japanese very well.
- (3) He came to see you yesterday.
- (4) She is singing over there.
- (5) It leaves this station at 12:00.
- (6) It was made in Germany.
- (7) It was written by him.

## 訳と解説

- (1) 「あちらがわたしの家の近くの店で働いている男性です。」  
→「あちらがその男性です。彼はわたしの家の近くの店で働いています。」
- (2) 「わたしは日本語をととても上手に話すアメリカ人女性に会いました。」  
→「わたしはアメリカ人女性に会いました。彼女は日本語をととても上手に話しました。」
- (3) 「きのうあなたに会いに来た少年はわたしのクラスメートでした。」  
→「その少年はわたしのクラスメートでした。彼はきのう、あなたに会いに来ました。」\*文の主語 the boy が先行詞なので、どこまでが関係代名詞節なのかに注意す

る。

- (4) 「向こうで歌っている女の子はわたしの姉[妹]です。」  
→「その女の子はわたしの姉[妹]です。彼女は向こうで歌っています。」\*文の主語 the girl が先行詞であることに注意する。
- (5) 「これがこの駅を 12 時に出発する列車です。」  
→「これがその列車です。それはこの駅を 12 時に出発します。」
- (6) 「彼はドイツ製のカメラを持っています。」  
→「彼はカメラを持っています。それはドイツ製です。」
- (7) 「彼によって書かれた小説はとてもおもしろかった。」  
→「その小説はとてもおもしろかった。それは彼によって書かれました。」\*文の主語 the story が先行詞であることに注意する。

## 2 解答

- (1) I have a friend who[that] can speak French.
- (2) I met a girl who[that] had long hair.
- (3) I have an uncle who[that] works in New York.
- (4) The woman who[that] was here yesterday has gone to London.
- (5) This is the building which[that] was built last year.
- (6) The book which[that] tells us a lot about space is very interesting.

## 訳と解説

- (1) 「わたしには友達があります。彼はフランス語を話せます。」  
→「わたしにはフランス語を話せる友達があります。」  
\* he = a friend に着目する。a friend を先行詞《人》とし、he を主格の関係代名詞 who にかえ、先行詞に続ける。

- (2) 「わたしは女の子に会いました。彼女は長い髪をしていました。」→「わたしは長い髪をした女の子に会いました。」\* she = a girl なので、a girl を先行詞《人》とする。
- (3) 「わたしにはおじがいます。彼はニューヨークで働いています。」→「わたしにはニューヨークで働いているおじがいます。」\* he = an uncle なので、an uncle を

先行詞《人》とする。

- (4) 「その女性はロンドンへ行ってしまいました。彼女はきのう、ここにいました。」→「きのうここにいたその女性はロンドンへ行ってしまいました。」\* she = the woman なので、the woman を先行詞《人》とする。文の主語に関係代名詞節が続く形となることに注意する。
- (5) 「これがその建物です。それは去年建てられました。」→「これが去年建てられた建物です。」\* it = the

building なので、the building を先行詞《人以外のもの》とする。

- (6) 「その本はとてもおもしろい。それはわたしたちに宇宙についてたくさんを教えてください。」→「わたしたちに宇宙についてたくさんを教えてください。その本はとてもおもしろい。」\* it = the book なので、the book を先行詞《人以外のもの》とする。文の主語に関係代名詞節が続く形となることに注意する。

### 3 解答

- (1) Do you know the girl who[that] came here yesterday?  
(2) He has a son who[that] became an artist.  
(3) The man who[that] is reading the newspaper is my father.  
(4) I have a dog which[that] swims very well.  
(5) These are the letters which[that] were written by my mother.  
(6) The white building which[that] stands on that hill is a church.

P85

#### 解説

- (1) the girl を先行詞《人》とし、「きのうここに来た女の子」の部分に関係代名詞節を用いる。  
(2) a son を先行詞《人》とし、「画家になった息子」の部分に関係代名詞節を用いる。  
(3) the man を先行詞《人》とし、「新聞を読んでいる男の人」の部分に関係代名詞節を用いる。先行詞が文の主語であることに注意する。

- (4) a dog を先行詞《人以外のもの》とし、「とても上手に泳ぐ犬」の部分に関係代名詞節を用いる。  
(5) the letters を先行詞《人以外のもの》とし、「わたしの母によって書かれた手紙」の部分に関係代名詞節を用いる。  
(6) the white building を先行詞《人以外のもの》とし、「あの丘の上に立っている白い建物」の部分に関係代名詞節を用いる。先行詞が文の主語であることに注意する。

### 4 解答

- (1) Every student likes him.  
(2) I have known them for more than ten years.  
(3) I taught her last year.  
(4) I saw him at the station.  
(5) My mother made it.  
(6) I bought it in Japan.  
(7) I read it yesterday.

#### 訳と解説

- (1) 「彼はどの生徒も好きな教師です。」→「彼は教師です。どの生徒も彼が好きです。」  
(2) 「わたしには10年以上知り合いの友達が何人かいます。」→「わたしには友達が何人かいます。わたしは彼らを10年以上知っています。」\* more than … 「…以上」  
(3) 「わたしが去年教えた女の子はとても一生懸命勉強しま

した。」→「その女の子はとても一生懸命勉強しました。わたしは去年、彼女を教えました。」

\* 文の主語 the girl が先行詞なので、どこまでが関係代名詞節なのかに注意する。

- (4) 「わたしが駅で見かけた男性はとても背が高かった。」→「その男性はとても背が高かった。わたしは彼を駅で見かけました。」\* 文の主語 the man が先行詞である

ことに注意する。

- (5) 「わたしは母が作ったケーキを食べました。」  
→ 「わたしはケーキを食べました。わたしの母がそれを作りました。」
- (6) 「わたしが日本で買ったカメラはとても高価でした。」  
→ 「そのカメラはとても高価でした。わたしはそれを日

本で買いました。」 \* 文の主語 the camera が先行詞であることに注意する。

- (7) 「わたしがきのう読んだ本はおもしろかった。」 → 「その本はおもしろかった。わたしはきのう、それを読みました。」 \* 文の主語 the book が先行詞であることに注意する。

5 解答

- (1) I know a kind teacher whom[that] everyone likes.  
 (2) That is the police officer whom[that] we asked the way to the library.  
 (3) The man whom[that] I met yesterday spoke Japanese very well.  
 (4) This is the house which[that] my father built by himself.  
 (5) The fish which[that] I caught yesterday was very big.  
 (6) This dictionary which[that] my father bought for me is very useful.

訳と解説

- (1) 「わたしは親切な先生を知っています。だれもが彼が好きです。」 → 「わたしはだれもが好きな親切な先生を知っています。」 \* him = a kind teacher に着目する。a kind teacher を先行詞《人》とし、him を目的格の関係代名詞 whom にかえ、先行詞に続ける。
- (2) 「あれがその警官です。わたしたちは彼に図書館への道をたずねました。」 → 「あれがわたしたちが図書館への道をたずねた警官です。」 \* him = the police officer なので、the police officer を先行詞《人》とする。
- (3) 「その男性は日本語をととても上手に話しました。わたしはきのう、彼に会いました。」 → 「わたしがきのう会った男性は日本語をととても上手に話しました。」 \* him = the man なので、the man を先行詞《人》とする。文の主語に關係代名詞節が続く形となることに注意する。

- (4) 「これがその家です。父が独力でそれを建てました。」  
→ 「これが父が独力で建てた家です。」 \* it = the house なので、the house を先行詞《人以外のもの》とする。なお、by oneself は「独力で」という意味。
- (5) 「その魚はとても大きかった。わたしはきのう、それを捕まえました。」 → 「わたしがきのう捕まえた魚はとても大きかった。」 \* it = the fish なので、the fish を先行詞《人以外のもの》とする。文の主語に關係代名詞節が続く形となることに注意する。
- (6) 「この辞書はとても役立ちます。父がそれをわたしに買ってくれました。」 → 「父がわたしに買ってくれたこの辞書はとても役立ちます。」 \* it = this dictionary なので、this dictionary を先行詞《人以外のもの》とする。文の主語に關係代名詞節が続く形となることに注意する。

6 解答

- (1) ア                      (2) イ                      (3) イ                      (4) ウ                      (5) ア  
 (6) ウ                      (7) ア                      (8) イ                      (9) ウ

訳と解説

- (1) 「わたしたちはタイプを打てる若い女性を雇いたい。」  
\* a young woman が先行詞《人》で、直後に(助)動詞が続くことから、主格の關係代名詞が入る。
- (2) 「川のそばに建つその家はとても古く見えます。」 \* the house が先行詞《人以外のもの》で、直後に動詞が続くことから、主格の關係代名詞が入る。
- (3) 「グリーン先生はわたしたちに英語を教える教師です。」  
\* a teacher が先行詞《人》で、直後に動詞が続くこ

とから、主格の關係代名詞が入る。

- (4) 「わたしは美しい庭のある家が欲しい。」 \* a house が先行詞《人以外のもの》で、直後に動詞が続くことから、主格の關係代名詞が入る。
- (5) 「この絵を描いた女性が来週、わたしたちの学校へ来るでしょう。」 \* the woman が先行詞《人》で、直後に動詞が続くことから、主格の關係代名詞が入る。
- (6) 「ジェーンはわたしが2年前から知っているアメリカ人の女の子です。」 \* an American girl が先行詞《人》

で、あとの動詞(have known)の目的語にあたることから、目的格の関係代名詞が入る。

- (7) 「わたしが去年訪れた村はとても静かなところでした。」  
\* the village が先行詞《人以外のもの》で、あとの動詞(visited)の目的語にあたることから、目的格の関係代名詞が入る。
- (8) 「こちらがあなたが公園で見かけた子供ですか。」 \* the

child が先行詞《人》で、あとの動詞(saw)の目的語にあたることから、目的格の関係代名詞が入る。

- (9) 「これはわたしがヨーロッパで撮った写真の1枚です。」  
\* the pictures が先行詞《人以外のもの》で、あとの動詞(took)の目的語にあたることから、目的格の関係代名詞が入る。

## 7 解答

- (1) who[that] plays                      (2) which[that] are                      (3) who[that] lives  
(4) who[that] are                          (5) which[that] was taken              (6) whom[that], met  
(7) which[that], took                      (8) with

## 訳と解説

- (1)① 「わたしは女の子を知っています。彼女はピアノをととても上手に弾きます。」  
② 「わたしはピアノをととても上手に弾く女の子を知っています。」
- (2)① 「その映画女優は大きな青色の目をしています。それらはとても美しい。」  
② 「その映画女優はとても美しい大きな青色の目をしています。」
- (3)①② 「あの家に住んでいる男性を知っていますか。」  
\* 分詞句から関係代名詞節への書きかえ。
- (4)①② 「わたしは運動場で走っている女の子たちを知っています。」 \* 分詞句から関係代名詞節への書きかえ。先行詞が複数(girls)なので、関係代名詞に続く動

詞が are となることに注意。

- (5)①② 「これが祖父によって撮られた写真です。」 \* 分詞句から関係代名詞節への書きかえ。文意から考え、関係代名詞中の時制は過去とする。
- (6)① 「あの女性はわたしたちの先生です。あなたはきのう、彼女に会いました。」  
② 「あなたがきのう会ったあの女性はわたしたちの先生です。」
- (7)① 「ポールによって撮られた写真を見て。」  
② 「ポールが撮った写真を見て。」 = Look at the picture which was taken by Paul.
- (8)①② 「赤い屋根を持つその家はわたしのおじのものです。」 \* 関係代名詞節から前置詞句への書きかえ。

## 8 解答

- (1) He is the kind boy who told[showed] us the way to the station.  
(2) Do you know the woman who is playing tennis over there?  
(3) This is the CD which is popular among[with] young people now.  
(4) This morning I received[got] a letter which was written in French.  
(5) This is the camera which I bought in Japan.  
(6) I am[I'm] reading the book which my father gave (to) me yesterday.  
(7) The fish which I caught yesterday was not very[so] big.  
(8) The man whom I met[saw] there was very kind to me.  
(9) The building which you (can) see over there is our school.

## 解説

- (1) 「わたしたちに駅への道を教えてくれた親切な少年」の部分に関係代名詞節を用いる。「少年」を先行詞《人》とし、「その少年が教えてくれた」となるので、主格の関係代名詞を用いる。

- (2) 「向こうでテニスをしている女の人の」の部分に関係代名詞節を用いる。「女の人の」を先行詞《人》とし、「その女の人がテニスをしている」となるので、主格の関係代名詞を用いる。

- (3) 「今若い人たちに人気のある CD」の部分に関係代名詞

節を用いる。「the CD」を先行詞《人以外のもの》とし、「そのCDが人気がある」となるので、主格の関係代名詞を用いる。

\* 「…に人気のある」popular among[with]…

- (4) 「フランス語で書かれた手紙」の部分に関係代名詞節を用いる。「手紙」を先行詞《人以外のもの》とし「その手紙がフランス語で書かれていた」となるので、主格の関係代名詞を用いる。
- (5) 「わたしが日本で買ったカメラ」の部分に関係代名詞節を用いる。「カメラ」を先行詞《人以外のもの》とし「わたしがそのカメラを買った」となるので、目的格の関係代名詞を用いる。
- (6) 「父がきのうわたしにくれた本」の部分に関係代名詞節を用いる。「本」を先行詞《人以外のもの》とし「父が

その本をくれた」となるので、目的格の関係代名詞を用いる。

- (7) 「わたしがきのう捕まえた魚」の部分に関係代名詞節を用いる。「魚」を先行詞《人以外のもの》とし「わたしがその魚を捕まえた」となるので、目的格の関係代名詞を用いる。
- (8) 「わたしがそこで会った男の人」の部分に関係代名詞節を用いる。「男の人」を先行詞《人》とし「わたしがその男の人に会った」となるので、目的格の関係代名詞を用いる。\* 「…に親切だ」be kind to…
- (9) 「向こうに見える建物(あなたが向こうに見える建物)」の部分に関係代名詞節を用いる。「建物」を先行詞《人以外のもの》とし「あなたがその建物を見ることができるとなるので、目的格の関係代名詞を用いる。

## 発展問題

P88

### 1 解答

- (1) ウ (2) ア (3) イ (4) 工

#### 訳と解説

- (1) 「彼女がわたしが美術館への道をたずねた女性です。」
- (2) 「ワールドカップを開催しようとする国は、やるべきことがたくさんあります。」
- (3) 「扉のところにあなたに会いたがっているだれかがいます。」

す。」\* 先行詞は直前の the door ではなく someone であることに注意する。

- (4) 「変な窓のあるその家を見て。」= Look at the house which has strange windows.

### 2 解答

- (1) who[that] lives in (2) which[that] is (3) whom[that] we know  
(4) which[that] interest (5) which[that], like to

#### 解説

- (4) 「自分が興味をもてる科目」→「あなたに興味をもたせる

科目」と考える。\* 「…に興味をもたせる」interest…

- (5) 「～したい」は would like to ~ を用いる。

### 3 解答

- (1) loved by everybody [whom[that] everybody loves]  
(2) which[that], written (3) who[that] lives (4) which[that] has  
(5) who[that] has[carries, holds] (6) liar

#### 訳と解説

- (1) a 「彼はみんなに愛されている教師です。」  
b 「彼はみんなに愛されている[みんなが愛する]教師です。」\* 《関係代名詞 + be》を省略して分詞句に書きかえるか、または目的格の関係代名詞を用いて「みんなが愛する教師」と書きかえる。
- (2) a 「彼がこのスピーチを書きました。」  
b 「これは彼によって書かれたスピーチです。」

- (3) a b 「この家に住んでいる少年はわたしの1番年上の兄です。」\* elder brother 「兄」

- (4) a b 「中国は長い歴史を持つ大きな国です。」

- (5) a b 「両脇に本をかかえた男性はわたしの兄[弟]です。」

- (6) a 「わたしはうそをつくる人が好きではありません。」

- b 「わたしはうそつきが好きではありません。」

\* 「うそつき」liar

## 4 解答

- (1) The rivers that run through this city are very beautiful.
- (2) The boy who is talking with Ken over there is Mike.
- (3) (The tall boy) who comes from Osaka is a friend of mine.
- (4) The people whom Bill saw were Japanese farmers.
- (5) The steak that we ate for lunch was good.
- (6) Is this the ring which you lost?
- (7) The cat which has blue eyes always looks lonely.
- (8) She has never been to the island that I'm going to visit.
- (9) (What) can we do to help children who live (in Afghanistan?)

## 解説

(1) 「…を流れる」 run through …

(3) 「…の出身」 come from …

(5) 「昼食に…を食べる」は eat … for lunch で表す。

## 5 解答

- (1) Kyoto is the place which[that] I have wanted to visit for a long time.
- (2) The woman whom[that] I met[saw] yesterday was very kind to me.
- (3) Shall I lend you the book which[that] I bought yesterday?
- (4) I haven't finished reading the book which[that] I borrowed from him the other day.

## 解説

(1) 「長い間思っていた」なので、関係代名詞節では現在完了

を用いる。

(4) 「先日」 the other day

## 練成問題

P92

## 1 解答

- (1) The letter / I got yesterday was written in French. (which)  
 (2) These are the pictures / my father took in London. (which)  
 (3) The students / I taught yesterday were able to speak English very well. (whom)  
 (4) They are the scientists / I am interested in. (whom)

## 訳と解説

接触節は、目的格の関係代名詞を省略した形《先行詞+主語+動詞〜》なので、先行詞にあたる(代)名詞とそれに続く《主語+動詞〜》の間に目的格の関係代名詞が省略されている。

- (1) 「わたしがきのう受け取った手紙はフランス語で書かれていました。」

- (2) 「これらはわたしの父がロンドンで撮った写真です。」  
 (3) 「わたしがきのう教えた生徒たちはとても上手に英語を話すことができました。」  
 (4) 「彼らがわたしが興味を持っている科学者たちです。」  
 \*前置詞(ここでは in)の目的語の働きをする関係代名詞。

## 2 解答

- (1) The man we met in the library was very kind.  
 (2) The dress my mother made is prettier than this.  
 (3) (Richard) worked at the drugstore his uncle ran.  
 (4) There is something I would like to tell you.

解説 (4) 「〜したい」 would like to ~

## 3 解答

- (1) He saw a girl whose hair was long.  
 (2) The picture was painted by a man whose name was Pablo Picasso.  
 (3) The mountain whose top is covered with snow is very beautiful.  
 (4) I entered the room whose wall was black.

## 訳と解説

- (1) 「彼は女の子を見かけました。彼女の髪は長かった。」  
 → 「彼は髪が長い女の子を見かけました。」 \* her = a girl に着目する。a girl を先行詞とし、her を所有格の関係代名詞 whose にかえ、先行詞に続ける。  
 (2) 「その絵はある男性によって描かれました。彼の名前はパブロ・ピカソでした。」  
 → 「その絵は名前がパブロ・ピカソという男性によって描かれました。」 \* his = a man なので、a man を先行

詞とする。

- (3) 「その山はとても美しい。その頂上は雪に覆われています。」  
 → 「頂上が雪で覆われているその山はとても美しい。」  
 \* its = the mountain なので、the mountain を先行詞とする。  
 (4) 「わたしはその部屋に入りました。その壁は黒色でした。」  
 → 「わたしは壁が黒色の部屋に入りました。」 \* its = the room なので、the room を先行詞とする。

## 4 解答

- (1) I have a friend whose father is a police officer.  
 (2) Do you know the woman whose hair is long?  
 (3) The house whose roof is red is my aunt's.

## 解説

- (1) a friend を先行詞とし、「父親が警察官をしている友達」の部分に関係代名詞節を用いる。  
 (2) the woman を先行詞とし、「その髪の長い女の人」の部分に関係代名詞節を用いる。

- (3) the house を先行詞とし、「あの赤い屋根の家」の部分に関係代名詞節を用いる。先行詞が文の主語であることに注意する。\* my aunt's の後ろに house が省略されている。

## 5 解答

- (1) who            (2) which            (3) whom            (4) whose            (5) whose  
 (6) whom

## 訳と解説

- (1) 「わたしには医者をしている友達があります。」  
 \* a friend が先行詞《人》で、直後に動詞が続くことから、主格の関係代名詞が入る。  
 (2) 「あの川のそばに立っているホテルの名前をわたしに教えてください。」 \* the hotel が先行詞《人以外のもの》で、直後に動詞が続くことから、主格の関係代名詞が入る。  
 (3) 「わたしがきのう公園で見かけた男性は有名な俳優です。」  
 \* the man が先行詞《人》で、あとの動詞(saw)の目的語にあたることから、目的格の関係代名詞が入る。  
 (4) 「奈良は歴史がとても長い美しい都市です。」 \* a beautiful

city が先行詞で、直後の名詞(history)と「その都市の歴史」のように所有関係にあるので、所有格の関係代名詞が入る。

- (5) 「あちらがわたしがお父さんをよく知っている少女です。」  
 \* the girl が先行詞で、直後の名詞(father)と「その少女のお父さん」のように所有関係にあるので、所有格の関係代名詞が入る。  
 (6) 「あちらがおとといあなたが話していたピアニストですか。」 \* 《前置詞 + 関係代名詞》の形。the pianist が先行詞《人》。この of は spoke のあとに置くこともできる。

## 6 解答

- (1) エ            (2) ウ            (3) イ            (4) ア            (5) ウ  
 (6) イ            (7) イ

## 訳と解説

- (1) 「彼は言葉がわたしには理解できない外国人です。」  
 \* He is a foreigner. と I cannot understand his language. の2文を関係代名詞 whose を用いて1文にしたものとする。whose はそれが修飾する名詞と結びついた形《whose + 名詞》で用いることに注意する。  
 (2) 「言語はコミュニケーションのためにわたしたちが使う唯一の方法ですか。」 \* 先行詞 way に the only がついているので、関係代名詞 that を用いる。  
 (3) 「わたしが読んだすべての本は父のもので。」 \* 先行詞 books に all がついているので、関係代名詞 that を用いる。  
 (4) 「これはわたしが今までに見た中で最も大きな木です。」  
 \* 先行詞 tree に最上級 biggest がついているので、関

係代名詞 that を用いる。

- (5) 「走っている女の子と犬を見て。」 \* 先行詞 the girl and the dog が《人》, 《人以外のもの》の両方を含んでいるので、関係代名詞 that を用いる。  
 (6) 「ここがその医者が1年間住んでいる村です。」 \* 《前置詞 + 関係代名詞》の形。the village が先行詞《人以外のもの》。この in は lived のあとに置くこともできる。関係代名詞 that は《前置詞 + 関係代名詞》の形では用いることができない。  
 (7) 「彼には話すことができる友達がいません。」 \* 《前置詞 + 関係代名詞》の形。「…と話す」は talk with …なので with が必要となる。この with は talk のあとに置くこともできる。

P94 1 解答

- |   |   |
|---|---|
| (1) we took                                   | (2) whose roof is red [with a red roof] |
| (3) whose ears are                            | (4) all[everything] that                |
| (5) with whom                                 | (6) the last                            |
| (7) which[that] we live on [on which we live] |   |

解説

- (3) 「彼女は耳が長い犬を飼っている。」という文を完成する。  
 (4) all には「すべてのもの」という意味の代名詞としての働きもある。  
 (5) 《前置詞＋関係代名詞》の形。\* have a talk with …「…  
 といっしょに話す」  
 (6) the last … 「最も～しそうにない…」  
 (7) 「地球に住む」は live on the earth であることから考  
 える。

2 解答

- |                            |                   |                        |
|----------------------------|-------------------|------------------------|
| (1) I read                 | (2) he wrote      | (3) whose              |
| (4) who[that] / whose, are | (5) whose roof is | (6) whose name we know |
| (7) most, that             | (8) in which      | (9) to whom            |

訳と解説

- (1) a 「わたしはきのうその本を読みました。それはとてもおもしろかった。」  
 b 「わたしがきのう読んだ本はとてもおもしろかった。」  
 \*接触節  
 (2) a 「わたしは彼によって書かれた本をすべて読んでしまいました。」  
 b 「わたしは彼が書いた本をすべて読んでしまいました。」  
 \*接触節  
 (3) a 「ポップと呼ばれる背の高い男性はバスケットボールをととても上手にします。」  
 b 「名前がポップという背の高い男性はバスケットボールをととても上手にします。」  
 (4) a 「ケイトは青い目を持つ女の子です。」  
 b 「ケイトは目が青い女の子です。」  
 (5) a 「見て、赤い屋根のある家がわたしの家です。」  
 b 「見て、屋根が赤い家がわたしの家です。」  
 (6) a 「彼女は有名な歌手です。わたしたちは彼女の名前をよく知っています。」  
 b 「彼女はわたしたちが名前をよく知っている有名な歌手です。」 \* 関係代名詞 whose とそれが修飾する名詞(name)を離さないように注意する。  
 (7) a 「わたしはこんなに美しい場所を今まで訪れたことがありません。」  
 b 「ここはわたしが今までに訪れた中で最も美しい場所です。」  
 (8) a 「これがその家です。その医者はその家で生まれました。」  
 b 「これがその医者が生まれた家です。」 \* 《前置詞＋関係代名詞》の形。  
 (9) a 「こちらがその男の子です。わたしはその本を彼にあげました。」  
 b 「こちらがわたしがその本をあげた男の子です。」  
 \* 《前置詞＋関係代名詞》の形。

P95 3 解答

- (1) Where is the watch my uncle gave (me?)  
 (2) Be kind to the children whose parents are dead.  
 (3) He is the man whom you are looking for.  
 (4) The building whose roof you can see beyond the railroad is our church.  
 (5) Is he the only person that knows the way to the lake?

- (6) This is the most beautiful sunset I have ever seen.  
 (7) All you have to do is to do your best.

解説

- (2) 「両親をなくした」→「両親が死んでしまった」と考える。  
 (3) 「…を探す」look for …  
 (4) 「線路の向こうに屋根が見えるのが」→「線路の向こうに屋根が見える建物が見える」と考える。  
 (5) 「彼はその湖への道を知っている唯一の人ですか。」とい

う文を完成する。

- (6) 「これはわたしが今までに見た中で最もきれいな夕焼けです。」という文を完成する。  
 (7) 「あなたがしなければならないすべてのことは最善を尽くすことです。」という文を完成する。\* 「最善を尽くす」do one's best

4 解答

- (1) In this class, there are four students whose fathers are teachers.  
 [This class has four students whose fathers are teachers.]  
 (2) Next Sunday I will[am going to] read the book (which[that]) you sent (to) me the other day.  
 (3) I will[am going to] send you the two pictures (which[that]) I took the other day.  
 (4) This is all[everything] (that) I know about him.  
 (5) We[You] can buy[get] anything (that) we[you] need in[for] (our) everyday[daily] life at this supermarket. \* we[you] need は is needed も可。  
 (6) Who is the woman (that) you were talking with[to] when I met[saw] you this morning?

解説

- (1) 「生徒」が複数なので、「父親」、「先生」も複数となることに注意する。

- (5) 「何でも」anything  
 (6) 関係代名詞よりも前に疑問詞 who などがある場合にも、関係代名詞はふつう that を用いる。

## 練成問題

## P98 1 解答

- (1) (I don't know) where my dictionary is.
- (2) (Do you know) when Mr. Green came to Japan?
- (3) (I don't know) what is in that box.
- (4) (Do you know) what sport Mike likes?
- (5) (Please tell me) how long she has been sick in bed.
- (6) (I don't know) how old he will be on his next birthday.
- (7) (Do you know) how many students there are in this school?
- (8) (I wonder) what will happen next.

## 訳と解説

- (1) 「わたしは自分の辞書がどこにあるか知りません。」  
\* 間接疑問文は《疑問詞 + 主語 + 動詞》の語順。主節が平叙文なので、文末は終止符となる。
- (2) 「あなたはグリーンさんがいつ日本に来たか知っていますか。」\* 間接疑問文では、平叙文の形になるので、did が不要となることに注意。主節が疑問文なので、文末は疑問符となる。
- (3) 「わたしはあの箱の中に何が入っているか知りません。」  
\* 疑問詞が主語の疑問文は、間接疑問文にしても語順は変わらない。

- (4) 「あなたはマイクが何のスポーツが好きか知っていますか。」\* 《what + 名詞》の部分は間接疑問文になってもそのままである。
- (5) 「どれくらいの間彼女が病気で寝ているかわたしに教えてください。」\* 《how + 形容詞[副詞]》の部分は間接疑問文になってもそのままである。
- (6) 「わたしは彼が次の誕生日で何歳になるか知りません。」
- (7) 「あなたはこの学校に何人の生徒がいるか知っていますか。」
- (8) 「次に何が起こるのだろうか。」疑問詞が主語。  
\* I wonder … 「…だろうか[かしら]。」

## 2 解答

- (1) ウ                      (2) ア                      (3) イ                      (4) エ                      (5) ウ  
(6) ア

## 訳と解説

- (1) 「あなたはスミスさんが今どこに住んでいるのか知っていますか。」
- (2) 「彼はわたしに学校を卒業したら何をするつもりなのかたずねました。」\* 時制の一致で will が would になっている。
- (3) 「彼がだれであるかわたしに教えてください。」

- \* エでは「彼がだれになるか」という意味。
- (4) 「あなたはその銀行がいつ閉まるか見当がつきますか。」  
\* Do you have any idea? 「見当がつきますか。」
  - (5) 「あなたはわたしたちの先生が何歳か今までに聞いたことがありますか。」
  - (6) 「どちらの道を選ぶべきだろうか。」

## P99 3 解答

- (1) he is                      (2) what this is                      (3) where he went  
(4) how he studies                      (5) who wrote                      (6) what he wanted  
(7) why he was absent from school today                      (8) know what was in

解説

- (1) 「彼の年齢」→「彼が何歳か」と考える。
- (5) 「そのようなおもしろい本の作者」→「だれがそのようなおもしろい本を書いたか」と考える。

- (6) 時制の一致で wanted となることに注意。
- (7) 「…を休む[欠席する]」be absent from …
- (8) 「その箱の中身が何か」→「その箱に何が入っているか」。時制の一致で was となる。

4 解答

- (1) Do you know where he bought the dictionary?
- (2) Do you know how many languages there are in the world?
- (3) Please tell me which bus I should take.
- (4) I wonder when Mike learned how to drive.
- (5) Do you know who that girl is?
- (6) I am not sure when Jim will return.

解説

- (3) 「どのバス」which bus
- (4) 「…かしら。」は I wonder のうしろに間接疑問文を続け

る。\* how to ~ 「～のしかた」

- (6) 「…かよくわかりません。」は、I am not sure のうしろに間接疑問文を続ける。

発展問題

1 解答

- (1) what will happen
- (2) don't know where I live
- (3) wonder who is interested in
- (4) When do you think, for
- (5) what you think of[about] him

解説

- (2) 「わたしの家がどこか」→「わたしがどこに住んでいるか」と考える。
- (3) 疑問詞 who は単数扱いであることに注意する。  
\* 「…に興味がある」be interested in …
- (4) 「いつ…と思いますか。」に対しては「はい/いいえ」

で答えられないので、疑問詞 when は文頭に置く。

\* 「…へ出発する」leave for …

- (5) 「…をどう思う」は、疑問詞 what を用いることに注意する。matter は「重要である」という意味の動詞。It は形式主語で、what 以下の代わりをしている。

2 解答

- (1) when he will come back
- (2) where, lives
- (3) old I am
- (4) what
- (5) name of
- (6) what, means
- (7) his birthday
- (8) how many, there
- (9) when, where
- (10) when you, arrive

訳と解説

- (1)③ 「彼はいつ戻って来るでしょうか。あなたは知っていますか。」  
⑥ 「あなたは彼がいつ戻って来るか知っていますか。」
- (2)③ 「母は彼の住所を知りません。」  
⑥ 「母は彼がどこに住んでいるか知りません。」
- (3)③ 「あなたはわたしの年齢を知っていますか。」 \* age

「年齢」

- ⑥ 「あなたはわたしが何歳であるか知っていますか。」
- (4)④ 「あなたはこの花の名前を知っていますか。」  
⑥ 「あなたはこの花が何と呼ばれているか知っていますか。」
- (5)④ 「この花を日本語で何と呼ぶか知っていますか。」  
⑥ 「この花の日本名を知っていますか。」

- (6) ㉔ 「わたしはその言葉の意味を知りません。」  
 ㉕ 「わたしはその言葉が何を意味するか知りません。」  
 (7) ㉔ 「わたしは彼がいつ生まれたか知りません。」 \* be born 「生まれる」  
 ㉕ 「わたしは彼の誕生日がいつか知りません。」  
 (8) ㉔ 「彼に彼のクラスの生徒の数を聞いてください。」

- ㉕ 「彼に彼のクラスに何人生徒がいるか聞いてください。」  
 (9) ㉔ 「会合の時間と場所をわたしに教えてください。」  
 ㉕ 「いつどこで会合があるのかわたしに教えてください。」  
 (10) ㉔ 「わたしはあなたの到着の時間を知りたい。」 \* would like to ~ 「～したい」  
 ㉕ 「わたしはあなたがいつ到着するか知りたい。」

P101 3 解答

- (1) I don't know when John will leave Japan.  
 (2) (Do) you know if Taro will come here (tomorrow?)  
 (3) I have no idea what time it is (now.)  
 (4) Do you know how far it is from the earth to the sun?  
 (5) I wonder how he is doing in his new school.  
 (6) How old do you think she is?  
 (7) Who do you think painted this picture?

解説

- (2) 「…かどうか」はifを用いる。  
 (3) 「…かわからない」はI have no idea のうしろに間接疑問文を続ける。

- (4) 距離をたずねる疑問詞はhow far。  
 (6)(7) 「はい／いいえ」で答えられないので、疑問詞は文頭に置く。(7)は疑問詞が主語の場合の間接疑問文である。

4 解答

- (1) Do you know when he is going to return[come back] from Europe?  
 (2) Nobody[No one] knew whose pen it[that] was.  
 (3) I'd like to know how many hours a day the students study.  
 \* I'd like to はI want to も可。  
 (4) Do you know why you were laughed at?  
 (5) I wonder why she is interested in such an old story.  
 (6) How many students do you think there are in this school?  
 [How many students do you think this school has?]  
 (7) Why do you think almost every school has a library these days?  
 [Why do you think there is a library in almost every school these days?]

解説

- (3) 「1日に…時間」… hour(s) a day  
 (4) 「笑われる」be laughed at  
 (6) 「はい／いいえ」で答えられないので、疑問詞は文頭に

- 置く。  
 (7) 「ほとんどの」は「ほとんどすべての」と考える。\* 「最近」these days

P102 例文の訳

付加疑問文の意味と形

- a ① きょうはいい日ですね。  
② ジャックは遅れませんでしたよね。
- b ① あなたは英語が好きですよね。  
② 真紀は会議に出席しませんでしたよね。
- c ① あなたは車の運転ができますよね。  
② その男の子たちはパーティーに来ないですよね。
- d ① トムは10年以上も日本に住んでいますよね。  
② あなたは宿題を終えていませんよね。

注意すべき付加疑問文

- a 踊りましょうよ。— はい、そうしましょう。/ いいえ、やめましょう。
- b ① ドアを閉めてくれませんか。  
② 行かないでくださいね。
- c ① あなたのお姉[妹]さんは1度も外国を訪れたことがないですよね。

② きょうの午後は授業がありませんよね。

否定疑問文の意味と形

- a あなたは幸せですか。
- b あなたは幸せではないのですか。
- a 彼は高校生ではないのですか。
- b あなたはきょうは宿題がないのですか。
- c 彼らはそのパーティーに来ないのですか。
- d 彼女はまだ駅に着いていないのですか。

付加疑問文・否定疑問文に対する答え方

- ① あなたはサッカーをしますよね。
- ② あなたはサッカーをしませんよね。
- ③ あなたはサッカーをしないのですか。

注意すべき否定疑問文

- a 日本料理を試してみてもはどうですか。
- b きょうの午後、いっしょに買い物に行きませんか。

練成問題

1 解答

- |                      |                      |                |
|----------------------|----------------------|----------------|
| (1) aren't you       | (2) doesn't he       | (3) don't you  |
| (4) doesn't it       | (5) didn't she       | (6) can't they |
| (7) haven't they     | (8) is he            | (9) do you     |
| (10) will they       | (11) has he          | (12) shall we  |
| (13) will[won't] you | (14) will[won't] you | (15) will you  |
| (16) was there       | (17) has he          |                |

訳と解説

- (1) 「あなたは忙しいですよね。」 \*肯定文なので、否定の疑問形をつける。
- (2) 「あなたのお兄[弟]さんは英語が好きですよね。」 \*主語が Your brother なので、代名詞 he を用いる。
- (3) 「あなたは彼の住所を知っていますよね。」
- (4) 「この花は甘い香りがしますね。」
- (5) 「あなたのお姉[妹]さんはその物語を読みましたよね。」 \*主語が三人称単数なので、この read は過去形であることに注意する。
- (6) 「ほとんどの子供たちは自転車に乗ることができますよね。」

- (7) 「あなたの友達何人かはアメリカへ行ってしまったのですよね。」
- (8) 「あの男性はグリーンさんではありませんよね。」 \*否定文なので、肯定の疑問形をつける。
- (9) 「あなたは彼女が何歳だか知りませんよね。」
- (10) 「彼らはあした、泳ぎに行きませんよね。」
- (11) 「彼は仕事を終わっていませんよね。」
- (12) 「ディズニーランドに行きましょうよ。」 \* Let's の文の付加疑問文は shall we? をつける。
- (13) 「すぐに始めてくれませんか。」 \* 命令文の付加疑問文は will[won't] you? をつける。
- (14) 「すべての窓を閉めてくれませんか。」

- (15) 「この公園ではサッカーをしないでくださいね。」  
\* 否定命令文の付加疑問文は will you? をつける。
- (16) 「そのプールには水が入っていませんでしたよね。」

- \* no を用いた否定文。
- (17) 「彼はフランス語を1度も勉強したことがありません。」 \* never を用いた否定文。

## 2 解答

- (1) weren't they                      (2) isn't it                              (3) doesn't she  
(4) didn't he                            (5) can he                                (6) have you  
(7) will[won't] you                    (8) did we

### 解説

- (1)~(4) 肯定文なので、否定の疑問形をつける。  
(5)(6) 否定文なので、肯定の疑問形をつける。

- (7) 命令文。  
(8) no を用いた否定文。

## P105 3 解答

- (1) Aren't they                      (2) Isn't English                      (3) Don't you  
(4) Didn't Tom                        (5) Won't he                            (6) Shouldn't I  
(7) Haven't they                      (8) Hasn't she

### 解説

否定疑問文は、否定の疑問形を文頭に置く。否定の疑問形

はふつう短縮形を用いる。

## 4 解答

- (1) Isn't Tom's brother a college student? — Yes, he is.  
(2) Wasn't he working in the office then? — No, he wasn't.  
(3) Doesn't Ms. Kato have a lot of friends? — Yes, she does.  
(4) Don't you like Japanese food? — No, I[we] don't.  
(5) Won't he come again? — Yes, he will.  
(6) Couldn't you answer the question? — No, I[we] couldn't.  
(7) Haven't you been busy lately? — Yes, I[we] have.  
(8) Hasn't that girl finished her homework? — No, she hasn't.

### 訳と解説

肯定文から否定疑問文を作るには、短縮形を用いて否定文を作ってからその短縮形を文頭に出すか、疑問文を作ってから文頭を否定の短縮形にすればよい。疑問文に対する答えは、肯定であれば Yes、否定であれば No である。

- (1) 「トムのお兄[弟]さんは大学生ではないのですか。— いいえ、彼は大学生です。」  
(2) 「彼はそのとき会社で働いていなかったのですか。— はい、働いていませんでした。」  
(3) 「加藤さんには友達がたくさんいないのですか。— いいえ、います。」

- (4) 「あなたは日本料理が好きではないのですか。— はい、好きではありません。」  
(5) 「彼は2度と来ないのでしょうか。— いいえ、来るでしょう。」  
(6) 「あなたはその質問に答えられなかったのですか。— はい、答えられませんでした。」  
(7) 「あなたは最近ずっと忙しくないのですか。— いいえ、忙しいです。」  
(8) 「あの女の子は宿題を終わらせていないのですか。— はい、終わらせていません。」

1 解答

- (1) ウ (2) ウ (3) ウ (4) ウ (5) ア  
 (6) イ (7) イ (8) ア (9) ウ (10) ウ

訳と解説

- (1) 「トムはそのCDを買いましたよね。」  
 (2) 「メアリーには1人もおばさんがいませんよね。」  
 (3) 「健はすぐに戻ってきますよね。」  
 (4) 「あなたは以前そこに行ったことはありませんよね。」  
 (5) 「散歩に行きましょうよ。」 \* go for a walk 「散歩に行く」  
 (6) 「わたしが思うには、彼の奥さんはアメリカ人ですよ。」  
 、 \* 文脈から、think以降の内容(his wife is an American)に対する付加疑問と判断する。  
 (7) 「あなたは今夜、夕食を作らないつもりですよ。— はい、作らないつもりです。」 \* 作るつもりなら Yes, I am.

作らないつもりなら No, I am not. とする。

- (8) 「あなたはどんな種類の日本料理をわたしに勧めてください。— 寿司をためし(に食べ)てみてはどうですか。」 \* Why don't you ~? 「～してはどうですか。」  
 (9) 「やあ、コーヒーを1杯飲みませんか。— いいですよ、そうしましょう。」 \* Why not? 「そうしましょう。」は提案や勧誘などに同意するとき用いることができる。  
 (10) 「わたしは来年の4月にアメリカへ行きます。— そうなんですか。すばらしいですね。」 \* あいづち表現の1つ。相手の発言に対し、肯定文には肯定の、否定文には否定の疑問形を言う。

2 解答

- (1) look well[fine], do you (2) have been in, haven't (3) did / Yes, did  
 (4) shall we / Yes, let's (5) Why don't we

解説

- (1) 「元気がないよう」→「健康そうに見えない」と考える。  
 (2) 「3年間ずっと…」なので現在完了を用いる。\* 「同じ

クラスだ」 be in the same class

- (3) 「しましたよ」と肯定なので Yes を用いる。  
 (5) 「(いっしょに)～しませんか。」 Why don't we ~?

3 解答

- (1) go, shall (2) Why (3) Let's, to  
 (4) he got[gotten / woken] up

訳と解説

- (1) a 「そのコンサートへ行くのはどうですか。」  
 b 「そのコンサートへ行きましょうよ。」  
 (2) a 「トム、今度の土曜日にわたしたちと魚釣りに行くのはどうですか。」  
 b 「トム、今度の土曜日にわたしたちと魚釣りに行きませんか。」

- (3) a 「彼女にプレゼントをあげませんか。」  
 b 「彼女にプレゼントをあげましょう。」 \* give A B = give B to A 「AにBをあげる」  
 (4) a 「彼はまだ眠っているのですか。」  
 b 「彼はまだ起きていないのですか。」 \* not ... yet に着目して「起きていない」とする。

4 解答

- (1) The store is in front of the station, isn't it?  
 (2) She looks like her mother very much, doesn't she?  
 [She looks very much like her mother, doesn't she?]  
 (3) Didn't I ask you not to make so much noise?

(4) You don't know why he was late, do (you?)

(5) Why don't we have some coffee at the shop in front of (the library?)

**解説**

(1) 「…の前に」 in front of …

(3) 「…に～しないように頼む」 ask … not to ～, 「うるさくする」 make noise

**5**

**解答**

(1) You have already learned how to run the machine, haven't you?

(2) Your mother isn't interested in baseball, is she?

(3) Didn't he come to your house yesterday? — No, he didn't.

(4) Can't this computer send an e-mail? — Yes, it can. \* an e-mailはe-mailsも可。

**解説**

(1) 「～のし方」 how to ～

(2) 「…に興味がある」 be interested in …

# 15 名詞・冠詞

P109~113

## 例文の訳

## 冠詞の注意すべき用法

a ① わたしたちは同じ年齢です。

② わたしたちは1日3食とります。

③ ヤングさんという名前の人があなたを待っています。

b ① 太陽は東から昇ります。

P109

## 練成問題

### 1 解答

- |              |                |               |                   |               |
|--------------|----------------|---------------|-------------------|---------------|
| (1) buses    | (2) classes    | (3) glasses   | (4) boxes         | (5) foxes     |
| (6) dishes   | (7) churches   | (8) benches   | (9) watches       | (10) stomachs |
| (11) babies  | (12) countries | (13) ladies   | (14) dictionaries | (15) days     |
| (16) monkeys | (17) heroes    | (18) tomatoes | (19) photos       | (20) radios   |

P110

### 解説

(1)~(9)(17)(18) 語尾が《s, sh, ch, x, o》の語はesをつけて複数形にする。

(10) stomachは語尾が《ch》だが[k]と発音するので、複数形にするにはsをつける。

(11)~(14) 語尾が《子音字+y》の語は、yをiにかえてesを

つけて複数形にする。

(15)(16) day, monkeyのように語尾が《母音字+y》の語を複数形にするにはsだけをつける。

(19)(20) radio, photoなどは語尾が《o》の語だが、複数形にするには例外的にsだけをつける。

### 2 解答

- |            |            |                   |             |           |
|------------|------------|-------------------|-------------|-----------|
| (1) leaves | (2) knives | (3) lives         | (4) thieves | (5) wives |
| (6) wolves | (7) roofs  | (8) handkerchiefs |             |           |

### 解説

(1)~(6) 語尾が《f, fe》の語はfやfeをvesにかえて複数形にする。

(7)(8) roof, handkerchiefは、複数形にするには例外的にsだけをつける。

### 3 解答

- |               |              |              |          |            |
|---------------|--------------|--------------|----------|------------|
| (1) feet      | (2) teeth    | (3) geese    | (4) mice | (5) women  |
| (6) men       | (7) oxen     | (8) children | (9) deer | (10) sheep |
| (11) Japanese | (12) Chinese |              |          |            |

### 解説

(1)~(8) 複数形が不規則なもの。

(9)~(12) 単複同形。

### 4 解答

- |                           |                                   |                     |
|---------------------------|-----------------------------------|---------------------|
| (1) 1杯のコーヒー               | (2) 1本のチョコレート, pieces             | (3) 1杯のミルク, glasses |
| (4) スプーン1さじの砂糖, spoonfuls | (5) 1びんのビール, bottles              |                     |
| (6) 1切れのパン, slices        | (7) 1枚の紙, sheets                  | (8) 1びんのジャム, jars   |
| (9) バケツ1杯の水, bucketfuls   | (10) 1斤 <sup>きん</sup> のパン, loaves |                     |
| (11) 1足の靴, pairs          |                                   |                     |

**解説**

物質名詞の分量を表すときには、可算名詞である容器や形状を表す語を用いて《a … of + 物質名詞》の形で表し、数えるときは《…》の部分の語を複数形にする。

(10) loafの複数形はloavesとなることに注意。

(11) 対をなすものを表す場合は《a pair of …》を用い、数えるときはpairを複数形にする。

**P111 5 解答**

- |                  |                 |             |               |              |
|------------------|-----------------|-------------|---------------|--------------|
| (1) dictionaries | (2) boxes       | (3) classes | (4) cities    | (5) families |
| (6) stories      | (7) knives      | (8) leaves  | (9) men       | (10) women   |
| (11) teeth       | (12) oxen       | (13) geese  | (14) Japanese | (15) sheep   |
| (16) feet        | (17) sandwiches | (18) girls' | (19) hours'   | (20) months  |

**訳と解説**

- (1) 「その店でたくさんの辞書が売られています。」\* manyがあるので複数形にする。
- (2) 「テーブルの上にたくさんの箱があります。」
- (3) 「あなたはきのういくつかの授業がありましたか。」\*ここでのclassは「授業」の意味の普通名詞。
- (4) 「シカゴはアメリカで最も大きい都市の1つです。」  
\* 《one of + 複数形》「…の1つ」
- (5) 「2つの家族がこの建物の中で暮らしています。」  
\* twoがかかるので複数形にする。
- (6) 「彼はわたしたちにたくさんの良い物語を話してくれました。」
- (7) 「机の上に2本のナイフがあります。」
- (8) 「秋には黄色に変わる葉もあります。」\* someがかかるので複数形にする。
- (9) 「部屋の中には男性が何人いますか。」
- (10) 「部屋の中には数人の女性がいました。」\* a fewがかかるので複数形にする。
- (11) 「あなたは毎朝、歯を磨きますか。」\* 歯は複数あるので複数形にする。
- (12) 「牧草地にはたくさんの雌牛と雄牛がいます。」
- (13) 「池に3羽のガチョウがいます。」
- (14) 「わたしは飛行機の中でたくさんの日本人を見ました。」  
\* a lot ofがかかるので複数形にする。ただしJapaneseは単複同形であることに注意する。
- (15) 「その男性は何匹かの羊と牛[雌牛]を飼っています。」
- (16) 「彼の身長は5フィート6インチです。」\* footは長さの単位としての意味もある。1 footは30.48cm。
- (17) 「レベッカは昼食にチーズサンドイッチを2個食べました。」
- (18) 「あれは女子高です。」\* sで終わる複数形の所有格はアポストロフィだけをつける。
- (19) 「駅から歩いて約2時間の距離でした。」
- (20) 「おじは3か月ごとにわたしたちに会いに来ます。」  
\* 《every + 数詞 + 複数形》「…ごとに」

**6 解答**

- (1) わたしのいとことわたしは同じ年齢です。
- (2) これらの鉛筆は1ダース1000円です。
- (3) あなたの外出中にグリーンさんという人があなたに会いに来ました。
- (4) 地球は太陽の周りを回っています。
- (5) お年寄りには親切にしてください。
- (6) 日本人は勤勉です。

**解説**

- (1) ここでのanは「同じ(=the same)」という意味。
- (2) ここでのaは「…につき」という意味。
- (3) 《a + 固有名詞(人名)》で「…という名の人」という意味。
- (4) 「地球」も「太陽」もただ1つしかないで、その前にはtheをつける。
- (5) the old = old peopleである。
- (6) 《the + 国籍を表す形容詞》で国民全体を表し、複数扱いである。

1 解答

- (1) boys' (2) foot (3) life (4) beginning (5) success  
 (6) illness (7) absence (8) pleasure (9) scientist (10) visitor

解説

- (4) invite「招待する」, invitation「招待」は動詞 — 名詞の関係。beginの名詞形を書く。  
 (5) discover「発見する」, discovery「発見」は動詞 — 名詞の関係。succeed「成功する」の名詞形を書く。  
 (6) free「自由な」, freedom「自由」は形容詞 — 名詞の関係。ill「病気の」の名詞形を書く。  
 (7) true「真実の」, truth「真実」は形容詞 — 名詞の関係。absent「欠席の」の名詞形を書く。

- (8) die「死ぬ」, death「死」は動詞 — 名詞の関係。please「喜ばせる」の名詞形を書く。  
 (9) piano「ピアノ」, pianist「ピアニスト(ピアノを弾く人)」の関係なので, science「科学」, scientist「科学者」になる。  
 (10) work「働く」, worker「労働者」の関係なので, visit「訪れる」, visitor「訪問者」になる。語尾がorになるので注意する。

2 解答

- (1) 工 (2) イ (3) 工 (4) ア

訳と解説

- (1) 「わたしは1枚の紙が欲しい。」  
 (2) 「わたしは学校へ行くのに新しい手袋が欲しい。」  
 \* gloves「手袋」は対をなすものなので《a pair of …》で表す。  
 (3) 「わたしはときどき夕食後にケーキを1切れとコーヒー

を少々いただきます。」 \* a cup of coffeeで「1杯のコーヒー」となるのでアは不適切。

- (4) 「わたしは今週末までに歴史の授業のレポートを1つ書かなければなりません。」 \* 文脈から考えて, このpaperは「レポート」の意味なので, 普通名詞として扱う。

3 解答

- (1) good speaker (2) twice a week (3) The, are  
 (4) The, rivers (5) difficulty (6) some tomato

解説

- (1) 「わたしは日本語のとても上手な話し手であるアメリカ人に会った。」と考える。  
 (2) 「2回」twice  
 (3) 《the+形容詞》は複数扱い。  
 (4) 川の名称にはtheをつける。

- (5) 「～することに(少し)苦労する」have (some)difficulty (in) ~ing  
 (6) カットされて何個分かわからなくなったトマトは不可算名詞扱い。ここでsome tomatoesとすると, 丸のままのトマトが何個か入っていることを表す。

4 解答

- (1) good violinist (2) minutes' (3) difference between  
 (4) half, hour (5) foreigners (6) During, stay  
 (7) knowledge (8) news, death, us (9) friends  
 (10) arrival

訳と解説

- (1)Ⓐ 「わたしの姉[妹]はとても上手にバイオリンを弾きます。」  
 Ⓑ 「わたしの姉[妹]は上手なバイオリニストです。」  
 (2)Ⓐ 「ここから駅まで歩いて10分かかります。」  
 Ⓑ 「ここから駅まで歩いて10分の距離です。」  
 (3)Ⓐ 「あなたの答えはわたしのものとはたいへん違っています。」 \* mine = my answer  
 Ⓑ 「あなたの答えとわたしのものとの間には大きな違いがあります。」 \* difference between A and B 「AとBの間の違い[差]」  
 (4)ⒶⒷ 「わたしは30分間テレビを見ました。」 \* 「30分」は half an hour と表すこともできる。  
 (5)Ⓐ 「毎年、外国からのたくさんの人が日本を訪れます。」  
 Ⓑ 「毎年、たくさんの外国人が日本を訪れます。」  
 (6)Ⓐ 「日本に滞在している間に、彼女はたこ焼きを食べま

した。」

- Ⓑ 「日本での滞在中、彼女はたこ焼きを食べました。」  
 \* 後ろが名詞なので前置詞 during 「…中、…の間」を使う。  
 (7)Ⓐ 「彼はコンピュータについてよく知りません。」  
 Ⓑ 「彼のコンピュータの知識は十分ではありません。」  
 (8)Ⓐ 「彼が死んだことを聞いてわたしたちはみな驚きました。」  
 Ⓑ 「彼の死の知らせはわたしたちをみな驚かせました。」  
 (9)Ⓐ 「マイはとても親しみやすい女の子です。」  
 Ⓑ 「マイは他の人々と容易に親しくすることができます。」  
 \* make friends with … 「…と親しくなる、友達になる」  
 (10)Ⓐ 「彼が何時に着くかわたしに教えてくれませんか。」  
 Ⓑ 「彼の到着の時間をわたしに教えてくれませんか。」

5 解答

- (1) I have never seen such an exciting movie.  
 (2) Shall I bring you a cup of coffee?  
 (3) The Olympic Games are held every four years.  
 (4) His sudden visit was a great surprise to me.  
 (5) There are hundreds of books in his room.

解説

- (1) 《such + a[an] + 形容詞 + 名詞》の形を作る。  
 (3) 「4年に1度」 → 「4年ごとに」と考える。

- (4) 「彼の突然の訪問はわたしにとって大きな驚きでした。」と考える。  
 (5) 「何百もの…」 《hundreds of + 名詞の複数形》



(7) Neither

(8) don't, all

(9) Both

(10) Some, others[some]

(11) Every, likes

解説

- (1) 前出の名詞を受ける不定代名詞 one。ここでは a fountain pen を受ける。
- (2) 「もう1つ」 another
- (3) 「それぞれ」 each
- (4) 「すべて」 all
- (5) 「2人とも」は both。both は複数扱い。
- (6) 「2人のうちのどちらか1人」 either \* at once 「すぐに」

(7) 「2人とも…ない」 neither

- (8)(9) 《全部・全体を意味する語 + 否定語》で部分否定を表す。
- (10) 「～のものもあれば、…のものもある」 some ~ others[some] …
- (11) boy と単数形になっていることに着目し、《every + 単数名詞》「すべての…」を用いる。なお、《every + 単数名詞》は単数扱い。

P117 3 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) ウ  | (2) イ  | (3) ウ  | (4) ウ  | (5) イ  |
| (6) イ  | (7) ウ  | (8) イ  | (9) ウ  | (10) ウ |
| (11) ウ | (12) エ | (13) ウ | (14) ア | (15) ウ |
| (16) ウ | (17) ア | (18) ア |        |        |

訳と解説

- (1) 「わたしはあした雨が降ると思います。」 \* 《天候》を表す it。
- (2) 「鳥はその楽しい歌をさえずりました。」 \* it の所有格 its。The bird を受けている。
- (3) 「彼はそのような激しい雨の中を歩くのは困難だとわかりました。」 \* 形式目的語の it。
- (4) 「ピーターはわたしの旧友です。」 \* 「わたしの旧友」は my old friend または an old friend of mine で表すことができる。
- (5) 「それをお手伝いいたしましょうか。— いいえ、けっこうです。わたしは自分でそれをやりたいのです。」 \* for oneself 「自分で」
- (6) 「どうぞご自由にワインをお飲みください。」 \* help oneself to … 「…を自由にとって食べる[飲む]」。命令文なので主語は you と考える。
- (7) 「大阪の人口はわたしの故郷の人口よりずっと多い。」 \* 名詞のくり返しを避ける that。ここでは the population を表す。
- (8) 「この箱の中にあるりんごは、あの箱の中にあるものよりも良いものです。」 \* 名詞(複数)のくり返しを避ける those。ここでは the apples を表す。
- (9) 「わたしは自転車を持っています。あなたは自転車を持っ

ていますか。」 \* 前出の名詞を受ける不定代名詞 one。ここでは a bicycle を受ける。

- (10) 「もしかさが必要ならば、あなたはかさを借りることができます。」
- (11) 「わたしはこの帽子が好きではありません。青いのを見せてください。」
- (12) 「わたしは何かオレンジが欲しい。これらの大きいものをわたしにください。」 \* 前出の名詞を受ける不定代名詞 one は、複数のものを表す場合には複数形 ones を用いる。
- (13) 「このドレスはわたしには小さすぎます。もう1着見せてください。」
- (14) 「知っていることと、教えることは別のことです。」 \* A is one thing, B is another. 「A と B は別のことだ。」
- (15) 「わたしの家族は車を2台持っています。1台は黒で、もう1台は青です。」 \* the other 「(2つのうち)他方」
- (16) 「彼女には5人の兄弟がいます。1人は医者で、残りは皆教師です。」 \* the others 「他の全部」
- (17) 「彼らのそれぞれが英語の辞書を持っています。」 \* has に着目し、単数扱いの不定代名詞を選ぶ。
- (18) 「何も変わらなければ、すべてのものはつねに同じでしょう。」

1 解答

- |   |                              |                           |
|---|------------------------------|---------------------------|
| (1) something new                                   | (2) that                     | (3) does it take          |
| (4) How far is it                                   | (5) ones[watches] / All, are | (6) one near[around] here |
| (7) One, other                                      | (8) others[some]             | (9) Neither               |
| (10) by himself                                     | (11) kill themselves         | (12) ones                 |
| (13) It is said                                     | (14) any, some               |                           |
| (15) No one can tell [There is no telling[knowing]] | (16) yourself                |                           |

解説

- (1) something のような -thing 形の代名詞を形容詞が修飾する場合は《-thing + 形容詞》の語順になる。
- (10) 「独力で」 by oneself
- (11) 主語が they なので再帰代名詞は themselves を用いる。
- (13) 「…だそうだ。」 It is said (that) ….

- (14) 条件節中ではふつう any を用いる。
- (15) 「だれにもわからない」 → 「だれも告げることができない」と考える。
- (16) 再帰代名詞には「いつもの[本来の]自分」という意味もある。

2 解答

- |                 |             |                  |
|-----------------|-------------|------------------|
| (1) mine        | (2) nothing | (3) It snows     |
| (4) enjoyed     | (5) took me | (6) It cost      |
| (7) It is       | (8) all     | (9) child, likes |
| (10) Nobody can |             |                  |

訳と解説

- (1)①② 「それらの本はわたしのものです。」 \* belong to … 「…に属する」
- (2)①② 「彼はわたしに何も言いませんでした。」 \* not + anything = nothing
- (3)①② 「このあたりではたくさん雪が降ります。」 \* 《天候》を表す it を用いて書きかえる。
- (4)①② 「わたしたちはそのパーティーで楽しみました。」 \* enjoy oneself 「楽しむ」
- (5)① 「わたしはその仕事を5日で終わりました。」
- ② 「わたしがその仕事を終えるのに5日かかりました。」 \* 《It takes + 人 + 時間 + to ~.》 「-が~するのに[時間が] …かかる。」
- (6)① 「5年前、この本の値段は10ドルでした。」

- ③ 「5年前、わたしがこの本を買うのに10ドルかかりました。」 \* 《It costs + 人 + 金額 + to ~.》で「-が~するのに[お金が] …かかる」という意味。また、cost は cost - cost - cost と変化する。
- (7)①② 「その学校は有名だそうです。」
- (8)① 「わたしが言うべきことはそれ以上何事ありません。」
- ② 「それがわたしが言うべきことのすべてです。」
- (9)①② 「わたしの家族の子供はみなサッカーが好きです。」
- (10)① 「だれが一生懸命努力することなく英語を習得することができるのでしょうか。」 \* 反語を表す疑問文(修辞疑問)。
- ② 「だれも一生懸命努力することなく英語を習得することはできません。」

3 解答

- (1) It gets[becomes] dark at six.
- (2) It looks like rain.
- (3) It takes fifteen minutes from here to the station by bus.
- (4) It took me an hour to write this letter.

- (5) Some of you may be good at English(,) and others[some] may be poor[bad].  
[Perhaps[Maybe] some of you are good at English(,) and others[some] are poor[bad].]
- (6) He has two sons; one is a teacher and the other is a doctor.
- (7) Don't[You mustn't] speak ill of others[other people].

解説

(5) 《推量》を表す助動詞 may を用いるか、または perhaps [maybe] 「たぶん」を用いて表せばよい。\* 「苦手な」

poor[bad]

(7) 「他人」 others

P120 例文の訳

形容詞の種類と用法

1

- ① マイクは親切な少年です。
- ② あなたはその着物を着ていると美しく見えます。
- ③ あなたは自分の部屋をきれいにしておかなければなりません。

2

- a ① わたしには2人の兄弟がいます。
- ② ジャックは8年生(中学2年生)です。
- b ① a たくさんの生徒が校庭で遊んでいます。
- b わたしは大阪に友達が数人います。
- c わたしは大阪に友達がほとんどいません。
- ② a 先週、たくさん雨が降りましたか。
- b びんの中に水が少しあります。
- c びんの中に水はほとんどありません。
- ③ a そこに数人の生徒がいます。
- b コップの中に水がいくらかあります。
- c わたしはこの町に友達が1人もいません。
- b 先週、雨がまったく降りませんでした。
- c ① 公園にたくさんの方がいました。
- ② 先週、たくさん雨が降りました。

- ③ わたしはそのとき、まったくお金を持ち合わせていませんでした。

副詞の種類と用法

P121

- a ① わたしはすでに昼食をとりました。
- ② 彼はまだ戻ってきていません。
- b 彼女はここに3年間住んでいます。
- c ① メアリーはとても上手に料理をします。
- ② 彼はきのう、無事にここに到着しました。
- d ① あなたはその店にどれくらいよく行きますか。— 1週間に1回か2回です。
- ② a 彼はいつも時間どおりに来ます。
- b 彼はいつも時間どおりに来るとは限りません。
- e ① 彼はとても上手にテニスをします。
- ② 彼女はわたしよりもずっと上手にピアノを弾きます。
- ③ わたしたちのクラスのほとんどすべての生徒が徒歩通学です。
- ④ 彼は親切にもわたしに駅までの道を教えてくれました。

注意すべき副詞の用法

- ① わたしは野球が好きです。— わたしも好きです。
- ② わたしは英語を上手に話せません。— わたしも話せません。

練成問題

1 解答

P122

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) ウ  | (2) ア  | (3) エ  | (4) コ  | (5) イ  |
| (6) イ  | (7) オ  | (8) ケ  | (9) ク  | (10) キ |
| (11) オ | (12) コ | (13) ケ | (14) ク | (15) キ |
| (16) ウ | (17) ア |        |        |        |

訳と解説

- (1) 「日曜日は週の1番目の日です。水曜日は4番目の日です。」
- (2) 「その少女は手に数本の花を持っています。」\*可算名詞が続くので、数を表す形容詞を選ぶ。
- (3) 「この冬はここではあまり雪が降りませんでした。」\*不可算名詞が続くので、量を表す形容詞を選ぶ。muchは否定文で用いると「あまり…ない」という意味を表す。

- (4) 「わたしはオーストラリアに何人かの友達がいます。」
- (5) 「そこでキャンプをするのはとても楽しいでしょう。」\* fun「楽しみ」は不可算名詞。
- (6) 「わたしはまったくお金を持ち合わせていません。」\* money「お金」は不可算名詞。
- (7) 「昨年の6月には晴れの日がほとんどありませんでした。」
- (8) 「浩子は少し英語を話します。」\* English「英語」は不可算名詞。

- (9) 「外国語を学ぶための簡単な方法はありません。」 \* not any = no である。
- (10) 「助けが必要なら、すぐにわたしに電話してください。」 \* 条件節中ではふつう any を用いる。
- (11) 「あなたは何時間このレストランにいますか。」 \* How many ...? は数をたずねる表現。
- (12) 「あなたは今、お金をいくら持っていますか。」 \* How much ...? は量をたずねる表現。
- (13) 「わたしはまだきょうの新聞を読んでいません。」
- (14) 「その試験はとても難しかったのでわたしは合格できま

- せんでした。」 \* too ... for - to ~ 「とても...なので -には~できない」
- (15) 「この小説はあの小説よりもずっと難しい。」 \* 比較級を強める副詞。
- (16) 「ここから上野駅まではどれくらいの距離ですか。— 歩いて10分の距離です。」 \* How far ...? は距離をたずねる表現。この walk は「歩行距離」という意味。
- (17) 「彼はどれくらい北海道に滞在しているのですか。」 \* How long ...? は期間をたずねる表現。

P123 2 解答

- (1) very good cook                      (2) careful driver                      (3) drives, well  
 (4) don't, any                              (5) We, much                              (6) little  
 (7) caught no

訳と解説

- (1) ① 「母はとても上手に料理をします。」  
 ② 「母はとても上手に料理をする人です。」
- (2) ① 「スミスさんはとても慎重に運転します。」  
 ② 「スミスさんはとても慎重な運転をする人です。」
- (3) ① 「彼は車を運転するのが上手です。」 \* be good at ... 「...が上手である」

- ② 「彼は上手に車を運転します。」
- (4) ① ② 「わたしはまったくお金を持ち合わせていません。」 \* no = not ... any
- (5) ① ② 「ここでは昨年、あまり雨が降りませんでした。」
- (6) ① ② 「高知ではほとんど雪が降りません。」
- (7) ① ② 「父とわたしは1匹も魚を捕まえませんでした。」

3 解答

- (1) has something good                      (2) first                                      (3) few, little  
 (4) was a little                              (5) Few

解説

- (1) something のような -thing 形の代名詞を形容詞が修飾する場合は《-thing + 形容詞》という語順になる。

- (2) 「あしたから休みが始まる」→「あしたは休みの最初の日だ」と考える。

4 解答

- (1) The rocket flies / faster than the plane.  
 (2) Bill has / washed the car.  
 (3) Please give me something / to drink.  
 (4) She is / a good girl.  
 (5) Jane does not / go to church on Sunday.  
 (6) / All the girls are present.  
 (7) John came home / last night.

訳と解説

- (1) 「ロケットは飛行機よりもずっと速く飛びます。」 \* much は比較級の直前に置く。

- (2) 「ビルはちょうど今、車を洗ったところです。」 \* just は have[has] と過去分詞の間に置く。
- (3) 「何か温かい飲み物をください。」 \* 《something + 形

容詞 + to ~) の語順。

- (4) 「彼女はとても良い女の子です。」 \* 《such (+ a[an]) + 形容詞 + 名詞》の語順。
- (5) 「ジェーンは必ず日曜日に教会へ行くわけではありません。」 \* not always で部分否定を表す。
- (6) 「ほとんどすべての女の子が出席しています。」

\* almost は修飾する形容詞[副詞]の直前に置く。

- (7) 「ジョンは昨夜遅く帰宅しました。」 \* ぶつう 副詞(句)は《場所 + 時》の語順に並べる。また《時》を表す副詞(句)が複数並ぶ場合は、単位の小さいものが前に来る。したがって、ここでは《場所(home) + 時(late + last night)》の語順となる。

## 発展問題

### 1 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) ウ  | (2) ア  | (3) イ  | (4) ア  | (5) エ  |
| (6) エ  | (7) ア  | (8) イ  | (9) イ  | (10) イ |
| (11) ア | (12) ア | (13) ア | (14) エ | (15) ア |

P124

### 訳と解説

- (1) 「わたしたちはその店でたくさんの食料を買いました。」  
\* 不可算名詞が続くので、量を表す形容詞相当語句を選ぶ。plenty of は数と量のどちらも表すことができる。
- (2) 「わたしの父は昨夜遅く帰宅しました。」
- (3) 「彼はそれが好きではありません。わたしもそれが好きではありません。」 \* 否定文を受けて「…も(～ない)」という場合は、too ではなく either を用いる。
- (4) 「ジョンはフランス語を話せます。— メアリーも話せます。」 \* 肯定文を受けて「…もそうだ」という場合、too を用いて表す他に、so を用いて《So do[does / did / 助動詞] + S.》の形で表すこともできる。
- (5) 「わたしは今、家に帰らなければなりません。いろいろとありがとう。— ええ、とても楽しいときを過ごしました。— わたしもです。本当に楽しかったです。」
- (6) 「わたしは生徒たちに日本史に関する質問をたくさんしました。しかし答えることができた者はほとんどいませんでした。」

- (7) 「彼は宿題をなくしてしまい、授業の前にそれが見つかる見込みはほとんどありません。」
- (8) 「彼は慎重だったので、ほとんどミスをしませんでした。」
- (9) 「わたしたちは急がなければなりません。わたしたちにはほとんど時間がありません。」
- (10) 「わたしは、娘にあまりにも多くの時間テレビを見て過ごしてほしくありません。」
- (11) 「あなたはどのくらい頻繁に彼女と電話で話しますか。— わたしは毎日彼女に電話します。」 \* How often …? は頻度をたずねる表現。
- (12) 「なぜ彼女は車を運転するとき、そんなに不注意のですか。」 \* 補語なので形容詞を選ぶ。
- (13) 「彼はかなりうれしそうに見えました。」 \* 補語なので形容詞を選ぶ。
- (14) 「トシオはヨシキよりも試験でおかしたミスが少なかった。」 \* 可算名詞が続くことと、than に着目し、数を表す形容詞の比較級を選ぶ。
- (15) 「大部分の人が運動は健康に良いと信じています。」

### 2 解答

- |                 |                |                 |
|-----------------|----------------|-----------------|
| (1) early riser | (2) first      | (3) my favorite |
| (4) always      | (5) another    | (6) carefully   |
| (7) either      | (8) many times |                 |

P125

### 訳と解説

- (1) ① 「メアリーは以前、早く起きていました。」  
② 「メアリーは早起き[早起きの人]でした。」 \* early は形容詞、副詞の両方の用法がある。
- (2) ① 「サダオは今までに1度も大阪へ行ったことがありません。」  
② 「これがサダオの大阪への初めての旅行です。」
- (3) ① 「わたしは数学がとても好きです。」

- ③ 「数学はわたしのお気に入りの教科です。」
- (4) ① 「彼女はふだんは忙しいのですが、ひまなときもあります。」  
② 「彼女はいつも忙しいわけではありません。」 \* 部分否定。
- (5) ① ② 「わたしはもう1杯コーヒーが欲しい。」
- (6) ① ② 「トムは注意して車を運転しました。」
- (7) ① 「あなたもわたしも金持ちではありません。」

\* neither A nor B 「A も B も…ない」

- ⑤ 「あなたは金持ちではありません。わたしも金持ちではありません。」

(8)① 「あなたは月にどのくらいの頻度で映画を見に行きますか。」

- ② 「あなたは月に何回、映画を見に行きますか。」

### 3 解答

- (1) cannot[can't], either    (2) Tom cannot[can't] either    (3) So  
(4) every    (5) Any, such an easy    (6) don't always  
(7) Few, could    (8) few of us    (9) little, left

#### 解説

(4) 「…ごとに」《every + 数詞 + 複数名詞》

(5) 「どんな…でも」 any …

(9) 「…が残っている。」は There is[are] … left. で表すことができる。left は leave 「…を残す」の過去分詞。

### P126 4 解答

- (1) I want a little sugar and a few eggs.  
(2) Too much salt is not good for (your health.)  
(3) (He) is not always late for school.  
(4) How often do you play tennis in a week?  
(5) There was little water left in the vase.  
(6) The student who finishes the exam first doesn't always get the best marks.

#### 解説

(2) 「多すぎる塩分は健康によくない。」という文を完成する。

(3) 「…に遅刻する」 be late for …

(4) 「週にどれくらい」 → 「週に何回」と考える。

(6) 「必ずしも…ない」という部分否定は not always [necessarily] で表すことができる。

### 5 解答

- (1) We had little rain this June.  
[It rained little this June.]  
(2) We have had little rain for more than two months this winter.  
[It has rained little for more than two months this winter.]  
(3) Few students in this class have been abroad.  
(4) No student(s) could pass the examination[exam].  
(5) Every girl in our class likes music.  
[All(the) girls in our class like music.]  
[All of the girls in our class like music.]  
(6) The rich are not always happy. \* The rich は Rich people も可。  
(7) It is not always easy for you to get these kinds of stamps.

#### 解説

(1) 「雨が少なかった」 → 「雨が少ししか降らなかった」と否定的に考える。

(2) 「…以上」 more than …

(7) 「これらの種類の…」 these kinds of …

## P128 例文の訳

## 前置詞の用法

- a** ① その机の上の本はわたしのものです。  
② この辞書はとても役に立ちます。
- b** ① 彼は何も言わずに出て行きました。  
② 彼女は料理が上手です。  
③ わたしたちは駅よりも病院の近くに住んでいます。

## 前置詞の働きをする句

- a** 彼は10歳のときに大阪へ引っ越しました。  
**b** わたしは病気のために学校を休みました。  
**c** わたしは駅の前で彼に会うつもりです。  
**d** ① わたしはけさ、コーヒーの代わりに紅茶を飲みました。

- ② 彼は仕事に行かないで1日中ベッドの中にいました。  
**e** 彼女は少々の熱にもかかわらず学校へ行きました。  
**f** 彼は自分の家から外へ出てきました。  
**g** 彼の助けのおかげで、わたしはその仕事を終えることができました。

## その他の前置詞

P129

- a** わたしは彼らに笑われました。  
**b** 彼は飛行機で福岡へ行きました。  
**c** 彼女はナイフでそのロープを切りました。  
**d** メアリーは青い目をしたかわいい女の子です。  
彼はパイプを口にくわえたまま話しました。  
**e** 彼は年のわりには若く見えます。

## 練成問題

## 1 解答

- (1) 工 (2) ア (3) イ (4) ア (5) 工  
(6) ウ (7) ウ (8) イ (9) イ (10) ア

P130

## 訳と解説

- (1) 「わたしは2か月間ここに滞在するつもりです。」\*期間の長さはfor「…の間」を用いる。  
(2) 「壁に数枚の絵があります。」\*表面に接していることを表す場合にはonを用いる。  
(3) 「地球は太陽の周りを回っています。」  
(4) 「ロンドンでの滞在中に、わたしはいとこを訪ねました。」\*特定の期間を表して「…の間に」はduringを用いる。whileは「…の間に」という意味の接続詞である。  
(5) 「あなたはあなたのお兄[弟]さんに何を買ってあげたのですか。」\*buy B for A「AにBを買う」  
(6) 「その少年は教室から外へ走って行きました。」  
\* out of … 「…から外へ」  
(7) 「わたしはかさをなくしてしまいました。今、それを探しています。」\* look for … 「…を探す」  
(8) 「彼女は学校を休みました。」\* be absent from … 「…を欠席する」  
(9) 「バスはこの学校の生徒たちでいっぱいでした。」  
\* be filled with … 「…でいっぱいである」  
(10) 「彼はそのナイフで肉を切ろうとしました。」\* 《with + 道具》「…を使って」

## 2 解答

- (1) in (2) on (3) at (4) since (5) in  
(6) in (7) on (8) before (9) after (10) between  
(11) to (12) for (13) by

## 訳と解説

- (1) 「6月に雨がたくさん降ります。」\*月はinを用いて表す。  
(2) 「わたしは5月30日に生まれました。」\*特定の日はonを用いて表す。  
(3) 「わたしたちの学校は8時35分に始まります。」\*時刻はatを用いて表す。  
(4) 「彼は先週からずっと北海道に滞在しています。」

- (5) 「ここで待っていてください。わたしは数分で戻ります。」 \* in ... 「…のうちに, …たてば」
- (6) 「この本はやさしい英語で書かれています。」 \* 《in + 言語名》「…語で」
- (7) 「日曜日には学校がありません。」 \* 曜日は on を用いて表す。
- (8) 「食事の前に手を洗わなければいけません。」
- (9) 「8月のすぐあとに来るのは何月ですか。— 9月です。」

- (10) 「2月は1月と3月の間に来ます。」 \* between A and B 「A と B の間に」
- (11) 「彼女は7時に駅に着きました。」 \* get to ... 「…に着く」
- (12) 「親切なアドバイスをありがとう。」 \* Thank you for ... 「…をありがとう。」
- (13) 「彼女はバスで駅まで行きました。」 \* 《by + 乗り物》「…で」

P131 3 解答

- |                  |                   |                      |
|------------------|-------------------|----------------------|
| (1) from, to     | (2) without using | (3) in front of      |
| (4) to           | (5) written to    | (6) for, till[until] |
| (7) help me with | (8) for           | (9) different from   |
| (10) at, on      |                   |                      |

解説

- (1) 「A から B まで」 from A to B
- (2) 「～せずに」 without ～ing
- (3) 「…の前に」 in front of …
- (4) 「…に所属する」 belong to …
- (5) 「わたしは彼から手紙をもらっていない」→「彼はわたしに手紙を書いている」と考える。\* 「…に手紙を書

く」 write to …

- (6) 「…を待つ」 wait for …, 「…まで」 till[until] …
- (7) 「…の～を手伝う」 help … with …
- (8) 「…を出発して～へ向かう」 leave … for …
- (9) 「…と違う」 be different from …
- (10) 「[場所]を訪れる」 call at …, 「家に帰る途中に」 on one's way home

4 解答

- |                  |             |                       |
|------------------|-------------|-----------------------|
| (1) before       | (2) to      | (3) from, till[until] |
| (4) without your | (5) good at | (6) with              |

訳と解説

- (1)③ 「ジョンは英語を勉強し、それから寝ました。」
- ① 「ジョンは寝る前に英語を勉強しました。」
- (2)③ 「わたしはこの番組に興味があります。」
- \* be interested in … 「…に興味がある」
- ① 「この番組はわたしには興味深い。」 \* be interesting to … 「…にとって興味深い」
- (3)③ 「彼は1日中働きました。」 \* all day long 「1日中」
- ① 「彼は朝から晩まで働きました。」 \* from morning till[until] night 「朝から晩まで」

- (4)④ 「あなたが手伝ってくれなければ、わたしはこれができるできません。」
- ① 「あなたの手伝いなしに、わたしはこれをする事ができません。」
- (5)④ 「わたしの父は上手に料理をする人です。」
- ① 「わたしの父は料理が上手です。」 \* be good at … 「…が上手である」
- (6)④⑤ 「ベンおじさんは大きな鼻をした老人です。」
- \* 《with + 物》「…を持った」

発展問題

P132 1 解答

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (1) イ  | (2) ウ  | (3) ウ  | (4) エ  | (5) オ  |
| (6) エ  | (7) ア  | (8) ウ  | (9) イ  | (10) イ |
| (11) ア | (12) ウ | (13) ウ | (14) イ | (15) イ |
| (16) ウ | (17) ウ |        |        |        |

訳と解説

- (1) 「わたしの時計ではちょうど7時です。」 \* 「…の時計では」は by を用いる。
- (2) 「彼女は5月3日の朝に出発するでしょう。」 \* 特定の日の朝を表す場合は on を用いる。
- (3) 「太陽は東から昇ります。」 \* 「…の方角に」と方向を表す場合は in を用いる。日本語では「から」と訳すのが自然であるが、from は用いないので注意する。
- (4) 「科学者たちは望遠鏡を通して月の研究をすることができました。」
- (5) 「その川にかかっているきれいな橋が見えますか。」
- (6) 「彼女は年のわりには背が高い。」 \* for one's age 「年のわりには」
- (7) 「あなたがそのような間違いをすることは不注意です。」 \* 形容詞 careless が人の性質を表すので、of を用いて、It … of - to ~. 「-が~するのは…だ。」とする。
- (8) 「あなたは元気そうではありません。どうしたのですか。」 \* What is the matter with …? 「…はどうしましたか。」
- (9) 「牛乳からバターとチーズが作られます。」 \* A is

made from B. = B is made into A. 「BからAが作られる。」

- (10) 「あなたは自分の健康に気をつけるべきです。」 \* be careful of … 「…に気をつける」
- (11) 「彼の父親は多くの人に知られています。」 \* be known to … 「…に知られている」
- (12) 「あなたは列車に間に合うでしょう。」 \* be in time for … 「…に間に合って」
- (13) 「ところで、あなたはもう手紙を受け取りましたか。」 \* by the way 「ところで」
- (14) 「あまり犬を恐れなくてください。」 \* be afraid of … 「…を恐れる」
- (15) 「あなたはベン・ジョンソンを知っていますか。— いいえ、わたしはそのような人のことを1度も聞いたことがありません。」 \* hear of … 「…のことを耳にする、…のうわさを聞く」
- (16) 「彼はたくさんの質問をわたしにしました。」 \* ask A B = ask B of A 「AにBをたずねる」
- (17) 「その列車は全速力で走行していました。」 \* 速度を表す場合には at を用いる。

2 解答

- |             |          |                |
|-------------|----------|----------------|
| (1) for     | (2) by   | (3) in, on, of |
| (4) between | (5) on   | (6) with, on   |
| (7) in      | (8) for  | (9) of         |
| (10) to     | (11) in  | (12) on        |
| (13) at     | (14) of  | (15) of        |
| (16) on, on | (17) for | (18) to        |

訳と解説

- (1) 「わたしはきのう、初めてマイクのお父さんに会いました。」 \* for the first time 「初めて」
- (2) 「わたしたちは来月末までにレポートを提出しなければなりません。」
- (3) 「彼は1936年9月1日にイギリスで生まれました。」
- (4) 「わたしは2人の太った女性の間にはさまれました。」
- (5) 「彼は5月の晴れた朝に旅を始めました。」 \* 特定の日の朝であることに注意する。
- (6) 「彼は書くための鉛筆も、書くための紙も持っていませんでした。」 \* 「鉛筆で書く」は write with a pencil. 「紙に書く」は write on paper なので、前置詞が必要となる。
- (7) 「ローマは1日にしてならず。」
- (8) 「急がないと、列車に遅れてしまいますよ。」 \* be late for … 「…に遅れる」

- (9) 「多くの家は木で作られています。」 \* be made of … 「…できている」 [材料]
- (10) 「わたしの話を注意深く聞きなさい。さもないと失敗しますよ。」 \* listen to … 「…を聞く」
- (11) 「彼は新しい機械の発明に成功しました。」 \* succeed in … 「…に成功する」
- (12) 「わたしたちは歩いてそこへ行きます。」 \* on foot 「歩いて」
- (13) 「彼は90歳で死にました。」 \* at the age of … 「…歳のときに」
- (14) 「彼はそれは役に立たないと思いました。」 \* of no use 「役に立たない」 (= useless)
- (15) 「彼女の心は喜びでいっぱいでした。」 \* be full of … 「…でいっぱいである」
- (16) 「家に帰る途中でわたしを訪ねてください。」 \* call on … 「[人]を訪ねる」

(17) 「わたしの故郷は美しい山々で有名です。」 \* be famous for ... 「…で有名である」

(18) 「わたしはあなたの手紙を楽しみにしています。」  
\* look forward to ... 「…を楽しみに待つ」

### 3 解答

- |       |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| (1) キ | (2) ソ | (3) カ | (4) ケ | (5) セ  |
| (6) エ | (7) コ | (8) ウ | (9) サ | (10) ア |

#### 訳と解説

- (1) 「人は自分の健康に気をつけるべきです。」 \* take care of ... 「…に気をつける」  
 (2) 「水は酸素と水素へ変えることができます。」 \* 変化を表す場合は into を用いる。  
 (3) 「車がねこをひきました。」 \* run over ... 「…をひく」  
 (4) 「わたしの口を見てわたしに続いて発音してください。」  
 (5) 「彼はひどい頭痛に苦しみました。」 \* suffer from ... 「…に苦しむ」

- (6) 「わたしは CD を聞いています。」  
 (7) 「彼女は自分の仕事に興味を持っています。」  
 (8) 「あなたは彼女に彼女の親切を感謝しなければなりません。」 \* thank ... for ~ 「…に~を感謝する」  
 (9) 「わたしにはその2冊の本の間の差がほとんどわかりません。」  
 (10) 「彼はわたしの腕をつかみました。」 \* 《catch + 人 + by + 体の部分》「…の~をつかむ」

### P134 4 解答

- |                |                        |        |
|----------------|------------------------|--------|
| (1) in         | (2) in                 | (3) on |
| (4) to         | (5) in                 | (6) of |
| (7) looks like | (8) with your shoes on |        |

#### 解説

- (1) 「インクで」 in ink  
 (2) 「事故で」は in を用いる  
 (3) 「…をつける」 turn on ...  
 (4) 「…のおかげで」 thanks to ...

- (5) 「…に出場する」 take part in ...  
 (6) 「…のかわりに, …しないで」 instead of ...  
 (7) 「…のようだ」 look like ...  
 (8) 「…をはいたままで」は付帯状況を表す with を用いて, with ... on で表すことができる。

### 5 解答

- |                  |             |                              |
|------------------|-------------|------------------------------|
| (1) During, stay | (2) With    | (3) full of[filled with]     |
| (4) with, on     | (5) pay for | (6) by plane[airplane / air] |
| (7) spite        | (8) because | (9) at, age of               |

#### 訳と解説

- (1) ㉠㉡ 「京都に滞在中に, 彼はいくつかの寺を訪ねました。」  
 (2) ㉠ 「父親が助けたので, 彼はようやく夏休みの宿題が終わりました。」  
 ㉡ 「父親の助けがあったので, 彼はようやく夏休みの宿題が終わりました。」  
 (3) ㉠ 「バスには多くの子供たちがいました。」  
 ㉡ 「バスは子供たちでいっぱいでした。」  
 (4) ㉠㉡ 「帽子をかぶっているあの男性はわたしのおじです。」 \* 付帯状況を表す with を用いる。  
 (5) ㉠ 「彼の車はいくらでしたか。」  
 ㉡ 「彼は車にいくら支払いましたか。」 \* pay ... for ~ 「~に…を支払う」

- (6) ㉠㉡ 「わたしの父はきのう, 飛行機で大阪へ行きました。」  
 (7) ㉠ 「激しく雨が降っていましたが, 彼女は買い物へ出かけました。」  
 ㉡ 「激しい雨にもかかわらず, 彼女は買い物へ出かけました。」 \* in spite of ... 「…にもかかわらず」  
 (8) ㉠ 「トムは慎重に運転するので, 今までに1度も事故にあったことはありません。」  
 ㉡ 「トムは慎重な運転のため, 今までに1度も事故にあったことはありません。」 \* because of ... 「[原因・理由を表して] …のために」  
 (9) ㉠㉡ 「わたしは10歳のときにサッカーをやり始めました。」

## 練成問題

## 1 解答

- (1) have been playing      (2) has been working      (3) has been snowing  
 (4) have been talking      (5) has been watching      (6) have, been waiting  
 (7) has, been raining

## 解説

過去から現在まで「ずっと～している」とある動作が継続していることを表すときには現在完了進行形《have[has]

been + ~ing》を用いる。

(4) 「電話で」 on the phone

(6) 「…を待つ」 wait for …

## 2 解答

- (1) 彼が帰宅したとき、彼の子供たちはすでに寝ていました。  
 (2) わたしはこの会社に就職するより前に彼を知っていました。  
 (3) 彼は発見されるまで3日間何も食べていませんでした。  
 (4) わたしは今年の夏にパリへ行きました。それ以前は1度もそこに行ったことがありませんでした。  
 (5) わたしは彼女を知っていました。というのは、その1年前に彼女と会ったからでした。  
 (6) マイクがわたしに会いに来たとき、わたしはすでに宿題を終えていました。  
 (7) 彼女は自分の父親が3か月間入院していたと言いました。  
 (8) わたしが生まれたとき、両親が結婚してから10年経っていました。  
 (9) わたしは列車が数分前に発車してしまっていたことがわかりました。

## 解説

過去のある時点を基準にして、そのときまでの《完了》、《結果》、《継続》、《経験》などを表す場合は、過去完了《had + 過去分詞～》を用いる。時間の基準は、文中の副詞句[節]などから読み取れる場合が多い。

(5) この before は過去のある時点を基準にした場合の「…前」という意味。

(7) be in the hospital 「入院している」

(8) be married 「結婚している」

## 3 解答

- (1) The baby has been sleeping for three hours.  
 (2) We have been traveling in Hawaii since yesterday.  
 (3) She has been reading a book for two hours.  
 (4) He has been driving his car since this morning.  
 (5) They have been running in the park for an hour.  
 (6) I have been enjoying my stay in London since last week.

## 訳と解説

現在進行形から現在完了進行形への書きかえ。

(1) 「その赤ん坊は3時間ずっと眠っています。」

(2) 「わたしたちはきのうからずっとハワイを旅行しています。」

(3) 「彼女は2時間ずっと本を読んでいます。」

- (4) 「彼はけさからずっと車を運転しています。」  
 (5) 「彼らは1時間ずっと公園で走っています。」

- (6) 「わたしは先週からずっとロンドンでの滞在を楽しんでいます。」

**4 解答**

- (1) had, begun[started]      (2) had worked      (3) had told  
 (4) had bought      (5) had not rained

**解説**

- (1) 「球場に着いた」時点での《完了》。  
 (2) 「退職した」時点までの《継続》。

- (3) 「知っていた」時点までの《経験》。  
 (4) 「あげた」時点より前の動作。  
 (5) 「きのう」までの《継続》。

**5 解答**

- (1) I knew (that) she was a kind girl.  
 (2) I knew (that) he had been ill.  
 (3) I was sure (that) they had had a good time.  
 (4) She said (that) she had seen the movie three days before.

**解説**

主節の動詞が過去形るとき、従属節の動詞は時制の一致を受ける。そのさい、《現在》→《過去》、《過去》→《過去完了》と変化する。

- (1) 「わたしは、彼女が親切な女の子だということを知っていました。」  
 (2) 「わたしは、彼が病気だったということを知ってしまし

た。」

- (3) 「わたしは、彼らが楽しいときを過ごしたと確信していました。」  
 (4) 「彼女は3日前にその映画を見たと言っていました。」  
 \*過去の時点よりもさらに3日前となるので、agoではなく before を用いる。

**発展問題**

P140

**1 解答**

- (1) ウ      (2) ウ      (3) エ      (4) ウ      (5) イ  
 (6) イ

**訳と解説**

- (1) 「彼女はけさからずっと部屋を掃除しています。」  
 (2) 「わたしが駅に到着したとき、列車はすでに出発していました。」  
 (3) 「わたしは彼のことをよく知っていました。というのも、わたしは彼に何度も会ったことがあったからでした。」  
 (4) 「彼は途中で何かをなくしたと言いました。」\* on the

way「途中で」

- (5) 「彼は1週間前に彼のおじさんを訪ねたと言いました。」  
 (6) 「彼は日本に来る前に5年間日本語を勉強していました。」  
 《had been + ~ing》は過去完了進行形といい、過去のある時点まで「ずっと～していた」とある動作が継続していたことを表す。

**2 解答**

- (1) had been dead      (2) have been looking for      (3) has been raining  
 (4) has been      (5) has been listening to      (6) had been[gone]  
 (7) had lived      (8) had given      (9) had read  
 (10) arrived, had stopped

**解説**

(2) 「…を探す」 look for …, 「何時間も」 for hours

(8) 「祖父にもらった時計」→「祖父が与えた時計」と考える。

**3 解答**

- (1) has been, since                      (2) have been writing, for    (3) had, met  
(4) had bought, before

P141

**訳と解説**

(1)㉔ 「わたしの父は10時に仕事を始めました。そして、彼は今、まだ働いています。」

㉕ 「わたしの父は10時からずっと仕事をしています。」

(2)㉔ 「わたしがこの手紙を書き始めてから2時間が経っています。」

㉕ 「わたしは2時間ずっとこの手紙を書いています。」

(3)㉔ 「わたしが初めて祖父に会ったとき、わたしは12歳

でした。」

㉕ 「わたしは12歳になるまで、祖父に会ったことがありませんでした。」

(4)㉔ 「わたしは2日前、青いセーターを買いました。わたしはきのうそれを着ていました。」

㉕ 「わたしはきのう、前日に買った青いセーターを着ていました。」 \* the day before 「前日」

**4 解答**

- (1) We have been looking forward to meeting you.  
(2) What have you been doing since this morning?  
(3) (They) had lived in Osaka for two years before they moved to Tokyo.  
(4) (Yesterday he) showed me the pictures he had taken during his trip.  
(5) (I) had never seen a panda until I was (ten years old.)

**解説**

(1) 「～するのを楽しみにする」 look forward to ~ing

(5) 「わたしは10歳のときまでパンダを1度も見たことがありませんでした。」という英文を完成させる。

**5 解答**

- (1) She has been practicing the piano for three hours.  
(2) How long has it been raining hard[heavily]?  
(3) When I got up, my sister had already had[eaten / finished] breakfast.  
[My sister had already had[eaten / finished] breakfast when I got up.]  
(4) I didn't know (that) he had been an English teacher before.

**解説**

(2) 「激しく」 hard[heavily]

練成問題

P144 1 解答

- (1) イ (2) ウ (3) ウ (4) ア

解説

- (1) 「-が~するのを見る」は《see + 目的語 + 原形不定詞》で表す。  
 (2) 「(強制的に)-に~させる」は《make + 目的語 + 原形不定詞》で表す。  
 (3) 《被害》を表して「-を~される」は《have[get] + 目的語 + 過去分詞》で表す。\* steal - stole - stolen  
 (4) 「-に~してもらう」は《get + 目的語 + to 不定詞》で表す。

2 解答

- (1)① 彼はだれかが自分の名前を呼んでいるのを聞きました。  
 ② 彼は自分の名前が呼ばれるのを聞きました。  
 (2)① 彼の両親は彼に大学で勉強をさせました。  
 ② 彼の両親は彼に大学で勉強するのを許しました。  
 (3)① わたしは彼にその木を切らせました。  
 ② わたしは髪の毛を切ってもらいました。  
 (4)① ブラウンさんは彼の息子がその家に入るのを見ました。  
 ② ジョンは彼の父によってその家に入るのを見られました。

解説

- (1) 《hear + 目的語 + 現在分詞》は「-が~しているのを聞く」、《hear + 目的語 + 過去分詞》は「-が~されるのを聞く」。  
 (2) make は強制的, let は許可の意味あいを持つ。  
 (3) 《have + 目的語 + 原形不定詞》は「-に~させる」、《have + 目的語 + 過去分詞》は「-を~してもらう」という意味。①の cut は原形, ②の cut は過去分詞。  
 (4) 原形不定詞は, 受動態では to 不定詞にかわることに注意。

P145 3 解答

- (1) ア (2) ア (3) ア (4) ア (5) ア  
 (6) ア (7) イ (8) ウ (9) イ (10) イ

訳と解説

- (1) 「わたしは彼女が窓を開けるのを見ました。」  
 (2) 「あなたは向こうで男性が車にはねられるのを見ましたか。」\* hit 「…にあたる」- hit - hit  
 (3) 「あなたは今までにメアリーがピアノを弾いているのを聞いたことがありますか。」  
 (4) 「先生は生徒たちを早く帰宅させました。」  
 (5) 「わたしの姉[妹]にあなたの昼食を作らせましょう。」  
 (6) 「わたしは彼が映画を見に行くのを許すつもりです。」  
 (7) 「きのう、わたしは彼に腕時計を修理してもらいました。」  
 (8) 「あなたは虫菌を抜いてもらったほうがいいですよ。」  
 \* had better ~ 「~したほうがいい」、bad tooth 「虫菌」  
 (9) 「トムは自分の英語を理解してもらえませんでした。」  
 \* make oneself understood 「自分を理解してもらう、自分の話が(相手に)通じる」  
 (10) 「わたしは彼に重労働をさせられました。」\* He made me do the hard work. の受動態。

**4 解答**

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| (1) someone[somebody] call my | (2) him running with |
| (3) something black moving    | (4) let her use      |
| (5) let, go                   | (6) have[get], cut   |
|                               | (7) makes you        |

**解説**

- (1) 「呼ぶのを」なので原形不定詞 call を用いる。  
 (2) 「走っているのを」なので現在分詞 running を用いる。  
 (3) 「何か黒いもの」は、形容詞を後置して something black で表す。

- (4)(5) 文脈から《許可》を表すとわかるので let を用いる。  
 \* let - let - let.  
 (7) 「何があなたにそのように考えさせるのですか。」という文を完成する。

**発展問題**

**1 解答**

- (1) (She) felt someone hiding in the room.
- (2) (I) found Tom lying under the tree.
- (3) Have you ever heard him spoken ill of (by others?)
- (4) Shall I have her call you back later?
- (5) Can you get your husband to stop smoking?
- (6) I was made to sing a song at the party.
- (7) She tried to make herself look much younger than she really was.
- (8) (I'll) come to you as soon as I get this work finished.
- (9) Please let me know who that tall man is.
- (10) This medicine will make you feel all right.
- (11) An hour's walk made me feel hungry.

**解説**

- (2) lying は lie 「横になる」の ing 形。  
 (4) 「…に電話をかけなおす」 call ... back  
 (7) 「年よりも」→「実際彼女がそうであったよりも」と考える。  
 (8) 「…したらすぐに」 as soon as ...  
 (9) 「わたしに教えてください」→「わたしに知らせてくださ

- い」と考える。「…がだれなのか」の部分は間接疑問文《疑問詞+主語+動詞〜》で表す。  
 (10) 「この薬はあなたの気分を良くさせるでしょう。」という文を完成する。  
 (11) 「1時間の徒歩がわたしを空腹に感じさせた。」という文を完成する。

**2 解答**

- |                      |                      |                   |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| (1) had[got], stolen | (2) seen to          | (3) heard to sing |
| (4) made to write    | (5) was seen walking | (6) heard her     |
| (7) see              | (8) What             | (9) made          |
| (10) know, once      |                      |                   |

**訳と解説**

- (1)① 「だれかがきのう、わたしの腕時計を盗みました。」  
 ② 「わたしはきのう、腕時計を盗まれました。」  
 (2)① 「彼女はわたしがその部屋から出てくるのを見ました。」

- \* out of ... 「…から外へ」  
 ② 「わたしは彼女にその部屋から出てくるのを見られました。」  
 (3)① 「彼らはその女の子たちが歌を歌うのを聞きました。」

- (b) 「その女の子たちは彼らに歌を歌うのを聞かれました。」
- (4)(a) 「父はわたしに英語で手紙を書かせました。」
- (b) 「わたしは父に英語で手紙を書かされました。」
- (5)(a) 「ボブは彼女が1人でその通りを歩いているのを見ました。」
- (b) 「彼女は1人でその通りを歩いているのをボブに見られました。」 \* 《知覚動詞+目的語+現在分詞》の文の受動態では、現在分詞はそのままである。
- (6)(a) 「彼女は部屋の中で歌っているのを聞かれました。」
- (b) 「わたしたちは彼女が部屋の中で歌っているのを聞きました。」

- (7)(a) 「わたしにそれを見せてください。」
- (b) 「わたしにそれを見させてください。」
- (8)(a) 「どうしてあなたはそこへ行ったのですか。」
- (b) 「何があなたをそこへ行かせたのですか。」
- (9)(a) 「どうして彼女は考えを変えたのですか。」
- (b) 「何が彼女の考えを変えさせたのですか。」
- (10)(a) 「あなたはただちに彼にそれを報告すべきです。」  
\* ought to ~ 「~すべきだ」
- (b) 「あなたはすぐに彼にそれについて知らせるべきです。」  
\* at once 「すぐに」

### 3 解答

- (1) I have never seen him brush his teeth.
- (2) I heard children laughing happily[merrily].
- (3) I had[got] my purse stolen in[on] a[the] bus.
- (4) I don't know when he will come, but please let me know as soon as he comes.  
\* don't know は can't tell も可。
- (5) I saw a gentleman reading an English (news) paper in[on] the train.
- (6) I had[got] my hat[cap] blown off (by the wind) on my[the] way to school.

#### 解説

- (4) 「彼がいつ来るか」は間接疑問文で表す。

- (6) 「…への途中で」 on one's[the] way to …

## 練成問題

## 1 解答

- (1) ① 彼はアメリカ人の女の子をわたしに紹介してくれた少年です。  
 ② わたしはマイクに会いましたが、彼はアメリカ人の女の子をわたしに紹介してくれました。
- (2) ① 彼が先日話していた本はとてもおもしろかった。  
 ② その本は、彼が先日話していた本ですが、とてもおもしろかった。
- (3) ① 彼には結婚している娘が2人います。  
 ② 彼には娘が2人いますが、彼女らは結婚しています。
- (4) ① 立っている乗客がたくさんいました。  
 ② 乗客がたくさんいましたが、彼らは立っていました。
- (5) ① 50年前に植えられたその木は高さが10メートルあります。  
 ② その木は、わたしの父と年齢が同じですが、高さが10メートルあります。

## 解説

①はいずれも制限用法で、関係代名詞節が先行詞を限定的に修飾している。②はいずれも非制限用法で、先行詞について挿入的、補足的に説明している。

(1) introduce A to B 「AをBに紹介する」

(2) speak of … 「…について話す、…を話題にする」、the other day 「先日」

(3) ①では、彼には2人の他にも娘がいるかもしれないが、②では彼の娘は2人だけである。

## 2 解答

- (1) What he said cannot be true.  
 (2) This is what I must do today.  
 (3) We love what is beautiful.  
 (4) He showed an interest in what I told him.

## 解説

関係代名詞 what は先行詞を含んでいて「～のもの、～のこと」という意味を表す。

- (1) 「彼の言ったこと」の部分で what 節で表す。この what 節は主語。  
 (2) 「わたしがきょうしなければならないこと」の部分で what 節で表す。この what 節は補語。

(3) 「美しいもの」の部分で what 節で表す。that which is beautiful と同意なので what is beautiful という語順になることに注意する。この what 節は動詞 love の目的語。

(4) 「わたしが言ったこと」の部分で what 節で表す。この what 節は前置詞 in の目的語。

\* 「…に興味を示す」 show an interest in …

## 3 解答

- (1) when (2) where (3) why (4) how

## 解説

(1) 先行詞が《時》を表す the season なので、関係副詞 when が入る。

(2) 「…のところで」と《場所》を表しているので、関係副詞 where が入る。先行詞 the place が省略されている。

(3) 「そんなわけで」と《理由》を表しているので、関係副

詞 why が入る。先行詞 the reason が省略されている。英文の直訳は「それがわたしが彼女に会うことができなかった理由です」。

(4) 「このようにして」と《方法》を表しているので、関係副詞 how が入る。英文の直訳は「これがわたしがその問題を解いた方法です」。

#### 4 解答

- (1) when, あなたは彼女がニューヨークへ出発した日付を知っていますか。  
 (2) why, わたしは彼がこんなに長く学校を休んでいる理由を知りません。  
 (3) how, これはわたしがこれらのコンピュータの使い方を学んだ方法です。  
 (4) where, こちらがわたしたちが日常生活で必要な物を通常買う店です。

#### 解説

- (1) 先行詞が《時》を表す the date なので関係副詞 when が入る。  
 (2) 文脈から《理由》を表すと考えられるので、関係副詞 why が入る。

- (3) 文脈から《方法》を表すと考えられるので、関係副詞 how が入る。  
 (4) 先行詞が《場所》を表す the shop なので、関係副詞 where が入る。what は関係代名詞。

#### 5 解答

- (1) ウ (2) イ (3) ア (4) イ (5) ウ  
 (6) イ (7) イ

#### 訳と解説

- (1) 「わたしはあなたがわたしに言ってくれたことを決して忘れないでしょう。」  
 (2) 「わたしはシェイクスピアが生まれた町を訪ねたい。」  
 = I want to visit the town in which Shakespeare was born.  
 (3) 「ここがわたしが昨年訪れた村です。」 \* 先行詞 the village が、動詞 visited の目的語にあたるので、目的格の関係代名詞が入る。

- (4) 「わたしはあなたにお会いできるのを楽しみに待っています。」 \* look forward to … 「…を楽しみに待つ」  
 (5) 「あなたはこの機械がどのように動くか知っていますか。」  
 (6) 「あなたがしなければならないことは、試験に備えることです。」 \* prepare for … 「…の準備をする」  
 (7) 「これが彼がそのような間違いをした理由です。」  
 \* make a mistake 「間違いをする」

### 発展問題

#### P152 1 解答

- (1) ア (2) ア (3) ウ (4) ア (5) ウ  
 (6) イ (7) ウ

#### 訳と解説

- (1) 「その橋は、昨年造られたのですが、わたしたちの国で最も長い。」 \* 非制限用法の関係代名詞。関係代名詞 that には非制限用法がないことに注意する。  
 (2) 「わたしは彼のお姉[妹]さんと会いましたが、彼女はわたしにおもしろい話をしてくれました。」  
 (3) 「ここが彼が生まれた村です。」 \* その村(の中)で生まれ

- たので、in which (= where)。  
 (4) 「わたしは彼が戻る正確な時間を知りません。」 \* その時間に戻るので、at which (= when)。  
 (5) 「これが彼が試験に失敗した理由です。」  
 (6) 「わたしたちが中に住むものは家と呼ばれます。」  
 \* in の目的語にあたるので関係代名詞を選ぶ。  
 (7) 「わたしは飛行機を操縦する方法を知りたい。」

## 2 解答

- |           |               |              |
|-----------|---------------|--------------|
| (1) why   | (2) how       | (3) where    |
| (4) what  | (5) on / when | (6) in which |
| (7) which | (8) which     |              |

### 訳と解説

- (1)①② 「彼は自分がキャシーを泣かせてしまった理由がまだわかりません。」
- (2)①② 「わたしは母に電子メールを送ることができる方法を教えました。」
- (3)① 「ここにとても古い家があります。彼はこの家で生まれました。」
- ② 「ここに彼が生まれたとても古い家があります。」
- (4)① 「彼の言葉にはいくらか真実が含まれています。」
- ② 「彼が言うことにはいくらか真実が含まれています。」
- (5)①② 「わたしたちはその試合に勝った日を決して忘れな

いでしよう。」

\*その日に試合に勝ったので、on which。

- (6)①② 「ここが彼が生まれた家です。」
- (7)① 「『ハムレット』は有名な戯曲です。それはシェイクスピアによって書かれました。」
- ② 「『ハムレット』は、シェイクスピアによって書かれましたが、有名な戯曲です。」
- (8)① 「とてもわくわくするので、どの子供もこのゲームが大好きです。」
- ② 「どの子供もこのゲームが大好きです、というのはそれはとてもわくわくするからです。」

## 3 解答

- |                  |                     |                 |
|------------------|---------------------|-----------------|
| (1) who          | (2) how             | (3) What        |
| (4) what         | (5) why             | (6) which[that] |
| (7) when we went | (8) where, was born | (9) for which   |
| (10) which       |                     |                 |

P153

### 解説

- (1) 先行詞が a boy であることに注意する。直前の in front of the station は副詞句。
- (3) 「この国に必要なのは」→「この国が必要とするものは」と考える。

- (6) 先行詞 the town が、動詞 visited の目的語にあたるので、目的格の関係代名詞が入る。

\*「先日」the other day

- (9) 空所の数から判断して、《前置詞＋関係代名詞》を用いる。  
for which = why

## 4 解答

- (1) Kyoto is a beautiful city where there are many[a lot of] old temples.
- (2) He often visits the country where[in which] he was born.
- (3) Nobody[No one] will believe what he says.
- (4) That is (the reason) why he refused my offer.
- (5) He wanted to know how I had succeeded in life.
- (6) I'll never forget the day when[on which] I reached[got to] the top[summit] of the mountain.

### 解説

- (1) [where を用いて]という指示がなければ、関係代名詞を用いて Kyoto is a beautiful city which[that] has many[a lot of] old temples. と書ける。

- (3) 「だれも…ない」nobody[no one]

- (5) 「出世した」のは「知りがった」という過去の時点よりもさらに前のことなので、had succeeded と過去完了にすることに注意する。

## 練成問題

## P156 1 解答

- |              |                 |                |
|--------------|-----------------|----------------|
| (1) Walking  | (2) Feeling     | (3) Turning    |
| (4) Being    | (5) Smiling     | (6) Not having |
| (7) It being | (8) Having done | (9) Written    |

## 訳と解説

分詞構文の基本は、副詞節の接続詞と主語を取り去り、動詞を現在分詞に変えることである。

- (1) (a) (b) 「通りを歩いている間に、わたしは友達に会いました。」
- (2) (a) (b) 「疲れを感じたので、彼は早めに寝ました。」
- (3) (a) (b) 「左に曲がれば、図書館が見つかるでしょう。」
- (4) (a) (b) 「若かったけれども、彼はわたしが言うことを理解できました。」
- (5) (a) (b) 「わたしにほほえんで、彼女は話し始めました。」  
\* 《付帯状況》を表す分詞構文。
- (6) (a) (b) 「何もすることがなかったので、わたしは映画を見

に行きました。」\* 副詞節が否定文の場合は、否定語(not)を分詞の前に置く。

- (7) (a) (b) 「天気の良い日だったので、わたしたちは散歩に出かけました。」\* 副詞節と主節の主語が異なる場合は、分詞の前に主語を残す。
- (8) (a) (b) 「宿題をしたので、彼は今テレビを見ることができません。」\* 副詞節の時制が主節の時制よりも前のときは、《having + 過去分詞》の形にする。
- (9) (a) (b) 「やさしい英語で書かれているので、その本は学生たちに読まれています。」\* 副詞節が受動態の場合は、《being + 過去分詞》の形にする。beingは、文頭にくる場合はふつう省略する。

## 2 解答

- (1) 橋を渡れば、左手に白い建物が見えるでしょう。
- (2) 勤勉なので、あなたは出世するでしょう。
- (3) おばのところに滞在していたとき、わたしは農場で働きました。
- (4) 彼の住所を知らなかったため、彼女は彼に手紙を書けませんでした。
- (5) きのは寒かったので、わたしは泳ぎに行きませんでした。
- (6) 建物のてっぺんから見ると、通りの人々はとても小さく見えました。
- (7) とても一生懸命に働いたので、今、わたしはとてもおなかすいて、のどが渇いています。

## 解説

分詞構文の表す意味は、文の前後関係から判断する。

- (1) 《条件》を表すと考える。
- (2) 《理由》を表すと考える。
- (3) 《時》を表すと考える。
- (4) 《理由》を表すと考える。否定形であることに注意する。
- (5) 《理由》を表すと考える。分詞構文になっている部分の

主語と主節の主語の違いに注意する。

- (6) 《時》を表すと考える。過去分詞で始まっているので、受動態の意味を表すことに注意する。
- (7) 《理由》を表すと考える。《Having + 過去分詞》の形から、分詞構文の表す時制が、主節の時制《現在》より前の《過去》であることに注意する。

## 3 解答

- (1) Being (2) Being (3) Arriving (4) saying (5) Sitting  
 (6) running (7) Turning (8) having (9) being (10) Seen

## 訳と解説

- (1) 「親切なので、彼はみんなに愛されています。」《理由》  
 (2) 「病気だったので、彼は学校を休みました。」《理由》  
 \* be absent from … 「…を欠席する」  
 (3) 「駅に着いたとき、彼女は母親に電話をかけました。」《時》  
 (4) 「さよならと言いながら、彼はその部屋から出て行きました。」《付帯状況》  
 (5) 「芝生の上ですわって、わたしたちは昼食をとりました。」《付帯状況》  
 (6) 「その犬はほえて、走ってわたしを追いかけてきまし

た。」《付帯状況》

- (7) 「右に曲がれば、駅が見つかるでしょう。」《条件》  
 (8) 「十分なお金がなかったので、わたしはそのCDを買うことができませんでした。」《理由》  
 (9) 「日曜日だったので、そのデパートはたいへん混雑していました。」《理由》  
 (10) 「警官に見られて、彼は逃げ去りました。」《時》  
 \* 受け身の内容を表しているので、《(being) + 過去分詞》の形にする。

## 4 解答

- (1) Hearing (2) Being busy (3) watching TV  
 (4) Not knowing (5) Helped by

## 解説

- (5) 受動態の意味なので、being を省略し、過去分詞で始ま

る分詞構文となることに注意する。

## 5 解答

- (1) Opening the box (, I found an old picture in it.)  
 (2) It being very warm (, he took off his coat.)  
 (3) Written in easy English (, his new novel is easy to read.)  
 (4) Having done my homework (, I went shopping.)

## 解説

- (1) When I opened the box を分詞構文で表した形。

(4) 「宿題をした」は「買い物に行った」よりも前のことなので、《having + 過去分詞》になる。

## 発展問題

## 1 解答

- (1) Being poor (2) Turning left (3) It being rainy  
 (4) It having (5) Having met  
 (6) Though[Although] he was (7) he didn't know  
 (8) As it was (9) As we had

## 訳と解説

- (1) ① ② 「貧しかったので、彼は医者に支払うことができませんでした。」  
 (2) ① ② 「左に曲がれば、その建物が見えるでしょう。」  
 (3) ① ② 「雨が降っていたので、わたしたちはテニスをすることができませんでした。」

(4) ① ② 「昨夜、たくさん雨が降ったので、湖には水がたくさんあります。」\* 副詞節と主節とでの時制のずれと主語の違いの両方に注意する。

(5) ① ② 「以前に彼女に会ったことがあったので、わたしはパーティーで彼女に話しかけました。」

(6) ① ② 「貧しかったけれども、彼は正直でした。」\* 前後関

係から《譲歩》を表すと考える。

(7)ⒶⒷ 「その問題の解き方がわからなかったので、彼はわたしに助けを求めました。」

\* ask A for B 「AにBを求める」

(8)ⒶⒷ 「とても寒かったので、わたしは1日中家にいまし

た。」\*前後関係から《理由》を表すと考える。

\* all day 「1日中」

(9)ⒶⒷ 「去年は豊作だったので、わたしたちは幸せに暮らしています。」\*前後関係から《理由》を表すと考える。分詞構文が表す時制に注意する。

## 2 解答

- (1) Getting up early      (2) Being a good  
(3) The question being easy      (4) Not being rich      (5) Spoken to by  
(6) Having finished reading

### 解説

(2) 「料理が上手だ」→「上手な料理人だ」と考える。

(5) 動詞句 speak to … 「…に話しかける」の受動態の形で

あることに注意する。

(6) 「～し終える」finish ~ing

## P159 3 解答

- (1) Starting at once, you will be in time for (the train.)  
(2) Not having much work to do, I'll take you (for a drive today.)  
(3) It being a hot day, we went swimming (in the sea.)  
(4) He left home at ten, arriving at the airport at noon.  
(5) Seen from here, that ship looks like a small (dot.)  
(6) Having lived in Kobe before, I still have some friends (there.)

### 訳と解説

(2) 「…をドライブに連れていく」take … for a drive

(4) = He left home at ten, and (he) arrived at the airport at noon.

(5) = If[When] that ship is seen from here, it looks like a small dot. \*主語が that ship なので、「ここから見ると」→「ここから見られると」と考える。

## 4 解答

- (1) Looking at the big dog, he ran away at once.  
(2) Being poor, he is happy.  
(3) Sitting at the desk, she began to read the letter.  
(4) Not knowing what to do, I did nothing.  
(5) Having stayed up late last night, he is very sleepy today.  
(6) There being little time left, we had to be in a hurry.  
(7) (Having been) brought up in America, she speaks English like a native.

### 訳と解説

(1) 「その大きな犬を見たとき、彼はすぐに走って逃げました。」

(2) 「貧しいけれども、彼は幸せです。」

(3) 「机のところにすわって、彼女は手紙を読み始めました。」

(4) 「何をすればよいかわからなかったので、わたしは何もしませんでした。」

(5) 「昨夜遅くまで起きていたので、彼はきょう、とても眠い。」

(6) 「ほとんど時間が残っていなかったので、わたしたちは急がなければなりませんでした。」

\* in a hurry 「急いで」

- (7) 「アメリカで育ったので、彼女はネイティブスピーカーのように英語を話します。」

\* 主節よりも前の時制を表す副詞節が受動態の文である場合、分詞構文は《having been + 過去分詞》となるが、having been は省略できる。

## 練成問題

## P162 1 解答

- (1) told me that                      (2) asked him if[whether]    (3) asked me where  
(4) told him to                      (5) asked us to

## 訳と解説

伝達動詞と接続詞などは、被伝達文の種類によって変化させる。

- (1) ㉠ 「彼はわたしに『君は親切な少年ですね。』と言いました。」  
㉡ 「彼はわたしにわたしが親切な少年だと言いました。」  
(2) ㉠ 「わたしは彼に『あなたのお兄[弟]さんはテニスが上手ですか。』と言いました。」  
㉡ 「わたしは彼に彼の兄[弟]がテニスが上手かどうかたずねました。」  
(3) ㉠ 「彼女はわたしに『あなたはどこへ行くところですか。』と言いました。」

か。』と言いました。」

- ㉡ 「彼女はわたしにどこへ行くところかたずねました。」  
(4) ㉠ 「わたしは彼に『その理由をわたしに教えなさい。』と言いました。」  
㉡ 「わたしは彼にその理由をわたしに教えるよう言いました。」  
(5) ㉠ 「その男性はわたしたちに『わたしに飲み物をください。』と言いました。」 \* please のついた依頼の文であることに注意。  
㉡ 「その男性はわたしたちに飲み物をくれるよう頼みました。」

## 2 解答

- (1) she lived                      (2) her, was                      (3) he had  
(4) he had finished              (5) she would leave

## 訳と解説

伝達動詞が過去形の場合、被伝達文は時制の一致を受ける。そのさい、《現在》→《過去》、《過去》→《過去完了》と変化させる。

- (1) ㉠ 「彼女は『わたしはここに住んでいます。』と言いました。」  
㉡ 「彼女はそこに住んでいると言いました。」  
(2) ㉠ 「彼女は『わたしの母はきょう、元気ではありません。』と言いました。」  
㉡ 「彼女はその日、自分の母が元気ではないと言いました。」  
(3) ㉠ 「彼は『わたしはここに住んでいました。』と言いました。」

た。」

- ㉡ 「彼はそこに住んでいたと言いました。」  
\* 「住んでいた」のは「言った」ときよりも前のこと。  
(4) ㉠ 「彼はわたしたちに『わたしはきのう、それを終えました。』と言いました。」  
㉡ 「彼はわたしたちにそれを前日に終えたと言いました。」  
(5) ㉠ 「ホワイトさんはわたしに『わたしはあした、発ちます。』と言いました。」  
㉡ 「ホワイトさんはわたしに翌日に発つと言いました。」  
\* 時制の一致のさい、助動詞を含む被伝達文は、助動詞を過去形にする。

## 3 解答

- (1) told, I worked                      (2) asked, if[whether] she could  
(3) asked, he liked                      (4) told, to cook him              (5) asked, to sing

## 訳と解説

- (1) ㉠ 「彼女はわたしに『あなたは一生懸命働きすぎです。』と言いました。」

- ㉡ 「彼女はわたしに一生懸命働きすぎだと言いました。」  
\* 接続詞 that を省略した形。  
(2) ㉠ 「わたしは彼女に『あなたは泳げますか。』と言いました。」

た。」

⑥ 「わたしは彼女に泳げるかどうかたずねました。」

\* 被伝達文が疑問文の場合は、間接話法では平叙文の語順になる(間接疑問文)。助動詞 can が時制の一致を受けることに注意。

(3)③ 「わたしは彼に『あなたは何のスポーツが好きですか。』と言いました。」

④ 「わたしは彼に何のスポーツが好きかたずねました。」

(4)④ 「彼はわたしに『わたしに何か料理しなさい。』と言いました。」

⑤ 「彼はわたしに何か料理するように言いました。」

(5)④ 「彼女はわたしに『わたしのために歌を歌ってください。』と言いました。」

⑤ 「彼女はわたしに自分のために歌を歌うように頼みました。」

#### 4 解答

(1) エ (2) ウ (3) イ (4) イ (5) ウ

#### 訳と解説

(1)③ 「彼は彼女に『このペンはあなたのものです。』と言いました。」

④ 「彼は彼女にそのペンは彼女のものだと言いました。」  
\* this は that に変化させる。

(2)③ 「彼女はわたしに『あなたはそのニュースを聞きましたか。』と言いました。」

④ 「彼女はわたしにそのニュースを聞いたかどうかたずねました。」

(3)③ 「先生は『第二次世界大戦は1945年に終わりました。』と言いました。」

④ 「先生は第二次世界大戦は1945年に終わったと言

いました。」\*現在の事実・習慣、不変の真理、歴史上の事実などは時制の一致を受けない(時制の一致の例外)。

(4)④ 「彼はわたしに『あなたの身長はどれくらいですか。』と言いました。」

⑤ 「彼はわたしに身長がどれくらいかたずねました。」

(5)④ 「彼女はその男の子たちに『ここでサッカーをしてはいけません。』と言いました。」

⑤ 「彼女はその男の子たちにそこでサッカーをしないように言いました。」\*被伝達文が否定命令文の場合は、不定詞の否定形 not to ~を用いる。

#### 5 解答

(1) says, he wants (2) that he, with me  
(3)① said to (2) she, her (4) asked, if[whether], had  
(5)① will you (2) asked, I would (6)① Please, me (2) to, him  
(7) told, not to

#### 解説

(1) = My father often says, "I want a new camera."

(2) = He said to me, "I want to talk with you."

(3) 「最善を尽くす」 do one's best

(4) = I said to Betty, "Have you visited Paris?"

(7) = The doctor said to my father, "Don't work too much."

#### 発展問題

#### 1 解答

(1) he was (2) told, her, looked (3) told, he had, before  
(4) if[whether] I could (5) asked, if[whether] I knew her  
(6) asked, where I had seen, before  
(7) asked, how long I had lived there  
(8) Do you know (9) I will, my, tomorrow (10) telling, to

(11) told, not to

(12) said, Don't

(13) Are, if[whether], then

(14) asked, to

(15) to, her

訳と解説

- (1)Ⓐ 「彼は『ぼくは疲れています。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼は疲れていると言いました。」
- (2)Ⓐ 「彼女はわたしに『わたしの姉[妹]は悲しそうです。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼女はわたしに自分の姉[妹]が悲しそうだと言いました。」
- (3)Ⓐ 「彼はわたしに『ぼくは2年前に神戸を訪れました。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼はわたしに(そのときから)2年前に神戸を訪れたと言いました。」 \* ago → before
- (4)Ⓐ 「彼はわたしに『あなたはスケートができますか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼はわたしにスケートができるかどうかたずねました。」
- (5)Ⓐ 「彼女はわたしに『あなたはわたしの兄[弟]を知っていますか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼女はわたしに自分の兄[弟]を知っているかどうかたずねました。」
- (6)Ⓐ 「彼女はわたしに『あなたはきのう、どこで彼に会いましたか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼女はわたしに前日どこで彼に会ったかたずねました。」 \* yesterday → the day before
- (7)Ⓐ 「彼はわたしに『あなたはどのくらいここに住んでいますか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼はわたしにどのくらいそこに住んでいるのかたずねました。」 \* here → there
- (8)Ⓐ 「彼女はわたしに彼を知っているかどうかたずねました。」  
 Ⓑ 「彼女はわたしに『あなたは彼を知っていますか。』と

言いました。」

- (9)Ⓐ 「彼は翌日、自分の息子を動物園に連れていくと言いました。」  
 Ⓑ 「彼は『あした、わたしは息子を動物園に連れていきます。』と言いました。」 \* 間接話法から直接話法への転換なので、the next day → tomorrow となる。
- (10)Ⓐ 「彼女はいつもわたしに『一生懸命勉強しなさい。』と言っています。」  
 Ⓑ 「彼女はいつもわたしに一生懸命勉強するように言っています。」
- (11)Ⓐ 「彼はわたしに『窓を開けるな。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼はわたしに窓を開けないように言いました。」
- (12)Ⓐ 「彼は男の子たちにそのようなことをしないように言いました。」  
 Ⓑ 「彼は男の子たちに『そのようなことをするな。』と言いました。」
- (13)Ⓐ 「彼はわたしに『あなたは今、ひまですか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼はわたしにそのときひまかどうかたずねました。」 \* now → then
- (14)Ⓐ 「彼はわたしに『わたしはどこで電車を降りるべきですか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼はわたしにどこで電車を降りるべきかたずねました。」 \* 《where + to 不定詞》「どこで[へ]～すべきか」
- (15)Ⓐ 「彼女はわたしに『あなたの鉛筆をわたしに貸して给我ませんか。』と言いました。」  
 Ⓑ 「彼女は鉛筆を貸してくれるようにわたしに頼みました。」 \* 被伝達文は疑問文であるが、依頼を表すので、《ask + 目的語 + to 不定詞》を用いて間接話法にする。

- (1) Bob said he would visit Mary (to return a book.)  
 (2) Ken asked me to play the piano.  
 (3) He asked me which picture I liked.  
 (4) How many times do I have to tell you not (to make a noise in the library?)  
 (5) (I) asked him if I had to do the work at once.  
 (6) (She) said that there had been an earthquake an hour before.

**解説**

- (1) ボブは “I will visit Mary to return a book.” と言ったと考える。

- (4) 「何度言ったらわかるのですか」→「何度言わなければならないのですか」と考える。

**3 解答**

- (1) I told Mary (that) those flowers were for her.  
 (2) She asked me how she could get to the station.  
 (3) He asked me to wait for him there.  
 (4) Our teacher told us (that) the earth goes around the sun.  
 (5) He said to me, “My brother left for New York yesterday.”  
 (6) My mother said to me, “What do you want to eat for dinner?”  
 (7) Ms. Brown said to Bob, “Don’t be late for school again.”  
 (8) He said to me, “Will it be fine tomorrow?”

**訳と解説**

- (1) 「わたしはメアリーに『これらの花はあなたへのものです。』と言いました。」  
 →「わたしはメアリーにそれらの花は彼女へのものだと  
 言いました。」\* these → those
- (2) 「彼女はわたしに『駅へはどうやって行けばよいですか。』と言いました。」  
 →「彼女はわたしに駅へはどう行けばよいのかたずねました。」
- (3) 「彼はわたしに『ここでわたしを待っていてください。』と言いました。」  
 →「彼はわたしにそこで自分を待つよう頼みました。」
- (4) 「先生はわたしたちに『地球は太陽の周りを回っています。』と言いました。」  
 →「先生はわたしたちに地球は太陽の周りを回っていると言いました。」\*時制の一致の例外。
- (5) 「彼はわたしにお兄[弟]さんが前日にニューヨークに向

けて発ったと言いました。」

→「彼はわたしに『わたしの兄[弟]はきのう、ニューヨークに向けて発ちました。』と言いました。」\*間接話法から直接話法への転換なので、the day before → yesterday となる。

- (6) 「わたしの母はわたしに夕食に何を食べたいかたずねました。」  
 →「わたしの母はわたしに『あなたは夕食に何が食べたいですか。』と言いました。」
- (7) 「ブラウン先生はボブに2度と学校に遅れることがないように言いました。」  
 →「ブラウン先生はボブに『2度と学校に遅れてはいけません。』と言いました。」
- (8) 「彼はわたしに翌日は晴れるかどうかたずねました。」  
 →「彼はわたしに『あしたは晴れますか。』と言いました。」

## 練成問題

P168

## 1 解答

- (1) もし忙しくなければ、わたしは彼を訪ねるのですが。  
 (2) もし彼女がここにいたら、彼女は喜ぶでしょう。  
 (3) もし彼がそれを知っていれば、彼はここには来ないでしょう。  
 (4) もし宿題をやる必要がなければ、わたしはあなたと買い物へ行けるのですが。

## 解説

仮定法過去は、現在の事実と反対のことを仮定するもので

ある。

## 2 解答

- (1) were[was], could      (2) were[was], could      (3) studied, could  
 (4) did, would

## 訳と解説

(1)① 「わたしは病気なので、泳ぎに行けません。」

② 「もしわたしは病気でなければ、泳ぎに行けるのですが。」 \* 仮定法過去では、be 動詞は主語の人称・数に関係なく、ふつう were を用いる。

(2)① 「雨が降っているので、わたしたちは外で遊ばません。」 \* outside 「外で」

② 「もし晴れていたなら、わたしたちは外で遊べるのですが。」

(3)① 「わたしの息子たちはあまり勉強をしないので、高得点をとることができません。」

② 「もしわたしの息子たちがたくさん勉強をすれば、高得点をとれるのですが。」

(4)① 「彼女はやる仕事がたくさんあるので、わたしたちといっしょに出かけません。」

② 「もし彼女がやる仕事がたくさんなければ、わたしたちといっしょに出かけるだろうに。」

## 3 解答

- (1) もしひまだったら、わたしは彼を訪ねたでしょう。  
 (2) もしあなたがわたしを助けてくれていたら、わたしは成功できたでしょう。  
 (3) もし彼女がもう少し早くここに到着していたら、最終列車に間に合ったでしょう。

## 解説

仮定法過去完了は、過去の事実と反対のことを仮定するも

のである。

## 4 解答

- (1) had, been      (2) had, been      (3) had been

## 訳と解説

(1)① 「わたしは病気だったので、ピクニックに行けませんでした。」 \* go on a picnic 「ピクニックに行く」

② 「もし病気でなかったら、わたしはピクニックへ行けたのですが。」

(2)① 「寒かったので、わたしは出かけませんでした。」

② 「もし寒くなかったら、わたしは出かけたでしょう。」

(3)① 「わたしは年をとっていたので、その山に登ることができませんでした。」

② 「もし若かったら、わたしはその山に登ることができたでしょう。」

5 解答

- (1) 万一あなたがそんなことをしたら、彼はあなたを怒るでしょう。
- (2) 万一わたしが彼にそれについて知らせたら、彼は悲しい気分になるでしょう。
- (3) 万一わたしの父が戻ってきたら、わたしの家族は驚くでしょう。
- (4) 万一この地域で大雪が降ったら、交通はひどい状態になるでしょう。

解説

should[were to] ~は、未来において起こりそうもない

ことを仮定するものである。

(1) be angry with … 「…を怒る」

6 解答

- (1) わたしはまるで外国にいるような気分です。
- (2) 彼はまるでそれを自分でやったかのように話しました。

解説

(1) 《as if + 仮定法過去》は、主節と同じ《時》の内容を表して「まるで~であるかのように」という意味を表す。

(2) 《as if + 仮定法過去完了》は、主節より前の《時》の内容を表して「まるで~であったかのように」という意味を表す。

7 解答

- (1) were[was]
- (2) could
- (3) had studied
- (4) as if[though], knew
- (5) as if[though], had known

解説

(1)(2) 《I wish + 仮定法過去》は、「~であるならなあ。」と現在の事実を反した願望を表す。

(3) 《I wish + 仮定法過去完了》は、「~であったらなあ。」と過去の事実を反した願望を表す。

8 解答

- (1) could
- (2) I knew
- (3) had attended

訳

- (1) a 「わたしはあなたと行くことができなくて残念です。」
- b 「あなたと行くことができたらなあ。」
- (2) a 「わたしはそこへの行き方を知らなくて残念です。」

- b 「そこへの行き方を知っていればなあ。」
- (3) a 「わたしはそのパーティーに出席しなかったことを残念に思っています。」
- b 「そのパーティーに出席していたらなあ。」

発展問題

1 解答

- (1) ア
- (2) ア
- (3) イ
- (4) オ
- (5) イ
- (6) ウ
- (7) ア
- (8) ① イ
- ② イ

訳と解説

- (1) 「もし水がなければ、わたしたちは生きられません。」《仮定法過去》
- (2) 「もし今、わたしがハワイにいたら、泳ぎに行くでしょう。」《仮定法過去》
- (3) 「もしわたしがあなたの立場なら、ニューヨークに行くでしょう。」《仮定法過去》 \* in one's place 「…の立場で」
- (4) 「もし彼がお金をたくさん持っていれば、その本を買う

のですが。》《仮定法過去》

- (5) 「そのとき、お金を十分に持っていたらなあ。」 \* then とあるので、《仮定法過去完了》。
- (6) 「ジェームズはまるですべてを知っているかのように話します。」《仮定法過去》
- (7) 「今、わたしの母が生きていればなあ。」《仮定法過去》
- (8) 「もしわたしがお金持ちだったら、被災者にお金を寄付できたのですが。」《仮定法過去完了》

**2 解答**

- (1) ア                      (2) ウ                      (3) ア                      (4) イ

**訳と解説**

- (1) 「もしわたしが鳥だったら、あなたのところへ飛んで行けるのですが。」＝「わたしは鳥ではないので、あなたのところへ飛んで行くことができません。」

(2) 「わたしが鳥であるならなあ。」＝「わたしは鳥でなくて残念です。」

(4) 主節は《過去》、as if 以下の内容は主節と同じ《時》を表しているので、《仮定法過去》。

**P171 3 解答**

- (1) had, could                      (2) knew, could                      (3) wish, could  
(4) wish, could speak                      (5) would have

**訳と解説**

(1)④ 「わたしはお金がないので、それを買えません。」

⑤ 「もしわたしがお金を持っていれば、それを買うのですが。」《仮定法過去》

(2)④ 「わたしは彼の住所を知らないので、彼に手紙を書きません。」

⑤ 「もしわたしが彼の住所を知っていたら、彼に手紙を書けるのですが。」《仮定法過去》

(3)④ 「わたしはテニスができなくて残念です。」

⑤ 「テニスができたならなあ。」《仮定法過去》

(4)④ 「わたしは彼ほど上手に英語を話せなくて残念です。」

⑤ 「彼と同じくらい上手に英語を話せばなあ。」《仮定法過去》

(5)④ 「わたしは上手に泳げたので、溺れませんでした。」

⑤ 「もし上手に泳げなかったなら、わたしは溺れていたでしょう。」《仮定法過去完了》

**4 解答**

- (1) knew, would                      (2) should, wouldn't[won't]                      (3) had been, could have  
(4) as, were[was]                      (5) would[will], should  
(6) as if[though] it were[was]

**解説** (2)(5) 未来において起こりそうもないことの仮定。

**5 解答**

- (1) I wish I could go to the party with you.  
(2) I wish I could sing the song well.  
(3) If I knew her telephone number, I would tell it to you at once.  
(4) If there were[was] no water, nothing could live.

\* there were[was] no water は it were not for water も可。

**解説** (4) 「何も…ない」 nothing

## 1 解答

- |                      |                        |                      |
|----------------------|------------------------|----------------------|
| (1) Though[Although] | (2) or                 | (3) not only, but    |
| (4) neither, nor     | (5) so, that           | (6) difficult, hers  |
| (7) younger, any     | (8) the youngest       | (9) as[so] well as   |
| (10) he could        | (11) must not          | (12) Shall           |
| (13) able            | (14) didn't have[need] | (15) has been, since |
| (16) has gone        |                        |                      |

## 訳と解説

- (1) ① 「とても寒かったが、わたしたちは外出しました。」  
 ② 「とても寒かったけれども、わたしたちは外出しました。」
- (2) ① 「もし気をつけて使わなければ、あなたはこの道具をこわすでしょう。」 \* tool 「道具」  
 ② 「気をつけてこの道具を使いなさい、さもないとあなたはそれをこわすでしょう。」
- (3) ① 「わたしの母は日本語と同様に中国語も話せます。」  
 \* B as well as A 「Aと同様にBも」  
 ② 「わたしの母は日本語だけでなく中国語も話せます。」  
 \* not only A but also B 「AだけでなくBも」
- (4) ① ② 「スーズンは辞書も本も持ってきていません。」  
 \* neither A nor B 「AもBも…ない」
- (5) ① 「メアリーはとても親切です、だからみんな彼女が大好きです。」  
 ② 「メアリーはとても親切なのでみんな彼女が大好きです。」 \* so … that ~ 「とても…なので…だ」
- (6) ① 「彼女の質問はあなたのより簡単です。」  
 ② 「あなたの質問は彼女のより難しい。」
- (7) ① 「彼女はすべての生徒の中で1番若い。」  
 ② 「彼女は他のどの生徒よりも若い。」  
 《比較級 + than any other + 単数名詞》「他のどの…よりも…」
- (8) ① 「アンはサムほど若くありません。サムはジムより年上です。」  
 ② 「ジムは3人の中で1番若い。」
- (9) ① 「わたしの兄[弟]はわたしより上手に英語を話します。」  
 ② 「わたしは、わたしの兄[弟]ほど上手に英語を話しません。」
- (10) ① ② 「彼はできるだけ速く走りました。」 \* as … as one can 「できるだけ…」
- (11) ① ② 「この公園の中で野球をしてはいけません。」  
 \* must not ~ 「～してはいけません」
- (12) ① 「いっしょに買い物に行きませんか。」 \* How about ~ing? 「～しませんか。」  
 ② 「いっしょに買い物に行きましょうか。」  
 \* Shall we ~? 「(いっしょに)～しましょうか。」
- (13) ① 「彼が自分で自分の面倒をみるのは不可能です。」  
 \* impossible 「不可能な」  
 ② 「彼は自分で自分の面倒をみられません。」 \* be able to ~ 「～することができる」
- (14) ① ② 「あなたは健の宿題を手伝う必要はありませんでした。」 \* necessary 「必要な」, don't have to ~ 「～する必要はない」
- (15) ① 「母は先週、病気になり、いまだに病気です。」  
 ② 「母は先週からずっと病気です。」
- (16) ① 「ジョンは学校に行きました、そして今、ここにはいません。」  
 ② 「ジョンは学校に出かけてしまいました。」

## 2 解答

- |               |             |                |
|---------------|-------------|----------------|
| (1) has, been | (2) written | (3) nothing to |
| (4) to hear   | (5) forget  | (6) for us to  |
| (7) me to     | (8) not to  | (9) too, to    |

- |                       |                       |                   |
|-----------------------|-----------------------|-------------------|
| (10) how              | (11) where to         | (12) kind enough  |
| (13) Taking, is       | (14) enjoyed swimming | (15) about taking |
| (16) Don't, of making | (17) teaches, us      | (18) It           |

訳と解説

- (1) ㉔ 「これは恵子にとって初めての中国への旅行です。」  
 ㉕ 「恵子は以前、1度も中国に行ったことはありません。」  
 \* have been to … 「…へ行ったことがある」
- (2) ㉔ 「わたしたちには数年、彼から便りがありません。」  
 \* hear from … 「…から便りがある」  
 ㉕ 「彼は数年、わたしたちに手紙を書いていません。」  
 \* write to … 「…に手紙を書く」
- (3) ㉔ 「わたしはきょうの午後、ひまです。」  
 ㉕ 「わたしはきょうの午後、することが何もありません。」
- (4) ㉔ 「そのニュースを聞いたとき、わたしはうれしかった。」  
 ㉕ 「わたしはそのニュースを聞いてうれしかった。」
- (5) ㉔ 「わたしにすぐ手紙を書くことを覚えていてください。」  
 ㉕ 「わたしにすぐ手紙を書くことを忘れないでください。」
- (6) ㉔ 「わたしたちはこの本を簡単に読むことができます。」  
 ㉕ 「この本を読むことはわたしたちにとって簡単です。」  
 \* It is … for - to ~. 「-が~するのは…だ。」
- (7) ㉔ 「あなたにかわって英語で手紙を書きましようか。」  
 ㉕ 「あなたはわたしに、あなたにかわって英語で手紙を書いてほしいですか。」 \* want … to ~ 「…に~してもらいたい」
- (8) ㉔ 「わたしの母がわたしたちに『2度とそれをしてはいけません。』と言いました。」  
 ㉕ 「わたしの母はわたしたちに、2度とそれをしないよう言いました。」 \* 「~しないように」という場合は、不定詞の否定形 not to ~を用いる。
- (9) ㉔㉕ 「わたしはとても忙しいのであなたといっしょに行

- けません。」 \* too … to ~ 「とても…なので~できない」
- (10) ㉔ 「わたしたちは彼がその機械を使えることに驚きました。」  
 ㉕ 「わたしたちは彼がその機械の使い方を知っていることに驚きました。」
- (11) ㉔㉕ 「次の週末にわたしたちはどこへスキーに行くのがよいかしら。」 \* weekend 「週末」
- (12) ㉔㉕ 「彼は親切にもわたしに駅への道を教えてくれました。」 \* … enough to ~ 「~するのに十分…、~できるほど…」
- (13) ㉔㉕ 「お年寄りの世話をすることは重要です。」 \* 主語となる動名詞は単数扱い。
- (14) ㉔ 「わたしたちは海で泳ぎました。わたしたちはそれをととても楽しみました。」  
 ㉕ 「わたしたちは海で泳いでとても楽しみました。」  
 \* enjoy ~ing 「~して楽しむ」
- (15) ㉔ 「あなたは公園の中を散歩したいですか。」 \* would like to ~ 「~したい」  
 ㉕ 「公園の中を散歩しませんか。」
- (16) ㉔ 「あなたは間違いをするのを恐れるべきではありません。」  
 ㉕ 「間違いをするのを恐れてはいけません。」  
 \* be afraid of ~ing 「~することを恐れる」
- (17) ㉔ 「ギルダー先生はわたしたちの英語の先生です。」  
 ㉕ 「ギルダー先生はわたしたちに英語を教えています。」  
 \* teach A to B 「BにAを教える」
- (18) ㉔㉕ 「昨晚、雪がたくさん降りました。」《天候》を表す主語 it。

P174 3 解答

- |                           |                |                          |
|---------------------------|----------------|--------------------------|
| (1) drive                 | (2) are there  | (3) for                  |
| (4) made her happy        | (5) was stolen | (6) was given to         |
| (7) was found             | (8) be kept    | (9) at                   |
| (10) singing, is          | (11) drawn by  | (12) which[that], theirs |
| (13) who[that] has        | (14) drew      | (15) whose name          |
| (16) whose cover, belongs | (17) Ken lives | (18) who he              |

訳と解説

- (1) ㉔ ㉕ 「あなたは藤沢に車で行くつもりですか。」  
 (2) ㉔ 「あなたの部屋の中に、あなたは何冊の本を持っていますか。」  
 ㉕ 「あなたの部屋の中に、何冊の本がありますか。」  
 (3) ㉔ ㉕ 「彼は、彼女に本を1冊買いました。」 \* buy A B = buy B for A  
 (4) ㉔ 「彼女はそのニュースを聞いてうれしくなりました。」  
 ㉕ 「そのニュースは彼女をうれしくしました。」 \* make A B 「AをBにする」  
 (5) ㉔ 「だれかが夜の間に彼の車を盗みました。」  
 ㉕ 「彼の車は夜の間に盗まれました。」 \* 受動態《be + 過去分詞》の文。  
 (6) ㉔ 「ブラウンさんは、彼の妻に誕生日プレゼントをあげました。」  
 ㉕ 「誕生日プレゼントがブラウンさんから彼の妻へ与えられました。」  
 (7) ㉔ 「ナンシーは池の中で何をを見つけましたか。」 \* pond 「池」  
 ㉕ 「ナンシーによって何が池の中で見つけられましたか。」  
 (8) ㉔ 「わたしたちは教室をきれいにしておかなければなりません。」  
 ㉕ 「わたしたちの教室はきれいにされていなければなりません。」 \* keep - kept - kept  
 (9) ㉔ 「わたしは彼らが突然わたしを訪ねたことに驚きました。」

- ㉕ 「わたしは彼らの突然の訪問に驚きました。」  
 \* be surprised at … 「…に驚く」  
 (10) ㉔ 「あの女の子はメアリーです。彼女はトムと歌っています。」  
 ㉕ 「トムと歌っているあの女の子はメアリーです。」  
 (11) ㉔ 「健は絵を描きました。それはとてもすてきでした。」  
 ㉕ 「健によって描かれたその絵はとてもすてきでした。」  
 (12) ㉔ 「彼らの車はあそこに停められています。」  
 \* park 「〔車など〕を停める、駐車する」  
 ㉕ 「あそこに停められている車は彼らのものです。」  
 (13) ㉔ 「エレンは長い髪の女の子です。」  
 ㉕ 「エレンは長い髪の毛をした女の子です。」  
 (14) ㉔ 「この絵は山本さんによって描かれました。」  
 ㉕ 「これは山本さんが描いた絵です。」  
 (15) ㉔ 「わたしにはアメリカ人の友達がいる、彼の名前はディックです。」  
 ㉕ 「わたしにはディックという名前のアメリカ人の友達があります。」  
 (16) ㉔ 「赤いカバーのその本はわたしのものです。」  
 ㉕ 「カバーが赤いその本はわたしのものです。」  
 \* belong to … 「…に属する」  
 (17) ㉔ 「健はどこに住んでいますか。あなたは知っていますか。」  
 ㉕ 「あなたは健がどこに住んでいるか知っていますか。」  
 (18) ㉔ 「わたしは彼の名前を知りません。」  
 ㉕ 「わたしは彼がだれなのか知りません。」

4 解答

- |                          |                   |                    |
|--------------------------|-------------------|--------------------|
| (1) what                 | (2) how old       | (3) What, swimmers |
| (4) half an              | (5) his           | (6) nothing        |
| (7) yourself[yourselves] | (8) each other    | (9) my first       |
| (10) good at             | (11) favorite     | (12) old is        |
| (13) drives, carefully   | (14) either       | (15) with          |
| (16) What, like          | (17) during, stay | (18) am, fond of   |

訳と解説

- (1) ㉔ 「この言葉の意味をわたしに教えてください。」  
 ㉕ 「この言葉が何を意味するかわたしに教えてください。」  
 (2) ㉔ 「あなたは彼女の年齢を知っていますか。」  
 ㉕ 「あなたは彼女が何歳か知っていますか。」  
 (3) ㉔ 「彼らは何て上手に泳ぐのでしょうか。」  
 ㉕ 「彼らは何て上手な泳ぎ手でしょうか。」  
 \* 《What(+a[an])+形容詞+名詞+主語+動詞!》  
 (4) ㉔ ㉕ 「彼女は30分間、英語を勉強しています。」 \* half an hour 「30分」  
 (5) ㉔ 「メイは彼の旧友の1人です。」  
 ㉕ 「メイは彼の旧友です。」 \* 《a friend of + 所有代名詞》「…の友達」  
 (6) ㉔ ㉕ 「彼女はかばんの中に何も持っていませんでした。」  
 (7) ㉔ 「あなた(たち)は楽しい時を過ごしましたか。」  
 \* have a good time 「楽しい時を過ごす」  
 ㉕ 「あなた(たち)は楽しみましたか。」 \* enjoy oneself 「楽しむ」  
 (8) ㉔ 「あなたはわたしを助けることができます。わたしも

あなたを助けることができます。」

- ⑥ 「あなたとわたしはお互いに助け合うことができます。」 \* each other 「お互い」
- (9)① 「わたしはこの都市を、以前に1度も訪れたことがありません。」
- ⑥ 「今回が、この都市へのわたしの初めての訪問です。」
- (10)① 「わたしの父はとても上手にスキーをすることができます。」
- ⑥ 「わたしの父はスキーがとても得意です。」 \* be good at ~ing 「～するのが得意だ」
- (11)① 「これはわたしが大好きな映画の1つです。」
- ⑥ 「これはわたしのお気に入りの映画の1つです。」
- (12)① 「金閣寺はいつ建てられましたか。」
- ⑥ 「金閣寺は築何年ですか。」 \* 建物の築年数などを表す場合にも、oldを用いることができる。

- (13)① 「スミスさんはとても注意深いドライバーです。」
- ⑥ 「スミスさんはとても注意深く運転します。」
- (14)① 「あなたもわたしも裕福ではありません。」
- ⑥ 「あなたは裕福ではありません。わたしも裕福ではありません。」 \* 否定文を受けて「…も」はeitherを使う。
- (15)① 「白い帽子を身につけた女の子を知っていますか。」
- ⑥ 「白い帽子をかぶった女の子を知っていますか。」 \* with … on 「…を身につけた」
- (16)①② 「京都の天気はどうですか。」
- (17)① 「わたしはロンドンに滞在している間に彼と知り合いました。」 \* whileは接続詞。
- ⑥ 「ロンドン滞在中にわたしは彼と知り合いました。」 \* duringは前置詞。
- (18)①② 「わたしは音楽が大好きです。」 \* be fond of … 「…が好きだ」

### 発展問題

P176

1

### 解答

- |  |                  |                         |
|--|------------------|-------------------------|
| (1) must                               | (2) May I        | (3) three years younger |
| (4) most beautiful of                  | (5) No other boy | (6) has been dead       |
| (7) have, been                         | (8) haven't seen | (9) to, with            |
| (10) It, of you to                     | (11) enough      |                         |
| (12) heavy that he couldn't carry them |                  | (13) stop reading       |
| (14) without visiting                  | (15) flew to     | (16) if I open          |
| (17) took                              |                  |                         |

### 訳と解説

- (1)① 「彼が病気なのは確かです。」 \* It is certain that … 「…ということは確かだ。」
- ⑥ 「彼は病気にちがいません。」
- (2)① 「あなたの名前と住所を教えてくださいませんか。」
- ⑥ 「あなたの名前と住所を教えてくださいませんか。」
- (3)① 「トムはナンシーより3歳年上です。」
- ⑥ 「ナンシーはトムより3歳年下です。」
- (4)① 「だれも彼女ほど美しくありません。」
- ⑥ 「彼女は全員の中で1番美しい。」
- (5)① 「トムは彼のクラスのすべての男の子の中で1番背が高い。」
- ⑥ 「彼のクラスの他のどの男の子もトムより背が高くはありません。」 \* 《No (other) + 単数名詞 … 比較級 + than ~.》「～より～な…はない。」
- (6)① 「わたしのおじは5か月前に亡くなりました。」
- ⑥ 「わたしのおじが亡くなって5か月になります。」
- (7)① 「彼らは父親を見送りに空港へ行って、たった今戻ってきました。」
- ⑥ 「彼らはちょうど空港に父親を見送りに行ってきたところです。」 \* have been to … 「…へ行ってきたところだ」
- (8)① 「わたしたちが最後に彼に会ってから10年が経ちました。」
- ⑥ 「わたしたちは10年間、彼に会っていません。」
- (9)① 「わたしに鉛筆か何かをください。」
- ⑥ 「わたしに何か書くものをください。」 \* 「…で書く」はwrite with …なので、withが必要。
- (10)① 「すてきなプレゼントをどうもありがとうございました。」
- ⑥ 「わたしにすてきなプレゼントをくださるとは、あなたは親切です。」 \* 人の性質を表す形容詞の場合には、It is … of - to ~. となる。

- (11)① 「彼はとても貧しかったので、そのバイオリンが買えませんでした。」  
 ② 「彼はそのバイオリンが買えるほど裕福ではありませんでした。」
- (12)① 「それらのスーツケースはとても重かったので、彼には運べませんでした。」  
 ② 「それらのスーツケースはとても重かったので、彼はそれらを運べませんでした。」 \* 動詞 carry のうしろに、その目的語にあたる名詞(the suitcases)を代名詞に置きかえたものを補う必要があることに注意。
- (13)① 「彼はその物語を読み続けました。」 \* continue to ~ 「~し続ける」  
 ② 「彼はその物語を読むのをやめませんでした。」 \* stop ~ing 「~するのをやめる」

- (14)① 「彼はわたしの家の近くに来たにもかかわらず、わたしを訪ねませんでした。」  
 ② 「彼はわたしを訪ねずに、わたしの家の近くに来ました。」 \* without ~ing 「~せずに」
- (15)①② 「わたしたちは飛行機で北海道へ行きました。」 \* fly - flew - flown
- (16)①② 「わたしが窓を開けてもいいですか。」 \* Do you mind my ~ ing? = Do you mind if I ~? 「わたしが~してもいいですか。」
- (17)① 「5分間歩いたらわたしは公園に着きました。」  
 ② 「わたしが公園まで歩いて行くのに5分かかりました。」 \* 《It takes + (人) + 時間 + to ~.》 「(-が) ~するのに [時間が] …かかる」

## 2 解答

P177

- |                        |                                  |                                |
|------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| (1) take               | (2) prefers                      | (3) pay                        |
| (4) much, weigh        | (5) life                         | (6) his success                |
| (7) What, cook         | (8) poor[bad] speaker of English |                                |
| (9) made you           | (10) was born on                 | (11) broken by                 |
| (12) living            | (13) which[that], at             | (14) not be spoken             |
| (15) the tallest, ever | (16) India more, country         | (17) who[that] / been dead for |
| (18) exciting to[for]  |                                  |                                |

### 訳と解説

- (1)① 「もしこの列車に乗れば、あなたはそこに行けるでしょう。」  
 ② 「この列車があなたをそこに連れていくでしょう。」
- (2)①② 「ナンシーはコーヒーより紅茶が好きです。」 \* prefer A to B 「BよりAを好む」
- (3)① 「それはいくらかかりましたか。」  
 ② 「あなたはそれにいくらのお金を払いましたか。」 \* pay A for B 「BにAを払う」
- (4)① 「あなたの体重はどれくらいですか。」 \* weight 「体重」  
 ② 「あなたは体重がどれくらいですか。」 \* weigh … 「…の重さがある」
- (5)① 「彼女は幸せに暮らしました。」  
 ② 「彼女は幸せな生活を送りました。」
- (6)① 「すぐに、わたしは彼が成功したというニュースを知りました。」 \* succeed 「成功する」  
 ② 「すぐに、わたしは彼の成功のニュースを知りました。」 \* success 「成功」

- (7)① 「彼女は何て上手に食事を作ることができるのでしょうか。」  
 ② 「彼女は何て上手な料理人なのでしょう。」
- (8)① 「彼は上手に英語を話せません。」  
 ② 「彼は下手な英語の話し手です。」 \* poor 「下手な」
- (9)① 「なぜあなたはそんなに幸せだったのですか。」  
 ② 「何があなたをそんなに幸せにしたのですか。」
- (10)① 「わたしの誕生日は2月5日です。」  
 ② 「わたしは2月5日に生まれました。」 \* be born 「生まれる」
- (11)① 「これはその男の子がこわした花瓶です。」  
 ② 「これはその男の子にこわされた花瓶です。」
- (12)①② 「わたしたちはほとんりに住んでいる外国人の生徒とよく話します。」
- (13)① 「これがそのホテルです。ジェーンがそこに滞在しています。」  
 ② 「これがジェーンが滞在しているホテルです。」
- (14)① 「この授業では日本語を話してはいけません。」  
 ② 「この授業では日本語が話されてはいけません。」

- 15) a 「わたしは今までにこんなに高い木を見たことがありません。」  
 b 「これはわたしが今まで見た中で1番高い木です。」
- 16) a 「インドはわたしが1番訪れたい国です。」  
 b 「わたしは、他のどの国よりもインドを訪れたい。」
- 17) a 「この絵を描いた人は、百年前に死にました。」  
 b 「この絵の画家が死んでから百年になります。」

- 18) a 「わたしの息子は、春休みの計画にとっても興奮していました。」  
 b 「春休みの計画は、わたしの息子にとってとても興奮させるようなものでした。」 \* excite は「…を興奮させる」という意味。主語 The plan は、興奮させる側なので、現在分詞を用いる。

P178 3 解答

- |                        |                 |                   |
|------------------------|-----------------|-------------------|
| (1) What, price        | (2) French name | (3) the number    |
| (4) of, girl who[that] | (5) the other   | (6) neither, well |
| (7) abroad[overseas]   | (8) often       | (9) by            |
| (10) at the age of     | (11) What, for  | (12) Why not      |
| (13) in time           | (14) different  | (15) place, birth |
| (16) What              | (17) as         |                   |

訳と解説

- 1) a 「この古い切手はいくらですか。」  
 b 「この古い切手の値段はいくらですか。」 \* price 「値段」
- 2) a 「わたしは、この花をフランス語でなんと呼ぶのかわりません。」  
 b 「わたしはこの花のフランス語の名前を知りません。」
- 3) a 「トムは何人の生徒が彼の学校にいるのか言えませんでした。」  
 b 「トムは彼の学校の生徒数を言えませんでした。」
- 4) a 「あなたは、どの女の子があなたにその花をくれたか覚えていますか。」  
 b 「あなたはあなたにその花をくれた女の子の名前を覚えていますか。」
- 5) a 「彼はその3人の男の子の中で1番若い。」  
 b 「彼は他の2人の男の子よりも若い。」
- 6) a 「パットとケンは上手な選手ですが、アンディが1番上手です。」  
 b 「パットとケンは上手な選手ですが、彼らはどちらもアンディほど上手にプレイできません。」 \* neither 「どちらも…ない」
- 7) a 「彼は1度も外国を訪れたことがありません。」  
 b 「彼は1度も外国に行ったことがありません。」
- 8) a 「あなたは1週間に何回、図書館に行きますか。」  
 b 「あなたは1週間にどのくらい図書館に行きますか。」 \* how often は頻度をたずねる表現。
- 9) a 「彼女は台所用ナイフでそのケーキを切りました。」  
 \* 《with + 道具》「…を使って」

- b 「彼女は台所用ナイフを使ってそのケーキを切りました。」 \* by ~ing 「～することで」
- 10) a) b) 「わたしは20歳のとき、初めてアメリカに行きました。」 \* at the age of … 「…歳のときに」
- 11) a 「なぜあなたはそんなにたくさんのお金を貯めているのですか。」 \* save … 「…を貯める」
- b 「何のためにあなたはそんなにたくさんのお金を貯めているのですか。」 \* What … for? 「何のために…。」
- 12) a 「あなたの先生に聞いてみるのはどうですか。」  
 b 「あなたの先生に聞いてはどうですか。」 \* Why not ~? 「～してはどうですか。」
- 13) a 「わたしは遅く起きたので、列車に乗り遅れました。」  
 b 「わたしはとても遅く起きたので、その列車に間に合いませんでした。」
- 14) a 「知っていることと教えることは別物です。」  
 b 「知っていることは教えることとまったく違います。」 \* be different from … 「…と違う」
- 15) a 「いつどこであなたが生まれたのか教えてください。」  
 b 「あなたが生まれた日付と場所を教えてください。」 \* birth 「誕生」
- 16) a 「東京から大阪までどのくらい離れていますか。」 \* how far 「[距離が] どのくらい」  
 b 「東京から大阪までの距離はどのくらいですか。」 \* distance 「距離」
- 17) a 「彼は有名です、なぜなら彼は最優秀ゴルファーだからです。」  
 b 「彼は最優秀ゴルファーとして有名です。」 \* be famous as … 「…として有名だ」

- (1) wrong with (2) give up (3) so, nobody  
 (4) I am sure [It is certain] (5) of being (6) had[got], stolen  
 (7) where Shakespeare used to live [Shakespeare used to live in]  
 (8) Not knowing (9) told, to be (10) she was (11) he lived  
 (12) told, he would, me (13) were, could (14) who / though[although]  
 (15) don't, at all (16) because / kept[made] (17) be long before  
 (18) careful, happened

## 訳と解説

- (1)① 「わたしのコンピュータは故障しています。」 \* out of order 「故障して」  
 ② 「わたしのコンピュータはどこかがおかしい。」  
 \* Something is wrong with … 「…はどこかがおかしい。」
- (2)① 「その医者がわたしの父に『これ以上タバコを吸ってはいけない。』と言いました。」  
 ② 「その医者はわたしの父に、タバコを吸うのをやめるよう指示しました。」 \* give up ~ing 「~するのをやめる, あきらめる」
- (3)①② 「彼の話はとても奇妙だったのでだれも信じる事ができませんでした。」
- (4)① 「彼は確かにそのレースで優勝するでしょう。」  
 ② 「彼がそのレースで優勝するとわたしは確信しています。」
- (5)①② 「彼は医者であることを誇りに思っています。」  
 \* be proud of ~ing 「~することを誇りに思う」
- (6)① 「だれかが駅で彼のかばんを盗みました。」  
 ② 「彼は駅でかばんを盗まれました。」 \* 《have[get] + 目的語 + 過去分詞》「-を~される」
- (7)① 「シェイクスピアは昔、あの家に住んでいました。」  
 \* used to ~ 「昔~していた」  
 ② 「あれが、シェイクスピアが昔住んでいた家です。」
- (8)①② 「彼は何をすればいいのかわからず、今にも泣き出しそうでした。」 \* 分詞構文を用いての書きかえ。否定形に注意する。 \* be about to ~ 「今にも~しそうだ」
- (9)① 「わたしの先生はわたしに『静かにしなさい。』と言いました。」  
 ② 「わたしの先生はわたしに静かにするように言いました。」 \* 命令文の話法の転換。
- (10)① 「加藤さんは彼女に『ごきげんいかがですか。』と言いました。」  
 ② 「加藤さんは彼女に元気かたずねました。」 \* 代名詞の変化に注意する。
- (11)① 「『あなたはどこに住んでいるのですか。』とナンシーはピーターに言いました。」  
 ② 「ナンシーはピーターに彼がどこに住んでいるのか聞きました。」
- (12)① 「ジムはわたしに『わたしは駅であなたを待ちます。』と言いました。」  
 ② 「ジムはわたしに、駅でわたしを待つと言いました。」
- (13)① 「雨が降っているので、わたしは今、外出できません。」  
 ② 「もし晴れていれば、わたしは今、外出できるのに。」 \* 仮定法過去。
- (14)①② 「メアリーは、一生懸命勉強したにもかかわらず、最後の試験で数学を落としました。」 \* ①は非制限用法の関係代名詞, ②はそれを《接続詞 + 代名詞》に置きかえたもの。
- (15)① 「彼はわたしにとってまったく見知らぬ人です。」  
 \* stranger 「見知らぬ人」  
 ② 「わたしは彼のことをまったく知りません。」 \* not … at all 「まったく…ない」
- (16)① 「通りの騒音のためわたしは一晚中眠れませんでした。」 \* because of … 「…のために」  
 ② 「通りの騒音がわたしを一晚中起こしていました。」  
 \* keep A B 「AをBのままにする」
- (17)①② 「わたしたちは、またすぐに会うでしょう。」  
 \* It will not be long before … 「まもなく…でしょう。」
- (18)① 「彼の不注意がその事故を引き起こしました。」  
 \* cause … 「…を引き起こす」  
 ② 「もし彼がもっと注意深かったら、その事故は起こらなかったでしょう。」 \* 仮定法過去完了。

P180

1

解答

- (1) Don't cross the street while the light is red.
- (2) Let's go back before it begins to rain.
- (3) Start right away, or you will miss the train.
- (4) The coffee was so strong that I couldn't drink it.
- (5) As soon as he left (high school, he went to Australia.)
- (6) I'm afraid you don't have to do that.
- (7) I like English the best of all the subjects.
- (8) It is not as cold as it was (last week.)
- (9) (Last summer) we had much more rain than this summer.
- (10) (You) will be able to speak English next year.
- (11) (You) had better take your umbrella with you.

## 解説

- (1) 「信号が赤の間に通りを渡ってはいけない。」という英文を完成させる。
- (2) 「雨が降り始める前に帰しましょう。」という英文を完成させる。
- (3) 「…しなさい、さもないと〜。」「命令文…、or 〜。」「今すぐ」right away
- (4) 「とても…なので〜だ」《so … that 〜》、「[コーヒーが]濃い」strong

- (5) 「…するとすぐに」as soon as …
- (6) 「…だと思う。」I'm afraid (that) ….. 「～する必要はない」don't have to ~
- (8) as cold as のうしろに《主語+動詞》が続くことに注意する。
- (9) 比較級を強める場合は much を用いる。
- (10) 「～できるようになるでしょう」will be able to ~
- (11) 「～したほうがいい」had better ~

P181

2

解答

- (1) I have wanted to learn English since then.
- (2) (How) many times have you been to Kyoto?
- (3) Do you have an interesting book to read?
- (4) I want you to come to my house.
- (5) (The teacher) told him not to be late (again.)
- (6) It is dangerous for children to play (on this street.)
- (7) (The teacher) taught me how to use (the dictionary.)
- (8) He was kind enough to lend us his car.
- (9) Is writing stories interesting to you?
- (10) (Last night) I went to sleep without doing my homework.
- (11) The news of his success made me happy.
- (12) I was laughed at by my father.

**解説**

- (2) 「何回」 how many times  
 (4) 「…に～してもらいたい」 want … to ~  
 (5) 「～しないように」という場合は、不定詞の否定形 not to ~を用いる。  
 (6) 「～が～するのは…だ。」 It is … for - to ~.  
 (7) 「～のしかた」 how to ~  
 (8) 「親切にも～する」は、… enough to ~ 「～するのに

十分…」を用いて表すことができる。

- (9) writing stories が主語であることに注意。  
 (10) 「～せずに」 without ~ing  
 (11) 「彼の成功の知らせはわたしをうれしくした。」という英文を完成させる。\* 「成功」 success  
 (12) My father laughed at me. という文を受動態にしたもの。\* 「…を笑う」 laugh at …

**3 解答**

- (1) He has a dog called Blackie.  
 (2) The girl talking with my mother is Nancy.  
 (3) (Will you please introduce me) to a college student who can teach (me English?)  
 (4) (Is) this the book that he wrote ten years (ago?)  
 (5) (I) have a friend whose parents have climbed Mt. Fuji ten times.  
 (6) Do you know what this is?  
 (7) How far is it from here to the (station?)  
 (8) Few students are interested in reading this novel.  
 (9) (My brother is) younger than I by three (years.)  
 (10) A taxi stopped in front of the hospital.  
 (11) (I) made up my mind to look after (my family.)  
 (12) (The work) doesn't have to be finished before noon.

P182

**解説**

- (2) 「…と話す」 talk with …  
 (3) 先行詞 a college student は、関係代名詞節中で主語に相当するので、主格の関係代名詞を用いる。\* 「A を B に紹介する」 introduce A to B  
 (6) 間接疑問文は、《疑問詞 + 主語 + 動詞～》の語順。  
 (7) 「[距離が] どのくらい」 how far  
 (8) 可算名詞に用いて「ほとんど…ない」は few。\* 「…に

興味がある」 be interested in …

- (9) 「～より…歳年下だ」 younger than ~ by … year(s) = … year(s) younger than ~  
 (10) 「…の前で」 in front of …  
 (11) 「～しようと決心する」 make up one's mind to ~, 「…の世話をする」 look after …  
 (12) 「その仕事は正午前に終わられる必要はありません。」という文を完成させる。

**4 解答**

- (1) I hope your dog will get better (soon.)  
 (2) (You) looked very busy when I saw you last (night.)  
 (3) This dictionary is more useful than that (one.)  
 (4) (The heart is) the most important part of all.  
 (5) Many people came to see him off at the airport.  
 (6) (I asked my teacher) which dictionary to buy.  
 (7) He told us not to go near the (dog.)  
 (8) (She is) too busy to come home early.  
 (9) (Would) you mind shutting the window for me?  
 (10) (What) a rare watch your sister wears!

P183

- (11) (What) is this flower called in English?
- (12) The cake made by my sister was very good.
- (13) Who is the man standing by the window?
- (14) The boy whom you see over there is (Ben.)
- (15) Is there anything I can do for you?
- (16) (What) foreign country does she want to visit?
- (17) (Do you know) when John will leave Japan?
- (18) (Tommy will) help you with your homework.

### 訳と解説

- (1) 「わたしはあなたの犬がすぐによくなることを望んでいます。」
- (2) 「わたしが昨夜あなたを見かけたとき、あなたはとても忙しそうに見えました。」
- (3) 「この辞書はあの辞書よりも役に立ちます。」
- (4) 「心臓はすべての中で最も大切な部分です。」 \* heart 「心臓」
- (5) 「多くの人が空港で彼を見送るために来ました。」 \* see … off 「…を見送る」
- (6) 「わたしは先生にどの辞書を買うべきかたずねました。」 \* 《which + 名詞》「どの…」
- (7) 「彼はわたしたちにその犬に近づかないように言いました。」
- (8) 「彼女はとても忙しいので早く帰宅できません。」 \* too … to ~ 「とても…なので~できない」
- (9) 「わたしのために窓を閉めていただけませんか。」 \* Would you mind ~ing? 「~していただけませんか。」
- (10) 「あなたのお姉[妹]さんは何て珍しい腕時計をしているのでしょうか。」 \* what で始まる感嘆文の語順は《What (a[an]) + 形容詞 + 名詞 + 主語 + 動詞!》
- (11) 「この花は英語で何と呼ばれていますか。」
- (12) 「わたしの姉[妹]によって作られたケーキはとてもおいしかった。」
- (13) 「窓のそばに立っている男性はだれですか。— 中野さんです。」
- (14) 「向こうに見える男の子はベンです。」
- (15) 「あなたのためにわたしができることは何かありますか。」
- (16) 「彼女はどの外国を訪れたいのですか。」 \* 《what + 名詞》「どんな…、何の…」
- (17) 「ジョンがいつ日本を発つか [ジョンが日本を発つ時間を] あなたは知っていますか。」 \* 間接疑問文または関係副詞。
- (18) 「トミーはあなたの宿題を手伝ってくれるでしょう。」 \* help A with B 「A の B を手伝う」

### 発展問題

P184

### 1 解答

- (1) Tokyo is one of the biggest cities in the world.
- (2) No other lake in Japan is larger[bigger] than Lake Biwa.
- (3) We had better not eat the fish caught in the lake.
- (4) (Mr. Sato has) just been to the post office to send a letter.
- (5) (Ten) years have passed since my grandfather died.
- (6) The children have no friends to play with.
- (7) She worked hard in order to buy a new house.
- (8) I was too surprised to say anything.
- (9) (It) was kind of you to help me.
- (10) (He) was not strong enough to do the work for himself.
- (11) I think it is hard to understand his paintings.

**解説**

- (1) 「最も…のうちの1つ」《one of the + 最上級 + 複数名詞》  
 (2) 「琵琶湖より大きな湖は日本にない。」という英文を完成させる。\* 「～より～な…はない」《No (other) + 単数名詞 … 比較級 + than ~.》  
 (3) 「～しないほうがよい」had better not ~  
 (4) 「…へ行ってきたところだ」has been to …

- (6) 「いっしょに遊ぶ友達」なので with が必要。  
 (7) 「～するために」in order to ~  
 (8) = I was so surprised that I couldn't say anything.  
 (9) 「わたしを助けてくれるなんてあなたは親切でした。」という英文を完成させる。人の性質を表す形容詞の場合には、It is … of - to ~. とする。  
 (10) 「独力で、1人で」for oneself

**2 解答**

- (1) (How) foolish you are to make such a mistake!  
 (2) (I spent) three hours watching TV last night.  
 (3) This road will take you to the airport.  
 (4) It is said that Tom is sick in bed.  
 (5) The house whose roof you see from here is Jane's.  
 (6) (Many) people come to see the roses which are taken care of by my grandfather.  
 (7) No one knows what will happen tomorrow.  
 (8) He opened his bag to show me what was in it.  
 (9) Where do you think he is now?  
 (10) Don't you feel much better today than yesterday?  
 (11) (The) climate here is warmer than that of New York.  
 (12) The boy was carrying a box full of toys.

**解説**

- (1) how で始まる感嘆文は《How + 形容詞 + 主語 + 動詞!》という語順になる。  
 (2) 「[時間] を～して過ごす」spend … ~ing  
 (3) 「この道があなたを空港へ連れていっていきましょう。」という英文を完成させる。  
 (4) 「…らしい。」It is said (that) …  
 (6) 「おじさんによって世話をされているバラを多くの人々が見に来ます。」という英文を完成させる。\* 「…の世話をする」take care of …

- (7) 「だれも～ない」no one  
 (8) 「何が入っているかを見せるために、彼はかばんをあけた。」という英文を完成させる。  
 (9) yes / no で答えられないので、疑問詞は文頭に出す。  
 (10) 否定疑問文。  
 (11) 「ニューヨークより」→「ニューヨークのそれ(=気候)より」となるように、名詞のくり返しを避ける that を用いて表す。\* 「気候」climate  
 (12) 2語以上の形容詞句が名詞を修飾する場合は後置する。  
 \* 「…でいっぱい」full of …

**3 解答**

- (1) It took me two years to write the book.  
 (2) (He) was late for the class because of (the heavy rain.)  
 (3) (Thank) you for sending me the beautiful doll made by your mother.  
 (4) She is proud of cooking better than her mother.  
 (5) All that we can do is to wait for him.  
 (6) (The cakes) sold at the shop are so good that it's hard to decide which to buy.  
 (7) (I woke up) to find myself lying (on the bed in a hospital.)

- (8) (We'll) have[get] our luggage sent (to the airport.)  
 (9) I have never heard the song sung by a Japanese singer.  
 (10) I made Masao eat what he didn't like.  
 (11) (He) was listening to the music with his eyes closed.  
 (12) (This book) will tell you how interesting it is to study science.

解説

- (1) 「～が～するのに〔時間が〕…かかる。」《It takes + 人 + 時間 + to ～.》  
 (2) 「…のために」 because of …, 「…に遅刻する」 be late for …  
 (3) 「～してくれてありがとう。」 Thank you for ～ing.  
 (4) 「～することを自慢する」 be proud of ～ing  
 (5) 「わたしたちにできることのすべては、彼を待つことです。」という英文を完成させる。  
 (6) 「その店で売られているケーキはとてもおいしいので、どれを買ったらよいか決めるのが難しい。」という英文を完成させる。  
 (7) 「わたしは目がさめたら自分が病院のベッドに寝ていることに気づいた。」という英文を完成させる。「目がさめ

たら～だった」は、《結果》を表す不定詞の副詞的用法を用いて、woke up to ～, 「～が～しているのに気づく」は《find + 目的語 + 現在分詞》で表す。

- (8) 「～を～してもらう」《have[get] + 目的語 + 過去分詞》, 「荷物」 luggage  
 (9) 「～が～されるのを聞く」《hear + 目的語 + 過去分詞》  
 (10) 「～に～させる」は《make + 目的語 + 原形不定詞》, 「嫌いなもの」は関係代名詞 what を用いて表す。  
 (11) 「目を閉じて」は、with A B 「A が B の状態で」を用いて表す。  
 (12) 「この本はあなたに理科を勉強することはどんなにおもしろいか教えてくれるでしょう。」という英文を完成させる。

P187 4 解答

- (1) (This park is) three times as large as that one.  
 (2) (Read) as many books as you can.  
 (3) (It) is a long time since I saw you last.  
 (4) (He got up) early enough to catch the first train.  
 (5) It is time for little children to go to bed.  
 (6) How often do you go to the movies?  
 (7) (Yes,) I'm looking for a black leather jacket like this(, but I can't see one in my size.)  
 (8) (He told me) not to be afraid of making mistakes.  
 (9) We would like you to introduce yourself to us.  
 (10) (This is) the best CD I have ever listened to.  
 (11) Is this the book you were talking about yesterday?  
 (12) Most of the people I invited came(, and we had a very good time.)  
 (13) Can you tell me where I should get on (the bus for the zoo?)  
 (14) It will take one and a half hours to get there.  
 (15) Don't let the baby play with (my glasses.)  
 (16) (The car) which has been outside our house for the last five days belongs to (my brother.)

訳と解説

- (1) 「この公園はあの公園の3倍の広さです。」  
\* 「～の…倍の～」《… times + as + 原級 + as ～》
- (2) 「できるだけたくさん本を読みなさい。」 \* 「できるだけ…」は as … as one can だが、ここでは《as + 形容詞 + 名詞 + as》の語順になることに注意。
- (3) 「わたしが最後にあなたに会ってからずいぶん経っています。」
- (4) 「彼は始発列車に乗ることができるほど早く起きました。」
- (5) 「9時です。小さな子供は寝る時間です。」  
\* It is time for - to ~. 「-が～する時間だ。」
- (6) 「あなたはどのくらい映画を見に行きますか。一月に1回か2回です。」 \* 頻度をたずねる場合は、how often または how many times を用いる。
- (7) 「お手伝いしましょうか。— はい、このような黒い皮のジャケットを探しているのですが、わたしのサイズのものが見つかりません。」 \* ここでの like は「…のような」という意味の前置詞。
- (8) 「彼はわたしに間違いをすることを恐れないように言いました。」

\* be afraid of ~ing 「～することを恐れる」

- (9) 「わたしたちはあなたに自己紹介をしていただきたい。」  
\* would like … to ~ 「…に～していただきたい」, introduce oneself 「自己紹介をする」
- (10) 「これはわたしが今まで聞いた中で最もよいCDです。」
- (11) 「これがあなたがきのう話していた本ですか。」
- (12) 「わたしが招待した人のほとんどが来て、わたしたちはとても楽しい時を過ごしました。」 \* most of … 「…の大部分」, have a (very) good time 「(とても)楽しい時を過ごす」
- (13) 「動物園へのバスはどこで乗るべきか教えてくださいませんか。」
- (14) 「そこに着くまでに1時間半かかるでしょう。」 \* one and a half hours 「1時間半」
- (15) 「その赤ちゃんにわたしのめがねで遊ばせないでください。こわしてしまうかもしれません。」 \* 「-に～させる」《let + 目的語 + 原形不定詞》
- (16) 「この5日間わたしたちの家の外にずっとある車はわたしの兄[弟]のものです。」 \* for the last … 「この…間」, belong to … 「…に属する」

P188

**1 解答**
**ア, オ, カ, キ**
**解説**

イ till → by に。「…までに(期限)」は by。till[until] は「(時間の継続を表して)…まで」という意味。

ウ just now 「たった今」は過去を表す副詞句。現在完了とともに用いられない。

エ be laughed at by … 「…に笑われる」

**2 解答**
**ア, オ, キ**
**解説**

ア 「チーズはナイフで容易に切れます。」

イ to → for に。cook A for B 「BのためにAを料理する」

ウ don't → do に。You have no … の付加疑問文は You don't have any … と同じに考える。

エ lays → lies に。lay は「…を置く」の意味。「…がある」は lie。

オ 「作法」の意味の manner は複数形になる。

カ will get → gets に。未来の内容であっても before 以

下の時制は現在時制。

キ 「彼女はニューヨークから本を3冊取り寄せました。」

ク from → on に。日本語では「4月8日から」というが、英語では「4月8日に」と表す。

ケ excited → exciting に。movieなどを修飾する形容詞は excited(興奮した)でなく exciting(興奮させる)。

コ many furnitures → much furniture に。「家具」の furniture は数えられない名詞。

**3 解答**

(1) ×                      (2) ×                      (3) イ                      (4) ○                      (5) ア  
(6) ×                      (7) イ

**解説**

(1) ア I am difficult → It is difficult for me に。

イ interesting → interested に。

(2) ア you → yours に。比較の対象は「あなた」ではなく「あなたのペン」。

イ of → in に。

(3) イ Do → Be に。

(5) ア in → by に。

(6) ア when did he come home → when he came home に。

イ who is that tall man → who that tall man is に。

(7) イ stopped to rain → stopped raining に。

P189

**4 解答**

(1) オ                      (2) エ                      (3) ア                      (4) イ                      (5) イ

**解説**

(1) オ call → calls に。未来の内容であっても when 以下の動詞は現在形を用いる。someone は3人称単数扱い。

(2) エ is → are に。主語が both English and French となっていることに注意。

(3) ア have been → went に。過去を表す副詞句(last year)とともに現在完了は用いられない。

(4) イ interesting → interested に。「…に関心を持つようになる」 become interested in …

(5) イ to read → reading に。finish は目的語に不定詞をとることはできない。

5 解答

- (1) ウ (2) 工 (3) 工 (4) ア (5) イ

解説

- (1) ア paper の後に前置詞 with を入れる。cut A with B 「B を用いて A を切る」  
 イ mine → my に。名詞があとに続いているため所有格にする。  
 工 hot something to drink → something hot to drink に。something を修飾する形容詞は something の後ろに置く。
- (2) ア can → could に。  
 イ are → is に。主語は bread である。  
 ウ and → or に。which は「どちら」をたずねる疑問詞。
- (3) ア a が不要。ink は不定冠詞をつけず、複数形なし。  
 イ when he will come to see you が正しい語順。

- ウ to が不要。had better のあとには動詞の原形がくる。  
 (4) イ know → have known に。since は現在完了とともに用いられる。  
 ウ Did your dog return …? とする。過去を表す副詞句 (last night) は現在完了とともに用いられない。  
 工 for → in に。in は時間の経過を表す。  
 (5) ア too → either に。either は否定文で用いられ、「…もまた(～ない)」という意味を表す。  
 ウ and → but に。not only A but (also) B 「A ばかりでなく B も」  
 工 don't が不要。「急ぎなさい、さもないとバスに乗り遅れますよ。」

6 解答

- (1) don't → do (2) doesn't get → gets (3) to play → playing  
 (4) because → because of

解説

- (1) 否定疑問文では答え方に注意。答えが肯定の内容なら質問の形にかかわらず Yes を用い、否定の内容なら No を用いる。質問の仕方が Do you ~? であっても Don't you ~? であっても、答え方は同じになる。

- (2) before は「…する前に、…しないうちに」の意なので doesn't は不要。  
 (3) enjoy は目的語に不定詞をとることはできない。  
 (4) because のあとには節が、because of のあとには語句が続く。

7 解答

- (1) × (2) × (3) × (4) × (5) ○  
 (6) × (7) ○ (8) × (9) × (10) ×  
 (11) ○ (12) ○ (13) × (14) × (15) ○

解説

- (1) year → years に。  
 (2) from → since に。現在完了の文 (has lived) であることに注意。  
 (3) to が不要。「買い物に行く」は go shopping。  
 (4) During → While に。during は前置詞であるため《主語 + 動詞》を続けることはできない。  
 (5) buy A for B 「B(人)に A(物)を買う」  
 (6) the と my は並べて使えない。

- (8) 間接疑問の文。how our family were doing が正しい語順。  
 (9) want … to ～ 「…に～してほしい」  
 (10) 「このようなすばらしい姉」は such a nice sister が正しい語順。  
 (13) one of のあとは複数形の名詞がくる。  
 (14) meeting → to meet に。ask … to ～ 「…に～するように頼む」  
 (15) 《命令文…、and …》「…しなさい、そうすれば～。」

P191 1 解答

- |             |                  |               |
|-------------|------------------|---------------|
| (1) has     | (2) for          | (3) taken     |
| (4) is      | (5) rains        | (6) has known |
| (7) what    | (8) be surprised | (9) careful   |
| (10) spoken |                  |               |

解説

- (1) each 「めいめい、それぞれ」は単数扱い。  
 (2) 「…に向けて出発する」  
 (3) 《have+物+過去分詞》「(物)を～させる、～してもらう」  
 (4) news は単数扱いの名詞。数えるときは a piece of news などとする。  
 (5) If のあとに続く条件節は現在形に。  
 (6) these ten years 「ここ 10 年」とあるので現在完了に

する。

- (7) 先行詞を含む関係代名詞 what で表す。  
 (8) surprise は「驚かす」の意。「驚く」は受動態 be surprised にする。  
 (9) carefully は副詞で「注意深く」。「注意深い」は形容詞 careful。  
 (10) 《過去分詞 spoken + 語句》が前の名詞 language を修飾する。

2 解答

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| (1) E / you arrive at the airport | (2) U / you are                   |
| (3) E / I have ever seen          | (4) O / repairing[to be repaired] |
| (5) O / a university student      |                                   |

解説

- (1) as soon as …は未来の事象であっても現在形にする。  
 (2) 間接疑問の文。what you are talking about が正しい語順。  
 (3) 「今まで見た中で最も興奮するような試合」の意味なの

で never → ever にする。

- (4) need ~ing は「～される必要がある」の意。needs repairing = needs to be repaired。  
 (5) university の u は [ju:] と発音される。母音字で始まっているでも発音が子音のときには冠詞は a をつける。

3 解答

- |                           |                |              |
|---------------------------|----------------|--------------|
| (1) E / let's             | (2) E / either | (3) U / dead |
| (4) I / much[far / a lot] |                |              |

解説

- (1) Shall we …? に対する返答は Yes, lets. / No, let's not. など。  
 (2) 否定文中での「…もまた(～ない)」は either を用いる。

- (3) be dead は「死んでいる」状態のことで、die は「死ぬ」という動作を表す。  
 (4) 形容詞[副詞]の比較級の強調は much, far, a lot などを用いる。

P192 4 解答

- |                        |  |              |
|------------------------|--|--------------|
| (1) to → in            | (2) twelve → twelfth                           | (3) it → one |
| (4) can → could        | (5) kind → kind to[each other → to each other] |              |
| (6) inviting → invited | (7) has → have                                 |              |

解説

- (1) 「…に(ずっと)いる」は have[has] been in …で表す。
- (2) 「第 12 の, 12 番目の」は twelfth。
- (3) it は前の名詞が表すものと同一のものを指す。一方, one は前の名詞が表すものと同じ種類のものを指す。

- (4) can → could に。
- (5) 「…に親切である」 be kind to …
- (6) 《過去分詞 invited + 語句》が前の名詞 guests を修飾する。
- (7) 先行詞 students が複数形であることに注意。

5 解答

カ, ク, ケ, ス, ソ

解説

- ア a few works → a little work に。work は「仕事」の意で不可算名詞。
- イ books as many as mine → as many books as I に。
- ウ how you look at it carefully → how carefully you look at it に。  
\* 《no matter how + 副詞》「どんなに~しようとも」
- エ 「4月に始まる」なので, from → in に。
- オ to dance → dancing に。

- キ been knowing → known に。know は状態を表すので進行形にできない。
- コ how → what に。疑問詞は call の補語(名詞)になるので, how ではなく what にする。
- サ minute's → minutes' に。複数形の名詞の所有格の作り方に注意。
- シ will arrive → arrive に。as soon as …は未来の事象であっても現在形にする。
- セ I'm necessary → it is necessary for me に。

6 解答

- (1) イ was                      (2) ウ as large                      (3) ウ is  
(4) ア when I could have    (5) ウ was laughed at

解説

- (1) Every girl は単数扱い。
- (2) 人口が「多い」は large を用い, many や much は使えない。

- (3) three quarters of the building で「その建物の4分の3」の意味。
- (4) can → could に。
- (5) be laughed at by … 「…に笑われる」。前置詞に注意。

7 解答

- (1) イ                      (2) ○                      (3) イ                      (4) イ                      (5) イ

解説

- (1) 《used to + 動詞の原形》「以前は~だった, よく~したものだ」
- (2) prefer A to B 「BよりAを好む」, like A better than B 「BよりAを好む」
- (3) make は《make + 目的語 + 原形不定詞》で「…に~させる」の意味を表す。

- … enough for A to ~ 「Aが~するのに十分なほど…」
- (4) just now 「たった今」は過去の時制の文で用いる副詞。現在完了で使うことはできない。
- (5) with 以下は付帯状況を表している。〈with + 物 + 分詞〉の形が正しい。

8 解答

- (1) ウ                      (2) イ                      (3) イ                      (4) エ                      (5) エ

解説

- (1) first と for the first time は同義。前に first があるので不要。
- (2) into an insect → into the insect

- (3) to guide them → to guide themselves
- (4) the other day → some day
- (5) did not see → have not seen

# 入試対策 部分英作文

P194~197

P194 1 解答

- |                              |                                     |                  |
|------------------------------|-------------------------------------|------------------|
| (1) don't have[need] to      | (2) better than any                 | (3) built[made]  |
| (4) written to               | (5) wondering why                   | (6) how to write |
| (7) which[that] was given me | (8) where Tom has been              |                  |
| (9) keep, clean              | (10) old enough                     | (11) that        |
| (12) looking for             | (13) is interested in               | (14) looks like  |
| (15) is good at              | (16) How[What] about something cold |                  |
| (17) made, think             |                                     |                  |

## 解説

- (1) 「～する必要はない」 don't have[need] to ~  
 (2) 比較級を用いて最上級の意味を表す。  
 (3) 《過去分詞 built[made]+ 語句》が前の名詞 bridge を修飾する。  
 (4) 現在完了(完了)の疑問文の形にする。  
 (5) wonder は間接疑問をとる動詞。  
 (6) 「～のしかた」 how to ~  
 (7) 第4文型の受動態であることに注意。  
 (8) 現在完了(継続)の形にする。  
 (9) 「A を B(の状態)にしておく」 keep A B

- (10) 「～するのに十分に…」 … enough to ~  
 (11) 主格の関係代名詞(that)。先行詞が《人+人以外の物や動物》の場合は that を用いる。  
 (12) 「…を探す」 look for …  
 (13) 「…に興味を持っている」 be interested in …  
 (14) 「…に似ている」 look like …  
 (15) 「…が得意である」 be good at …  
 (16) 人に物を勧めたりするときは、疑問文でも something を用いる。  
 (17) 「(人)に～させる」《make+(人)+動詞の原形》にする。

P195 2 解答

- |                    |                |                          |
|--------------------|----------------|--------------------------|
| (1) was late for   | (2) be kind to | (3) on his[the] way home |
| (4) What is wrong  | (5) give       | (6) miss                 |
| (7) say            | (8) like       | (9) How                  |
| (10) to take       | (11) took, in  | (12) wrong seat          |
| (13) No, I haven't | (14) let's     | (15) either              |

## 解説

- (1) 「…に遅れる」 be late for …  
 (2) 「…に親切である」 be kind to …  
 (3) 「家に帰る途中で」 on one's[the] way home  
 (4) 「…のどこが悪いのですか。」 What is wrong with …?  
 (5) 「A を B まで(車で)送る」 give A a ride to B  
 (6) この miss は「見逃す」の意味。  
 (7) 「…によるしく言う」 say hello to …  
 (8) 「…はどんなもの(人)ですか。」 What is … like?

- (9) How は状態や程度を問う。  
 (10) 「(人)に～するように言う」《tell+(人)+to ~》の受動態。「薬を飲む」 take a medicine  
 (11) 「バスを乗り間違える」 take the wrong bus. 「急いで」 in a hurry  
 (12) 「間違った」 wrong  
 (13) 否定疑問文は答え方に気をつける。  
 (14) 否定の場合は No, let's not (do).  
 (15) 否定文への同意は either を用いる。

- (1) to learn how to swim well
- (2) It is important for you to
- (3) I liked best last year
- (4) finished reading the book at last
- (5) for telling[showing] me the way
- (6) left[started] for, without saying goodbye
- (7) On his[the] way back from, took a rest, as usual
- (8) As soon as I arrived[reached / got] there
- (9) so early that he had
- (10) that it was difficult[hard], teach English
- (11) Yesterday afternoon, was caught, on my[the] way from
- (12) not, any more[longer], all the way to
- (13) after tomorrow, call on, whom[that] I have not seen[met]

## 解説

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「～のしかた」 how to ～</li> <li>(2) 《It is … (for-) to ～.》の構文。</li> <li>(3) 目的格の関係代名詞 (which / that) が省略されている。</li> <li>(4) 「～し終える」 finish ～ing. 「やっと」 at last</li> <li>(5) 「～してくれてありがとう。」 Thank you for ～ing.</li> <li>(6) 「～しないで」 without ～ing</li> <li>(7) 「ひと休みする」 take a rest. 「いつものように」 as</li> </ol> | <p>usual</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(8) 「～するとすぐに」 as soon as ～</li> <li>(9) 「とても～なので…」 so ～ that …</li> <li>(10) 主節の動詞が過去なので、時制の一致を受けて that 以下の時制も過去となる。</li> <li>(11) 「夕立にあう」 be caught in a shower</li> <li>(12) 「…までずっと」 all the way to …</li> <li>(13) 「(人)をたずねる」 call on + (人)</li> </ol> |
|--|--|

- |   |                    |             |
|---|--------------------|-------------|
| (1) Who else  | (2) your turn      | (3) no idea |
| (4) afraid, last[continue]  | (5) stands, flying |             |
| (6) man[person], few, promise[word], depend[rely]                     |                    |             |
| (7) used, tell, ought, courage  |                    |             |
| (8) till tomorrow what you can do today, many people can follow[take] |                    |             |
| (9) A : does this road lead to [is this the way to]                   |                    |             |
| B : about ten minutes' walk   |                    |             |
| (10) A : often late for school, live very near                        |                    |             |
| B : I feel sleepy, long can I keep                                    |                    |             |
| A : Till Monday   |                    |             |

## 解説

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) else は any-, no- や who, what などの疑問詞の次に用いて「他に」の意味を添える。</li> <li>(2) 「順番」 turn</li> <li>(3) 「わたしにはわかりません。」 I have no idea.</li> <li>(5) 「…を表す, …の略である」 stand for …</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>(6) 「口数の少ない人」 a man of few words, 「約束を守る」 keep one's promise[word]</li> <li>(7) 「よく～したものだ」 used to ～</li> <li>(8) 「…を延ばす」 put off …</li> <li>(9) 「…へ通じる」 lead to …, 「歩いて 10 分の道のり」 (a) ten minutes' walk</li> </ol> |
|--|--|

P198

## 1 解答

- (1) You had better read this book.  
 (2) I told her to go there.  
 (3) I think that he is older than you.  
 (4) English is spoken in Canada.  
 (5) How long has he known you?

## 解説

- (2) 「人に～するように言う」《tell+人+to～》

(5) 「知っている」という問題文に惑わされないこと。knowは状態を表す動詞なので進行形にはしない。

## 2 解答

- (1) How long have you and he been friends?  
 (2) What does that cloud look like?  
 (3) Let's go swimming in the river if the weather is good[fine] tomorrow.  
 \* the weather is good[fine] は it is sunny も可。if 節が文の前半にきてても可。

## 解説

- (1) 「いつから」は「どのくらいの間(その状態が続いているのか)」ということである。  
 (2) 「AはBのように見えます。」A looks like B. \*ここではBが何かを問う疑問文であるため、Bに疑問詞(ここ

では what)が置かれている。

- (3) if 中の動詞(ここでは is)は現在形にする。「川へ」は to the river としない。泳ぐのは川の中なので in が正しい。

## 3 解答

- (1) I went to Australia by plane[air] last month.  
 (2) It took (me) about eight hours.  
 (3) The English (which[that] was) spoken by the pilot[captain] was so fast that I could hardly understand it[what he said].  
 \* The pilot[captain] spoke English so fast that I could hardly understand it[what he said]. も可。  
 (4) I thought (that) I would study English harder.

## 解説

- (1) 「飛行機で」by plane[air]  
 (2) 「[日時などが]かかる」take  
 (3) 「ほとんど～ない」hardly～

\* hardly は often, always などと同じく位置は一般動詞の前、助動詞の後に置く。

- (4) 「勉強しよう」の will は主節の動詞(過去形 thought)による時制の一致を受けて would とする。

## 4 解答

- (1) It will take me more than an hour to finish[do] the homework (which[that] was) given (to) me by Mr. Yamada today.  
 \* (which[that] was) given (to) me by Mr. Yamada は (which[that]) Mr. Yamada

gave (to) me も可。

- (2) I have to start[begin] doing[to do] it as soon as I get home because there is a TV program (which) I want to watch this evening[tonight].

#### 解説

- (1) 「宿題」を先行詞とし、「きょう山田先生から出された(受動態)」もしくは「きょう山田先生が出した(第4文型)」が後ろから修飾するという構造を作る。

- (2) 「～するとすぐに」as soon as～。as soon as に続く節は未来の内容であっても現在形とする。「テレビ」は「テレビ番組」のこと。「テレビ番組」を先行詞とし、「今晚(わたしが)見たい」が後ろから修飾するという構造を作る。

#### 5 解答

- (1) It took him a week to do the work.  
(2) My mother has just gone shopping at that new shop[store].  
(3) All the books on the desk are hers[belong to her].  
(4) Leave home at seven fifty, and you will catch[be in time for] the train.  
(5) I was so tired that I couldn't walk back to my home.  
\* I was too tired to go back home on foot. も可。  
(6) Let's go home before it begins[starts] to rain[raining].  
(7) I wonder why that boy is afraid of dogs.  
(8) Speak louder[more loudly / in a louder voice] so that everyone can[will / may] hear you.  
(9) Do you know how many junior high schools there are in your town?  
(10) When I telephoned[phoned / called] Tom last night, he was doing his homework.  
(11) Do you know when he is going to return[come back] from Europe?  
(12) If you practice hard, you will be able to swim in a few days.  
(13) What did she talk about with him in the park yesterday?  
(14) Many mothers want their sons to study harder[more].  
(15) Each[Every] country should[must] do[try] its best to understand other countries.  
(16) I decided[made up my mind] to study abroad to know[learn] more about foreign countries.

#### 解説

- (2) 「出かけたばかりだ」は「出かけてしまって今ここにはいない」ということなので現在完了(結果)を用いる。  
(4) 「…しなさい, そうすれば～」《命令文…, and …》  
(5) 「あまりに…なので～できない」は《so … that + 主語 + can't …》または《too … to …》で表す。  
\* 「歩いて」on foot  
(6) 「雨が降り出さないうちに」は「雨が降り出す前に」ということ。接続詞 before を用いる。  
(8) 「～するように」は「～できるように」ということ。「～できるように…しなさい」は命令文ではじめ, 《so that + 主語 + can[may] …》の構文で表す。

- (9) how 以下が間接疑問なので肯定文の語順とする。  
(10) 「宿題」homework は複数形にしない。  
(12) 「2, 3日で」in a few days  
(13) 「きのう公園で」は語順に注意。「場所」を示す副詞が「時」を示す副詞の前にくるので in the park yesterday の語順になる。  
(14) 「…に～してほしいと思っている」want … to …  
(15) 「最善を尽くす」do[try] one's best  
(16) 現在完了, 過去形のいずれも可。「～する決心をする」は decide to …, もしくは make up one's mind to …で表現する。

- (1) Because my son asked me to send him some money again.
- (2) I lost my purse on my[the] way home from school the day before yesterday.
- (3) My daughter has never been sick[ill] in bed since she was born.
- (4) I remember seeing[meeting] that man with glasses (on) somewhere the other day.
- (5)① My father has been sick[ill] in bed these several years. He is getting worse.  
② That's too bad. I hope he will get well soon.
- (6)① What should we do (in order) to help poor old people?  
② Ask your grandmother (about it), and she will tell[teach] you what to[you should] do.
- (7)① Didn't you write a letter of thanks to her?  
\* a letter of thanks は a thank-you letter も可。  
② Yes, I did.
- (8)① Shall we go and[to] see the American teacher (whom[that]) we saw[met] in the library last Wednesday?  
② Yes, let's. Ryutaro Hattori knows where he lives, doesn't he?

## 解説

- (1) 「…に～するよう頼む」ask … to ~
- (2) 「家に帰る途中で」は on one's[the] way home。「学校から」とするときは from school を home のあとに続けられよ。
- (3) 「～したことがない」は《have never+過去分詞》という現在完了で表す。\* 「生まれる」be born

- (4) 「会った覚えがある」は「会ったことを覚えている」ということ。「[過去にしたことを]覚えている」は remember ~ing. remember to ~は「忘れないで～する」。
- (7) 否定疑問文で質問された場合でも、「手紙を書いた」と答えるなら Yes, I did., 「手紙を書いていない」と答えるなら No, I didn't. とする。

## 発展問題

- (1) Is it true (that) the most popular sport in America is not baseball?
- (2) Today's newspaper says that we will have a lot of rain this spring.  
\* Today's newspaper says that は According to today's newspaper, も可。  
\* we will have a lot of rain は it will rain a lot も可。
- (3) There will be many[A lot of] famous people at the party (which[that]) I am looking forward to.  
\* Many[A lot of] famous people are coming to the party (which[that]) I am looking forward to. も可。

## 2 解答

- (1) Could[Would] you lend me ten thousand yen? I'm a little short of money.
- (2) (Please) Take (good) care (of yourself). (Please) Tell me your new address and

telephone number when you arrive[get] there.

\* Tell me は Let me know も可。

- (3) He looks younger than he really is. I think (that) it is because he has (long [always]) taken part in various sports (which[that]) young people play[enjoy / like].

\* He looks younger than he really is. は He looks young for his age. も可。

\* I think は I'm sure も可。

**解説** (1) 「…が足りない」 be short of …

### 3 解答

- (1) I have a lot of work to finish[do] before[by the time] my children come back.

- (2) At the front[main] entrance[gate] we met[saw] a pretty girl in[(who is) wearing] a blue and yellow dress.

- (3) I (have) decided[made up my mind] to give him his favorite video tape as a birthday present. \* as a birthday present は for his birthday も可。

### 4 解答

- (1) I borrowed the book from the library yesterday, and I finished reading it this afternoon.

- (2) It was much[far / a lot] more interesting than the book (which[that]) I (had) read last week.

P202

### 5 解答

- (1) This is all (that) I know about the man.

- (2) I think (that) he is one of the best soccer players in the world.

- (3) The trip will give you a chance to know about people and their culture.

- (4) These questions were so difficult that I couldn't answer them.

- (5) Will that dog be taken care of by Mary from now on?

- (6) I'd[I would] like to do some shopping around here. Could[Would] you (please) tell me where to park my car?

- (7) The building whose tower we can see over there is the most famous church in our town. \* we can see は can be seen も可。

- (8) Have you ever heard of an old man who[that] has climbed Mt. Fuji every year for twenty years?

- (9) The elevator was out of order, so we had to walk up to the ninth floor.

\* The elevator was out of order は There was something wrong with the elevator も可。

\* Because[As] the elevator was out of order, we had to walk up to the ninth floor. も可。

- (10) Many[A lot of] people begin[start] to keep diaries on New Year's Day, but most of them stop doing so in a few days. \* to keep は keeping も可。
- (11) Our school is in the center of the town, and we can walk to the nearest station in five minutes or less.  
\* in five minutes or less は within five minutes も可。

解説

- (9) 「故障して」 out of order  
(10) 「日記をつける」 keep a diary, 「元日に」 on New

Year's Day

- (11) 「…の中心に」 in the center of …

P203 6 解答

- (1) I have not heard from my friend Aoki for (the last) ten years.  
\* Ten years have passed since I last heard from my friend Aoki. も可。  
\* It is ten years since I last heard from my friend Aoki. も可。
- (2) I don't know at all where he is or what kind of work[job] he is doing[having].  
\* I don't know at all は I have no idea も可。
- (3) Last February I came home after I had lived abroad for many years.
- (4) Everything (that) I see looks new to me.

解説

- (3) 時制に注意する。「長年外国で暮らした」のは「帰国した」よりも前の過去の出来事であることに着目。過去の

出来事よりさらに前の過去のことは過去完了《had + 過去分詞》で表す。

7 解答

- (1) People all over the world have given gifts and cards to each other on Saint Valentine's Day.
- (2) Cards made by machine(s) became more popular around[about] 1850.

8 解答

- (1) I am interested in the novels (which[that]) Soseki Natsume wrote.  
\* I am interested in the novels (which[that] were) written by Soseki Natsume. も可。
- (2) I am going to keep a diary in French every night before going to bed.
- (3) I hope (that) we will have a good[great] year.

1 解答

- (1) dangerous (2) through (3) dead (4) worse (5) forget  
(6) take (7) won (8) lying (9) depth (10) quarter

解説

- (1)(5)(6) 反意語。bringは「持ってくる」、takeは「持っていく」。  
(2)(7) 同音異義語。(2)は[0ru:], (7)は[wan]と発音。  
(3) 名詞と形容詞。  
(4) 不規則変化の比較級。good[well] - better - best, bad[ill] - worse - worst。

- (8) 注意すべき動詞のing形。beginは子音nを重ね、ingをつける。lieはieをyに変えてingをつける。die、tieも同様の変化をする。  
(9) 形容詞と名詞。  
(10) thirty minutesはan hourのhalf(半分)、fifteen minutesはquarter(4分の1)。

2 解答

- (1) yellow (2) album (3) camera (4) farmer (5) uncle  
(6) envelope (7) mirror (8) niece (9) captain[chief]  
(10) whale (11) glove (12) alphabet (13) nurse (14) museum  
(15) diary (16) stadium

解説

- (1) 「バターや金あるいは卵の中心部のような色=黄色」  
(2) 「写真を集めるための本=アルバム」  
(3) 「写真をとるときに使う機械=カメラ」  
(4) 「米や野菜を育てたり、(家畜として)動物を飼う人=農民」  
(5) 「父親もしくは母親の兄弟=おじ」  
(6) 「紙製品。たいていは手紙をその中に入れる=封筒」  
(7) 「ガラスでできたもの。自分自身の姿が見える=鏡」  
(8) 「兄弟あるいは姉妹の娘=めい」  
(9) 「団体のリーダー=指導者」  
(10) 「海に住む最も大きな動物=くじら」

- (11) 「親指とそれぞれの指の部分に分かれていて、手をおおうもの=手ぶくろ」  
(12) 「単語を書くときに使う文字の集合。英語は26文字持つ=アルファベット」  
(13) 「病院で医者とともに働き、病気の人々を助ける人=看護師」  
(14) 「建造物。おもしろい物が集められており、人々に向けて展示されている=博物館」  
(15) 「その年の1日ごとにページがある本。その日にしたことを書き留めておく=日記帳」  
(16) 「周囲に観客席のある広い運動場。そこに野球の試合を見に行く=競技場」

3 解答

- (1) cousin (2) dictionary (3) ninth (4) Breakfast (5) February  
(6) dark (7) kitchen (8) tongue (9) village (10) letter  
(11) introduce (12) elevator (13) favo(u)rite (14) increased (15) have[need]  
(16) of[about] (17) for (18) one (19) times (20) into  
(21) enough (22) anything (23) both (24) often (25) fast  
(26) do

訳と解説

- (1) 「いとこはおじ、もしくはおばの子供です。」  
 (2) 「辞書はわからない言葉があるとき、しばしば大きな助けとなってくれます。」  
 (3) 「9月は1年のうちで9番目の月です。」  
 (4) 「朝食は1日の中で最初の食事です。」  
 (5) 「1月と3月の間に来る月は2月です。」  
 (6) 「とても暗かった。顔の前にある手が見えませんでした。」  
 (7) 「料理をするために使われる部屋は台所です。」  
 (8) 「最初に話すことを習得した言語を母語と呼びます。」  
 (9) 「村とはいなかの住宅や商店の小さな集まりで、通常は町より小さい。」  
 (10) 「ジョンは決して手紙を書きません。彼が去って以来、彼から音信がありません。」  
 (11) 「あなたはグリーンさんに会ったことがないと思います。わたしがあなたを彼に紹介しましょう。」  
 (12) 「エレベーターとは建物の中であって、人々を上下に運ぶものです。」  
 (13) A: 「あなたは夏が最も好きですか。」  
 B: 「いいえ。わたしの大好きな季節は春です。」  
 (14) 「この街の人の数はここ10年で増加してきています。10年前は2万人でしたが、現在は3万人です。」  
 (15) 「きょうは学校へ行く必要はありません、なぜなら日曜日だからです。」  
 (16) 「あなたの成功について聞いてとてもうれしい。」  
 (17) 「この市が有名な点は何ですか。」 \* 「…で有名である」 be famous for …

- (18) 「わたしは時計をなくしました。(新しいものを)買わなくてはなりません。」 \* it は前の名詞が表すものと同一のものを示し、one は前の名詞が表すものと同じ種類のものを示す。  
 (19) 「富士山は六甲山の約4倍の高さです。」  
 (20) 「牛乳はチーズやバターに作り変えられます。」  
 \* 「A(材料=ミルク)をB(製品=チーズやバター)にする」 make A into B の受動態。  
 (21) 「あのいすの上に立ってはいけません。それは(あなたを支えられるほど)頑丈ではありません。」  
 (22) 「健康は他の何ものより貴重です。」 = Health is the most precious thing of all.  
 (23) 「わたしはその2人の少年たちを両方とも知っているというわけではありません。そのうちの1人には今まで1度も会ったことがありません。」 \* 部分否定「両方とも…というわけではない」。全体否定は I don't know either of the two boys. 「2人の少年たちの両方とも知りません。」で表す。  
 (24) A: 「あなたは彼女にどのくらいの頻度で電話をしますか。」  
 B: 「わたしは彼女に毎日電話をします。」  
 \* 「何回」 How often …? = How many times …?  
 (25) A: 「あなたはどのくらいの速度で運転しましたか。」  
 B: 「わたしは時速70キロで運転しました。」  
 (26) A: 「わたしはそのような場合において何をすべきか知っています。」  
 B: 「わたしもです。」

P206 4 解答

- (1) passport (2) volunteer (3) uniform (4) neighbo(u)r (5) umbrella

訳

- (1) 「外国へ入国するときに、あなたの出身国を証明する小さな本=パスポート」  
 (2) 「何も得ることなしに、手助けをする人=ボランティア」

5 解答

- (1) ウ (2) エ (3) ア (4) エ (5) ウ

訳と解説

- (1) 「夜10時ごろでした。彼らは疲れていましたが、働き続けました。」  
 (2) 「船は何日間も海を航海した後、港へ到着しました。」  
 (3) 「ときどき彼らは勉強するためにいっしょに図書館へ行きました。」

- (4) 「さようなら。近いうちにお会いしましょう。」  
 (5) 「太郎は一人暮らしでした。ある日、彼はシチューを作りましたが、それは多すぎました。だから太郎は3日間シチューだけを食べました。」 \* nothing but … = only …

6 解答

- (1) カ (2) ク (3) ウ (4) キ (5) イ

解説

- (1) 「あとで使うために銀行にお金を預けること＝貯金する (save)」  
 (2) 「短い期間だけ訪問客としてそこで暮らすこと、もしくはそこで寝るだけのこと＝滞在する (stay)」  
 (3) 「だれか他の人と何かについて同じ意見を持つ、あるいは

は同じ意見を表現すること＝同意する (agree)」

- (4) 「他人の所有物で、後で返却しなければならないものを使うこと＝借りる (borrow)」  
 (5) 「だれかに何かを与え、同時にその人から同じ類いの物を受け取ること＝交換する (exchange)」

7 解答

- (1) far (2) on (3) come (4) say (5) leaves  
 (6) last (7) turn (8) call (9) run (10) make  
 (11) right (12) still (13) mind (14) end (15) part

P207

訳と解説

- (1) ① 「今までのところは理解していますか。」 \* so far 「今までのところは」  
 ② 「ここから飛行場までどのくらいの距離がありますか。」 \* how far 「[距離・程度] どのくらい」  
 (2) ① 「きょうは電車は時間通りに走っていますか。」 \* on time 「時間通りに」  
 ② 「彼女は新しいパーティードレスを試しに身に着けました。」 \* try on … 「…を試しに身に着ける」  
 (3) ① 「小さなレストランを開くというわたしの夢は実現しました。」 \* come true 「[夢などが] 実現する」  
 ② 「あなたはどこでその有名な歌手に偶然出会ったのですか。」 \* come across … 「[偶然] …に出くわす」  
 (4) ① 「ご家族によるしくお伝えください。」 \* say hello to … 「…によるしくと言う」  
 ② 「あなたはその知らせを聞いたとき、心の中で何を考えましたか。」 \* say to oneself 「心の中で考える」  
 (5) ① 「木々の葉が黄色にかわりつつあります。」 \* leaf の複数形は leaves。  
 ② 「彼女はあした東京へ向けてロンドンを出発します。」 \* leave A for B 「B に向かって A を出発する」  
 ③ 「彼はしばしば電車にかさを置き忘れます。」 \* leave … 「…を置き忘れる」  
 (6) ① 「その本の最後のページを読みなさい。」 \* last 「最後の」  
 ② 「ついに彼は机の下で鍵を見つめました。」 \* at last 「ついに」  
 ③ 「この暑い天気はどのくらい続きますか。」 \* last 「続く」  
 (7) ① 「その話は本当であることがわかるでしょう。」

\* turn out … 「…であることがわかる」

- ② 「わたしたちは左へ曲がり、北へ向かって運転しなければなりません。」 \* turn 「曲がる」  
 (8) ① 「日本語ではこの魚を何と呼びますか。」 \* call A B 「A を B と呼ぶ」  
 ② 「あなたがそこに着いたらすぐに、わたしに電話をかけてもらってもいいですか。」 \* call … up 「…に電話をかける」  
 (9) ① 「2つの川が日本海に流れ込んでいます。」 \* run 「[川が] 流れる」  
 ② 「わたしのおじは将来スーパーマーケットを経営したいと思っています。」 \* run … 「[店など] を経営する」  
 (10) ① 「湖のそばでキャンプファイアーをしましよう。」  
 ② 「英語で自分の意思を人にわからせることができますか。」 \* make oneself understood 「自分の意思を人にわからせる」  
 (11) ① 「彼はちょうど門の前で止まりました。」 \* right 「ちょうど」  
 ② 「[健康などをたずねて] きょうはだいじょうぶですか。」 \* all right 「元気な、問題ない」  
 ③ 「右側を通行しなさい。」 \* right 「右」  
 (12) ① 「地面はまだ雪でおおわれています。」 \* still 「まだ」  
 ② 「わたしは疲れていたが、それでも歩き続けました。」 \* still 「それにもかかわらず」  
 ③ 「あなたはいすにじっと静かにすわっているだけでよい。」 \* sit still 「じっと静かにすわる」  
 (13) ① 「わたしの言葉を心にとめておいてください。」 \* keep … in mind 「…を心にとめる」  
 ② 「窓を開けてもかまいませんか。」 \* Do you mind if

…? 「…してもかまいませんか」

- ① 「彼は彼の考えを変えませんでした。」 \* change one's mind 「考えを変える」
- (14) ① 「その通りの突き当たりに病院があります。」 \* at the end of … 「…の突き当たりに」
- ② 「彼はわたしたちのお気に入りの曲でコンサートを終わらせるでしょう。」 \* end A with B 「BでAを終わらせる」

- ③ 「お金それ自体がその政治家の目的です。」 \* end 「目的」
- (15) ① 「あなたはアメリカのどの地域の出身ですか。」 \* part 「地域」
- ② 「彼女はわたしたちの仕事において重要な役割を果たしています。」 \* part 「役割」 = role
- ③ 「彼はついにその宝石を手放さなければなりません。」 \* part with … 「…を手放す」

P208 8 解答

(1) hear (2) peace (3) son

訳と解説

( )内の単語は意味は異なるが、同じ音で発音される同音異義語である。

- (1) ① 「わたしの祖母はここ(= here)東京に1人で住んでいます。」
- ② 「騒音のため、あなたの言っていることを聞く(= hear)ことができません。」 \* here も hear も [hiə(r)] と発音。

- (2) ① 「紙を1枚(= piece)いただいてもよろしいですか。」
- ② 「世界中の人々が世界平和(= peace)を望んでいます。」 \* piece も peace も [pi:s] と発音。
- (3) ① 「太陽(= sun)は東から昇り、西に沈む。」
- ② 「わたしたちには息子(= son)が1人と娘が2人います。」 \* sun も son も [sʌn] と発音。

9 解答

(1) won (2) allowed (3) guessed (4) ① rowed ② rode

訳と解説

- (1) 「わたしの同級生の1人がこの前の金曜日にスピーチコンテストで1位になりました。」 \* one も won も [wʌn] と発音。
- (2) 「その新しい先生はすべての生徒たちに大声で本を読むことを許可しました。」 \* allowed 「許可する」の過去形)も aloud 「大声で」も [ə'laʊd] と発音。

- (3) 「パーティーに出席した客はその赤い箱に何が入っているのかを推測しました。」 \* guessed 「推測する」の過去形)も guest 「客」も [gest] と発音。
- (4) 「わたしたちはボートをこいで川を下りましたが、小さな少年は川に沿った道で自転車をこぎました。」 \* rowed 「ボートをこぐ」の過去形), rode 「乗る」の過去形), road はすべて [raʊd] と発音。

10 解答

(1) ① blew ② blue (2) ① pair ② pear (3) ① sail ② sale  
 (4) ① wait ② weight (5) ① Write ② right (6) ① threw ② through  
 (7) ① won ② one (8) ① seen ② scene (9) ① weak ② week

訳と解説

- (1) ① 「風がとても強く吹いていたのでわたしは歩くことができませんでした。」
- ② 「青い服を着ている少女はわたしの妹[姉]です。」 \* blew 「吹く」の過去形)も blue も [blu:] と発音。
- (2) ① 「彼は1対のめがねを買いました。」
- ② 「わたしはおいしい西洋ナシを食べることを楽しみました。」

- \* pair も pear 「西洋ナシ」も [peə(r)] と発音。
- (3) ① 「わたしたちのヨットは赤い帆がついています。」
- ② 「このおもちゃは売り物ではありません。」 \* sail も sale も [seil] と発音。
- (4) ① 「3時までわたしを待ってください。」
- ② 「彼は先月体重が2キロ減りました。」 \* wait も weight も [weit] と発音。
- (5) ① 「ここに名前と住所を書いてください。」

- ② 「盗むことは正しい行いではありません。」 \* write  
も right も [raɪt] と発音。
- (6)① 「だれかがわたしに石を投げました。」
- ② 「その少年は窓から家に入りました。」  
\* threw (「投げる」の過去形) も through も [θru:]  
と発音。
- (7)① 「野球の試合は7対3でわたしたちが勝ちました。」
- ② 「わたしがきのう逃した魚はたいへん大きかった。」

- \* won も one も [wʌn] と発音。
- (8)① 「子供たちはそのショーで多くのおもしろいものを見  
ました。」
- ② 「その窓からの雪景色はたいへん美しかった。」  
\* seen (「見る」の過去分詞) も scene も [si:n] と発音。
- (9)① 「コーヒーは薄めと濃いめのどちらにしますか。」
- ② 「彼女は週1回英語を教えています。」 \* weak も  
week も [wi:k] と発音。

# 入試対策 発音・アクセント

P210~213

P210

## 1 解答

(1) ウ (2) オ

### 解説

(1) ア pre-páre イ be-twéen ウ ó-ffice  
エ gui-tár オ sur-príse

(2) ア sén-tence イ póp-u-lar  
ウ vég-e-ta-ble エ díf-fer-ent  
オ mu-sé-um

## 2 解答

イ, ウ, ク, コ, セ

### 解説

イ with-ín ウ po-líce ク mu-sé-um

コ de-móc-ra-cy セ él-e-va-tor

## 3 解答

ア, ウ, キ, ク, コ

### 解説

第2音節にアクセント…エ, オ, カ, ケ, サ

第3音節にアクセント…イ, シ

## 4 解答

ウ, カ, キ, ス, ソ

### 解説

第2音節にアクセント…ア, オ, ク, コ, セ

第3音節にアクセント…イ, エ, ケ, サ, シ

## 5 解答

(1) ウ (2) イ (3) ウ (4) ア (5) イ  
(6) イ (7) ア (8) ウ

### 解説

(1) an-óth-er díf-fer-ent vi-o-lín  
(2) díf-fi-cult in-tro-dúce tél-e-phone  
(3) be-gín-ning hós-pi-tal un-der-stánd  
(4) i-dé-a im-pór-tant to-géth-er

(5) al-réad-y dí-a-ry mu-sé-um  
(6) néws-pa-per to-mór-row Wásh-ing-ton  
(7) dis-cóv-er pi-á-no re-mém-ber  
(8) bás-ket-ball Jap-a-nése um-brél-la

P211

## 6 解答

(1) エ (2) イ

### 解説

(1) ア [ʌ] イ [ei] ウ [e] エ [ɑ:(r)], [ɔ:(r)]

(2) ア [d], [t] イ [ð] ウ [s], [z]  
エ [k], [f]

7 解答

イ, ウ

解説

ア great[eɪ], already[e] イ even[i:], teach[i:]  
ウ aunt[æ], ask[æ] エ draw[ɔ:], grown[ou]  
オ lunch[ʌ], office[ɑ]

カ question[tʃən], nation[ʃən]  
キ theirs[ð], thirteenth[θ]  
ク blood[ʌ], through[u:]

8 解答

(1) イ (2) ア (3) イ (4) ア (5) ウ

解説

(1) foot[u], shoot[u:], wool[u]  
(2) Thursday[z], lose[z], houses[z]

(3) rain[eɪ], neighbor[eɪ], dead[e]  
(4) called[ɔ:], daughter[ɔ:], bought[ɔ:]  
(5) heart[ɑ:(r)], heard[ɔ:(r)], ear[iə:(r)]

9 解答

(1) ア (2) ア (3) ウ (4) ア (5) エ

解説

(1) ア[i:], 他は[e]  
(2) ア[ɑ], 他は[ʌ]

(3) ウ[ɑ], 他は[ou]  
(4) ア[ou], 他は[au]  
(5) エ[uə(r)], 他は[auə(r)]

10 解答

(1) ア (2) ウ (3) ア (4) ア (5) オ  
(6) オ (7) ウ (8) ウ

解説

(1) ア[ə], 他は[æ]  
(2) ウ[u], 他は[u:]  
(3) ア[eə(r)], 他は[i:(:ə)]  
(4) ア[ɔ:], 他は[ou]

(5) オ[i], 他は[i:]  
(6) オ[s], 他は[ʃ]  
(7) ウ[s], 他は[z]  
(8) ウ[ð], 他は[θ]

11 解答

(1) エ (2) イ (3) ウ (4) ウ (5) イ

解説

(1) [f] ア 発音しない イ 発音しない  
ウ 発音しない エ [f]  
(2) [ou] ア [ɔ:(:)] イ [ou] ウ [i] エ [wʌ]

(3) [i:] ア [i] イ [i] ウ [i:] エ [i]  
(4) [id] ア [d] イ [d] ウ [id] エ [d]  
(5) [u:] ア [u] イ [u:] ウ [u] エ [u]

12 解答

(1) ウ (2) イ (3) ア (4) エ

解説

(1) [ɑ] ア [ou] イ [ʌ] ウ [ɑ] エ [ɔ:]  
(2) [ʃ] ア [s] イ [ʃ] ウ [k] エ [tʃ]

(3) [e] ア [e] イ [i:] ウ [ei] エ [i:(:ə)]  
(4) [au] ア [ʌ] イ [ou] ウ [u:] エ [au]

13 解答

- (1) ウ (2) ウ (3) ア (4) ア (5) イ

解説

- (1) ウ[ou], 他は[au]  
 (2) ウ[iə(r)], 他は[i:]

- (3) ア[u:], 他は[u]  
 (4) ア[ɔ:], 他は[ou]  
 (5) イ[a], 他は[ou]

14 解答

- (1) ① × ② × ③ ○ (2) ① × ② ○ ③ ×  
 (3) ① × ② ○ ③ × (4) ① × ② ○ ③ ○

解説

- (1) [e] ① [ei] ② [i:] ③ [e]  
 (2) [au] ① [ʌ] ② [au] ③ [u:]

- (3) [ei] ① [e] ② [ei] ③ [e]  
 (4) [t] ① [id] ② [t] ③ [t]

15 解答

- (1) イ (2) エ (3) ウ (4) イ (5) イ

解説

- (1) collar は[a], country, London, southern は[ʌ].  
 (2) sweat は[e], break, race, great は[ei].

- (3) fear は[iə(r)], air, bear, hare は[eə(r)].  
 (4) cost は[ɔ(:)], coat, most, sew は[ou].  
 (5) heart は[ɑ:(r)], bird, hurt, pearl は[ɜ:(r)].

P213

16 解答

- (1) エ (2) ア (3) エ (4) ウ

解説

- (1) public は[ʌ], busy, symbol, building, women は[i].  
 (2) heaven は[e], peace, even, piece, speech は[i:].

- (3) power は[au], southern, some, brother, money は[ʌ].  
 (4) bread は[e], raise, lady, main, radio は[ei].

17 解答

- (1) イ (2) ウ (3) エ (4) ア (5) イ

解説

- (1) together は[e], November は[e], vegetable は[e], seventeen は[i:].  
 (2) between は[i:], dictionary は[i], interesting は[i], invite は[ai].

- (3) April は[ei], October は[ou], mountain は[au], country は[ʌ].  
 (4) thousand, found, proud, without すべて[au].  
 (5) wear は[eə(r)], dear は[iə(r)], chair は[eə(r)], there は[eə(r)].

18 解答

ウ, オ, ク, セ

解説

- ア batter[bæɪtə(r)], butter[bʌtə(r)]  
 イ coat[kout], court[kɔ:(r)t]  
 ウ dear[diə(r)], deer[diə(r)]  
 エ farm[fɑ:(r)m], firm[fɜ:(r)m]

- オ flour[flaʊə(r)], flower[flaʊə(r)]  
 カ heart[hɑ:(r)t], hurt[hɜ:(r)t]  
 キ honor[ɒnə(r)], owner[ɔ:(n)ə(r)]  
 ク hole[houl], whole[houl]  
 ケ horse[hɜ:(r)s], hose[houz]

コ loose[lʊ:s], lose[luz]  
サ pool[pu:l], pull[pʌl]  
シ pour[pɔ:(r)], power[pauə(r)]

ス seat[sit:], sheet[ʃi:t]  
セ tail[teɪl], tale[teɪl]

19 解答

(1) イ, カ      (2) エ, オ      (3) ア, カ      (4) イ, オ      (5) ア, ウ

解説

(1) written[rɪtɪn]    ア [faɪnd]    イ [prɪtɪ]  
    ウ [mi:l]    エ [ri:tʃ]    オ [ti:m]  
    カ [wɪmɪn]  
(2) spoken[spəʊkɪn]    ア [sɔ:t]    イ [əbrɔ:d]  
    ウ [wɔ:(r)m]    エ [ould]    オ [houm]  
    カ [hɔ:(r)s]  
(3) meant[ment]    ア [sez]    イ [wɪk]

    ウ [pi:s]    エ [mi:t]    オ [hi:t]  
    カ [pléznɪ]  
(4) caught[kɔ:t]    ア [poust]    イ [dɔ:(r)]  
    ウ [smouk]    エ [bouθ]    オ [ʃɔ:(r)t]  
    カ [óuvə(r)]  
(5) heard[hɜ:(r)d]    ア [lɜ:(r)n]    イ [pa:(r)k]  
    ウ [tʃɜ:(r)tʃ]    エ [dɔ:(r)k]    オ [hɜ:(r)t]  
    カ [mɜ:(r)tʃ]

## P214 1 解答

- (1) 船長は水夫たちに嫌われていたということ。  
 (2) 自分も退屈で帰りたかった。

## 解説

- (1) 下線部に「もし彼らがわたしがあなたを助けたことを知ったら、わたしはきっと殺されます。」とあるので、船長は嫌われていると考えられる。  
 (2) 下線部の「わたしは他の人のように立ち去ることができないのです。次の講演者ですからね。」から、他の人と同じように退屈だったことがわかる。

## 全訳

- (1) 港での暗い嵐の夜のことでした。船長は船に戻るところでした。そのとき突然彼はタラップですべり、海の中へ落ちました。水夫の1人がこれを見て、彼を助けるため海に飛び込みました。このような嵐の夜に助け出すのは大変でした。しかしその水夫は泳ぎが得意だったので船長を船まで連れて上がることができました。  
 「どうもありがとうございます。」船長は言いました。「あした、船の水夫全員の前で君にお礼を言うつもりだ。」「お願い

いたします、それはやめてください。」と水夫は言いました。「もし彼らがわたしがあなたを助けたことを知ったら、わたしはきっと殺されます。」

- (2) 2人の講演者と多くの人に参加している集会がありました。

最初は講演者はとてもおもしろい話をしていました。しかし時間がたつにつれ、退屈になってきました。まず1人の男が席を立ち部屋を去りました。それからもう1人がいなくなり、また1人が……。しかし講演者は講演を続けていました。

ついに彼の講演が終わったとき、広い部屋にたった1人の男だけが座っていました。講演者は演壇を降りてその男に話しかけました。「他の人はみな部屋を去ったのに、ご清聴ありがとうございます。」「ああ、いいんですよ。」その男は答えました。「わたしは他の人のように立ち去ることができないのです。次の講演者ですからね。」

## P215 2 解答

- (1) What's my name?  
 (2) 名前を教えるつもりはないという意味。  
 (3) Jack Smith  
 (4) イ

## 解説

- (1) 本文9行目参照。What's your name? とたずねていることから考える。  
 (2) 本文12行目の Will you give me your name, please? に対する返事。「教えません」の意味の(I) will not と Will Knott は同じ音であることから起こった聞きまちがい。  
 (3) 本文10行目で Are you Jack Smith? と聞いていることから考える。  
 (4) ア ノット氏はホワイトブリッジに住んでいたのに、学校まで長い道のりを歩いていかなければならなかった。(×) \* 「歩いて」ということは本文からは読み取れない。  
 イ ノット氏は仕事から帰ってくると、いつもとても疲

れていた。(○) \* 本文2行目参照。

- ウ ノット氏が自宅の玄関にいるときに電話が鳴った。(×) \* 本文3行目参照。

- エ ノット氏は電話の男性の名前を知りたかったが、男性は言わなかった。(×) \* 本文6, 8, 10行目参照。

- オ ワット氏は電話の男性を無礼でばかなやつだと思ったが、電話の男性はワット氏を無礼でばかなやつだと思わなかった。(×) \* 本文14~15行目参照。

## 全訳

ノット氏はロンドンの大きな学校で教えている教師でした。彼は学校から遠く離れて住んでいたのに、家に帰るとたいてい疲れ切っていました。ある夜9時のこと、彼が眠っていたとき、彼の小さな家の玄関で電話が鳴りました。そこで

彼は下に降り、電話を取って言いました。「こちらホワイトブリッジ3165です。どなたですか。」

「ワットです。(何ですか。)」と男が答えました。

「どなたですか。」とノット氏が言いました。

「ワットがわたしの名前です。(わたしの名前は何でしょう。)」との答えでした。

「そう、それを聞いたのですよ、お名前は？」ノット氏はくり返しました。

「言ったでしょう。ワットです。(わたしの名前は何でしょ

う。)」相手が言いました。「ジャック・スミスさんですか。」

「いいえ、わたしはノットです。(わたしは違います。)」とノット氏は答えました。

「お名前を覚えていただけませんか。」とワット氏は言いました。

「ウィル・ノットです。(教えません。)」とノット氏は答えました。

ワット氏もノット氏も2人とも怒って電話を切り、こう思いました。「なんて無礼でばかなやつだ！」

### 3 解答

(1)① ウ ② エ ③ オ ④ カ

(2) Would you like a cup of coffee?

P216

#### 解説

(2) 本文16行目の女性の「聞かなければならないことがあります。」という発言や本文17行目でトムが「あなたの質問は何ですか。」と聞いていることから疑問文が入ると考える。

#### 全訳

トム：君は英語がとっても上手ですね。とてもよい点をあげましょう。

生徒：どうもありがとうございます。

トム：どういたしまして。ああ、出るときに、次の生徒に入るよう言ってください。

生徒：わかりました。さようなら。(出て行ってドアを開める。別の人が入って来る。)

女性：失礼します。スミス先生ですか。

トム：そうです。君がわたしを知らないのも当然です。ほかはここでは教えていません。ときどき、ここで英会話の試験をしているだけです。緊張しないでいいですよ。

女性：緊張？ だれが。わたしですか。

トム：さあ、座ってください。いくつかあなたに質問をし

ます。それから英語でちょっと話をしましょう。いいですか。

女性：ええ、もちろん。ですが、はじめにおたずねしたいことがあります。

トム：試験のあとにしてください。今はただわたしの質問のことだけ考えるように。はじめに、なぜあなたは英語を勉強しているのですか。

女性：なぜわたしが英語を勉強しているかですって？

トム：そうです。つまり、英語で何をしようと思っているのか、ということですよ。英語の先生になりたいのですか、それとも何か？

女性：ちょっと待ってください。本当にわたしの方からまず聞かなければならないことがあります。

トム：よろしいでしょう。どうしても言うなら。あなたの質問は何ですか。

女性：コーヒーを1杯いかがですか。

トム：えっ？ 何と言いましたか。

女性：いいですか、わたしもイギリス人ですよ。わたしはこの教師の1人です。これをうかがいに来たのですよ。「コーヒーを1杯いかがですか。」

### 4 解答

(1)① オ ② ウ ③ カ ④ ケ

(2) ウ

(3) funny

P218

#### 解説

(1) ア あなたは何を送るつもりですか。

イ わたしはそれが大好きです。

ウ あなたはそのカードをマーガレットに送るなんてできません。

エ だれがバレンタインカードを買っているのですか。

オ そして彼女にあげるカードを選ぶときにわたしに手伝ってほしいのですね。

カ あなたはここで何をしていますのですか。

キ たぶん彼女におもしろいバレンタインカードを買っ

たのでしょう。

ク 彼女はもうすぐ来るのですよね。

ケ あなたはそれをだれに送るつもりですか。

(2) 質問の英文は「なぜジョンは笑っているのか。」という意味。

ウ 「なぜならマーガレットはピーターを選んだのと同じカードを選んだから。」 \*本文 21 ~ 24 行目参照。

(3) 本文 15 行目参照。

### 全訳

2月14日は聖バレンタインの日です。少年少女は、彼女のガールフレンド、ボーイフレンドにバレンタインカードを送ります。

ある日、ピーターは友人ジョンにバレンタインカードを選ぶ際に手伝ってほしいと頼みました。

ピーター : 君の妹のマーガレットに、バレンタインカードを買いたいのです。

ジョン : それで君は彼女のためにカードを選ぶのを手伝って欲しい。そうですね。

ピーター : はい、その通りです。

ジョン : それなら、来てください。この店でバレンタインカードを売っていますよ。さあ入りましょう。(彼らは店に入る)

ピーター : これはいいカードです。

ジョン : ああ、だめです。ぜんぜんよくありませんよ。

ピーター : カードの中の言葉がとってもいいと思います。聞いてください。「あなたを愛しています、愛しいバレンタイン、いつもあなたがわたしのものになることを願っています。」

ジョン : そのカードはマーガレットには送れません。

ピーター : なぜですか。

ジョン : 彼女はおもしろいバレンタインカードが好きなのです。

ピーター : ジョン。マーガレットです。店に入ってきます。

ジョン : ドアの後ろに隠れてください。(マーガレットが店の中に入る。) やあ、マーガレット。ここで何をしていますのですか。

マーガレット : バレンタインカードを買うのです。

ジョン : だれに送るのですか。

マーガレット : ピーターに送ろうと思っています。まあ、これはすてきなカードですね。あなたはいいと思いますか。

ジョン : いいえ。

マーガレット : わたしはとってもいいと思います。カードの中の言葉がとってもいいです。「あなたを愛しています、愛しいバレンタイン、いつもあなたがわたしのものになることを願っています。」ジョン、どうして笑っているのですか。

### 5 解答

(1) A イ B ア C オ D カ E 工

(2) ① ウ ② 工 ③ 工 ④ 工 ⑤ ウ

### 解説

(1) A すぐ前で男が「これは信じられないぞ」と思っていることから考える。

イ 「何かしかけがあるに違いない。」

B すぐあとで農場主にニワトリのことを話していることから考える。

ア 「いちばんびっくりするものをちょうど見たところだ。」

C この地域ではニワトリの脚の需要が高いことから考える。

オ 「もっとお金がもうかるだろうと気がついた。」

D すぐあとで3本脚のニワトリについて話している内容から、実験は成功したと考える。

カ 「まもなくして3本脚を持ったニワトリを育てることに成功したのだ。」

E 本文 17 ~ 19 行目参照。なぜ農場主が3本脚のニワ

トリの味を知らないのかと考える。

工 「ニワトリをつかまえることはまだできていないんでね。」

(2) ① 「その男はニワトリをつかまえることができなかった、なぜなら」

ウ 「彼がつかまえられるほど走るのが速かったから。」 \*本文 3 ~ 4 行目と 8 ~ 9 行目参照。

② 「その男は農場主に会ったとき、」

工 「そのニワトリを見てどんなにおどろいたかを農場主に話した。」 \*本文 7 ~ 9 行目参照。

③ 「農場主は3本脚のニワトリを育てたかった、なぜなら」

工 「彼はその国のこの地域の多くの人々がニワトリの脚を食べたがっているのを知っていたから。」 \*本文 13 ~ 14 行目参照。

- ④ 「その男がなぜニワトリがあんなに速く走れるのかを  
たずねたとき、農場主は」  
エ 「男性にその理由を説明しはじめた。」 \*本文 13  
～ 16 行目参照。  
⑤ 「農場主はその3本脚のニワトリがどのような味なの  
か知らなかった、なぜなら」  
ウ 「彼は今までにそれらを料理したり味わったりした  
ことがないから。」 \*本文 19 行目参照。

#### 全訳

男がいなか道を車で走っていたとき、1羽のニワトリが彼を追い越していきました。彼は時速80キロで移動していましたが、そのニワトリはまるで彼が動いていないかのような速さで彼を追い越していきました。彼は自分の目を信じるできませんでした。どのようにしてニワトリが車より速く移動できたのでしょうか。「これは信じられないぞ。」と男は思いました。「何かしかけがあるに違いない。」彼はニワトリをつかまえてみようかと加速しましたが、それはいなくなってしまうしました。

まもなくして彼は農家にやってきました。農場主が外にいて、門によりかかって道を見下ろしていました。男は車をとめて外に出て、農場主のところまで歩いて行きました。「今

まででいちばんびっくりするものを見たところなのです。」と彼は農場主に話しかけました。「ニワトリが走ってわたしを追い越したのです。それは時速80キロメートル以上で走っていたにちがひありません。」

「ああ」と農場主は言い、「それはわたしのニワトリのうち  
の1羽ですよ。それがどこへ行ったか見ていませんよね。」  
とたずねました。

「見ていませんよ。」と男は答え、「しかしどうやってニワ  
トリがあんなに速く走れるのですか。」と聞きました。

「ええと」と農場主は話しはじめ、「国内のこの地域ではニ  
ワトリの脚は名物料理で、ニワトリの脚は需要が大きいので  
す。2本脚ではなく3本脚のニワトリを育てることができれ  
ばもっとお金がもうかるだろうと気がつきました。そこで実  
験をしました。まもなくして3本脚を持ったニワトリを育て  
ることに成功したのです。それらが速く走ることができるの  
は付加された脚があるからですよ。」と言いました。

「それはたいへん興味深いです。」と男は言いました。「そ  
れでこれらの3本脚のニワトリはどんな味がするのですか。」

「知りません。」と農場主は言いました。「ニワトリをつか  
まえられたことが1度もないのです。」

(1)① ア ② ウ ③ キ ④ エ ⑤ イ

(2)① ウ ② イ

- (3) わたしは、言葉は真実を述べているものと固く信じているので、日本人の言葉の使い方に慣れるのには今でも苦勞をしています。
- (4) 多くの場合、言葉は話し手の本心よりも、相手への思いやりの表れであり、そのままには受け取れない。

## 解説

- (1)① 後ろに続いている *insincere* の類語を選ぶ。
- ② 外国人をどういう気持ちにさせるために日本人は「日本語がお上手ですね。」というのかを考える。
- ③ 「日本語がお上手ですね。」というほめ言葉の本当の意味を考える。
- ④ 言葉で表現されない感情は正直なものか、そうではないものかを考える。
- ⑤ *without* …「…なしで」
- (2)① *neither A nor B* 「AでもなくBでもない」
- ② それぞれのあとに続いている内容から判断する。
- (3) *believe in* …「…の存在を信じる」、*so … that* ～「とても…なので～だ」、《*find* + 形式目的語 *it* … *to* ～》「～することが…とわかる」、*get used to* …「…に慣れる」
- (4) 本文4～5行目参照。

## 全訳

京都でのホームステイの間、人々は、ホストファミリーの人だけでなく大学での友達も、とても親切で、手助けをしてくれました。しかしながら、わたしが努力してなじまねばならなかったことが1つありました。つまり日本ではアメリカとは違った方法で言葉が話されるということです。ほとんどの日本人は相手が快適に感じるように話しますが、その言葉にはたいてい本音が隠されています。これはよいのでも悪いのでもなく、ただアメリカ人と言葉の使い方が異なるのです。わたしたちアメリカ人が何か言うときは、本気で言うことが望まれます。そうしないと、不正直あるいは不誠実と思われれます。

わたしが日本へ来たとき、みんなが言うことをすべて信じていました。「日本語がお上手ですね。」と言われて、わたし

は本当に、自分が日本語をしゃべれるのだと信じた。しかし、わたしのアメリカ人の友達で実際には「ありがとう」と「さようなら」しか言えない、その友達にホストマザーが「日本語がお上手ですね。」と言うのを聞いたとき、彼女が本気で言ったのではないと知りました。「日本語がお上手ですね。」は、ただ日本人が外国人を喜ばせるために言う言葉であって、実際に彼らが日本語を話せるという意味ではないのです。今では、日本人が「日本語がお上手ですね。」とわたしに言うたびに、わたしは自分の日本語がまだまだへたで、彼らはわたしを慰めようとしているのだとわかります。かつて、あるアメリカ人の実業家が教えてくれたのですが、外国人の日本語が本当に上手なときは、日本人は決して「日本語がお上手ですね。」とは言わないのです。なぜならその話し手の誇りと感情を傷つけてしまうかもしれないからです。

わたしはいまだに日本人の言うことを信じるべきか悩みますし、ときどき彼らの言葉のわたしの理解が正しいのか否かわからなくなります。日本人はいつもわたしに、正直な気持ちを表すときは、沈黙によって理解し合うのだと言います。彼らは、自分たちは決して言葉を信用できないと言います。この主張は、わたしたちに、言葉はただの形であって、感情は表面下に隠されているとする、日本文化について教えてくれるものがあると思います。それはわたしにとっては意思伝達のよい方法だと思います。なぜなら、日本語についてじゅうぶんな知識がないときでも、沈黙を通して意味がわかるからです。これがしばしば日本で言葉が使われる方法です。アメリカの子供はふつう、言葉は思っていることを正確に示すと考えるように教えられます。わたしは言葉の真実性を強く信じているので、まだ日本人の言葉の使い方に慣れるのは難しいです。

## 2 解答

- (1) ① 人となかよくなる[人と親しくなる]  
 ② 会話を始めるための[会話のきっかけとなる]
- (2) ① 簡単な質問[質問の形式]  
 ② 本当の答え
- (3) 会話のはじめに話題にするたあいもないことがら
- (4) その言語を使う人たちの社会的行動[行動の仕方や考え方]

## 解説

- (1) A greeting. It is also(本文7行目)という書き出しの文参照。  
 (2) 本文8～10行目参照。  
 (3) 本文18～19行目参照。  
 (4) 本文29～32行目参照。

## 全訳

やあ。  
 おはよう。  
 もう食事はすんだの？(英語を話す人はこの質問はあいさつとしては用いない。)

どこへ行くの。(英語を話す人はこの質問はあいさつとしては用いない。)

これらは世界中の人々が、たがいに会ったときに使うあいさつです。しかし、あいさつとは何でしょうか。

あいさつは人となかよくなる手段の1つです。それはまた会話を始める手段でもあります。多くの言語においてはあいさつとして質問がなされます。つまり「調子はどうですか。」「どこへ行くのですか。」などです。しかしこれらの質問は本当の質問ではありません。それらは完全に答えなくてもよいですし、真実の答えすら必要とされないのです。たとえば英語では、最もありふれたあいさつは、健康状態に関する質問、つまり「調子はどうですか。」です。しかしわたしたちは、相手が答えるときに、健康上の問題について話してほしいと思っているわけではありません。たとえ相手に痛い所があったとしても、相手が頭痛や背中の中の痛みについて話すことを期待してはいないのです。これらの質問に対しては、たと

えば「ありがとう、元気です。」といった具合に答えます。同様に、日本人が他の日本人へのあいさつに「これからどちらへ。」と言ったときも、ただ「ちょっとそこまで。」程度の答えでじゅうぶんなのです。まじめに答えてもよいですが、どこに行くか言わなくても、まったくかまいません。

ほとんどの言語では、あいさつのはじめに「世間話」が続きます。世間話とは、会話を始めるとき話題にするささいな話です。英語圏の人は、しばしば天候について世間話をします。たとえば「いい天気ですね。」「ひどい天気ですね。」のように。しかし世間話には、特におたがいよく知らない者同士の場合には、ある特徴があります。世間話は、2人が共通の意見を持つものについての話でなければなりません。世間話は、何かについての意見の一致を2人にもたらしめるのです。これによって、会話が容易に始まるので、より快適な雰囲気になります。人はたいいてい天候については意見が一致しますから、世間話には無難な話題です。しかし宗教や政治は、英語での世間話には適していません。

あいさつや世間話はその言語での会話においても重要な部分です。あいさつの仕方や、話題にすることは、しかしながら、その言語その言語で異なるかもしれません。これからわかるのは、ある言語を学ぶときには、たんにその言語の語いや文法よりも、はるかにもっと知らなければならないことがある、ということです。わたしたちは、社会的なふるまい、言い換えれば、それぞれ異なった人々が、彼らの生きている状況のなかで、どのように行動し考えているかについてもまた、学ばなければなりません。

## 3 解答

- (1) ウ
- (2) ① 所属し ② 自宅
- (3) ① エ ② ウ
- (4) ① オ ② ア ③ カ
- (5) ア、カ

## 解説

- (1) 本文ではテレコミュティングのよい点、悪い点の両方が述べられていることから考える。
- (2) 本文1～4行目参照。
- (3)① 質問の英文は「なぜ人々はテレコミュートしたがるのか。」という意味。
- エ 「なぜなら自分で仕事のスケジュールを立てることができるから。」 \*本文5行目参照。
- ② 質問の英文は「なぜテレコミュティングを好まない雇い主がいるのか。」という意味。
- ウ 「なぜなら労働者を管理できないから。」 \*本文11～12行目参照。
- (4)① 英文は「お母さんがいつも家にいてくれてとても嬉しいです。でもいっしょに夕飯を食べているとき、だれかからお母さんに電話がかかってくる時があります。」という意味。
- オ 「テレコミューターの息子」 \*本文6～9行目参照。
- ② 英文は「テレコミュティングはビジネスの費用を削減してくれるでしょう。しかし今年取り入れるべきかどうかは確信がありません。」という意味。
- ア 「雇い主」 \*本文16～17行目参照。
- ③ 英文は「以前より忙しいけれど、家で子供の世話をすることができます。」という意味。
- カ 「テレコミューター」 \*本文6～7行目参照。
- (5) ア テレコミュティングは環境によい。(○) \*本文19～20行目参照。
- イ テレコミュティングは昔からあるものだ。(×) \*本文2行目参照。
- ウ だれでも望めばテレコミューターになれる。(×) \*本文9～10行目参照。
- エ より多くのアメリカに住んでいる人が車で通勤している。(×) \*本文1行目参照。
- オ 雇い主に問題があると思っているテレコミューターもいる。(×) \*本文に記述なし。
- カ 自宅で働く人が増えれば、いくつかの社会問題が出るだろう。(○) \*本文22～25行目参照。

## 全訳

今日では車で仕事場へ行くアメリカ人は少なくなっています。仕事を失ったわけでも自分で起業したわけでもなく——新しいタイプの労働者、つまりテレコミューターが(増えて)

いるのです。今では多くの人々がどこにいても働くことができます。電話とコンピュータが必要なだけです。職場に運転して行くことはそのうちに過去のものとなるかもしれません。

人々は自分で仕事のスケジュールを立てることができるので、テレコミュティングを好みます。彼らはしたいときに仕事を始めることができます。テレコミュティングによって、働く母親や父親は家族とともに過ごす時間をより多く取ることができます。しかしテレコミュティングはすべての労働者に役立つわけではありません。実際には自宅で仕事することに問題があるという家庭もあります。たとえば子供たちは母親が仕事をしているときは母親と話すことができないということを理解できないかもしれません。病院の看護師、学校の先生などまったくテレコミュートすることが不可能な人々もいます。

雇い主たちはテレコミュティングという考えが好きではないかもしれません。彼らは自宅で働く人々を管理できないと感じるかもしれません。また、雇い主たちはしばしば最高の仕事は人が人といっしょに働いてこそできるものだと思っています。雇い主たちはテレコミューターたちが会社内にいるほかの労働者と面と向かって話をすることができないという理由から問題をすばやく解決できないとも考えています。しかしテレコミュティングには多くの利点があります。テレコミューターは自宅にいるほうが幸せと感じて、ずっと熱心に働くかもしれません。そしてテレコミュティングによって会社の机やイス、そしてほかのものにかかるお金の節約が可能です。もうひとつ利点があります。雇い主たちは会社のすぐ近くに住むことができないもっと有能な労働者を雇うことができるのです。

テレコミュティングは社会にとってもまたよいことがあります。より多くの人々が自宅で働くようになれば、主要道路の自動車は減り、公害も少なくなるでしょう。また、障害を持つ労働者がもっと自宅で仕事をすることができます。しかしまた一方で、テレコミュティングは社会にとってよいことばかりでしょうか。自宅で働く機会が増えれば、多くの人々が都会から出ていかかもしれません。それでは都会に住む人々が少なくなってしまうでしょう。また別の問題があります。自宅で働ける人々は他人と話す時間がほとんどないため、他人とうまくコミュニケーションをとることができないかもしれません。これらもテレコミュティングの大きな問題です。

## 4 解答

- (1) ウ  
 (2) the price of products  
 (3) the exchange, and sellers  
 (4)④ イ ⑤ ア  
 (5) イ  
 (6)⑦ ア ⑧ ア ⑨ イ ⑩ イ  
 (7) エ

## 解説

- (1) 直後の文の the government does not own most businesses から考える。  
 (2) 直前の文の the price of products を指す。  
 (3) 同じ段落の最後で、market を別のことばで言い換えている。  
 (4)④ 本文 14～15 目参照。 ⑤ 直後の文参照。  
 (5) 第 4 段落参照。価格を下げることで、売れ残ったすべてのトマトが売れる、という具体例から考える。  
 (6)⑦ 直前の文に「ガスや石油が不足した」とあることから考える。不足し供給が減れば、その価格は上がる。  
 ⑧ 直前に「石油の供給量が再び減った」とあるので、⑦と同様、価格は上がる。  
 ⑨⑩ 直前の 2 文に「使用量を減らす方法を探し、成功した」とあるので、需要を減らすことができたかわかる。需要が減れば、価格は下がる。  
 (7) 最終段落の石油価格の変動の具体例から考える。ここでは「機能する」という意味の work が適切。

## 全訳

日本、カナダ、ドイツ、アメリカのような国の経済システムは自由企業制度、つまり私企業制度です。これは、大部分の会社を政府が所有しているのではないことを意味します。個人や団体がそれらを所有するのです。人々は望むものを自由に生産し、買い、売ります。彼らは自由に新しい企業、つまり会社を始めます。

自由企業制度においては、政府は製品の価格を決めません。市場がそれを決めるのです。ですが、「市場」とは何でしょうか。私たちはスーパーマーケットや株式市場、農家の市場、肉屋については知っています。私たちは郵便、電話、コンピュータで物の売買ができます。これらはみな、市場の

一部、つまり買い手と売り手による商品やサービスの交換なのです。

市場は製品の価格を 2 つの一般的なルールによって決定します。供給の法則と需要の法則です。例えば、人々はさまざまな価格で何個のトマトを買うでしょうか。これが需要です。需要の法則によれば、人々はふつう、製品をより低価格のときにより多く買います。売り手はさまざまな価格で何個のトマトを生産するでしょうか。これが供給です。供給の法則によれば、生産者はふつう、価格を上げられるのであれば製品をより多く供給しようと思います。消費者、つまり物を買う人は、低価格を望みますが、生産者はお金を稼ぐ必要があります。消費者と生産者の行動が価格を決定します。

例を見てみましょう。あるスーパーマーケットでは、1 ポンドにつき 1 ドル 99 セントで 600 ポンドのトマトを供給します。2 日後、顧客は 100 ポンドしか買っていませんでした。すぐに、もう 600 ポンドのトマトが店に来ます。店の経営者はトマトの供給過剰という問題を抱えます。これは余剰、つまり多すぎるということの意味するため、経営者は 1 ポンドにつき 1 ドル 9 セントに価格を下げます。この低価格でなら、顧客はすぐに 500 ポンド全部を買います。これが均衡価格です。

もう 1 つの例はガソリンの価格です。1973 年、中東の石油輸出機構が西洋諸国に石油を送るのをやめたため、多くの国でガスと石油が不足する、つまり十分でない、という事態になりました。価格は 30 パーセント以上上がりました。1979 年に、西洋への石油の供給がイラン革命のために再び落ち込んだため、価格がまた上がりました。消費者や会社はガスや石油の使用を減らす方法を探しました。彼らは成功しました。需要が減ったため、価格が下がり始めました。自由企業制度が機能していたのです。

## 1 解答

- (1) 省略(前後に顔が2つある)。  
 (2) イ, オ  
 (3) うるう年  
 (4) イ, キ

## 解説

- (1) 本文3~5行目参照。  
 (3) 本文10~13行目参照。  
 (4) ア 月の名前はすべて神の名前に由来する。(×)  
     \*本文1~2行目参照。  
 イ January という名前は2つの顔を持った神ヤヌスに由来する。(○) \*本文3~4行目参照。  
 ウ February という名前は Februa という名のローマの神に由来する。(×) \*本文7~8行目参照。  
 エ すべての年は365日ある。(×) \*本文11~13行目参照。正確には365日と6時間あるため、4年にいちど1日多くなる。  
 オ March という名前は嵐をもたらすローマの神に由来する。(×) \*本文14行目参照。  
 カ ローマでは、3月にはしばしば戦争が起こり、雷や稲妻があった。(×) \*本文16~17行目参照。雷や稲妻はあるが戦争が3月にあったとは書かれていない。  
 キ July はシーザーにちなんで名づけられている。(○)  
     \*本文18行目参照。  
 ク シーザーが使っていた暦では、7月は1年で5番目の月であった。(×) \*本文20~23行目参照。

## 全訳

月の名前はすべてラテン語に由来します。多くの名はローマの神の名前でした。January, March, May, June — これらの月はローマの神にちなんで名づけられています。年のはじめの月、January は、ヤヌスの神にちなんで名づけられています。ヤヌスは2つの顔を持った奇妙な神でした。彼は2方向を見ることができました。彼は同時に前と後

ろを見ることができたのです。彼は終わりと始まりの神でした。1月は、人は新年に期待します。また人は前年を振り返ります。

February という名前はローマの祭典に由来します。この祭典の名をフェブルアといいました。それは掃除の祭典でした。2月の終わりには、長い冬の月が終わって、女性たちは春の掃除について考え始めます。おそらくこれがこの月の名前の起源だったのでしょう。2月はたったの28日間しかありません。4年目ごとに、よぶんな日を入れて合計29日にします。この理由は、1年は正確には、365日と6時間だからです。4年間の終わりには、これら各年のよぶんの6時間が24時間、つまり、まる1日になります。この4年目に、2月は29日間になります。そしてこれは「うるう年」と呼ばれています。

3番目の月、March は、ローマの戦争の神マーズにちなんで名づけられています。マーズは強い神でした。ローマ人はいつも彼を雷鳴や稲妻と結びつけてきました。マーズの絵ではいつも頭のあたりに稲妻が描かれています。3月は嵐の月です。風は強く吹きます。とても激しい雨が降ります。雷鳴や稲妻もしばしば起こります。

7番目の月 July は、ジュリアス・シーザーにちなんで名づけられています。シーザーの時代になるまでは別の暦が使われていました。1月の代わりに3月から1年が始まりました。今日の July は当時、7番目でなく5番目の月でした。シーザーがこれを変えました。彼は新しい暦を作ったのです。これが今日、わたしたちが使っている暦です。シーザー自身は7月に生まれました。彼はこの月、つまり新しい暦の7番目の月に、July の名を与えました。

- (1) 1890年ごろに人気のあったような家を作った[シャーロック・ホームズの小説に出てくる家とまったく同じ家を作った]。
- (2) eighteen ninety
- (3) 死体をかいで、見ればその人がどんな人かがわかるという技能[死体からその人がどんな人生を送ったかがわかる特別な才能]。
- (4) thought of his writing as a hobby
- (5) love him
- (6) 小説の中でシャーロック・ホームズが殺されたから。
- (7) keep[continue]

## 解説

- (1) 本文5～7行目参照。
- (2) 年号は2けたずつ区切って読む。
- (3) 本文11～14行目参照。
- (4) 「彼は書くことを趣味だとみなしていた。」という意味の文にする。think of A as Bで「AをBとみなす」という意味を表す。
- (5) 1つの文に2つ(以上)の共通した語句があるとき、どちらか1つを残してもう1つを省略することができる。くり返しを避けるためSherlock Holmesは代名詞himに変える。
- (6) 本文21～23行目参照。
- (7) 本文20～25行目参照。コナン・ドイルは書きたくなかったが、小説には多くのファンがいたことから考える。

## 全訳

毎年、ロンドンを訪れる多くの外国人はある有名な通りに行きます。彼らの多くがそこでシャーロック・ホームズに会えることを望んでさえいます。彼は世界的にとっても有名でたくさんの趣味を持っています。彼はなぞの1つを解きながらバイオリンを弾くことを好みます。ひょっとしたら彼のバイオリンの音色が聞こえるだろうと思っている訪問者もいるでしょう。ロンドンには海外からの旅行者を悲しませたくないと思っています。ロンドン市は1890年ごろに人気のあったような種類の家を作りました。もちろん、それは本物ではありませんが、シャーロック・ホームズの小説に出てくる家とまったく同じように見えます。

シャーロック・ホームズはどのようにして創作されたのでしょうか。もしあなたが本当に知りたければ、スコットランドを訪れるべきです。シャーロック・ホームズの小説の作家はそこの大学で医学を学びました。その作家の名前はコナン・ドイルでした。彼は自分の師であったベル博士から

シャーロック・ホームズのアイデアを最初に得ました。ホームズのように、ベル博士は自分の目の前に置かれたどんな死体からもその人がどんな人生を送ったかを述べることができました。あるケースでは、ベル博士は「怒れるひとであり、大声をあげるのが好きだった。」と言いました。彼はどうやってわかったのでしょうか。死体の口のおいをかき、顔に刻まれたしわと筋骨たくましい脚を見ることによってわかったのです。コナン・ドイルはベル博士の持つこの特殊な才能を決して忘れることはありませんでした。

コナン・ドイルは医者になりたかったのですが、だれも診てもらいに来ませんでした。彼はシャーロック・ホームズの小説を書くことに時間を費やしました。彼は書くことを趣味だとみなしていました。彼は自分の書く小説をたいしておもしろいと思っていませんでした。彼は医者としてお金をたくさん稼いでいなかったで、自分の小説を売りました。それらは成功をおさめました。最初それらは雑誌に書かれていました。のちにそれらはまとめられて1冊の本になりました。

イギリスの人々はシャーロック・ホームズを愛していましたが、コナン・ドイルはそうではありませんでした。彼はこれらの小説を書くことをやめたかったのです。ある小説では、ホームズが高く危険な場所から落とされました。読者はたいへん怒りました。彼らはたくさんの手紙を書きました。「なぜわたしたちのヒーローであるシャーロック・ホームズが殺されたのか。」と。コナン・ドイルはホームズの小説を書くことを楽しんでいませんでしたが、彼は書き続けなければなりませんでした。その次の小説では、彼はホームズが本当は落ちて死んでいなかったと書きました。彼は落ちていく途中で木の枝をつかんだのです。

シャーロック・ホームズは生きてさらに多くのなぞを解きました。たくさんの人々の心の中で、彼は今日まで生き続けています。

- (1)① 最初は、非常に強力な翼を身につけた人は鳥のように飛べるだろうと考えられていました。
- ② 空を飛ぶのに必要とされる非常に大きな翼を動かせるほど人の腕は強くありません
- ⑦ ほとんど進歩がない理由は、「空気よりも重い」機械のバランスを保つ方法がまだ発見されていないことである
- (2) without
- (3) soon
- (4) in a balloon filled with hydrogen gas
- (5) 空を飛ぶのに成功する「空気よりも重い」機械の製造。
- (6) ① drawn ② fell ③ spent

## 解説

- (1)① wearing very strong wings は man を後ろから修飾する。
- ② … enough to ~ 「～できるほど…」
- ⑦ the reason ~ little progress が主語で、that 以下がそれを説明する補語となる。
- (2) mechanically 「機械で」とは、「人の力を使うことなしに」ということ。
- (3) not long afterwards 「その後まもなく」とは、ここでは「彼らが熱気球での飛行に成功したまもなく後に」ということ。
- (4) filled with … 「…でいっぱいのが balloon を後ろから修飾する形にする。
- (5) 直前の文の building a successful “heavier-than-air” machine を指す。

## 全訳

いつか人が空を飛ぶかもしれないという考えは、昔から世界各地の多くの人々の注意を引いてきました。最初は、非常に強い翼を身につけた人は鳥のように飛べるだろうと考えられていました。確かに、大きな人工の翼を肩に固定して高い建物から飛び立とうとすることで、この考えを実際に試した勇敢な人が1人か2人いました。しかし、彼らは石のように地面に落ちて亡くなりました。

空を飛ぶのに必要とされる非常に大きな翼を動かせるほど人の腕は強くないので、人が鳥のように飛べることは決してないだろうと、そのような実験により人々は確信しました。次の段階は、人を機械仕掛けで空中で運べる何らかの形の飛

行機械を設計しようという試みでした。この考えに興味を持った最初の人たちの1人が、有名なイタリアの画家で発明家のレオナルド・ダ・ヴィンチでした。16世紀初期、彼は人を空中に持ち上げて空中でとどまる風船を作ったと考えられています。それは熱い空気で満たされていて、その周辺の空気よりも軽いものでした。しかし、レオナルドの発明からは何も生じませんでした。

1783年、ウィルバー・ライトと弟のオーヴィル・ライトが飛行の研究を真剣に始める100年以上前に、2人のフランス人兄弟が熱気球での飛行に成功し、その後まもなく別のフランス人男性が水素ガスで満たされた風船で旅をしました。その後、「空気よりも軽い」飛行船での飛行が普通になりましたが、「空気よりも重い」機械を造るのに成功した人はまだだれもいませんでした。それはライト兄弟がしようと望んでいたことでした。

1896年、別の発明家、オットー・リリエントールが飛ぼうとしている最中に命を落としました。この知らせを聞いて、ライト兄弟は自分たちの実験で成功しようとするに固く決心しました。彼らはリリエントール自身の論文も含めて、飛行に関するあらゆる本や論文を読みました。多くのお金と時間が実験に費やされてきたにもかかわらず、1度に数秒以上空中にいることにまだだれも成功しておらず、実際には何も達成していないということに彼らは気づきました。

ほとんど進歩がない理由は、「空気よりも重い」機械のバランスを空中で保つ方法がまだ発見されていないからだ、ライト兄弟は確信しました。そこで兄弟はそのバランスを保つ方法を見つけ出そうとすることから始めました。

- (1) すべての物質は土、火、空気、水の4つの元素で構成されており、その配合を変えれば、ある物質を別の物質に変えることができるという考え。(65字)
- (2) ギリシャの哲学者たちは、物質の本質についての議論を実験に勝るものとみなしました
- (3) 7世紀にイスラム軍がエジプトを征服し、アラブ人が錬金術に影響を与え、スペイン進行の際に西ヨーロッパに広めたため。(56字)
- (4)① たくさんの新しい化学に関する知識を増大させたこと。  
② たくさんの実験方法を発達させたこと。

## 解説

- (1) 第3段落前半に示されている。
- (2) regard ... as ~ 「…を～とみなす」, superior to ... 「…に勝って」
- (3) 直前の2文に示されている。
- (4) 直前の文の the growth of ~ making experiments に示されている。

## 全訳

原始人は試行錯誤でいくつかの簡単な化学変化を行う方法を見出しましたが、古代エジプト文明のもとで、人は銅、スズ、鉄や貴金属を加工する方法を学びました。陶器、ガラス、石けん、着色剤の作り方や、織物の漂白や染色の方法を知っていました。これらの技術は今日の化学産業の始まりでした。

錬金術として知られる化学の初期の系統だった研究は、紀元後最初の数世紀にエジプトのアレキサンドリアで発達しました。そこでは、2つの重要なものが一体となりました。1つは、エジプト人労働者たちの金属、陶器、染料についての実用的な知識でした。もう1つは、ヒポクラテスやアリストテレスのような初期のギリシャ人哲学者の学識でした。同時に、錬金術は魔術や、星から未来を予言する占星術についての東洋の考え方にも大きく影響を受けました。

ギリシャの哲学者たちは、物質の本質についての議論を実験に勝るものとみなし、すべての物質は同じ4つの「元素」、つまり土、火、空気、水から構成されていると考える者もいました。それゆえ、もしこれらの元素を再編成することができれば、ある物質を別の物質に変えることができると多くの人は考えました。例えば、卑金属をもしかすると金に変えられるかもしれない、ということでした。錬金術師たちの主な目的はこれをする方法を見つけることでした。

錬金術は7世紀の間にイスラム軍がエジプトを征服したときにアラブの影響を受けました。アラブ人はスペインに進出したときにその研究を西ヨーロッパにもたらしました。化学では、多くのアラビア語の単語が今でも使われています。「アルカリ」、「アルコール」、そして「アルケミー」そのものもです。これは「エジプトの技巧」という意味です。最も偉大なアラブ人の錬金術師はジャービル・イブン・ハイヤーンで、ひょっとすると13世紀のラテン語の翻訳で知られる錬金術に関する2冊の重要な本の著者であるジーベルと同一人物かもしれません。ジャービルは水銀と硫黄もギリシャの4つのものと同様に「元素」であると主張しました。すべての金属は水銀と硫黄のいろいろな割合で構成されていると彼は言いました。卑金属を金に変えるには、その割合を「賢者の石」と呼ばれるようになった神秘的な物質の作用で変える必要がありました。錬金術師たちは数百年の間、この物質を探し求めましたが成果はありませんでした。

12世紀からその後の数世紀、錬金術はヨーロッパで広く研究され、多くの学識ある人々の注意を引きました。金を作ろうとする試みには失敗する運命でしたが、彼らの努力はたくさんの新しい化学に関する知識や実験方法の発達をもたらしました。しかし、後のヨーロッパ人の錬金術師たちの多くは、あらゆる種類のトリックで信用する人々を食物にする完全な詐欺師で、錬金術は悪いイメージを生み出しました。16世紀前半までには、錬金術師たちの目的は金を作ることから薬を作ることへと変わっていました。特に、彼らは「不老不死の霊薬」と呼ばれる空想的な物質を探し求めました。これはすべての災難を取り除くためのもので、「賢者の石」と同じ物質であると判明するだろうと考える人もいた強力な薬でした。化学のこの段階は1700年頃まで続きました。

P238

1 解答

- ① イ ② ア ③ ウ ④ オ ⑤ ク

解説

- ① 「音は見ることにはできないが、物が振動したときに聞くことができる。」という意味。 \*本文1~8行目参照。
- ② 「音の波は見えないが、池の波紋を見ればいかにして音の波が空気中で伝わるかがわかる。」という意味。 \*本文11~13行目参照。
- ③ 「音は波となり、空気により運ばれるので、空気のない部屋では音はまったく聞こえない。」という意味。 \*本文14行目参照。
- ④ 「物を震動させて生じた音波は空気中をずっと進み続け、最終的に鼓膜に届く。」という意味。  
\*本文20~22行目参照。
- ⑤ 「本を狭い間隔で1列に立てて並べて最初の1冊をひと押しすると、その最初のひと押しが伝わるので、1冊ずつ本がすべて倒れるだろう。」という意味。  
\*本文15~19行目参照。

全訳

あなたが決して見ることでできないものが、道を横断するときあなたの命を救うかもしれません。それは何か。

毎年、人々は多額の金を決して見えないもので部屋を満たすことに費やします。それは何か。

もしあなたが部屋にいたら、となりの部屋でだれが話しているかを知るのに、何が役立つか。

これらのすべての質問に対する答えは、「音」です。

音は生活の大きな部分を占めています。しかし何が音を出

すのでしょうか。音はどうやって伝わるのでしょうか。

音は振動する物が、前後に動く物から生じます。ピアノを弾くときや、ベルを鳴らすときは、あなたは物を振動させています。振動している物は音を出します。話をするときには、舌、声帯そして唇が前後に動いています。それらは空気を動かします。

いかにして音は伝わるのでしょうか。音は動く空気の波となって伝わります。音の波は見えませんが、それらは水の波のような働きをします。石を池に投げ入れれば、小さな波の輪ができます。そしてそれらはより大きな輪に広がります。

音波は同様にして空気中を伝わります。音波がどのように伝わるかを示す方法がここにあります。本を1列に、狭い間隔で立てて並べなさい。

最初の1冊をひと押ししなさい。このひと押しが最初の本からとなりの本に伝わるでしょう。それは列を伝わり、ついには最後の本が倒れるでしょう。あなたが自分で最後の本を押ししたわけではありません。あなたは最初の本しか押ししていません。しかしこのひと押しが最初の本から最後の本まで伝わったのです。

これと同じ種類の圧力が空気中で音波を運びます。微量空気の圧力がとなりの微量空気へ伝わります。それが続いて、鼓膜のとなりの空気を動かします。この動きが鼓膜を振動させ、そして音が聞こえるのです。

これらの単純な事実によって、多くの音——友人の声、小鳥のさえずり、風のささやきが聞こえるのです。

P240

2 解答

- (1)① イ ② キ ③ カ

(2) しかしながら、地球は生命が存続するのにじゅうぶんな熱を受けるのに、太陽から本当にちょうどよい距離にある。

(3) the sun will produce heat and light at a faster rate than it does now

(4) 太陽の内部で何が起きているのか完全に理解する

解説

(1)① more than ... 「…より多く、…以上」

(2) at the right distance は「ちょうどよい距離にある」の意味。enough heat 以下は《enough + 名詞 + for ... (人や物) + to 不定詞》「…(人や物)が~するのにじゅ

うぶんな-」である。

(3) 「太陽は今よりももっと速いペースで熱と光を作りだすでしょう。」という意味の文にする。「今よりも」→「今作り出しているよりも」となるように、動詞のくり返しを避けるため does を用いて表す。「~なペースで」《at

+形容詞+ rate)

- (4) doの代わりに22行目の fully understand 以下を補って考える。

全訳

太陽は、地球にいちばん近い恒星です。それはたいへん近いので、太陽からの光は、わたしたちのところまで約8分で届きます。しかし、2番目に近い恒星からの光がわたしたちのところへ届くには4年より多くかかります。太陽はたいへん近いので、わたしたちにとってはたいへん重要です。

わたしたちの熱と光のすべてが太陽から来ているということはご存じでしょう。しかし、太陽は、わたしたちが受け取っているよりもずっとずっと多くの熱と光を作りだしているのです。実際は、地球は全体のわずかに0.00000005%を受け取っているにすぎないのです。それらのうちのたいへんはわたしたちのところを通り抜けて、急いで宇宙空間へ抜けしてしまうのです。

しかしながら、地球は、生命が続いていくのにじゅうぶんな熱を受け取るのに、太陽からまさに適切な距離にあります。

今から数100億年かそれ以上のうちに、太陽が燃料を使い果たし始めたら、何が起るのでしょうか。もちろん、どれも確かなことは言えません。しかしながら、太陽とその惑星

に何が起るのかわかると信じている科学者もいます。

太陽はずっと後になって冷えてしまうだろうと思われるかもしれませんが、これらの科学者たちは太陽は冷えないだろうと信じています。実際、彼らは、それは冷える前により熱くなるであろうと考えています。

太陽は、大部分が水素で作られています。ずっとあとに、その水素は使い果たされるでしょう。そうなったとき、太陽は、今よりもっと速いペースで熱と光を作りだすでしょう。太陽の明るさは、400から500万年以内に100倍に増加するでしょう。地球は溶けて、溶岩の玉になってしまうでしょう。

それから、太陽はすばやくより小さくなっていくでしょう。それは、たった数1000マイルの直径になってしまうでしょう。それは、まだ明るいでしょうが、しかし、それは今日の満月が与えてくれているような熱とほとんど変わらないくらい熱しか与えてはくれないでしょう。

これは太陽の将来に対するただ1つの考えにすぎません。これらのできごとが確かに起る、と言うのは賢明ではありません。というのは、わたしたちはまだ太陽の内部で何が起っているかを完全には理解していないからです。理解したときでさえ、わたしたちはまだ何が起るかを正確には言うことはできないでしょう。

3 解答

(1)(a) イ (b) ウ (c) ア

(2) 医者たちは、血液が体内をどのように循環しているかがわかったとき、血液を必要としている人に輸血する方法をいろいろと試してみた。

(3) This is called "blood transfusion".

(4) were able to

(5)① ア ② ウ ③ イ ④ イ ⑤ イ

(6) イ, イ

解説

- (1)(a) lóses[ur:] ア flóod[Λ] イ lót[a]  
ウ róse[ou] イ fóod[ur]  
(b) fóund[au] ア shóulder[ou] イ gróup  
[ur:] ウ hóuse[au] イ shóuld[u]  
(c) decíde[ai] ア políte[ai] イ políce[ir]  
ウ invitátion[eí] イ fínger[i]

(3) 第5文型の受動態。「これは『輸血』と呼ばれている。」

(4) could のほかの表現を考える。

(5)① in time 「間に合って」 ② at first 「最初は」

③ by ~ing 「～することによって」は方法を表す。

④ how to ~ 「～する方法」

⑤ for a long time 「長い間」

(6) ア 血液がとても大切だということを理解していない人々がいる。(×) \*本文2~3行目参照。

イ 医者は輸血がなぜいつもうまくいくとは限らないのかわからなかったが、あとでその理由を発見した。(○) \*本文8~9行目参照。

ウ 医者はどんな型の血液でもO型の人に与えることができる。(×) \*本文10~14行目参照。

エ 現在では20日以上血液を保存できる。(○) \*本文18~20行目参照。

オ 人々は3か月ごとに1パイントの血液を供給しなければならない。(×) \*本文21行目参照。

カ 血液銀行では必要ときに血液を買うお金を保管できる。(×) \*本文23行目参照。

#### 全訳

皮ふを切ると血が流れます。だれでも知っていることです。大量の血を失うと、病気になり、死ぬかもしれません。血液はとても大切です。人々はいつもそれを知っています。かつて、自分を強くするために血を飲んでいて人さえいたのです。

医者たちが体内をどのように血液が循環しているかがわかったとき、血液を必要としている人に血を与える方法を試みはじめました。健康な人から血液を取って、必要としている人に与えるためにゴム管を使いました。わたしたちはこれを「輸血」と呼んでいます。血液は健康な人の腕から病気の人の腕へゴム管を通して流れていきました。

しかし、それには2つの問題がありました。まず、それはいつもうまくいくわけではありませんでした。時々、死ぬ人もありました。後に、医者はこの理由を発見しました。わたしたちはみなが同じ型の血液を持っているのではありません。4つのグループ——O, A, B, AB——があります。わたしたちはみなこれらのグループの中の1つの血液を持っています。医者はO型の血液はだれに与えても安全だということを発見しました。

また、どんな型の血液でもAB型の人には与えることが

できることも発見しました。しかし、A型の血液はA型の人に、B型の血液はB型の人に与えなければならないことも発見しました。

もう1つの問題がありました。適切な血液を供給するために、医者は適切な血液型の人を見つけなければなりません。しばしば適切な血液型の人を見つけるのが間に合わないこともありました。だれかが血液を必要になるまで血液を保存する方法があれば、いつも適切な血液を持っていることができます。まず、瓶に入れて15日から20日それを保存できることを発見しました。彼らは瓶の血液を非常に低温にすることによってこれを行いました。それからもっと長く保存する方法を発見しました。ついに彼らは非常に長い間血液を保存する方法を発見しました。

今日では、希望すれば3か月ごとに1パイントの血液を供給することができます。血液は瓶に入れられてだれが必要なものまで保存されます。お金を保管する所を「銀行」と呼びます。血液を保管する所を「血液銀行」と呼びます。

いつか、もっとあなたたちが大きくなったら「血液銀行」に血液を供給することを決心するかもしれません。こうすればあなたたちはだれかが死ぬのを防ぐかもしれないのです。

あるいはある日事故にあたり、病気になったりするかもしれません。血液を必要とするかもしれません。「血液銀行」があなたたちに血液を供給してくれるでしょう。

P244

4

解答

- (1) 温室
- (2) a belt of gases
- (3) 温室の屋根やかべが温室内の暖まった空気を逃がさないのと同じように、地球の周囲の気体が太陽の熱で暖められた空気を地表近くにとどめておくから。
- (4) 工場や車や伐採された木から出る新しいガスが地球の温暖化を促進していること。
- (5) save

#### 解説

- (1) 本文3～4行目、6行目、8～9行目参照。
- (2) 本文11～12行目参照。
- (3) 本文8～10行目に「温室」、11～13行目に「気体」の説明がある。
- (4) 本文18～20行目参照。
- (5) 本文22～27行目参照。地球をどうするために学ばなくてはならないかを考える。

#### 全訳

ホワイト先生：「温室効果」のことを聞いたことがありますか。

ケン：いいえ、ありません。それは何ですか。

先生：温室はガラスでできた建物です。その中で花やその他の植物を栽培できます。

ケン：どんな花や植物も栽培には温室が必要なのですか。

先生：そんなことはありません。かなり暖かくする必要のあるときに温室を使うのです。

ケン：温室の中はいつも暖かいのですか。

先生：そうです。日光がガラス越しに入ると、温室の中は暖かくなり、屋根やかべのおかげで熱は外に出ませんから。

ケン：わかりました。では、「温室効果」とは何ですか。

先生 : はい、地球の周りには、ちょうど温室のよ  
うな働きをする気体の区域があります。日光  
が入ってくると、気体の区域が熱をとらえ  
て、地表の近くに保つのです。

ケン : なるほど、わかりました。じゃあ「温室効  
果」はよいことなのですね。僕たちは暖かく  
ないと生活できませんからね。

先生 : ああ。しかし、ちょっと待ってください。  
1つ問題があります。

ケン : 問題ですか。

先生 : 工場や車は大量の新しいガスを出していま  
す。木からでさえ、それらを切り倒すと、ガ  
スが出できます。これらの新しい気体がます  
ます多くの太陽からの熱をとらえています。  
これが「温室効果」と呼ばれています。

ケン : 地球がより多くの熱を吸収すると何か悪い

ことでもあるのですか。

先生 : ああ、もし地球がほんの少しでも暑くなっ  
たら、世界中の天候が大幅に変わってしまう  
かもしれないのです。

ケン : そうしたらどうなるのですか。

先生 : はい、暖かい地方は暑すぎて住めなくなる  
でしょうし、寒い所は暖かくなるでしょう。  
いちばん重要なことは、ほとんどの食物を栽  
培している所は、暑くなり過ぎて食物を育て  
ることがもうできなくなることです。

ケン : わあ、それは大きな問題ですね。地球上で  
食物がなくなったらどうすればいいんです  
か。

先生 : だからわれわれはもっともっと地球につい  
て学ばねばなりません。そしてまた地球を救  
うために何ができるかも知るべきなのです。

(1) ウ, エ, オ

(2)① 父親は彼女の言葉を聞くやいなや、そのロバからおりました。

② 彼らが町に着く直前にその少年はあまりにも疲れて、地面に倒れてしまいました。

(3) ア

## 解説

- (1) ア 市場までの道のりは遠かったが、父親と息子は町までの道をずっとロバに乗って楽しんだ。(×)  
\*最初はふたりで乗っていたが、最後は父親だけが乗っていた。
- イ 町へ行く途中、父親はロバに水をやってくれるように少女たちに頼んだ。(×) \*そのような内容の記述はない。
- ウ 少女のうちの1人は疲れきったロバに乗っているなんて父親と息子は愚かだと思った。(○)  
\*本文3~4行目参照。
- エ 息子がロバに乗り、父親がそのかたわらを歩いているところをお年寄りが見たとき、そのお年寄りは「若い者は老人をいたわらない。」と思った。(○)  
\*本文6~7行目参照。
- オ 腕に赤ちゃんを抱えた女性たちは歩くのに疲れているように見えた息子に対して気の毒に思った。(○)  
\*本文11~12行目参照。
- カ 父親は、赤ちゃんを抱えた女性たちが彼に「あなたは王様のように乗るのですね。」と言ったとき、たいへん誇らしく思った。(×) \*本文13行目参照。
- キ 彼らが町に着く直前にその少年はあまりにも疲れてロバから落ちてしまった。(×)  
\*本文16行目参照。
- ク 父親は息子をみてくれた医者にロバを売ったので、一銭もお金を得なかった。(×) \*本文18~20行目参照。
- (2)① as soon as …「…するとすぐに」、get down from …「…から降りる」
- ② so ~ that …「とても~なので…」, fall to the ground「地面に倒れる」
- (3) ア みんなによくしようとしてもだれにもよくしていることにならない。
- イ 助言に従うことは簡単だが、実行に移すのは難しい。
- ウ どんな助言にも従わなかった父親は正しかった。

エ すべきことを自分たちで決めることは重要ではない。

オ 他人からの助言にはいつも従うべきだ。

## 全訳

あるとき、父親と息子がいなか道を1頭のロバに乗っていました。彼らは町の市場でロバを売りがっていました。町へ行く途中に、池から水を運んでいる幼い少女らとすれちがいました。その少女の1人が言いました。「ほら。小さなロバに乗っている、あの愚かな人たちをごらん下さい。ロバは疲れてもうすぐ死にそうだわ。」父親は彼女の言葉を聞くやいなや、そのロバから降りました。

彼らが数人のお年寄りに出会ったのはそれから間もなくのことでした。「ほら、見てごらん。」その老人の1人が他の老人に向かって言いました。「残念ながら今の若い者は老人をいたわらない。かわいそうな老いた父親が息子のとなりを歩いているのに、息子はロバに乗っているのを見てごらん。」父親はこれ聞いて、息子にロバから降りるように言いました。そして今度は父親自身がロバに乗りました。

その後すぐに、腕に赤ちゃんを抱えた3人の女性に出会いました。「なんてひどい父親なのでしょう。」とその女性たちは口をそろえて言いました。「坊やがたいへん疲れているように見えるのに、どうしてロバに乗れるのですか。あなたは王様のように乗るのですね。」父親はその言葉に腹をたてました。「どうしてあなた方はわたしにそんなことを言えるのですか。わたしは2度、助言に従ってきました。今、あなた方はそれとは違う助言をわたしにしています。どうして今、それに従わなければならないのですか。」

彼らが町に着く直前にその少年はあまりにも疲れて地面に倒れてしまいました。彼は立ち上がることができませんでした。

それから父親は市場でそのロバを売って多くのお金を得ました。しかし、結局そのお金を失いました。なぜでしょう。なぜなら彼は息子を診てもらった医者にお金全部を支払わなければならなかったからです。市場への道のりは長かったのですが、父親は家へ帰る道のりの方がもっと長く感じられました。

- (1) イ, キ, ク  
 (2) 歩道を歩いていた男性が彼女の正体に気づくのにじゅうぶんな時間。  
 (3) 職業……女優
- ① 映画のせりふを覚えていたり, 男優をよく知っていたりして, その映画に出演していたと思われること。  
 ② サングラスをしたり, 映画が終わる前に映画館を出るなどして, 人目を避けていること。  
 ③ 路上で, 「もしかしてあなたは……?」と声をかけられていること。

## 解説

- (1) ア その女性は1階に住んでいた。(×) \*本文3行目参照。  
 イ 彼女はその夜映画を見に行こうと思っていた。(○) \*本文2~3行目参照。  
 ウ 映画館まで歩いて5分かかった。(×) \*本文6~8行目参照。  
 エ 通りは汚くぶっそうな人も多いので彼女はもうニューヨークを愛していなかった。(×) \*本文8~11行目参照。  
 オ 映画館は人々で満員だった。(×) \*本文12行目参照。  
 カ 彼女は席に着くとすぐにサングラスをはずした。(×) \*本文12~14行目参照。  
 キ 彼女がよく知っている男性がその映画に出演していた。(○) \*本文16~17行目参照。  
 ク 彼女は映画が終わる前に映画館を出た。(○) \*本文18行目参照。  
 ケ 彼女はアパートまで歩いて帰った。(×) \*本文18~19行目参照。
- (2) 本文21~24行目の内容を書けばよい。  
 (3) 本文1~2, 12~14, 15~18, 23~24行目の内容から推測できる。

## 全訳

ニューヨークの涼しい秋の午後のことでした。その女性は丈の長い黒い服を着て帽子をかぶり, サングラスをしていました。「今夜は映画を見に行こう。」と彼女は思い, ほほえみしました。10分後, 彼女はエレベーターで1階に降り, アパートの建物から歩いて出て行きました。ちょっと立ち止まり, 通りの騒がしいすべての車を見ました。次に歩道の人を見ました。とても多くの人がいきました。「これはよい考えかしら。」彼女は自問しました。それから彼女はハンドバッグ

を脇に抱えてタクシーを呼びました。「もちろんいいわ。」

映画館まで5分かかりました。この5分の間に, 彼女はまだニューヨークが大好きなことに気づきました。なるほど——彼女のアパートは冬は寒いところでした。確かに, 通りにはぶっそうな人もたくさんいました。店ではすべての物が高価でした。通りは汚れていました。これらはすべて本当でした。……それでもやはり, ニューヨークは彼女の故郷なのでした。

映画館には30~40人の人しかいませんでした。彼女は映画館の後ろの方に座りました。2分後に映画が始まりました。それから, そしてその時だけ, 彼女はサングラスをはずしました。

それはすてきな物語でした。彼女はそれをよく覚えていました。いくつかのせりふさえ覚えていました。そして, もちろん, 黒髪の男優が出演していたことも。

「彼は大好きな俳優だったわ。」と彼女は思いました。「30年代, 彼を本当に愛していたわ。」

彼女は終了数分前にそっとそこを出ました。タクシーで行こうかしら。「いいえ。」と彼女は考えました。「地下鉄で行くわ。」

10時50分には彼女はアパートの近くにいました。彼女は幸せでした。「楽しかったわ。」と彼女は思いました。彼女のアパートの正面入り口までわずか3フィートでした。彼女はサングラスをはずして, ちょっとの間星を見上げました。それはほんの少しの間でしたが, それだけでじゅうぶんでした。歩道の男が立ち止まりました。彼は彼女に近づいて「失礼ですが。」と言いました。「あなたは確か……。」

「違います!」彼女は言いました。彼女の声は冷たく厳しい口調でした。「いいえ, 違います。」それから彼女はふたたびサングラスをかけ, そそくさとアパートに入って行きました。

- (1) イ (2) tickets do you want (3) エ (4) エ (5) ウ (6) ア  
 (7) ウ, キ

## 解説

- (1) 直後の本文5～6行目の「2人ずつ手をつないで両親のうしろで列に並んでいました。」ということから判断する。
- (2) 間接話法から直接話法へ転換する。実際のことばの部分は現在形にする。he wanted → do you want となる。
- (3) 本文15～16行目の夫婦の様子や、17～18行目で男性がじゅうぶんなお金を持っていなかったことから考える。
- (4) turn 以下の内容から、男性がどのようにして子供たちに説明しようか途方にくれていることを読み取る。
- (5) it は直前の本文20～23行目を指す。
- (6) 本文24行目 He は「8人の子供を持つ男性」のこと。his の後には直前の名詞 hand の複数形が省略されていると考える。
- (7) ア 筆者と彼の父親は8人の子供を持つ両親が20ドルを要求してきたのでサーカスを楽しむことができなかった。(×) \*要求をしてきたわけではない。
- イ 筆者の父親は彼らの前に並んで立っていた家族にサーカスのチケットをあげた。(×) \*サーカスのチケットそのものをあげたわけではない。
- ウ 筆者の父親は10枚のサーカスのチケットを買うことができない両親を助けてあげるほど親切だった。(○) \*本文20～24行目参照。
- エ 筆者は12歳のときにはじめてサーカスに行った。(×) \*本文1行目に筆者はティーンエイジャー(13歳～19歳)とある。
- オ 両親は子供たちがサーカスに興味を持っていたので、道化師や象などについて話してあげた。(×) \*本文6～7行目参照。
- カ 8人の子供を持つ両親は、知らないだれかが彼らがなくした20ドル紙幣を見つけるのを手伝ってくれたおかげでサーカスのチケットを手に入れることができた。(×) \*8人の子供を持つ両親は20ドル紙幣をなくしていない。
- キ 8人の子供を持つ母親は夫がチケット売り場の女性に話しかけるまでは幸せで、夫を誇りに思っていた。(○) \*本文9～11行目参照。
- ク 筆者の父親は後ろに並んでいた家族にお金をいくらあげた。それで彼らはサーカスに行くことができなかった。(×) \*本文2行目参照。前に並んでい

た家族である。

## 全訳

わたしがティーンエイジャーであったころ、父とわたしはサーカスのチケットを買うために列に並んでいました。ついにわたしたちとチケットカウンターの間には1組の家族だけとなりました。わたしは、この家族を忘れることができません、いいえ忘れるつもりはありません。8人の子供たちがいて、おそらくみんな12歳以下のようなのでした。彼らはあまりお金を持っていないように見えました。彼らの衣服は高価ではありませんでしたが、清潔でした。子供たちは行儀がよく、みんな2人ずつ手をつないで両親のうしろで列に並んでいました。彼らはその晩見ることになる道化師や象や他の演技について興奮して話していました。いままでサーカスへ行ったことがない様子でした。若い時期の中で最高の時間になるはずでした。

両親は誇らしげに家族の先頭に立っていました。母親は自分の夫の手をにぎりながら彼を見上げて「あなたは輝くよいかぶとを身につけたわたしのナイトだわ。」と言いました。彼は自信にあふれてほほえみ、彼女を見つめて「まったくそのとおりだよ。」と答えました。チケット売り場の美しい女性が父親にチケットが何枚ほしいのかとたずねました。彼は「わたしの家族がサーカスを見るために子供8枚とおとな2枚ください。」と誇らしげに返事をしました。

チケット売り場の女性が彼に値段を言いました。男性の妻はうなだれて夫の手をはなし、男性のくちびるはふるえはじめました。父親はカウンターに少し近寄って「いくらとおっしゃいましたか。」とききました。チケット売り場の女性はもういちど値段を言いました。その男性はじゅうぶんなお金を持っていませんでした。彼は「どうやって振り返り子供たちにサーカスに連れて行ってやるだけのお金を持っていないなどと言えようか。」と思いました。

わたしの父は何が起きているのか見て、ポケットの中に手を入れ20ドル紙幣を取り出して地面に落としました。(わたしたちはまったくお金持ちではありませんでした。)わたしの父は手を伸ばして紙幣を取り、その男性の肩を軽くたたき「すみませんが、これがあなたのポケットから落ちましたよ。」と言いました。その男性はそれをわかっていました。彼はお金を頼みはしませんが絶体絶命の状況の中での父の助けに確かに感謝していました。彼はまっすぐに父の目を見つめ、両手で父の手をとって、その20ドル紙幣をかたくにぎりしめました。彼のくちびるはふるえ、ほおには涙が流れていました。彼は「ありがとう、ありがとうございます

す。このことはわたしとわたしの家族にとってたいへん重要な意味があります。」とくり返し言いました。父とわたしは

車まで戻り、家まで帰りました。その夜、サーカスは見えませんでした。我慢したというわけではありませんでした。

4 解答

- (1) see the blackboard, either
- (2) ア
- (3) not, as[so] well as
- (4) 点字
- (5) 聞ける人が1人もいなかったのです。
- (6) Why don't you have a guide dog(?)
- (7) エ
- (8) ウ, エ

解説

- (1) 「わたしも黒板が見えません。」という意味の文にする。否定文での「…も」は too ではなく either を用いる。
- (2) 「先生、彼女を移動させてくれませんか。」と言っていることから考える。
- (3) 「わたしは彼ほどよく見るができなかった。」という意味の文にする。《not as[so] + ~ + as …》で「…ほど〜ない」という意味を表す。
- (4) 本文 13 ~ 14 行目の内容から考える。
- (5) 本文 24 行目に書かれている。
- (6) 直前の文の Why don't you have a guide dog(?) を指す。
- (7) 直前の文の「しかし盲導犬のことは考えてもみませんでした。」ということから考える。
- (8) ア ブラウン先生はシーラの担任の先生である。(×) \*本文 29 行目参照。  
イ 17 歳のときに、シーラは盲学校へ入るために遠く離れたところに行くことを決意した。(×) \*本文 6 ~ 7 行目参照。  
ウ シーラは電話交換手になったが、数ヶ月後に彼女の視力はさらに悪くなった。(○) \*本文 11 ~ 12 行目参照。  
エ ある日の夕方、彼女は最初のバスを降りると、2 回街灯にぶつかって転んだ。(○) \*本文 19 ~ 21 行目参照。  
オ シティセンターは彼女の家から約 8 キロのところにあった。彼女が帰宅するのに 3 時間かかった。(×) \*本文 26 ~ 28 行目参照。「いつもより 3 時間遅く帰宅した」としか書かれていない。  
カ シーラが帰宅したとき、ブラウン先生は盲導犬といっしょに彼女を待っていた。(×)

\*本文 32 ~ 33 行目参照。

全訳

「先生お願いします、黒板が見えません。」  
「わたしもです。先生、彼女を移動させてくれませんか。」  
「だめです。」とわたしの英語の先生は言いました。「シーラは黒板があまりよく見るができないのです。彼女の視力は悪いので黒板に近づかなければならないのです。」

それは本当のことでした。11 歳でわたしの視力はたいへん悪かったのです。目の不自由な生徒のための学校がありました。しかしわたしの両親は盲学校へ入るためにわたしが遠くへ行ってしまうのをいやがりました。わたしたちはイギリスの中心にある大都市のノッティンガムに住んでいました。わたしの父も母も目があまりよく見えませんでした。しかし彼らは自分で何とかしてあちこち動き回っていました。わたしたち——父、母そして兄のグラハム——はとても幸せに暮らしていました。グラハムの視力は悪かったのですが、彼はわたしよりはよく見ることができました。彼はわたしに物語を読んでくれました。

わたしは学校を卒業すると、電話交換手になるために学びました。そして大きな店でわたしは最初の職につきました。しかし数か月が過ぎるにつれて、わたしの視力はさらに悪くなりました。17 歳でわたしは家や道路での自分の足どりを見ることができなくなりました。もはやまったく読むことはできなくなりました。目の不自由な人は点字の紙の上にある点を触ったり、感じて読むことができます。だからわたしは点字を学ばなくてはなりません。わたしは白いつえを使いなくなかったのです。わたしは助けを求めようとしませんでした。わたしは 17 歳の女の子であり、ほかの人たちと同じようになりたかったのです。しかしわたしが車の間を歩行しているときわたしは車を運転している人にとってはたいへん危険な存在だったのです。

ある日の夕方がわたしの人生を変えました。わたしはいつものように職場から自宅へ帰るところでした。わたしはバスを2台利用しなくてはなりませんでした。1台目のバスを降り、2台目のバスの停留所に向かってゆっくり歩きました。しかしわたしは何か硬いものにぶつかって転びました。「ごめんなさい。」とわたしは言いました。そして再び前に足を踏み出しました。しかしまた何か硬いものにぶつかりました。そのときわかりました。わたしは背の高い街灯に向かって謝っていたのです。わたしは笑い、歩き続け、正しいバスの停留所を見つけました。しかしこの停留所ではバスはいつも止まって待っているというわけではありませんでした。運転手に合図をしなくてはならないのですが、もちろんそのためには正しいバスかどうかわかっていなくてはいけませんでした。その夕方、聞ける人がそこに1人もいませんでした。だからわたしは次の停留所へ向かって歩きました。ここでもまた聞ける人がいませんでした。わたしは次の停留所へ向かいましたが、また同じことが起こりました。このときまでにわたしはすっかり道に迷っていました。結局わたしは歩いてシティセンターまで戻りましたが、それは約8キロありました。そこに行けば正しいバスに乗ることができることを知っていたのです。ついにわたしはいつもより3時間遅く帰宅しました。わたしは疲れてみじめでした。

しかし家にはお客さんが来ていました。彼はわたしの家庭

教師のブラウン先生でした。家庭教師の先生は目の不自由な人々の家を訪れて、お話をしたり、点字の紙やそのほか役に立つものを持ってきます。わたしの家族はみな目が不自由だったため、ブラウン先生はとても頻繁に家を訪れました。

「ああ、シーラ、ずいぶん遅かったんですね。君に会うためにずっと待っていたのですよ。」と彼は言いました。わたしは彼に何が起こったのかを話しました。彼はすぐに「盲導犬を飼ってみてはどうですか。」と言いました。

それらの言葉はそのときまでのわたしの人生において7つの最も重要な単語でした。盲導犬は目の不自由な人々をあちこち通りを連れて行ったり、車の往來の間を導いてくれます。盲導犬は目の不自由な人々の代わりに見てくれ、盲目の人の目となってくれます。わたしは動物がとても好きでした。しかし盲導犬のことは考えてもみませんでした。わたしは自分で何とかやっていると信じていました。ブラウン先生は続けました。「君には盲導犬が必要です、シーラ、そして君はそれを飼うのにふさわしい年齢になっていますよ。」

わたしの世界は変わりつつあるように思えました。何てすばらしい考えなのでしょう。わたしはすぐに「どうやったら盲導犬を手に入れることができますか。わたしは何をしなければなりませんか。」とたずねました。「心配はいりませんよ。」と彼は言いました。「ほくが書類を持ってきて、君の代わりに書きますから。」

- (1) She has  
 (2) いっしょうけんめい働くジャックに、雇い主のマーティンは安い夕食だけで賃金を渡す必要がなかったから。(49字)  
 (3) ① エ ② キ  
 (4) ウ  
 (5) ア  
 (6) Jack became as good at making jewelry as Martin  
 (7) エ  
 (8) shop  
 (9) a) stayed b) set c) worried d) working

解説

- (1) 「彼女に名前はない。」という意味にする。  
 (2) 下線部②の前後に示されている。  
 (3) ① 彼(ジャック)が、彼女(ベル)が自分にほぼえんでいると感じたのは、ベルがジャックを見ていたときだと考えられるのでエが適切。  
 ② ろうそくを燃やしたのはマッチをすった後なのでキが適切。  
 (4) 賃金としてちりを要求したジャックに対するマーティンの反応を表す部分。直前の laugh と but でつながっていることから、笑いをこらえて真剣な顔つきをしようとしたと考えられるので、「真剣な」の意味の serious が適切。  
 (5) 前後の文から、ジャックが技術を身につけ、マーティンに代わって仕事をできるようになったとわかるので、「ジャックは主人(=マーティン)のためにすべての仕事

をした」が適切。

- (6) 「…と同じくらい～」 as ~ as …, 「～がじょうずになる」 become good at …
- (7) How can ~? で「どうして～できるのか、できるわけではない」という意味を表す。
- (8) 2文あとに Jack's Fine Jewelry という店名があるので、ジャックが自分の店を始めたことがわかる。
- (9) ㉠ 「ジャックといっしょにベッドの上にいる」という意味にする。
- ㉡ 「紙を1枚取り出して、その上にベルをのせた」という意味にする。
- ㉢ 「それはマーティンを少し心配させた」という意味にする。
- ㉣ 「マーティンの働き方をじっと見た」という意味にする。

### 全訳

ある日、ジャックという名の貧しい少年がお金をたくさん稼ぐために都会にやってきました。彼は仕事を探して市内を歩き回りましたが、見つけれませんでした。とうとうその晩、彼はとても疲れ、マーティン高級宝飾店で立ち止まりました。月明かりに輝いている金が彼の目に留まりました。彼はドアのところで横になり、眠りました。

翌朝、彼は背中をほうきで強く打たれました。マーティンが貧しい少年を見下ろしました。彼は「あっちへ行け。」と大声で言いました。

「お願いします。ぼくはお金をたくさん稼ぐために仕事を探しているんです。」とジャックは言いました。

「うちにはお前の仕事はない。」と彼は言いました。

「食べ物と眠る場所と引き換えに、いっしょうけんめい働いて、おっしゃることは何でもします。」とジャックは言いました。

「いいだろう。」と彼は言い、ほうきをジャックに渡しました。「店のそうじから始めてよい。食べ物と寝床と引き換えに1か月間働いてよい。十分いっしょうけんめいに働いたら、賃金について話し合おう。」

ジャックはマーティンにお礼を言い、働き始めました。彼がそうじをしていると、大きくて上品なネコが部屋の中へ歩いてきました。毛は黒でした。長い尾は背中の上高くに丸く曲がっていました。ネコは緑色の目でジャックを注意して見ました。彼がさわろうとすると、ネコは体を彼の脚に押し付けました。なんと美しいネコでしょう。彼は「何と呼んでいるのですか。」とたずねました。「名前なんてない。ねずみを捕まえるために飼っているだけだ。仕事に戻れ。」とマーティンは答えました。その夜、ジャックが仕事場にある古いベッドに横になると、ネコが彼のところにきました。「きみ

をベルと呼ぶよ。それはぼくが知っている一番美しい名前だからね。」とジャックはネコに言いました。

数週間が過ぎ、マーティンはジャックがいかにいっしょうけんめい働くかを見て驚きました。彼は笑みを浮かべました。彼はジャックに1日の終わりに安い食事を与えるだけで、お金をまったく与える必要がなかったのです。

ジャックにとって、彼の人生で1つ明るいことはベルでした。夕方の早い時間、マーティンが宝飾品を作る間、ベルはたいいて彼のいすのそばにすわりました。尾が床を掃いていました。夜になるとベルはジャックとベッドにいて、いっしょに眠りました。マーティンは帰宅するとき、鍵をかけてジャックを仕事場に閉じ込めました。彼はろうそくも隠しました。ジャックは暗い部屋で夜を過ごさなくてはなりませんでした。

ある早朝、ジャックはベッドの下の妙な音を聞いて目を覚ましました。ベルが半分燃えたらろうそくで遊んでいました。ベッドの下にはもっとたくさんありました。ジャックはベルを見、ベルも振り返って見ました。彼はベルが自分にほほえていると感じました。

その日、ベッドの下で運良く見つけた1セントでジャックはマッチを1箱買いました。その夜、彼は短いろうそくを持ち出しました。「さて、ベル。特別な時間だよ。」と彼はマッチをすって言いました。ジャックがろうそくを燃やすと、暗い部屋が明るくなりました。ジャックは「おいで、ベル。」とネコを呼びました。

ネコの尾は高い位置で丸く曲がりました。ネコは彼の方へ歩いてきました。なんと驚くべきことでしょう。ベルの長くて黒い尾が光の中で輝いていました。尾の毛の間に輝くものが見えました。「あれは何だろう。どこから来たのかな。」と彼は思いました。突然、彼はマーティンが宝飾品を作っている間、ベルがいつもマーティンのいすの近くにすわっていることを思い出しました。尾がほうきのように床の上を掃いていたのです。ジャックはすばやく紙を一枚取り出し、その上にベルをのせました。彼は指でやさしく、ていねいに尾をなでました。金のちりが紙の上に降り注ぎました。

翌朝、ジャックはマーティンに話しかけました。「今、働かせてもらって1か月になります。月末には賃金をくれるとぼくに約束してくれました。今、ぼくはお金は要求しませんが、ベルの尾のちりを持っていてもいいですか。」

彼は驚いて「賃金としてちりを要求しているのか。」と言いました。

「はい。」とジャックは答えました。マーティンはもう少しで笑い出すところでしたが、真剣に見えるように努めました。

「結構。賃金としてちりを持っていてよい。仕事に戻れ。」

と彼は言いました。一瞬、ジャックの目がマーティンの目と合いました。少年はほほえみました。マーティンはそれが少し気になりましたが、すぐにそのことを考えるのをやめました。「ジャックはばかな少年だから、食事とベッドとネコの尾についたちりのためだけにいっしょうけんめい働くのだ。」と彼は思いました。

何か月もたちました。毎晩、ろうそくの光のそばで、ジャックはベルの尾をていねいになでました。彼は輝くちりを全部、古い袋の中に取りっておきました。

ジャックはとてもしょうけんめい働いたので、たいてい1日が終わる前に仕事を全部終えました。それから彼は静かにマーティンの仕事の仕方をじっと見ました。

ある日、ジャックは石を指輪にはめる方法をマーティンから教わりました。次の日には、ネックレスの作り方を覚えめました。ジャックは次々に技術を身につけました。ジャックはやがて、主人のために全部の仕事をやりました。マーティンはどんどん怠けていきました。彼はただいすに深くすわり、ジャックを注意して見ていました。

ついに、ジャックは宝飾品を作るのがマーティンと同じくらいうまくなりました。店の名前は広く知れ渡り、ますます多くの人々が来店するようになりました。マーティンは笑いが止まりませんでした。ちりだけを求める仕事熱心な働き手がいたからです。「この子は何も持っていない。私のために永遠に働かなくてはならないだろう。」と彼は思いました。

しかし、ある日、ジャックは「おいとまいたします。」と言いました。

「いとまだと。どうしていとまなどできるんだ。お前は何も持っていないだろう。」とマーティンは大声で言いました。

「それは完全に正しいというわけではありません。そして、今までほくにしてくれたことすべてに感謝しています。」とジャックは言いました。そして歩いて出て行きました。

ジャックはためた金のちりがあったので、自分の店を始めするのに十分なお金を持っていました。そのすぐ後に、ベルがマーティン高級宝飾店から姿を消しました。次の日、ベルはジャック高級宝飾店の窓にすわっていました。仕事場では、ジャックが宝飾品を作っていました。

P257 6 解答

- (1) 私が持っているあの古いものを、自転車と呼べるのならば。  
 (2) ② ア ③ ア ④ イ ⑥ ウ  
 (3) ⑤ what ⑧ surprised, anything  
 (4) イ  
 (5) return, money, family  
 (6) no new bicycle could make me as happy as I felt  
 (7) one, brothers, destroy, science project  
 (8) エ  
 (9) ウ, エ, ク

解説

- (1) call ... ~ AB 「AをBと呼ぶ」の文で、Aはthat old thing that I own, Bはa bikeである。  
 (2) ② settle for ... 「(不満ながら)…でよいとする、…がまんする」  
 ③ Talk about ...! 「まさに～とはこのことだ。」  
 ④ come along 「進行する、はかどる」  
 ⑥ know ... from ~ 「…と～の区別がつく」  
 (3) ⑤ だれかに助けを求めているので、「今、何をすべきかを教えてくれるようにだれかに頼みたい」という文にする。「何をすべきか」を《疑問詞+ to ~》で表す。  
 ⑧ speechless 「口がきけない」。「とても驚いて何も言えなかった」という文にする。

- (4) 直後の文に「名誉の試験」とあるので、イの「自分の誇りを傷つけたくなかったから」が適切。  
 (5) 「正直な行動」とは、見つけたお金を家族に返したことを指す。  
 (6) 「どの新しい自転車も、ほくがその日に感じたほどにほくを幸せにすることができないと思った」という意味にする。  
 (7) 質問の英文は「どうしてジョンは自分のものを保管する安全な場所を持つたのか。」という意味。「弟の1人が理科の研究をまた台無しにするかもしれないと思ったから。」本文5～6行目、35～36行目参照。  
 (8) finders と losers のあとに are が省略されている。「発見者が所有者」とは、「何かを見つけ、それを返したくない人」が言うことばと考えられる。

- (9) ア ジョンは自転車を持っていなかったので誕生日に自転車がほしかった。(×)
- イ ジョンの両親は彼に自転車に乗るといふ考えをやめるようながした。(×)
- オ ジョンが家族からもらったナイトテーブルは鍵のかかる引き出しが1つしかなかったので、彼は再度別のを頼んだ。(×)
- カ ジョンが両親からもらった2番目のナイトテーブルはとても新しくかったので、何のステッカーもはられていなかった。(×)
- キ ジョンは中古の家具屋で、色をぬったことでよりよくなった古いナイトテーブルを見つけた。(×)
- ケ ジョンはより高得点を取るために数学の試験の最中に別の生徒の答案を見た。(×)
- コ ジョンは老婦人の家族がいかに飢えに苦しんでいるかを聞いたあと、できるだけ正直であるように努めた。(×)
- サ 老婦人の家族は感情をまったく表さなかったので、そのお金について彼らが実際にどう感じているのかをジョンが知る方法は何も残されていなかった。(×)
- シ ジョンの両親も弟たちも、彼が見つけたお金を平等に分けるといふ彼の考えに賛成しなかった。(×)

### 全訳

ぼくの12歳の誕生日でした。ぼくが本当に一番ほしかったものは新しい自転車でした。太いタイヤのついた青いローライダーです。でも、ぼくの家族がそれを買えないのはわかっていました。自転車はとにかくあるのだから、ぼくは喜ぶべきだと両親は言いました—ぼくが持っているあの古いものを自転車と呼べるのならですが。

新しい自転車はただの夢なので、ぼくはナイトテーブルで手を打ちました。うるさい弟たちをぼくのものに近づけないようにする安全な場所を持つと思いました。そこで、ぼくは鍵のかかる引き出しのあるナイトテーブルを両親に頼みました。そして、それがぼくのもらったものでした。

ぼくたちは中古の家具屋に行き、古いこげ茶色のナイトテーブルを見つめました。あまり格好よくは見えませんでした。でも、鍵をかけておける引き出しがありました。ぼくはそれをもっとよくするために、色をぬってステッカーをはることにしました。

それを家に持ち帰ってから、ぼくは色をぬる用意をしました。引き出しを引っ張り出したとき、1番下の引き出しの後ろに何かを感じました。ぼくは奥までずっと手を伸ばし入れ、そして何を見つけたと思いますか。中に書類が入ったビニール袋です。

すごい、だれかの秘密のものを見つけたのかもしれない、とぼくは思いました。袋を開けると、書類は何かの公式の文書のようなのだとわかりました。そして、書類に包まれていたのは、たくさんの10ドルや20ドルの紙幣でした。まったくすごい宝物の発見です。それもぼくの誕生日にです。

「これは何かの冗談かな。」とぼくは声に出して言いました。もしかしたら、家族がぼくにいたずらをしているのかもしれない。もしかしたら、これは本物のお金ではないのかもしれない。でも、かなり本物のように見える。だれかがこの袋にお金を入れて、鍵のかかる引き出しの後ろに隠したんだ。ぼくは書類を読みました。ある老婦人が息子と孫にお金を残していることがわかりました。

このことはすべてあまりにも不思議でした。ぼくは気が狂いそうでした。ぼくは最高に幸運な12歳ののだろうか。このお金があれば、一番格好いい自転車を買える。弟たちの自転車だって買える。だれが知るものか。もしかすると、両親に車だって買えるくらいここにあるかもしれない。

「見つけた人がもろう人、なくした人は泣く人。」と、ぼくはお金を数え始めながら歌い出しました。千ドルに達したとき、ぼくはやめざるをえませんでした。母がぼくの寝室のドアをノックしていたのです。ぼくはお金を中に入れてすばやく引き出しを閉めました。

「色ぬりの作業はうまくいっているの、ジョン。手伝おうか。」

「いや…いいよ、お母さん、まだ始めてもいないし。用意ができれば呼ぶよ。」

「すべて順調なの。」と母がたずねました。

いや、すべて順調というわけではなかった。

「大丈夫だよ。用意ができれば呼ぶよ。」とぼくは言いました。

母が部屋を去ると、ぼくはベッドに横になり、天井を見ながらこの1週間のことを考え始めました。まず、ぼくはバスケットボールのチームに入れなかった。それから、数学の試験に落第した。最後には、弟が理科の研究を台無しにした。(だからぼくは鍵のかかる引き出しのついたナイトテーブルが必要だった。)そして今、このお金を誕生日に見つけた。これだけが久々のいい知らせだ。ぼくの問題に対する答えだ。でも、いい気分ではない。どうしてだろう。

ぼくは家族や友達につくうそをでっち上げなければならなかっただろう。「見つけた人がもろう人…」とことわざにある。でも、そのお金は本当はぼくにあてたものではなかったよね。その婦人が自分の家族のためにためたものだ。彼女が亡くなって、ナイトテーブルに隠されたお金のことをだれも知らなかった。彼女の家族がそれを中古店に渡し、それが今はぼくの手の中にあった。

「どうしよう。」とぼくは心の中で思いました。「それを取っておいて、ぼくと家族のためにありとあらゆる物を買うのはどうだろう。ぼくがそれを家族と分ければ、持っているのはそんなに悪いことではない…そうだね。それとも、一部を取っておいて、残りを返すのはどうだろう。結局、そこにいくらのお金があるかはだれも知らない…それにぼくの誕生日だ。それとも、全部返すのはどうだろう。真実を言うんだ。新しい自転車はなし。車もなし。」

「だれか、助けて。」とぼくは心の中で思いました。でも、実際には、ほかのだれかに答えを教えてもらう必要はありませんでした。近くの人々の答えをさっと見る機会があったけれども、数学の試験に落第しました。それは、ぼくがもう善悪の区別をわきまえていたからです。ぼくはこの試験には落第しないことに決めました。それは名誉を試す試験でした。ぼくの名誉です。

ぼくは両親と弟たちを寝室に呼び入れ、見つけたものを見せました。彼らは目を大きく見開き、何も言えませんでした。「これをどうするの。」ときかれたとき、ぼくはもう答えを出していました。

「お店に返して彼女の家族を見つけようよ。」とぼくは言いました。

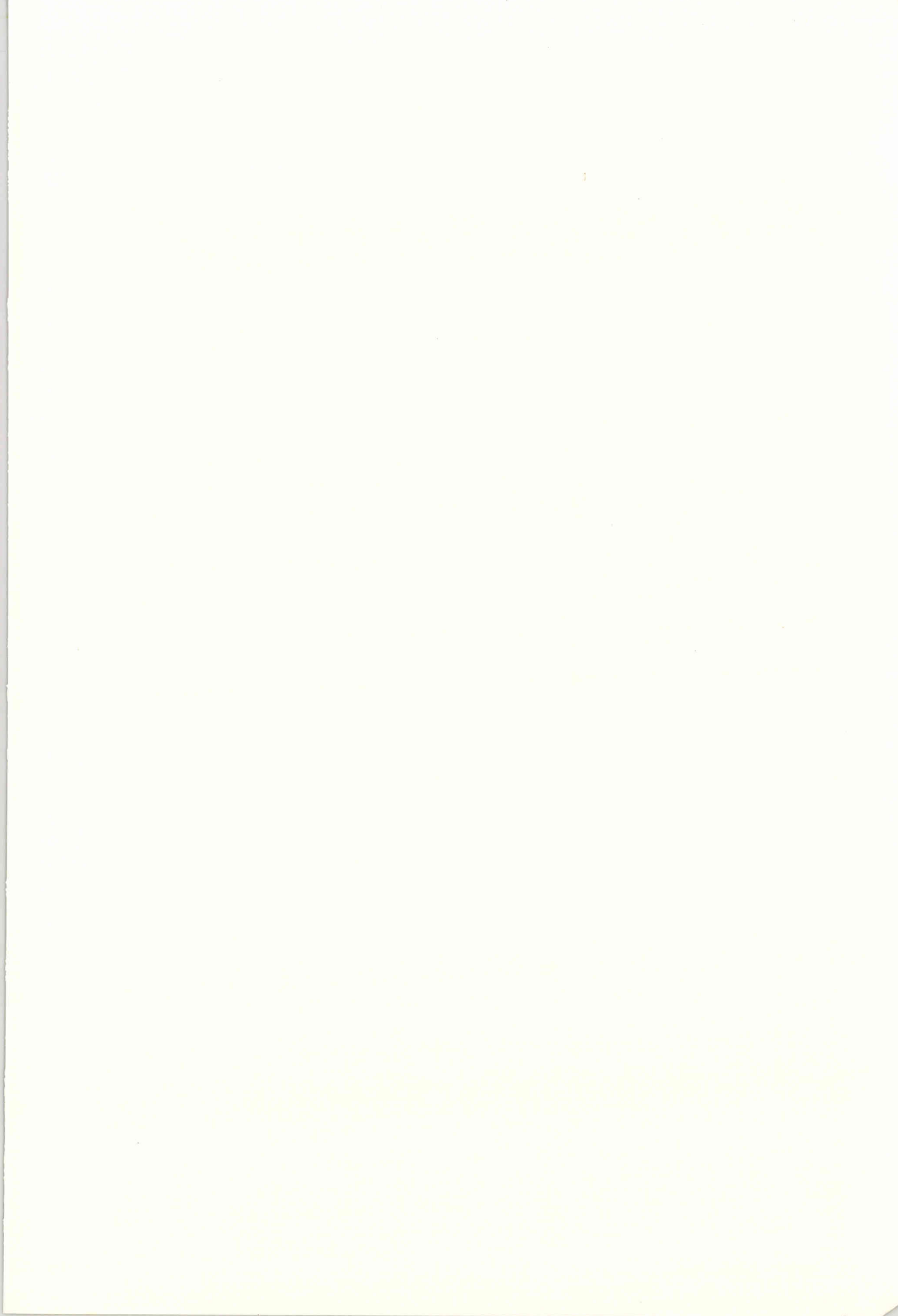
ぼくたちがその話をしたとき、店のオーナーたちにはそれが信じられませんでした。

「きみは千ドル以上を見つけて、それを返しにここに来たと言うつもりなのですか。」と彼らはほとんど同時にたずねました。

彼らは記録に目を通して、その家族の電話番号を見つけました。彼らはその場でその瞬間に電話をかけ、数分以内に全員が店まで来ました。婦人の息子、その妻、3人の子供たちで、うちとよく似た家族でした。その両親は目に涙を浮かべていました。みんなが何度もその話をしているとき、老婦人の12歳の孫はただぼくのことを見続けていました。

ご承知のとおり、彼らはみんなまだ彼女の死を悲しんでいました。そして父親は仕事を失いました。彼らは助けを求め、ついにぼくが彼らの助けに対する答えをもたらしました。ぼくの正直な行為は、彼らが家賃を払う助けになっただけでなく、彼らに希望も与えました。

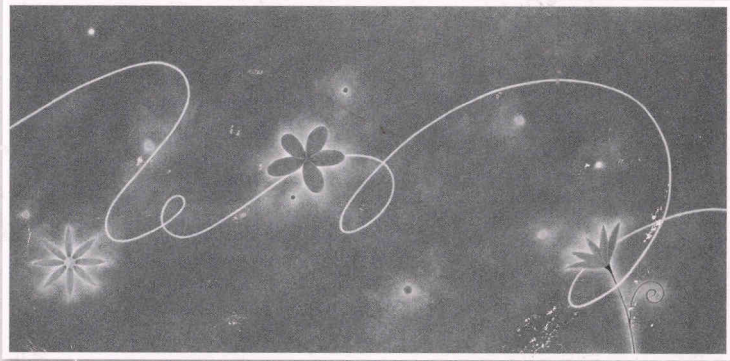
そのとき、ぼくはこの上なく幸せに感じました。どんな新しい自転車も、ぼくがその日感じたほどにはぼくを幸せにすることはできないと思いました。数学の試験には落第しましたが、もっと大切な試験、つまりぼく自身の人格を試す捨得物の試験には合格しました。







\* 0 5 0 2 4 - 2



Sirius 21  
シリウス

英語 Vol.3

発展編

クラス 氏名

